

令和元年度
防災・減災に関する県民意識調査
調査報告書

令和2年3月

和歌山県

はじめに

和歌山県では、平成 16 年度から「地震・津波等に関する県民意識調査」を実施し、県民の防災意識や地震・津波対策の現状を把握し、それらを踏まえた総合的な対策を推進するための基礎調査として活用してきた。

このような中、特に近年では、地震・津波に加え、気候変動などによる集中豪雨等の自然災害により各地に甚大な被害が発生しているため、平成 28 年度調査から、新たに風水害や避難所生活等についての設問を追加し、「防災・減災に関する県民意識調査」と改めた。

平成 23 年の東日本大震災及び紀伊半島大水害から 8 年以上が経過した今、県民の意識や行動の実態がどのように変化しているかなど調査・分析を行い、今後の防災・減災対策に反映することにより、本県の長期総合計画に掲げる「安全・安心で、尊い命を守る和歌山」の実現につなげていきたい。

令和 2 年 3 月

— 目 次 —

はじめに

1. 調査の概要	1
1.1. 調査目的.....	1
1.2. 調査期間.....	1
1.3. 調査対象.....	1
1.4. 調査方法.....	1
1.5. 調査票の回答状況.....	1
1.6. 集計結果.....	2
1.7. 標本構成.....	2
2. 調査結果概要	3
3. 調査結果	5
3.1. 地震・津波への意識と避難について.....	5
3.1.1 南海トラフの地震について、どの程度関心を持っているか.....	5
3.1.2 夜間に自宅で大地震に遭遇した場合の避難行動.....	7
3.1.3 避難する理由は何か.....	9
3.1.4 いつ避難するか.....	11
3.1.5 どこに避難するか.....	14
3.1.6 どのようにして避難するか.....	16
3.1.7 避難しない理由は何か.....	19
3.1.8 《新》南海トラフ地震臨時情報発表時の事前避難について.....	22
3.2. 風水害への意識と避難について.....	24
3.2.1 《新》避難行動の開始段階を知っているか.....	24
3.2.2 大雨が続いた場合の避難行動.....	26
3.2.3 どこに避難するか.....	28
3.2.4 どのようにして避難するか.....	30
3.2.5 避難しない理由は何か.....	33
3.3. 災害時の情報収集について.....	36
3.3.1 防災行政無線.....	36
3.3.2 緊急情報をどのように入手するか.....	38
3.3.3 《新》和歌山県防災ナビのインストール.....	41
3.3.4 インストールしていない理由.....	43
3.4. 災害時の避難について.....	45
3.4.1 避難カードを知っているか.....	45
3.4.2 避難カードに記入しているか.....	48
3.4.3 どこで避難生活を送るか.....	50
3.4.4 自家用車の中で避難生活を送る理由.....	53
3.4.5 大地震後、地域の人と協力してできることは何か.....	55
3.5. 住宅の耐震化・家具固定・ブロック塀対策について.....	57
3.5.1 自宅の形態は（戸建、集合住宅等）何か.....	57
3.5.2 自宅の建築年はいつか.....	58

3.5.3	《新》自宅の耐震化に補助が受けられることを知っているか.....	59
3.5.4	自宅の構造は（木造、鉄骨造等）何か.....	61
3.5.5	専門家による耐震診断を受けたことがあるか.....	62
3.5.6	耐震診断の結果はどうか.....	65
3.5.7	耐震補強が必要と診断された後、補強等を行ったか.....	67
3.5.8	耐震補強をすぐにしない理由は何か.....	69
3.5.9	耐震診断を受けない理由は何か.....	71
3.5.10	家具等の固定をしているか.....	72
3.5.11	家具等の固定をしていないのはなぜか.....	74
3.5.12	ブロック塀や石塀、門柱などの安全性を点検し、どのような対応したか.....	77
3.5.13	点検していないのはなぜか.....	79
3.5.14	すぐに対応しない理由は何か.....	81
3.6.	日頃の防災対策について.....	83
3.6.1	どのような地震防災対策を行っているか.....	83
3.6.2	非常持ち出し品として、まとめて置いてあるものは何か.....	85
3.6.3	《新》停電時の備えとして、用意しているものは何か.....	87
3.6.4	家庭では何日分の水や食料を備蓄しているか.....	88
3.6.5	過去一年間に地域や職場の防災訓練に参加したことがあるか.....	90
3.6.6	どのような訓練に参加したか.....	93
3.6.7	訓練に参加しない理由は何か.....	95
3.6.8	どのような訓練が必要だと思うか.....	97
3.6.9	自然災害や防災についての知識や情報をどこから入手しているか.....	99
4.	アンケート回答者の属性.....	102
4.1.	性別.....	102
4.2.	年齢.....	102
4.3.	居住年数.....	103
4.4.	職業.....	104
4.5.	家族構成.....	105
4.6.	ご近所とのつきあい.....	106
4.7.	居住地.....	107
5.	参考資料.....	108
5.1.	津波危険地区一覧.....	108
5.2.	単純集計表.....	110
5.2.1	地震・津波への意識と避難について.....	110
5.2.2	風水害への意識と避難について.....	112
5.2.3	災害時の情報収集について.....	114
5.2.4	災害時の避難等について.....	116
5.2.5	住宅の耐震化・家具固定・ブロック塀対策について.....	118
5.2.6	日頃の防災対策について.....	123
5.2.7	回答者の属性.....	127
6.	調査票.....	130

1. 調査の概要

1. 調査の概要

1.1. 調査目的

本調査は、県民の地震・津波及び風水害等に対する認知度や日頃の防災対策等のデータを収集・分析し、今後の防災・減災対策に反映させることを目的とするものである。

なお、これまで平成 16・19・22・23・25・28 年度に調査を実施しており、今回が 7 回目の調査となる。

1.2. 調査期間

令和元年 10 月 28 日から令和元年 11 月 22 日まで

1.3. 調査対象

(1) 対象者

A) 南海トラフ巨大地震による津波で全域もしくはそのほとんどが浸水深 1 m 以上と想定される地域(町丁目・大字) (以下、「津波危険地区」という。)に居住する、満 20 歳以上の住民から 2,000 人

B) 津波危険地区を除く地域(以下、「全県地区」という。)に居住する、満 20 歳以上の住民から 2,000 人

(2) 対象者の抽出方法

各市町村の住民基本台帳から無作為に抽出した。なお、各市町村の抽出人数は人口比率から決定している。

1.4. 調査方法

郵送配布、郵送回収によるアンケート調査

1.5. 調査票の回答状況

配布数と有効回答数及び有効回答率は、以下のとおりである。

表 1.5-1 配布数と有効回答数及び有効回答率

区 分	配布数	有効回答数	有効回答率
津波危険地区	2,000	1,051	52.6%
全県地区	2,000	1,022	51.1%
合計	4,000	2,073	51.8%

注) 有効回答数は、白紙回答を「無効」として算出している。

1.6. 集計結果

調査結果は、設問別、地区別(津波危険地区、全県地区)に集計を行っている。ただし、一部の設問については、津波危険地区と全県地区の合計を記載している。

過年度調査(平成 19・22・23・25・28 年度)において同じ質問を設けている場合は、過年度調査と同様に合計(津波危険地区+全県地区)で経年変化について整理している。

問 2 については、過年度調査において津波危険地区のみを対象とし調査を実施していたため、過年度調査と同様に津波危険地区のみで経年変化について整理している。

さらに、一部の項目において、性別・年代などの各基本属性項目と各設問をクロス集計している。

1.7. 標本構成

本報告書では、結果数値等を以下のとおり取り扱っている。

(1) アンケートの回答には、単数回答(1つだけ選択する回答)と複数回答(該当するもの全てを選択する回答)がある。

単数回答の設問において、複数を選択している場合は「無回答・無効」に含めて集計している。

(2) 調査結果の数値は、回答数をもとに、原則、パーセント(%)値で表記している(%の値の母数は、その設問の該当標本数(有効回答数))。

(3) %値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。したがって、合計が必ずしも100%とならない場合(99.9%または100.1%など)がある。

同様に、複数の選択肢を合わせた場合や小計などでは、内訳の%値を単純加算した数値とは異なる場合がある。

2. 調査結果概要

2. 調査結果概要

「令和元年度 防災・減災に関する県民意識調査」結果概要

・地震・津波への意識と避難について

「南海トラフ地震への関心」では、関心がある割合（「非常に関心がある」、「関心がある」、「多少関心がある」の合計）は津波危険地区で 98.0%、全県地区で 98.1%となっており、調査開始以降高い水準を保っている。

また、「夜間に自宅で大地震に遭遇した場合の避難する理由」では、「津波に襲われる危険があるから」が最も高く、津波危険地区で 94.7%、全県地区で 72.1%となっており、同設問を開始した平成 19 年以降最高の水準である。

一方、「いつ避難しますか」という設問では、「揺れが収まったらできるだけ早く」は津波危険地区で 55.7%となっており、災害から命を守る避難行動の原則である早期避難の意識がまだ十分ではないことがわかった。

「南海トラフ地震臨時情報」発表時の事前避難については、「知っている」「何となく知っている」の合計は津波危険地区で 65.5%、全県地区で 60.1%となっており、一層の周知が必要である。

・風水害への意識と避難について

令和元年から運用を開始している 5 段階の警戒レベルに関して、「5 段階の警戒レベルに基づく避難行動の開始段階を知っているか」では、「知っている」、「何となく知っている」の合計は津波危険地区・全県地区合わせて 78.8%となっており、比較的認知度が高いことがわかった。

また、「どの段階で避難しますか」という設問では、全県地区・津波危険地区合わせて「避難指示（緊急）（警戒レベル 4）が発令されたら」を選択した人は 30.3%、「避難勧告（警戒レベル 4）が発令されたら」を選択した人は 21.5%だった。「警戒レベル 4」の段階で全員避難となるよう、一層の周知が必要である。

・災害時の情報収集について

「緊急情報をどのように入手するか」では、「テレビ」（88.1%）が津波危険地区・全県地区合わせて最も高くなっており、そのほかにも「インターネット」（37.8%）や「防災行政無線」（30.0%）、「ラジオ」（22.3%）等幅広い媒体から情報を入手していることがわかった。「スマートフォン向けアプリ『和歌山県防災ナビアプリ』」から緊急情報を入手している人は 16.2%だった。

・災害時の避難等について

「避難カードを知っているか」では、「知っている」「何となく知っている」と答えた人の合計は津波危険地区・全県地区合わせて 28.3%であり、前回（平成 28 年）の調査より低かった。また、避難カードを知っている人で、「緊急避難先等を避難カードに記入しているか」については、「記入している」が 21.0%と低く、「知っている」人のうち約 8 割が記入に至っていないことがわかった。

「自宅の損壊等で長期間帰宅ができなくなった場合の避難生活場所」では、「自家用車の中（車中泊）」と答えた人は津波危険地区・全県地区合わせて 10.8%となっており、前回（平成 28 年）の調査から大きな変化はなかった。「自家用車の中で避難生活を送る主な理由」では、「避難所ではプライバシーが確保されないと思うから」（58.7%）、「避難所には多くの被災者が殺到し入ることができないと思うから」（46.6%）が高く、「ペットを飼っているため、避難所生活を送れるか心配だから」（35.9%）が前回（平成 28 年）の調査より高くなっている。

・住宅の耐震化・家具固定・ブロック塀対策について

住宅の耐震診断を受け、耐震補強が必要とされた場合に「建て替えた」または「補強した」を選んだ人は津波危険地区・全県地区合わせて 40.2%、家具等を固定している割合（「全部または大部分を固定している」、「一部固定している」、「固定が必要な家具類がない」の合計）は津波危険地区・全県地区合わせて 53%、ブロック塀を点検をして安全だった又は点検後に何らかの対応をした人（「点検して安全と言われた」、「点検した結果、危険だったので、取り壊した」、「点検した結果、危険だったので、生け垣・フェンス等に変えた」の合計）は津波危険地区・全県地区合わせて 6.5%となっており、いずれも前回（平成 28 年）の調査より高くなっている。

・日頃の防災対策について

「日頃からどのような地震防災対策を行っているか」では、「停電時への備えをしている」と答えた人は、津波危険地区・全県地区合わせて 66.7%となっており、県民の関心が高いことがわかった。また、「非常持ち出し品を用意している」（62.8%）は前回（平成 28 年）の調査より増加している。

「家庭で何日分の水や食料を備蓄しているか」では、「備蓄していない」と答えた人は、津波危険地区・全県地区合わせて 21.2%となっており、前回（平成 28 年）の調査より低かった。

「県や市町村などが実施する防災訓練に参加したことがあるか」では、訓練にまったく参加していない人の割合は津波危険地区・全県地区合わせて 45.1%と前回（平成 28 年）の調査から横ばいだった。

今回の調査で得られた傾向や意見を踏まえ、今後の防災・減災対策に反映させるとともに、地域の防災力を向上させていくことが必要である。

3. 調査結果

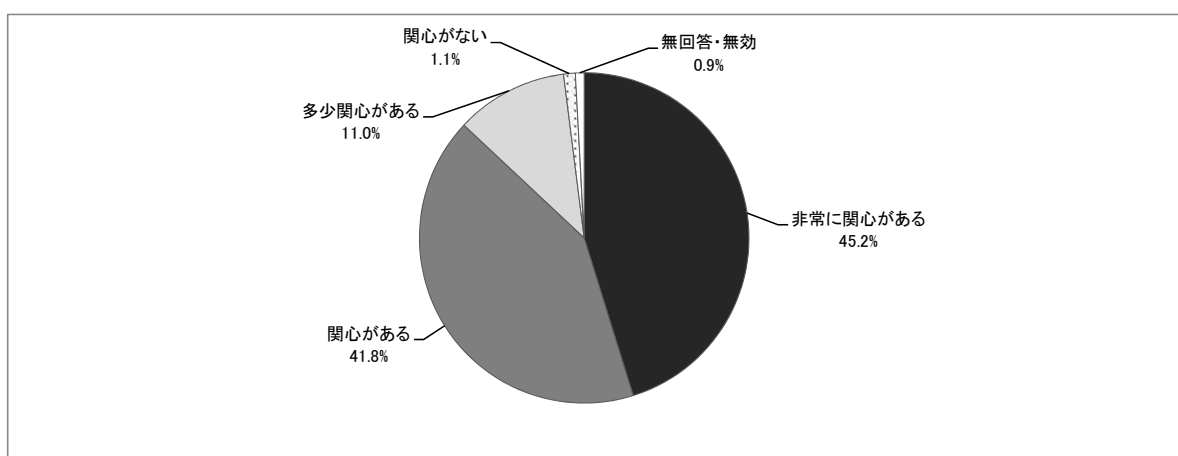
3. 調査結果

3.1. 地震・津波への意識と避難について

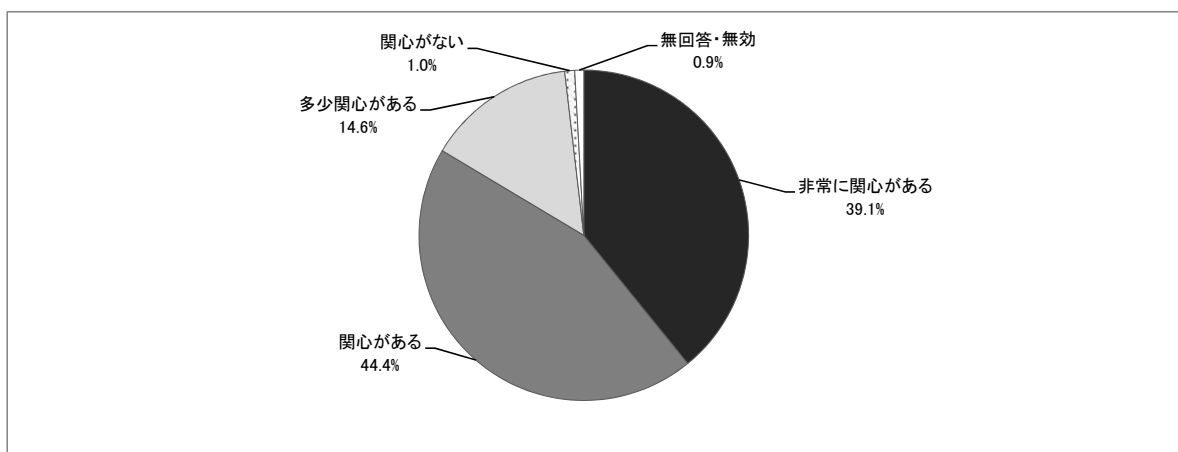
3.1.1 南海トラフの地震について、どの程度関心を持っているか

問1 あなたは、南海トラフの地震(東海・東南海・南海3連動地震や南海トラフ巨大地震を含む。以下同じ。)について、どの程度関心を持っていますか(ひとつだけ○)。

- ・南海トラフの地震に関心がある割合(「非常に関心がある」、「関心がある」、「多少関心がある」の合計)は津波危険地区で98.0%、全県地区で98.1%となっている。
- ・津波危険地区では「非常に関心がある」は45.2%だった。



津波危険地区(N=1,051)



全県地区(N=1,022)

図 3.1-1 南海トラフの地震について、どの程度関心を持っているか

- ・経年変化をみると、「非常に関心がある」(42.2%)は、前々回(平成25年)以降、増加している。

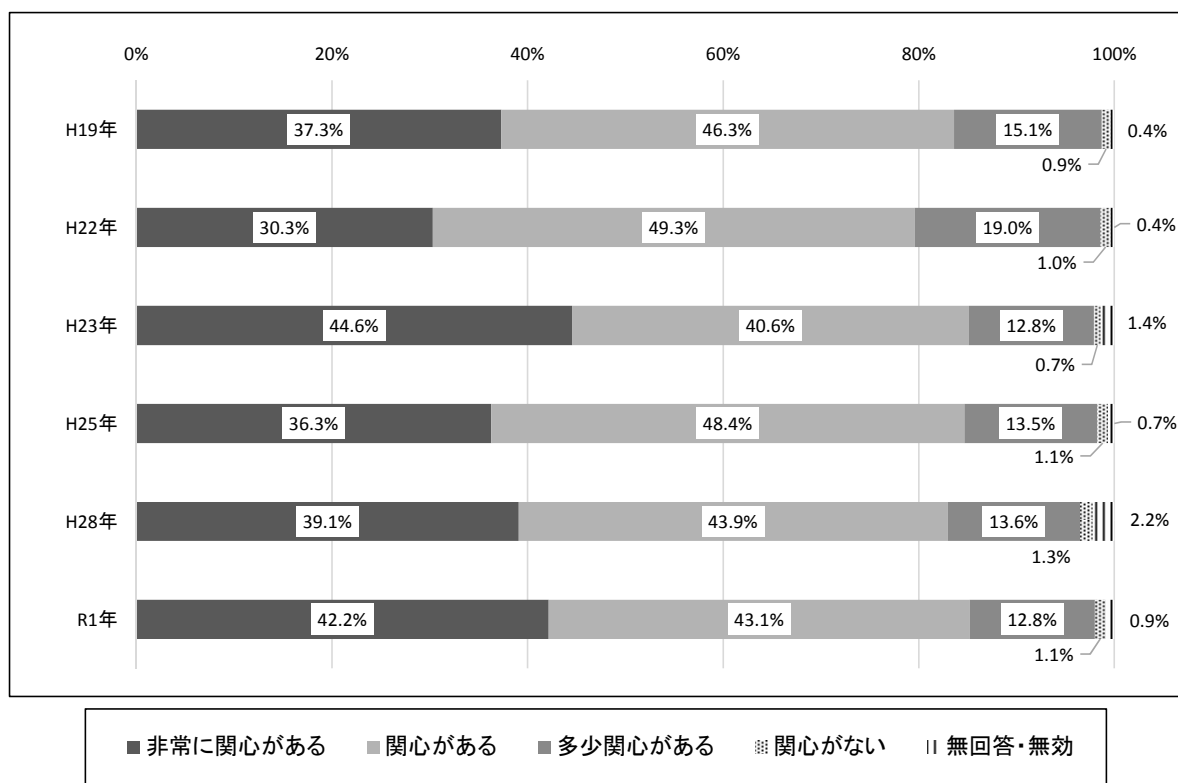
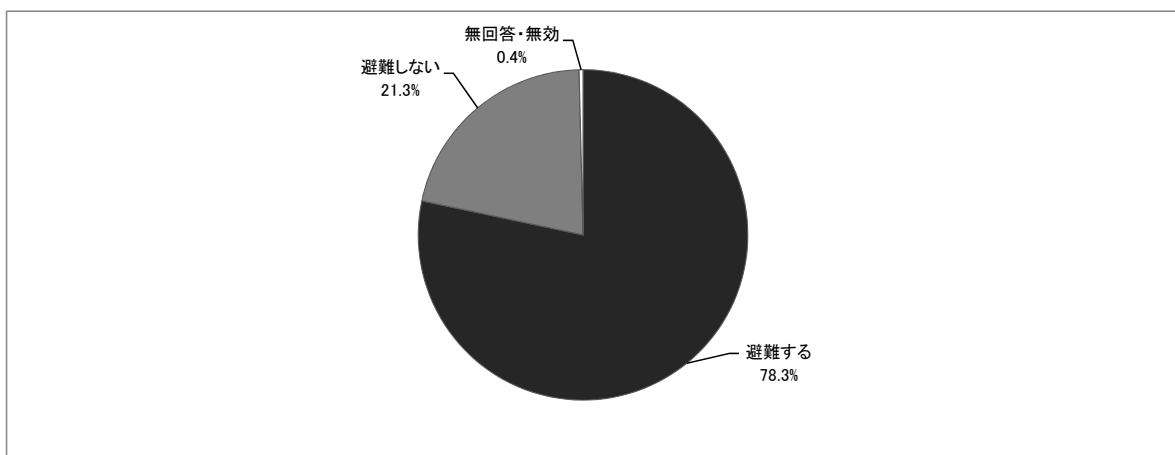


図 3.1-2 南海トラフの地震について、どの程度関心を持っているか
—経年変化(津波危険地区+全県地区)—

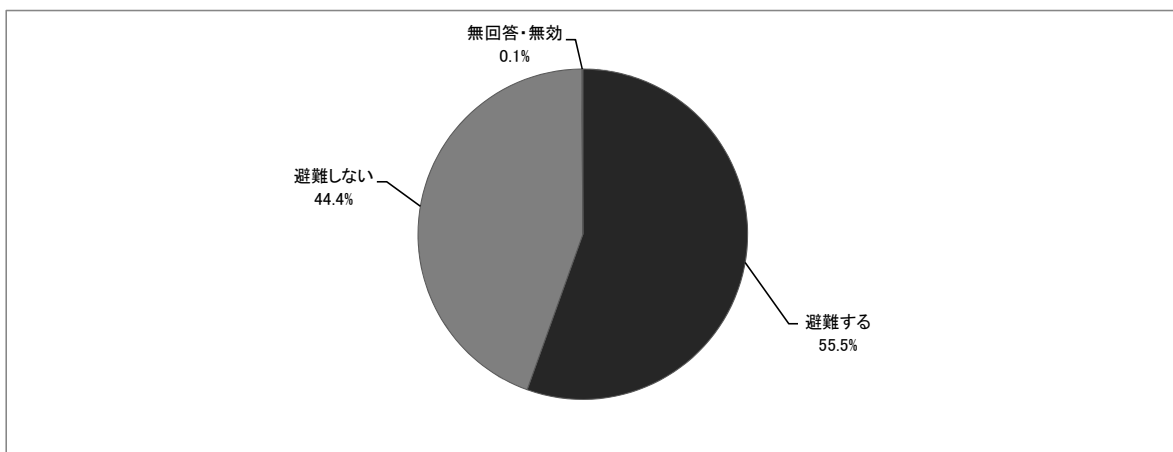
3.1.2 夜間に自宅で大地震に遭遇した場合の避難行動

問2 夜遅くあなたのご自宅にいたとき、突然、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上も続いたとします。揺れが収まった後、あなたは避難しますか（ひとつだけ○）。

- ・夜間に自宅で大地震に遭遇した場合、「避難する」割合は津波危険地区で78.3%、全県地区で55.5%となっており、津波危険地区での避難意識の方が高くなっている。



津波危険地区 (N=1,051)



全県地区 (N=1,022)

図 3.1-3 夜間に自宅で大地震に遭遇した場合、避難するか

・経年変化を見ると、「避難しない」(21.3%)は、前回(平成28年)より増加している。

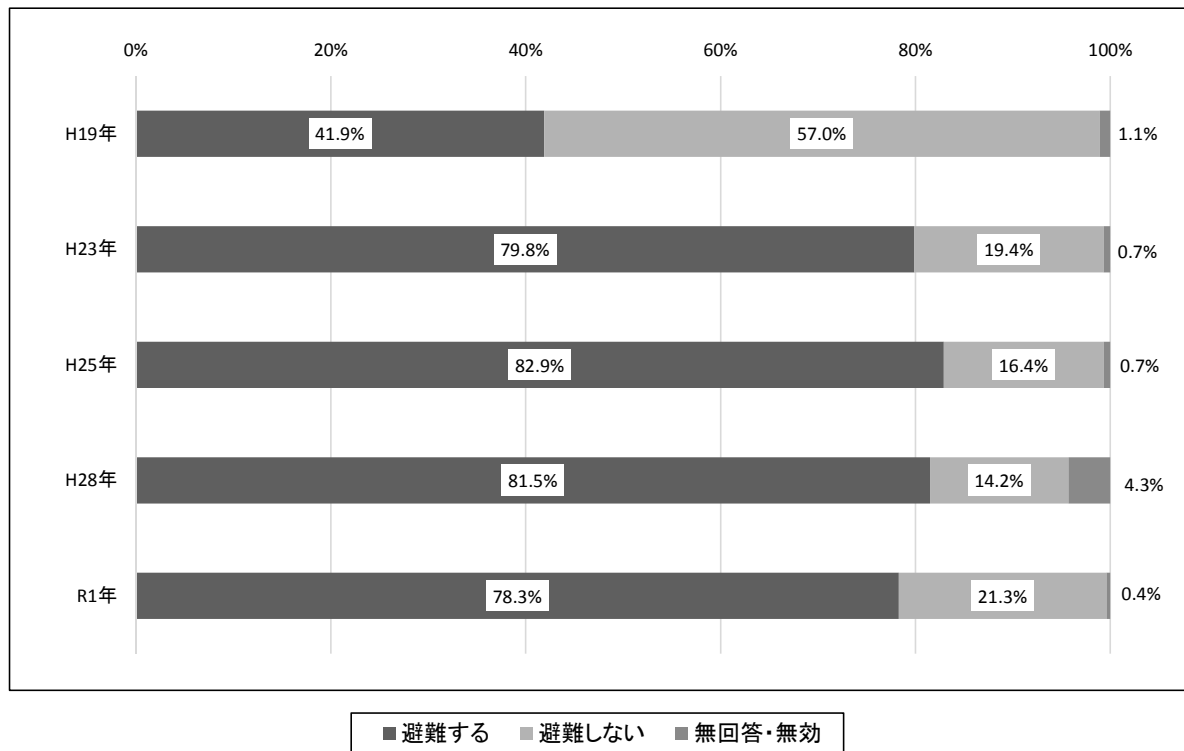


図 3.1-4 夜間に自宅で大地震に遭遇した場合、避難するか ―経年変化―
※H19～H25 は津波危険地区のみを対象とした調査のため、津波危険地区のみで比較

3.1.3 避難する理由は何か

<問2で「避難する」と回答された方にお聞きします。>

問2-1 あなたが避難する主な理由は何ですか（いくつでも○）。

- ・夜間に自宅で大地震に遭遇した場合の避難する理由について、津波危険地区では「津波に襲われる危険があるから」が最も高く、94.7%となっている。
- ・全県地区でも「津波に襲われる危険があるから」が最も高く、72.1%となっている。

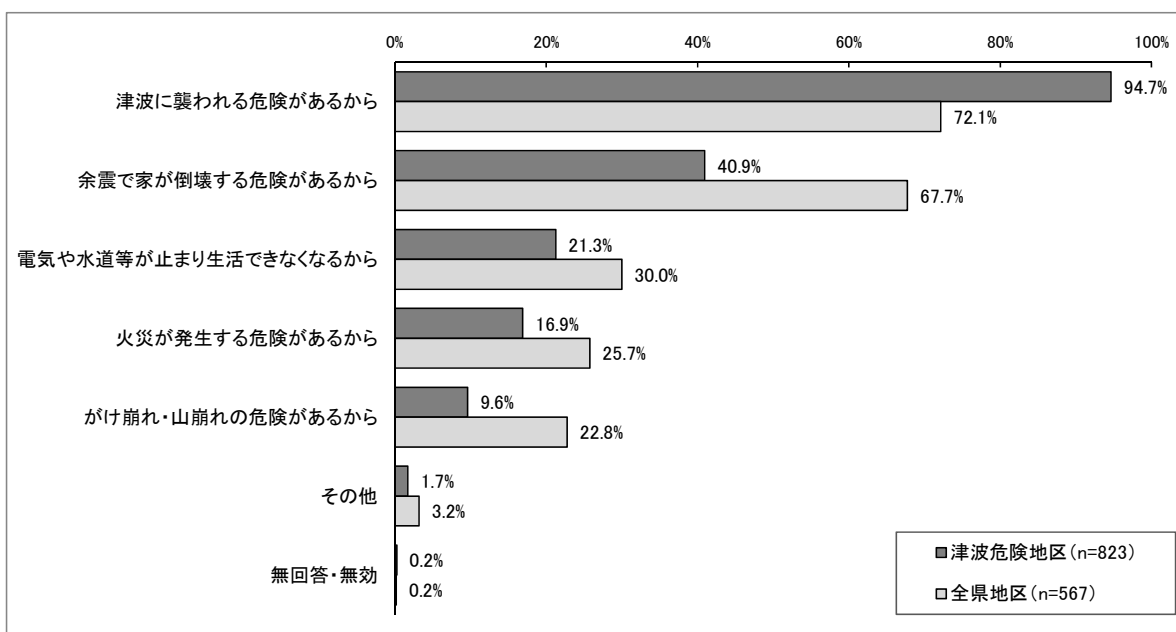


図 3.1-5 (夜間に自宅で大地震に遭遇した場合) 避難する理由は何か

- ・経年変化をみると、「津波に襲われる危険があるから」(94.7%)は、平成23年以降年々増加している。
- ・「電気や水道等が止まり生活できなくなるから」(21.3%)は前回(平成28年)の14.3%から増加している。

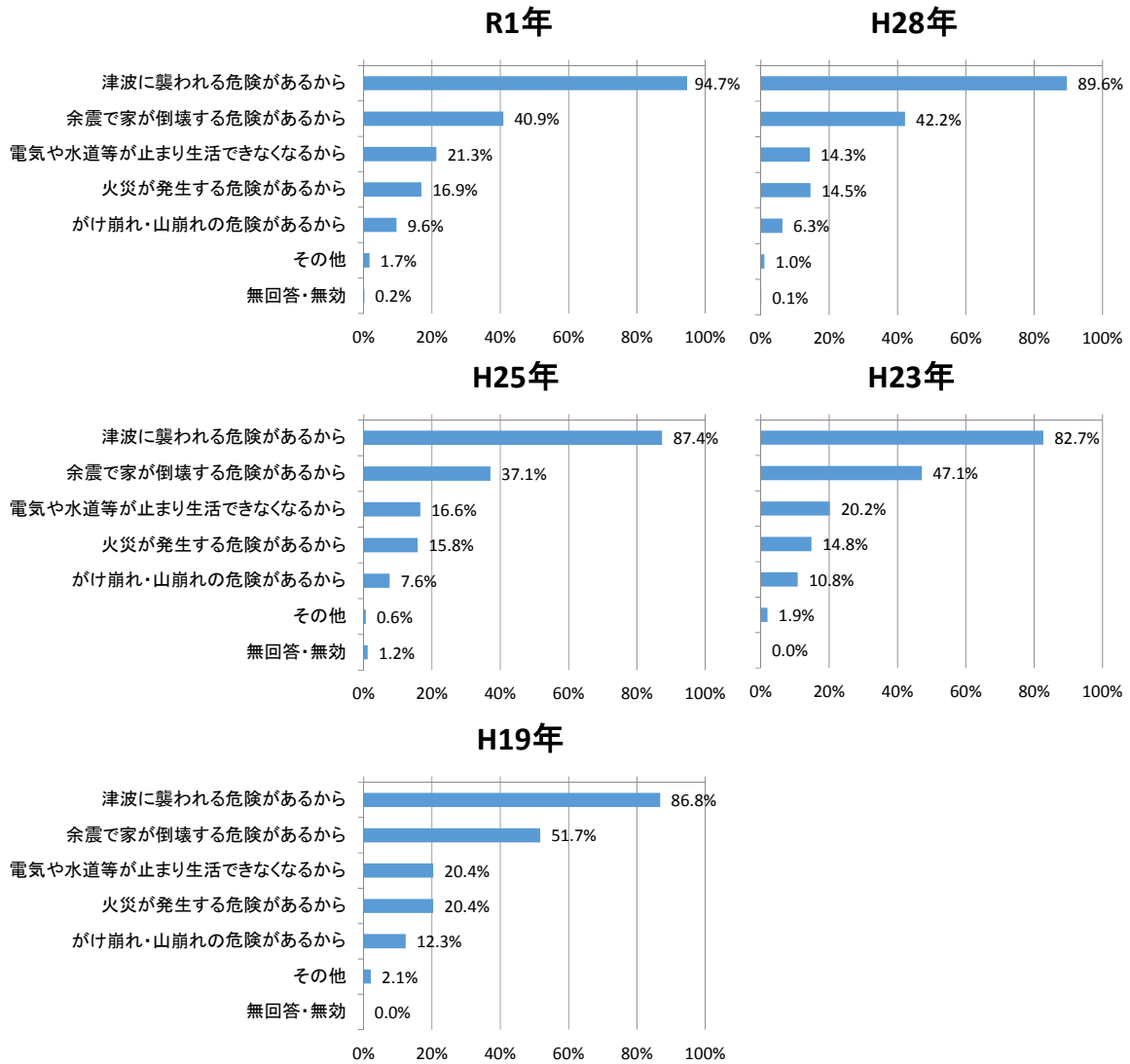


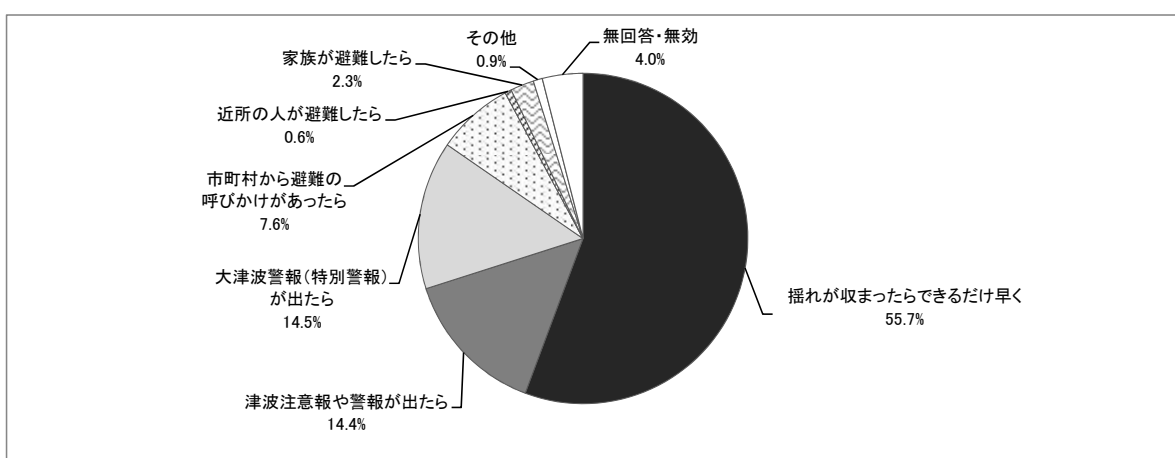
図 3.1-6 (夜間に自宅で大地震に遭遇した場合) 避難する理由は何か 一経年変化—
 ※H16～H25 は津波危険地区のみを対象とした調査のため、津波危険地区のみで比較

3.1.4 いつ避難するか

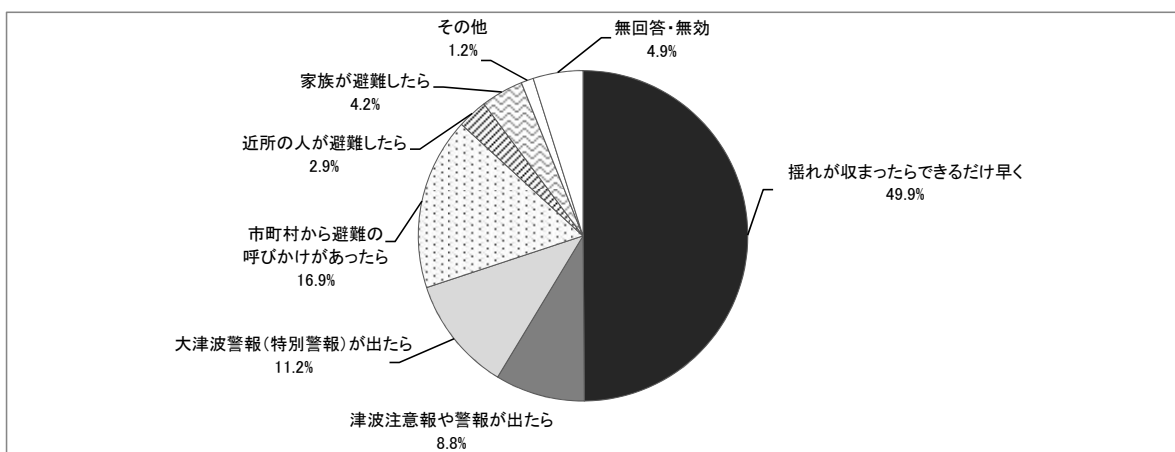
<問2-1で「津波に襲われる危険があるから」と回答された方にお聞きします。>

問2-2 あなたはいつ避難しますか（ひとつだけ○）。

- ・夜間に自宅で大地震に遭遇した場合にいつ避難するかについて、「揺れが収まったらできるだけ早く」が津波危険地区(55.7%)、全県地区(49.9%)とも最も高くなっている。
- ・次いで、津波危険地区では「大津波警報（特別警報）が出たら」が14.5%、全県地区では「市町村から避難の呼びかけがあったら」が16.9%と高くなっている。



津波危険地区 (N=779)



全県地区 (N=409)

図 3.1-7 (夜間に自宅で大地震に遭遇した場合) いつ避難するか

- ・経年変化をみると、「津波注意報や警報が出たら」(14.4%)は、前回(平成28年)の21.4%から減少している。
- ・「大津波警報(特別警報)が出たら」(14.5%)は、前回(平成28年)の10.3%から増加している。

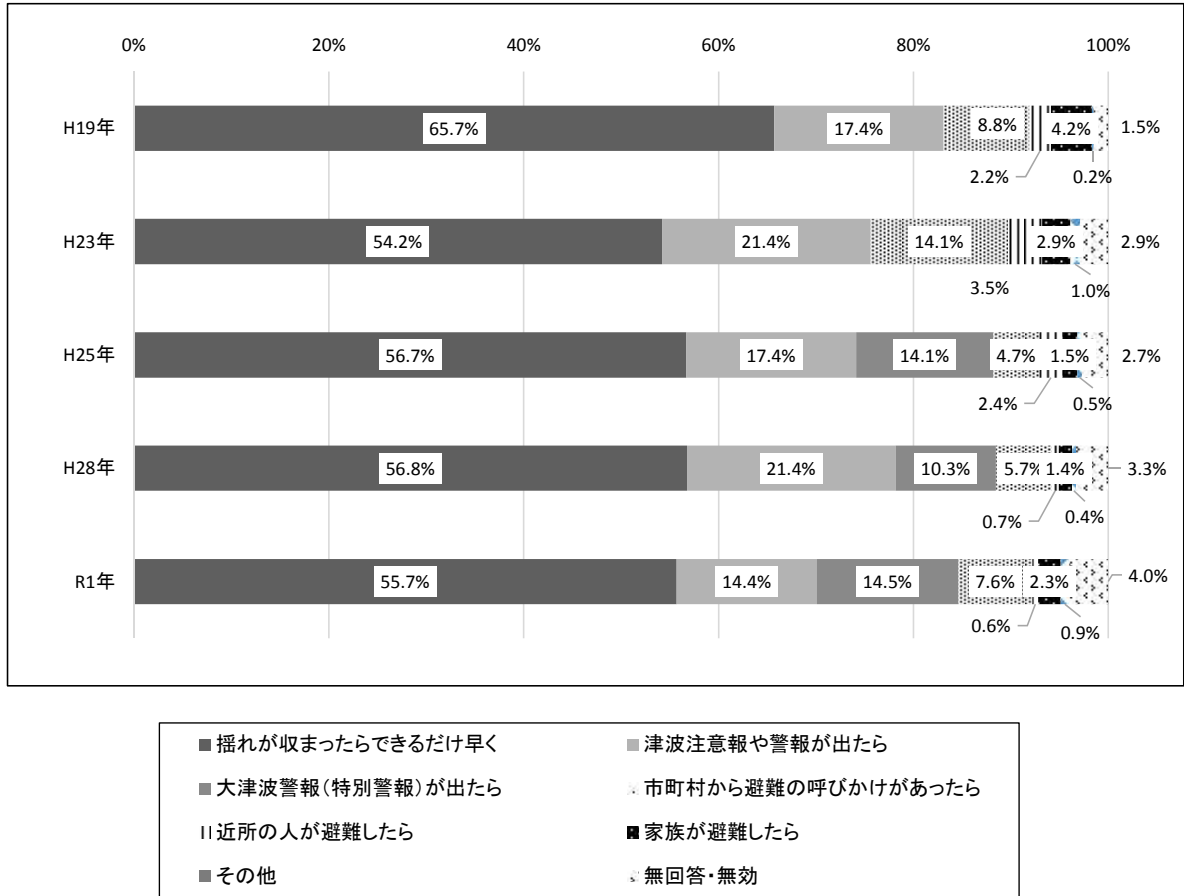


図 3.1-8 (夜間に自宅で大地震に遭遇した場合) いつ避難するか —経年変化—
 ※H19～H25 は津波危険地区のみを対象とした調査のため、津波危険地区のみで比較

・要配慮者への有無別にみると、「揺れが収まったらできるだけ早く」と答えた人の割合は、「要配慮者がいる」と答えた人の方が「要配慮者がいない」と答えた人よりわずかに高い結果となった。

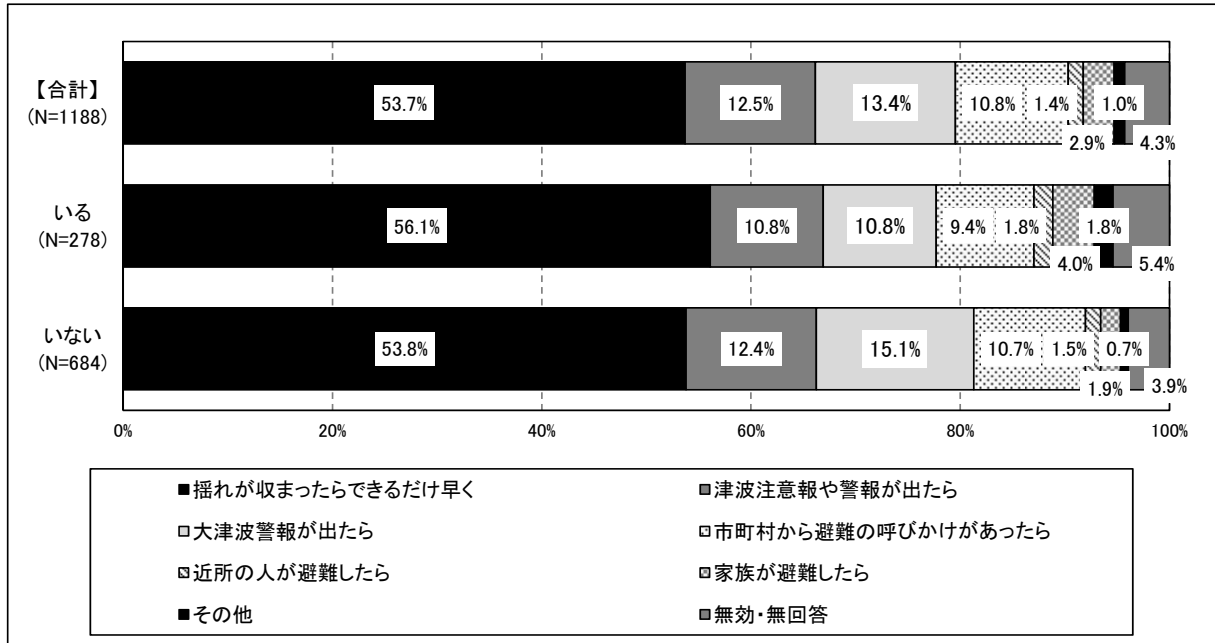


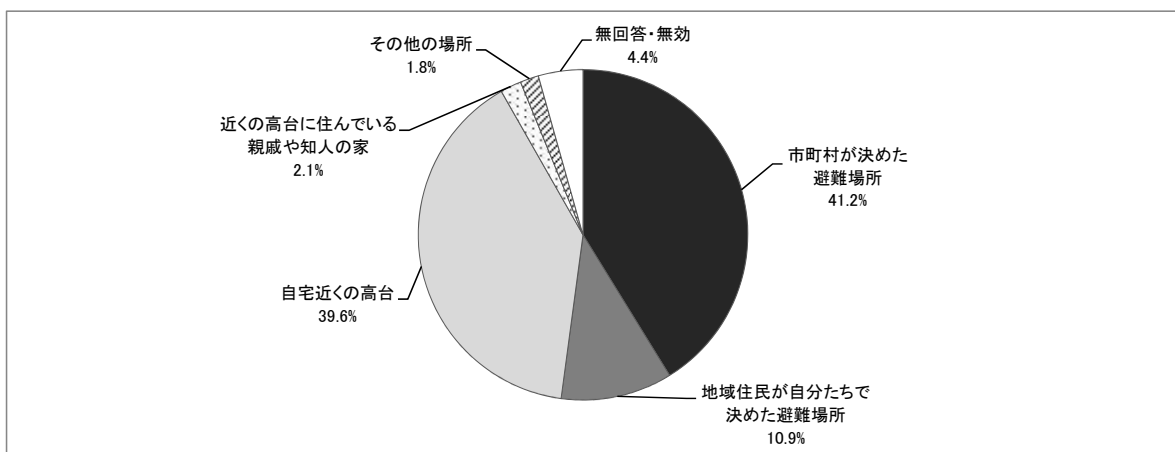
図 3.1-9 (夜間に自宅で大地震に遭遇した場合) いつ避難するか
— 要配慮者の有無別比較 (津波危険地区+全県地区) —

3.1.5 どこに避難するか

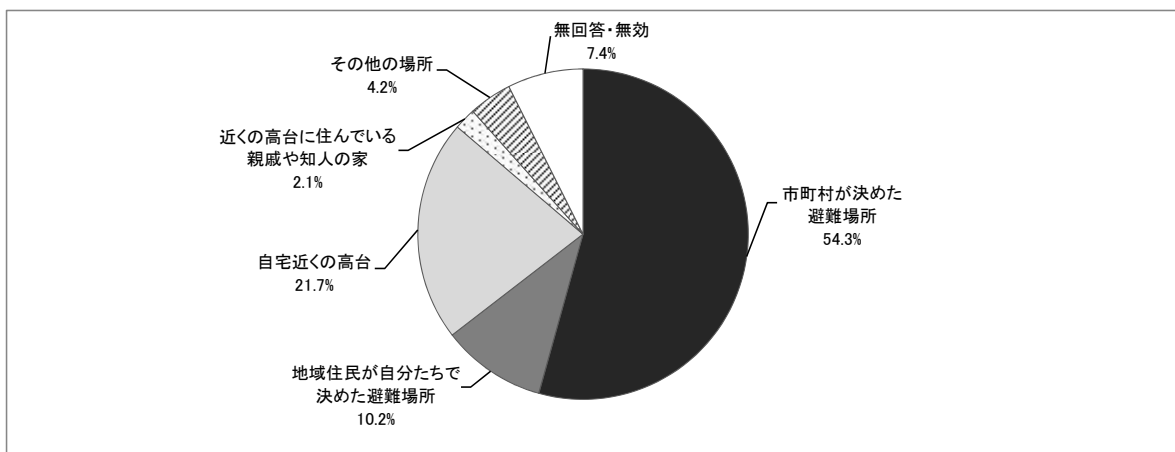
<問2で「避難する」と回答された方にお聞きします。>

問2-3 あなたはどこに避難しますか（ひとつだけ○）。

- ・夜間に自宅で大地震に遭遇した場合にどこに避難するかについて、津波危険地区では「市町村が決めた避難場所」(41.2%)、「自宅近くの高台」(39.6%)が高くなっている。
- ・全県地区では「市町村が決めた避難場所」(54.3%)が最も高くなっている。



津波危険地区 (N=823)



全県地区 (N=567)

図 3.1-10 (夜間に自宅で大地震に遭遇した場合) どこに避難するか

・経年変化をみると、前回からあまり大きな変化は見られない。

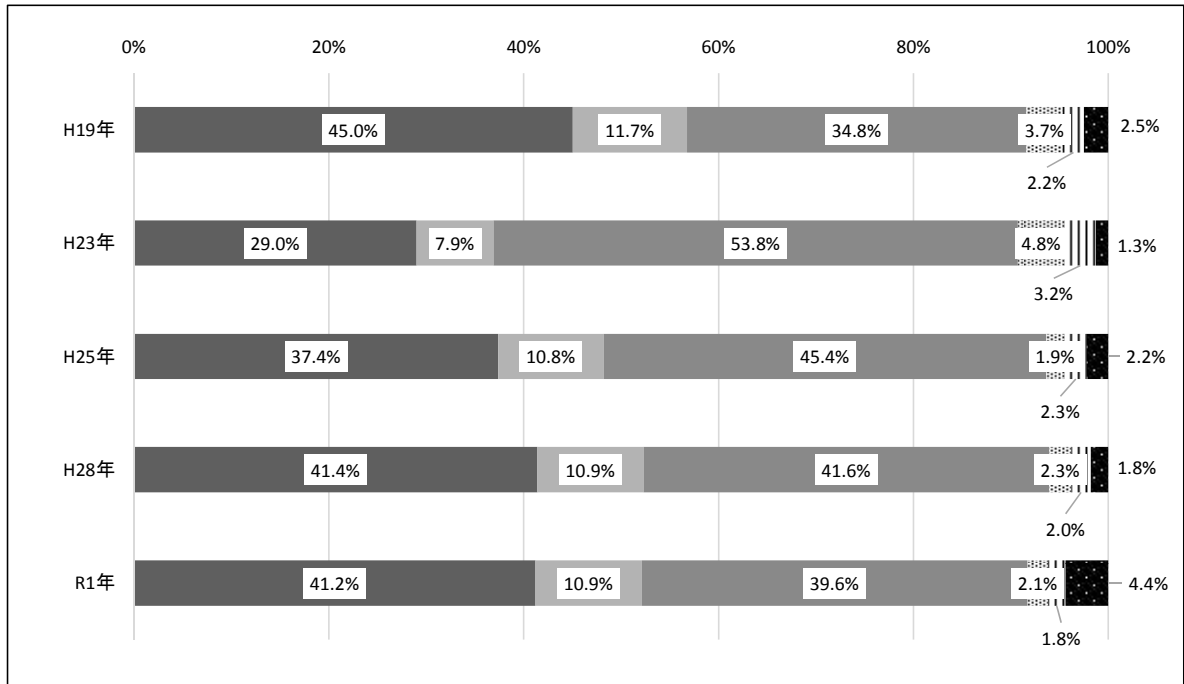


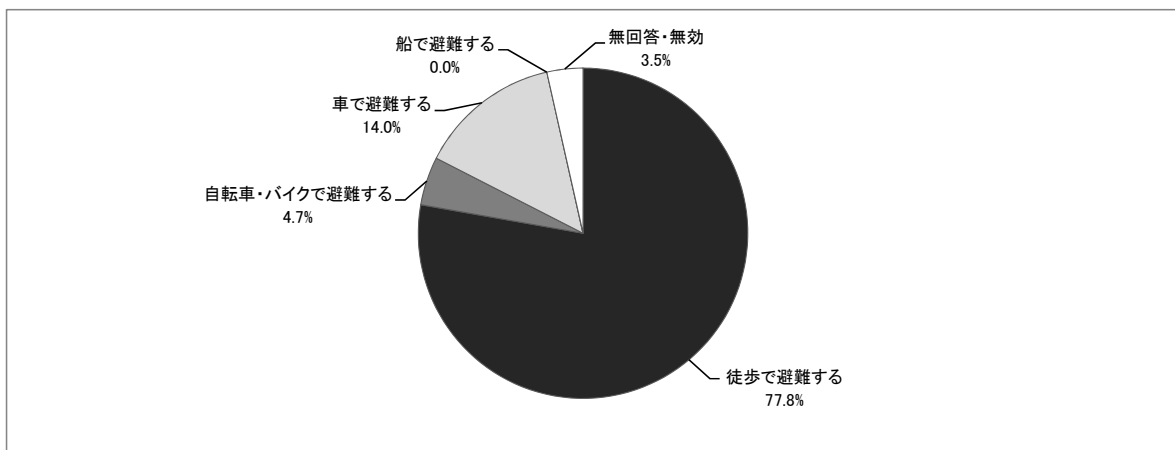
図 3.1-11 (夜間に自宅で大地震に遭遇した場合) どこに避難するか —経年変化—
 ※H19～H25 は津波危険地区のみを対象とした調査のため、津波危険地区のみで比較

3.1.6 どのようにして避難するか

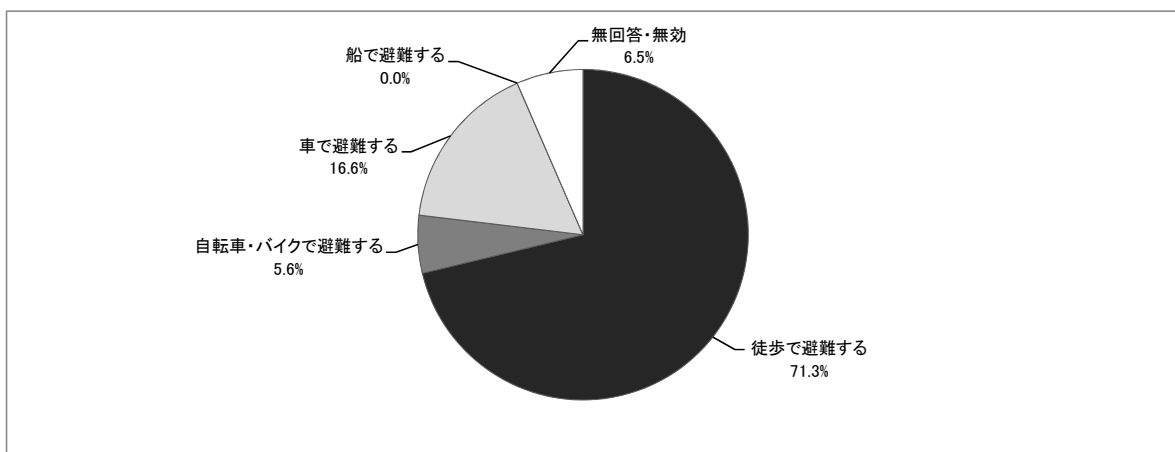
<問2で「避難する」と回答された方にお聞きします。>

問2-4 あなたはどのようにして避難しますか（ひとつだけ○）。

- ・夜間に自宅で大地震に遭遇した場合にどのようにして避難するかについて、「徒歩で避難する」が津波危険地区(77.8%)、全県地区(71.3%)とも最も高くなっている。



津波危険地区 (N=823)



全県地区 (N=567)

図 3.1-12 (夜間に自宅で大地震に遭遇した場合) どのようにして避難するか

・経年変化をみると、「徒歩で避難する」は特に大きな変化は見られない。

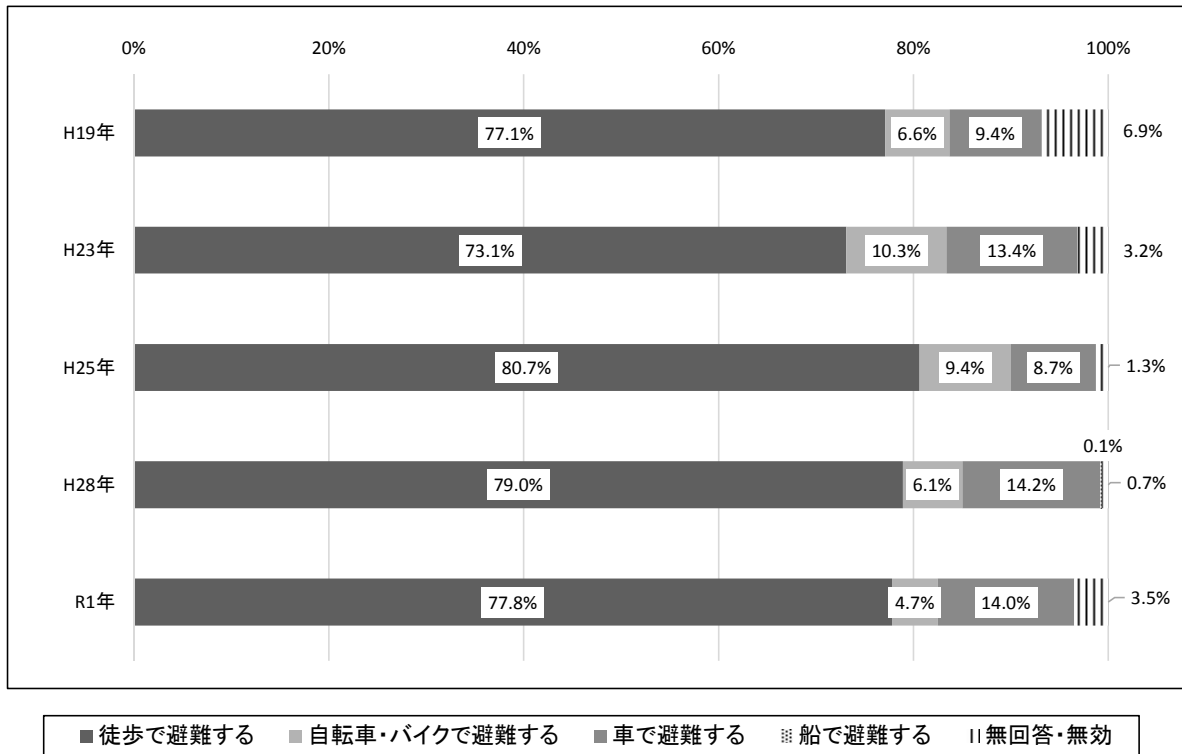


図 3.1-13 (夜間に自宅で大地震に遭遇した場合) どのようにして避難するか —経年変化—
 ※H19～H25 は津波危険地区のみを対象とした調査のため、津波危険地区のみで比較

- ・要配慮者への有無別にみると、「車で避難する」と答えた人の割合は、「要配慮者がいる」と答えた人の方が「要配慮者がいない」と答えた人より高い結果となった。

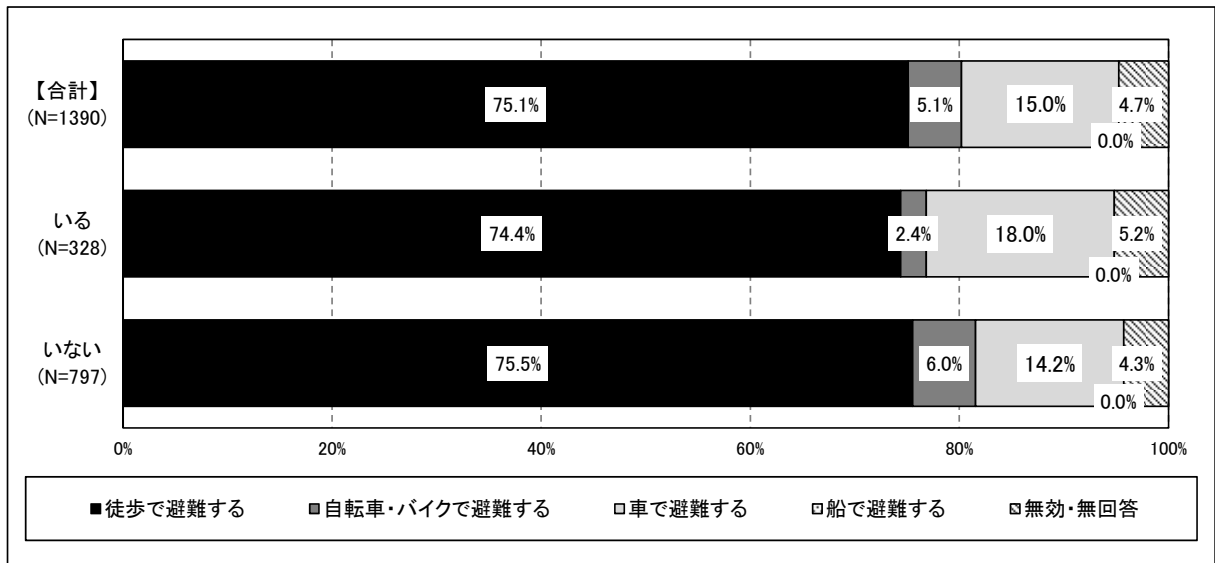


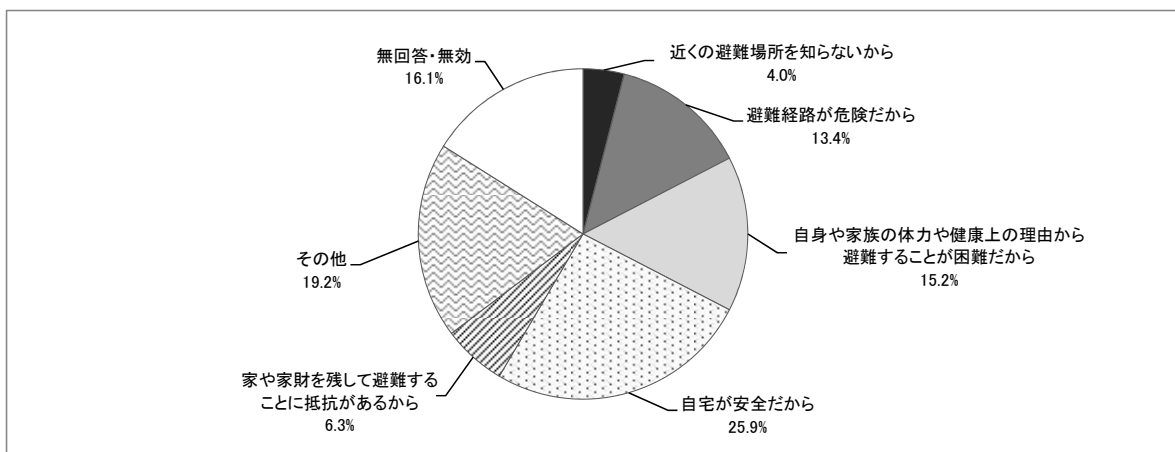
図 3.1-14 (夜間に自宅で大地震に遭遇した場合) どのようにして避難するか
—要配慮者の有無別比較 (津波危険地区+全県地区)—

3.1.7 避難しない理由は何か

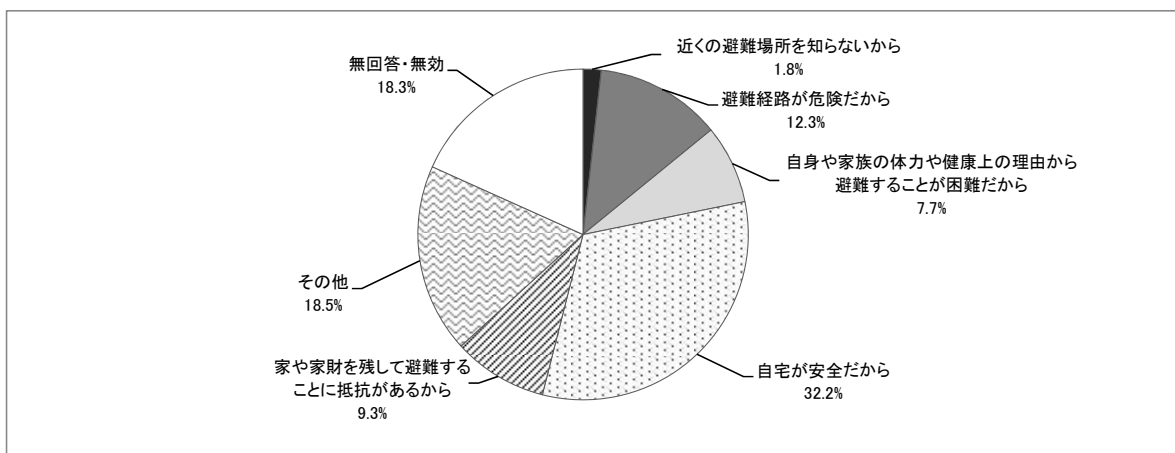
<問2で「避難しない」と回答された方にお聞きします。>

問2-5 あなたが避難しない主な理由は何ですか（ひとつだけ○）。

- ・夜間に自宅で大地震に遭遇した場合に避難しない理由について、「自宅が安全だから」が津波危険地区(25.9%)、全県地区(32.2%)とも最も高くなっている。
- ・次いで津波危険地区では「自身や家族の体力や健康上の理由から避難することが困難だから」(15.2%)が高くなっている。



津波危険地区 (N=224)



全県地区 (N=454)

図 3.1-15 (夜間に自宅で大地震に遭遇した場合) 避難しない理由は何か

・経年変化をみると、「自身や家族の体力や健康上の理由から避難することが困難だから」(15.2%)は前回(平成28年)の24.1%から減少している。

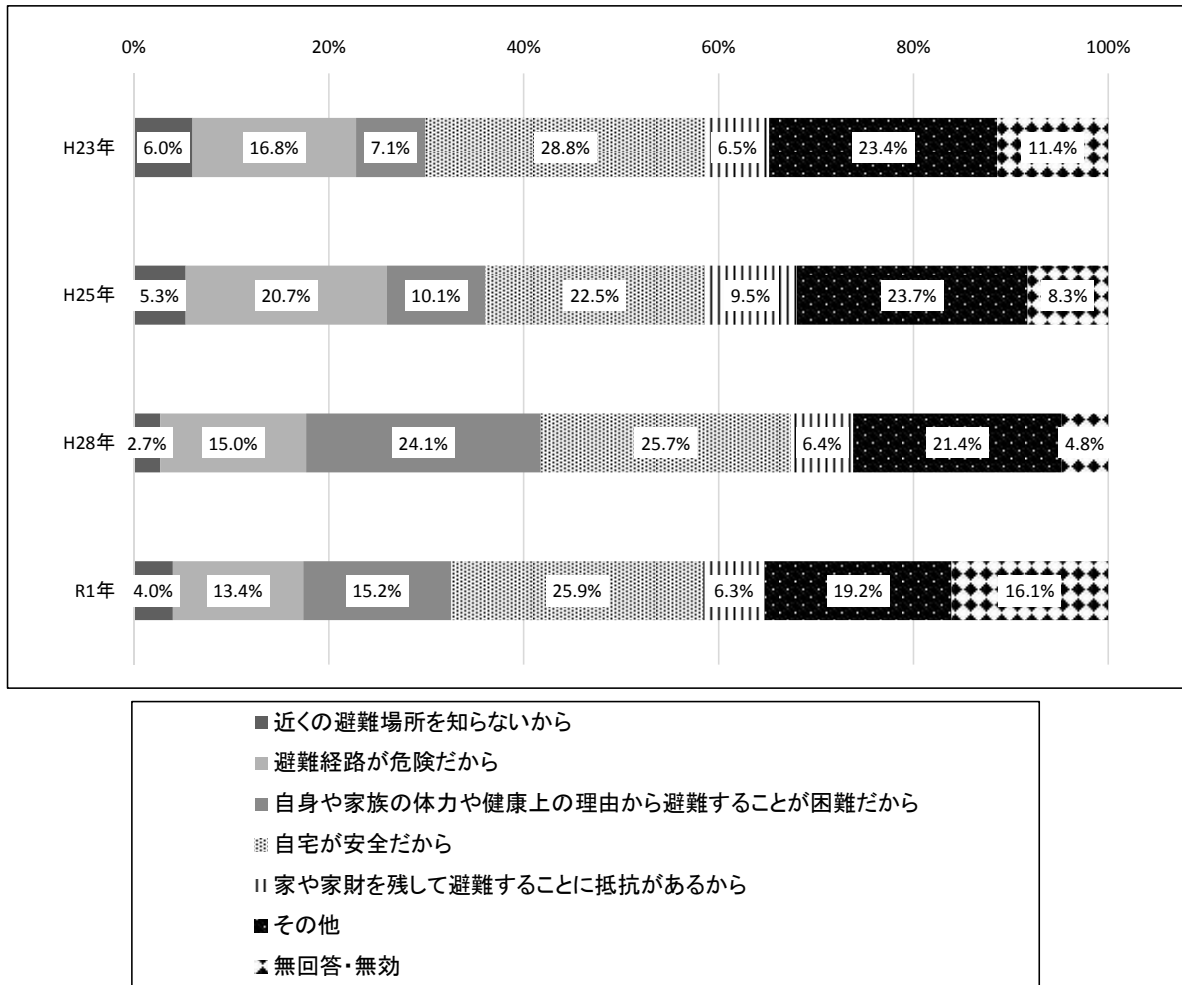


図 3.1-16 (夜間に自宅で大地震に遭遇した場合) 避難しない理由は何か —経年変化—
 ※H19～H25 は津波危険地区のみを対象とした調査のため、津波危険地区のみで比較

- ・要配慮者の有無別にみると、「要配慮者がいる」と答えた人の方が、「自身や家族の体力や健康上の理由から避難することが困難だから」の割合が高く、「自宅が安全だから」の割合が低い。

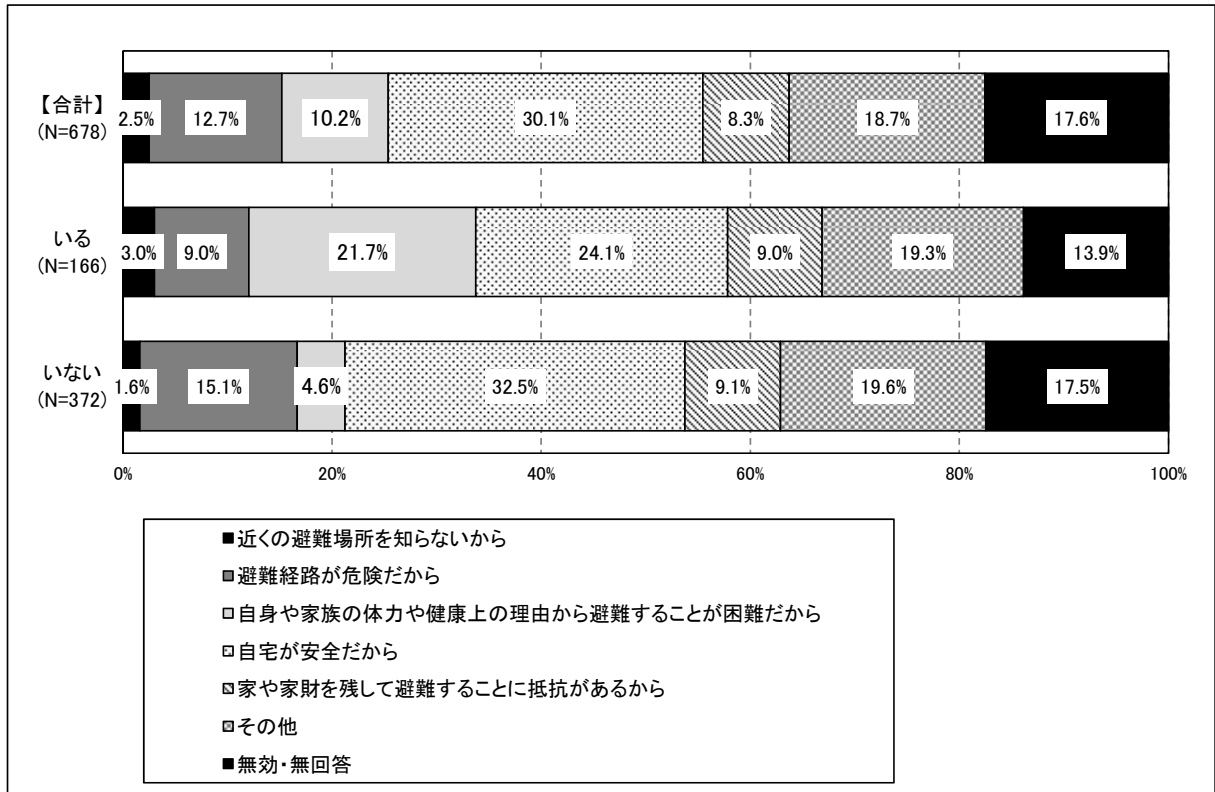
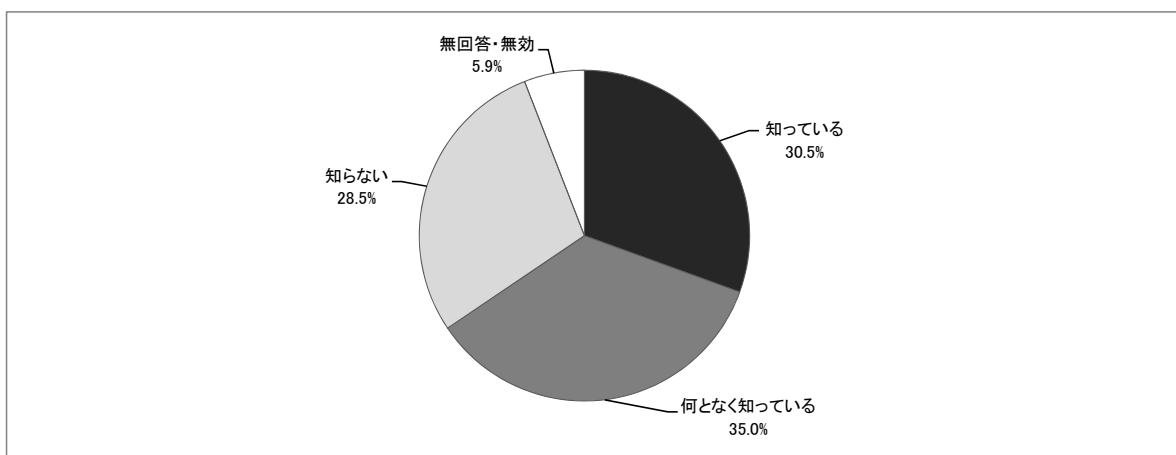


図 3.1-17 (夜間に自宅で大地震に遭遇した場合) 避難しない理由は何か
—要配慮者の有無別比較 (津波危険地区+全県地区)—

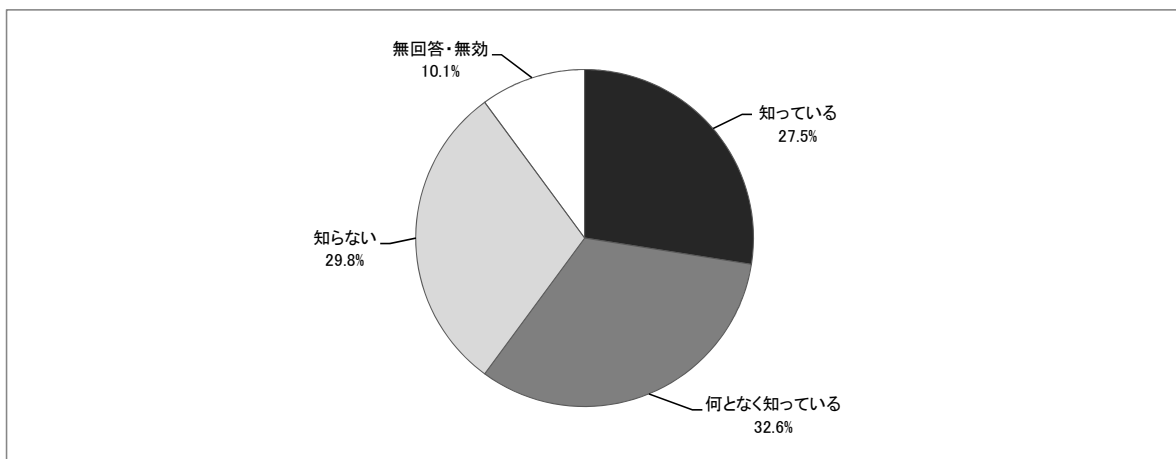
3.1.8 《新》南海トラフ地震臨時情報発表時の事前避難について

問3 南海トラフ沿いでマグニチュード7以上の地震が発生し、大規模な後発地震が発生する可能性が高まったと評価された場合、気象庁から南海トラフ地震臨時情報が発表されます。地震発生から津波到達までに避難が間に合わない地域では事前に避難することとなっていますが、このことをご存じですか（ひとつだけ○）。

- ・南海トラフ地震臨時情報発表時の事前避難について、「知っている」「何となく知っている」の合計は、津波危険地区では65.5%、全県地区では60.1%であり、津波危険地区の方が高い。



津波危険地区 (N=1051)



全県地区 (N=1022)

図 3.1-18 南海トラフ地震臨時情報発表時の事前避難の周知状況について

- ・性別・年代別にみると、「知っている」、「何となく知っている」の合計の割合では、男女ともに「60歳代」、「70歳代」が高い結果となった。
- ・「男性」と「女性」の小計では大きな差はなかった。

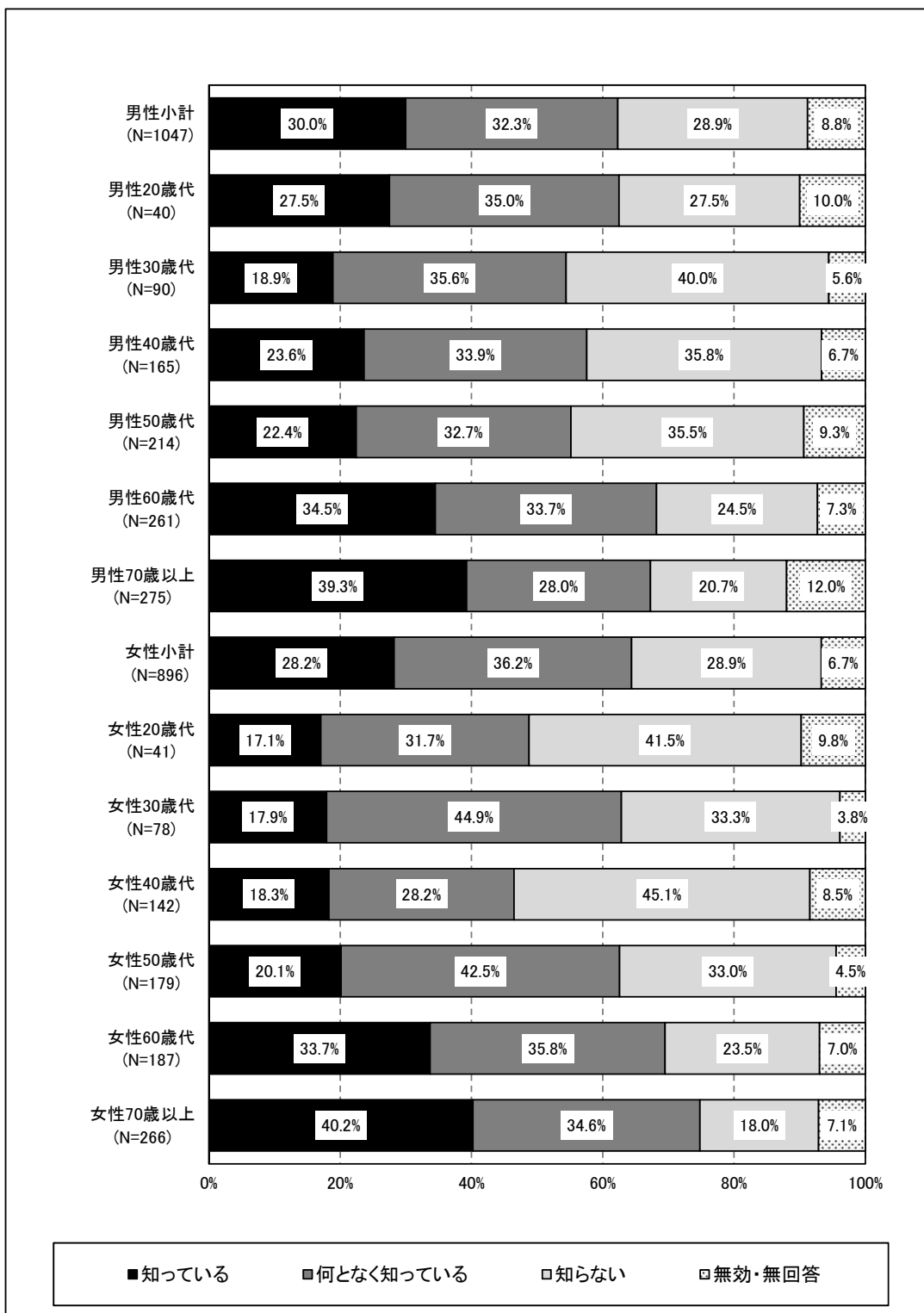


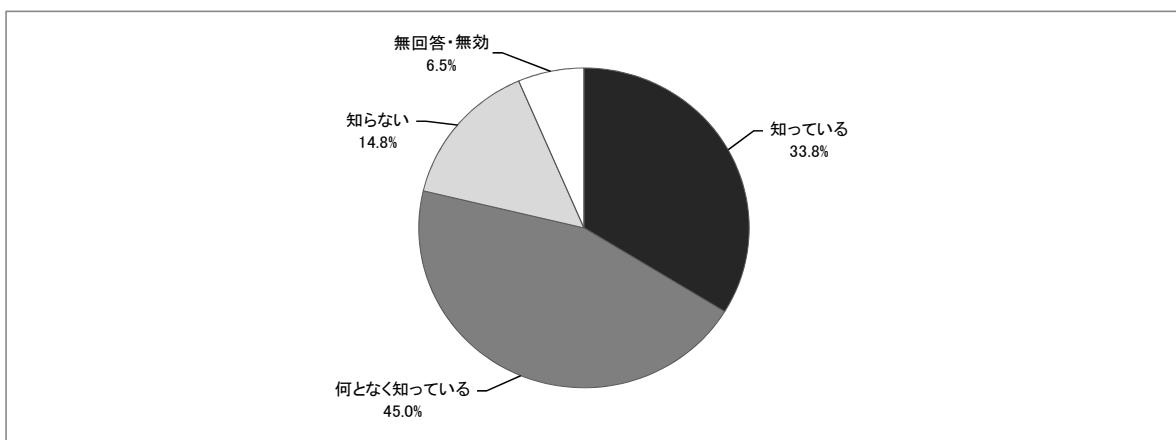
図 3.1-19 南海トラフ地震臨時情報発表時の事前避難の周知状況について
—性別・年代別比較（津波危険地区+全県地区）—

3.2. 風水害への意識と避難について

3.2.1 《新》避難行動の開始段階を知っているか

問4 市町村が発令する避難勧告等の避難情報や、気象庁が発表する警報等の防災気象情報に、5段階の警戒レベルを用いて伝達する取組みが本年6月から始まっています。あなたはどの段階で避難行動を開始する必要があるかご存じですか(ひとつだけ○)。

- ・避難行動の開始段階について、「知っている」「何となく知っている」の合計は78.8%となっている。



津波危険地区+全県地区(N=2073)

図 3.2-1 避難行動の開始段階を知っているか

- ・性別・年代別にみると、「知っている」の割合では、男女ともに「60歳代」、「70歳代」が高い結果となった。
- ・「男性」と「女性」の小計では大きな差はなかった。

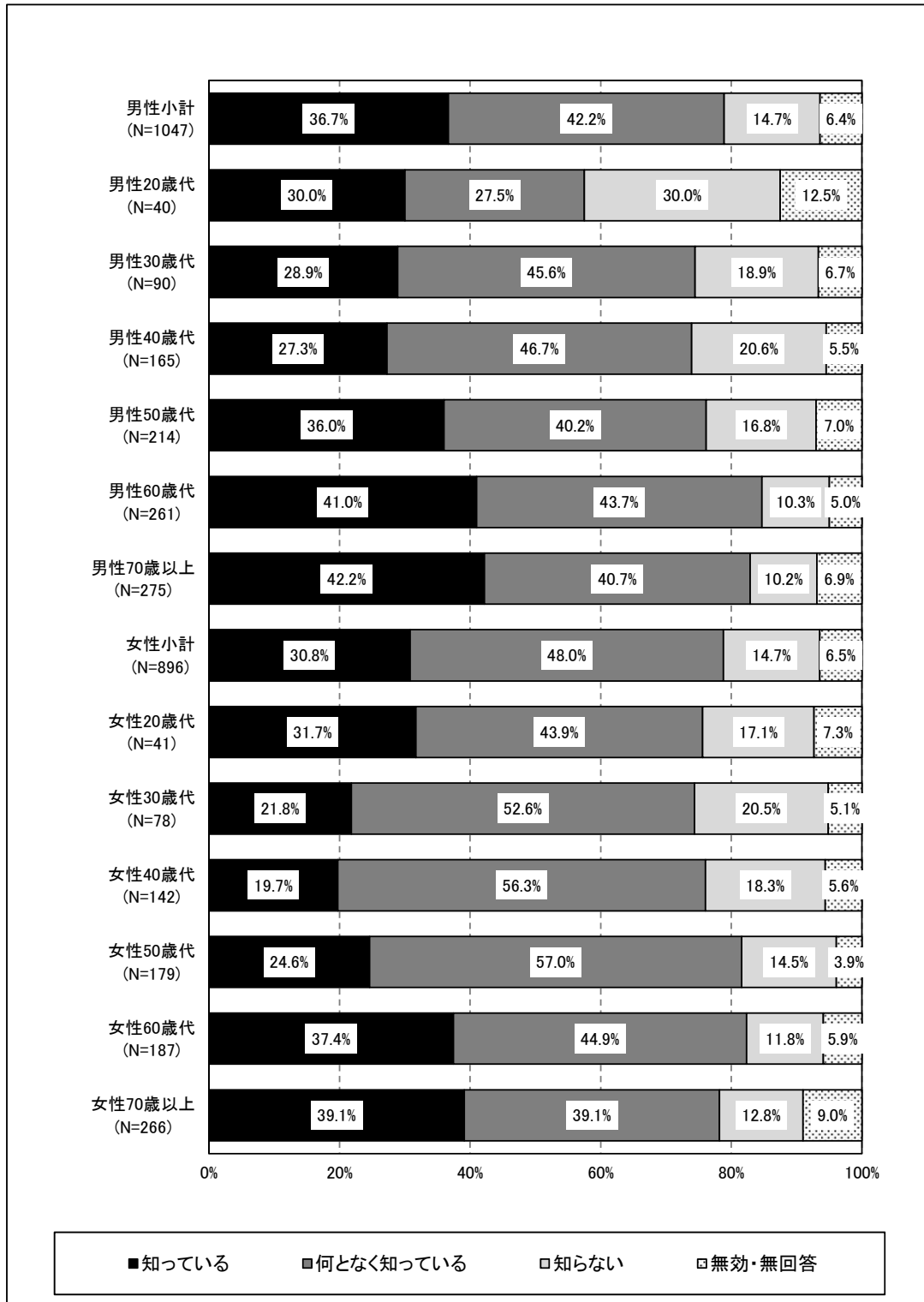
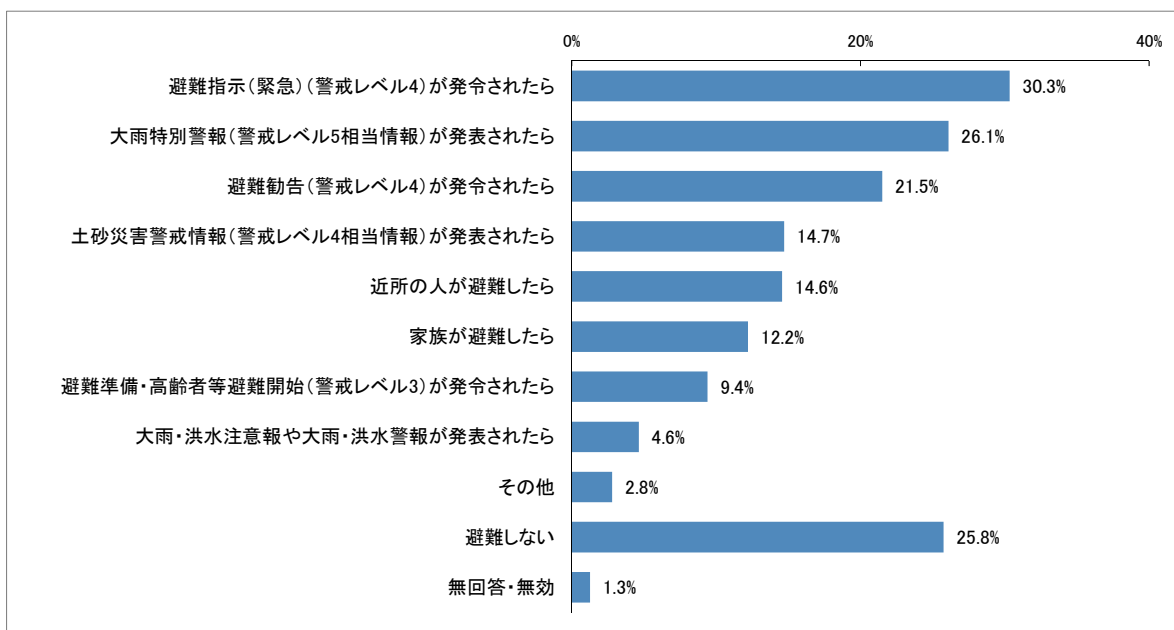


図 3.2-2 避難行動の開始段階を知っているか
—性別・年代別比較（津波危険地区＋全県地区）—

3.2.2 大雨が続いた場合の避難行動

問5 近年、国内では局地的な大雨が頻発し、浸水被害や土砂災害による甚大な被害が発生しています。あなたのお住まいの地域で、これまでに経験のない大雨が急に降り出し、降り続いたとします。あなたは、以下の状況のうち、どの段階で避難しますか（いくつでも○）。

- ・これまでに経験のない大雨が降り続いた場合どの段階で避難するかについて、「避難指示（緊急）（警戒レベル4）が発令されたら」、「大雨特別警報（警戒レベル5相当情報）が発令されたら」「避難勧告（警戒レベル4）が発令されたら」「避難勧告（警戒レベル4）が発令されたら」の順に高くなっている。



津波危険地区+全県地区(N=2073)

図 3.2-3 大雨が降り続いた場合、どの段階で避難するか

・性別・年代別にみると、「避難しない」の割合では、男女ともに「70歳代」が最も高い結果となった。

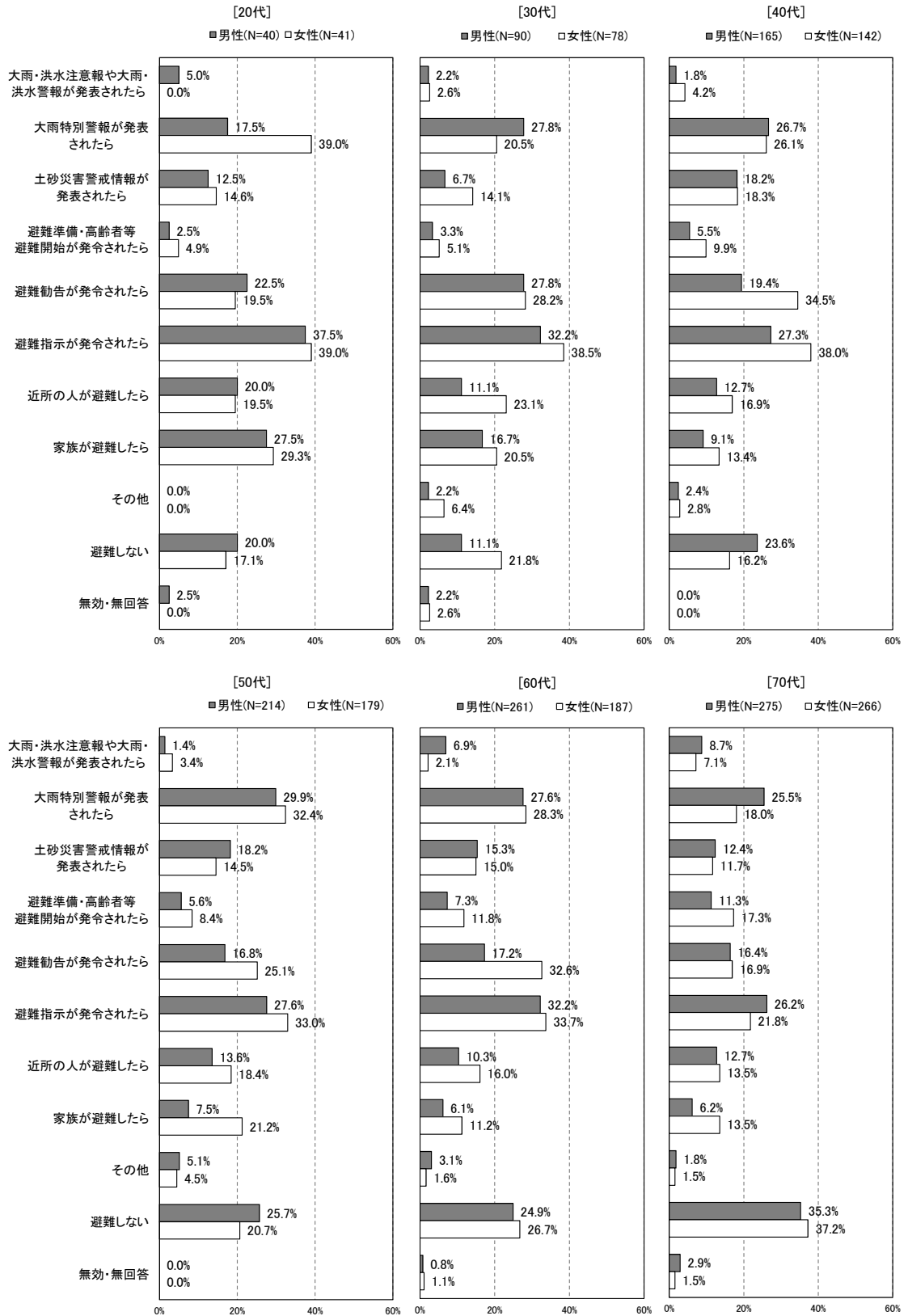


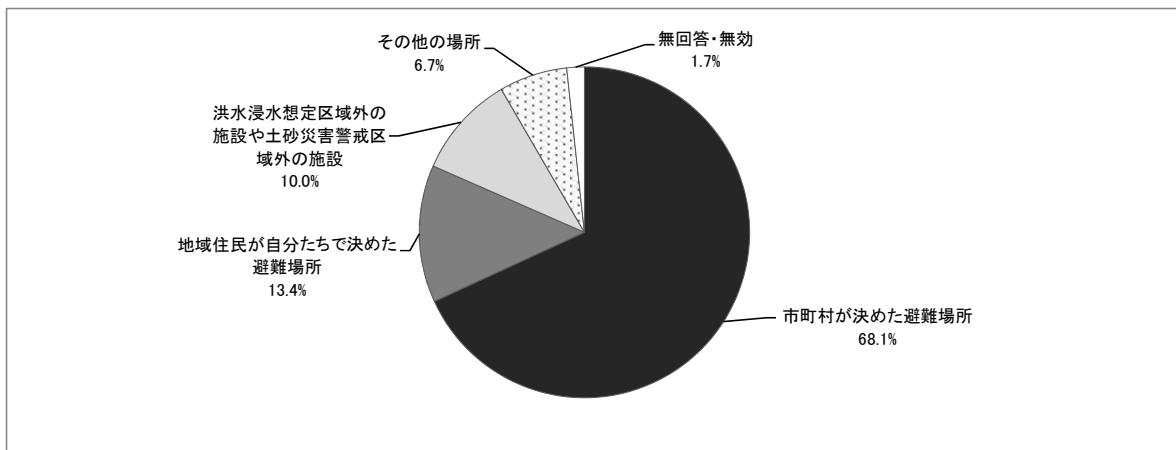
図 3.2-4 大雨が降り続いた場合、どの段階で避難するか
—性別・年代別比較（津波危険地区+全県地区）—

3.2.3 どこに避難するか

<問5で「避難しない」以外を回答された方にお聞きします。>

問5-1 あなたはどこに避難しますか（ひとつだけ○）。

- これまでに経験のない大雨が降り続いた場合にどこに避難するかについて、「市町村が決めた避難場所」が最も高く、68.1%となっている。



津波危険地区+全県地区 (N=1, 513)

図 3.2-5 (大雨が降り続いた場合) どこに避難するか

・経年変化をみると、前回（平成 28 年）から特に大きな変化は見られなかった。

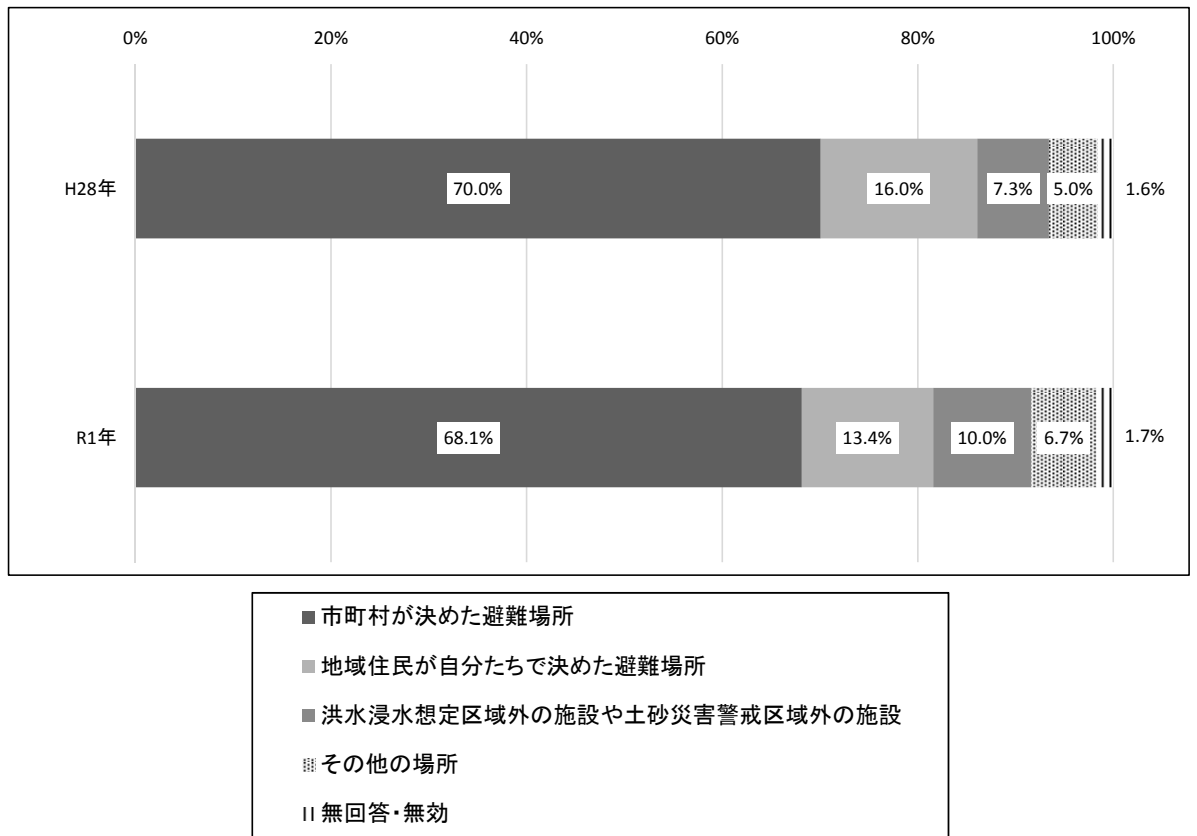


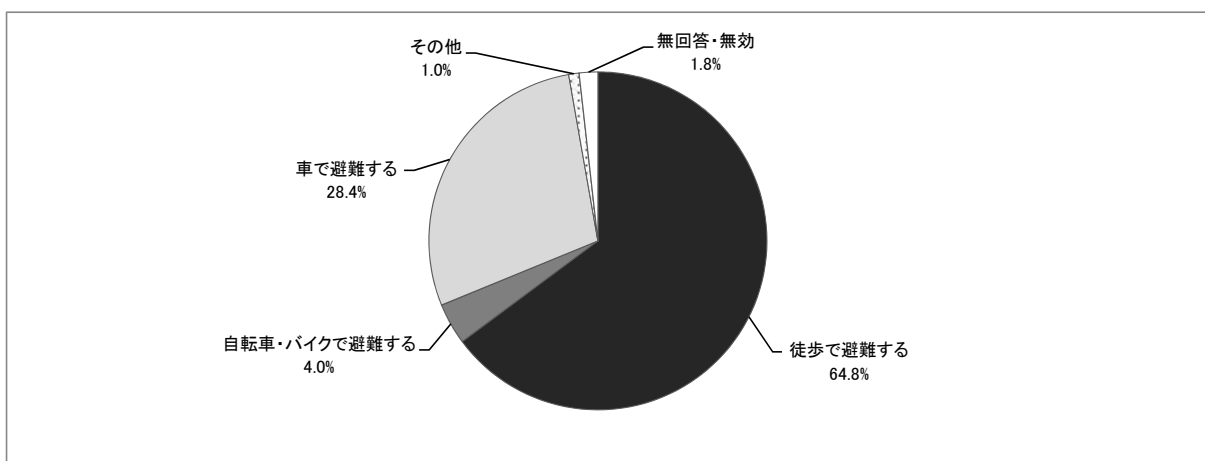
図 3.2-6 （大雨が降り続いた場合）どこに避難するか
—経年変化（津波危険地区＋全県地区）—

3.2.4 どのようにして避難するか

<問5で「避難しない」以外を回答された方にお聞きします。>

問5-2 あなたはどのようにして避難しますか（ひとつだけ○）。

- ・これまでに経験のない大雨が降り続いた場合にどのようにして避難するかについて、「徒歩で避難する」(64.8%)が最も高く、次いで「車で避難する」(28.4%)が高くなっている。



津波危険地区+全県地区 (N=1,513)

図 3.2-7 (大雨が降り続いた場合) どのようにして避難するか

・経年変化をみると、前回（平成 28 年）からあまり大きな変化は見られない。

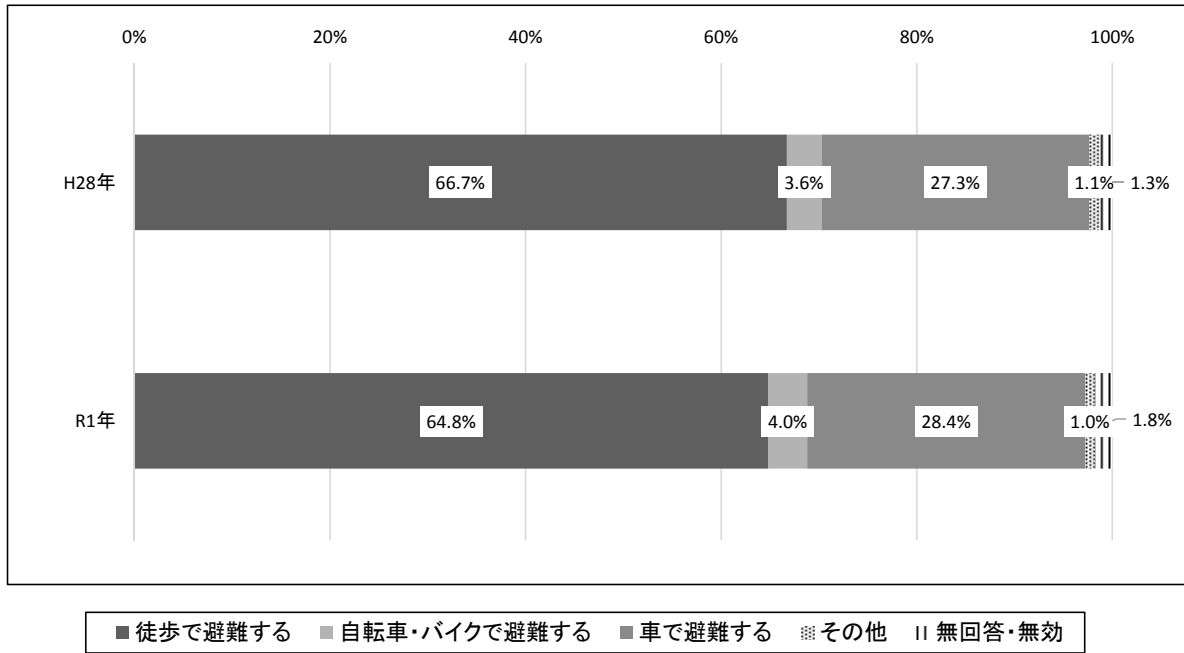


図 3.2-8 （大雨が降り続いた場合）どのようにして避難するか
—経年変化（津波危険地区＋全県地区）—

・要配慮者の有無別にみても、回答ごとに特に大きな差は見られなかった。

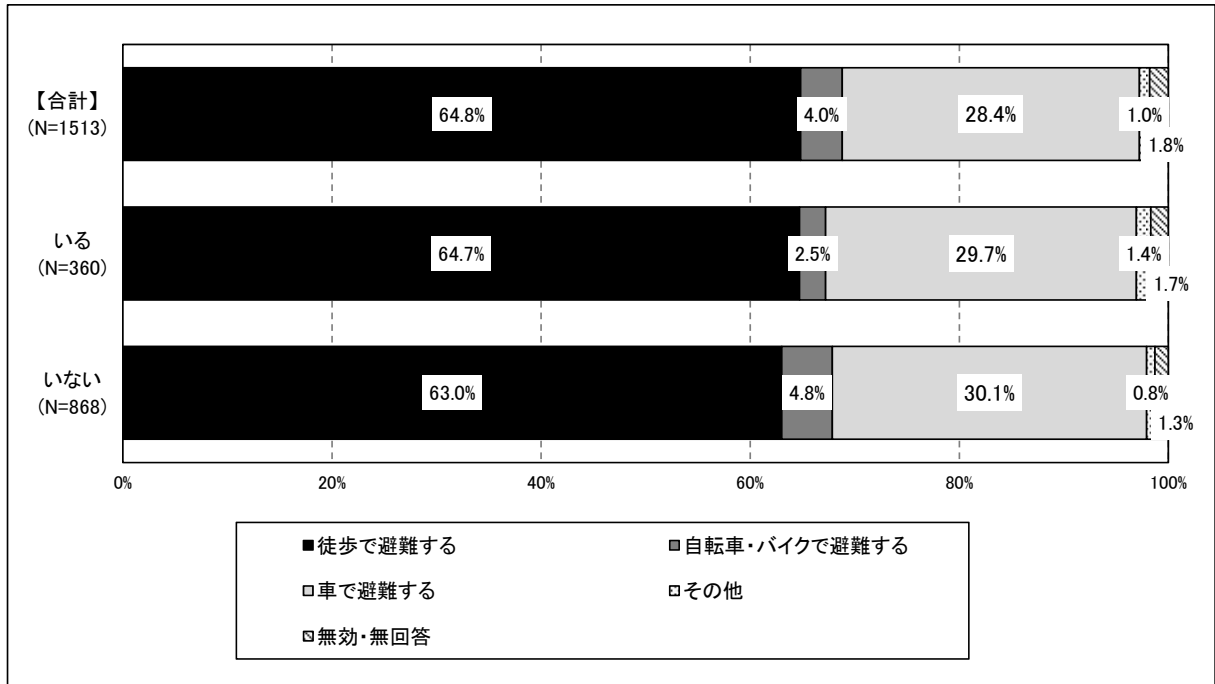


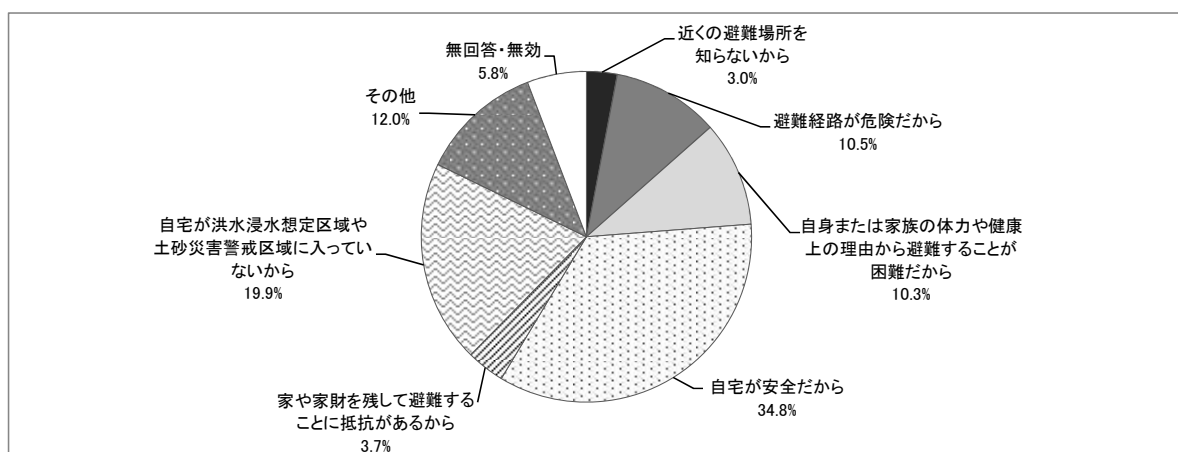
図 3.2-9 (大雨が降り続いた場合) どのようにして避難するか
—要配慮者の有無別比較 (津波危険地区+全県地区)—

3.2.5 避難しない理由は何か

<問5で「避難しない」と回答された方にお聞きします。>

問5-3 あなたが避難しない主な理由は何ですか（ひとつだけ○）。

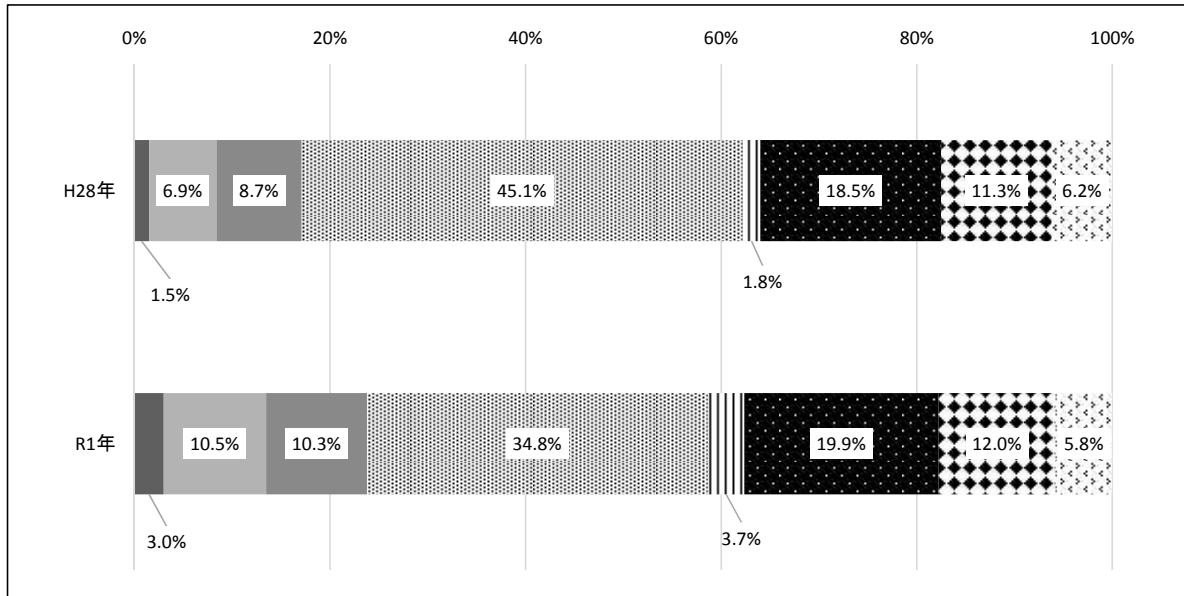
- これまでに経験のない大雨が降り続いた場合に避難しない理由について、「自宅が安全だから」(34.8%)が最も高く、次いで「自宅が洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域に入っていないから」(19.9%)が高くなっている。



津波危険地区+全県地区 (N=534)

図 3.2-10 (大雨が降り続いた場合) 避難しない理由は何か

- ・経年変化をみると、前回(平成 28 年)から「近くの避難場所を知らないから」、「避難経路が危険だから」、「自身または家族の体力や健康上の理由から避難することが困難だから」は増加しており、「自宅が安全だから」は減少している。



- 近くの避難場所を知らないから
- 避難経路が危険だから
- 自身または家族の体力や健康上の理由から避難することが困難だから
- ▨ 自宅が安全だから
- || 家や家財を残して避難することに抵抗があるから
- 自宅が洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域に入っていないから
- ▲ その他
- 無回答・無効

図 3.2-11 (大雨が降り続いた場合) 避難しない理由は何か
— 経年変化 (津波危険地区+全県地区) —

- ・要配慮者の有無別にみると、「要配慮者がいる」と答えた人の方が、「自身または家族の体力や健康上の理由から避難することが困難だから」の割合が高く、「自宅が安全だから」「自宅が洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域に入っていないから」の割合が低い。

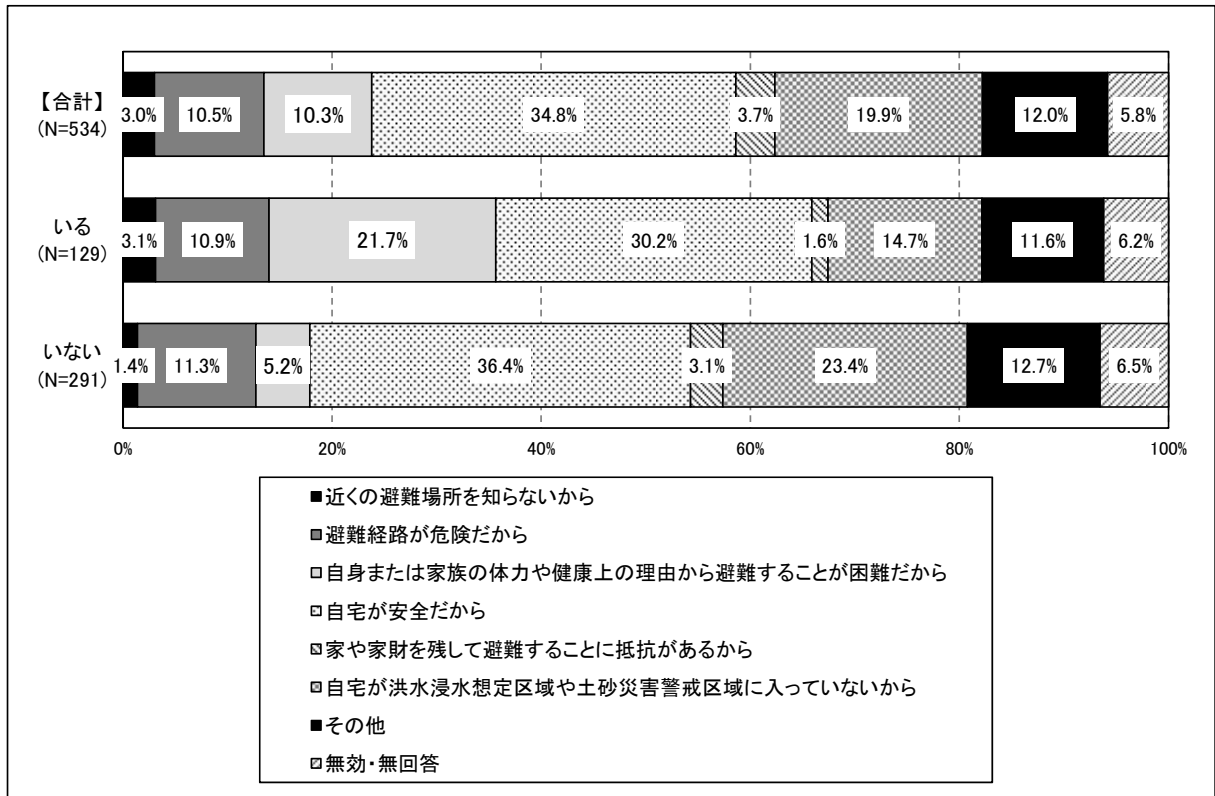


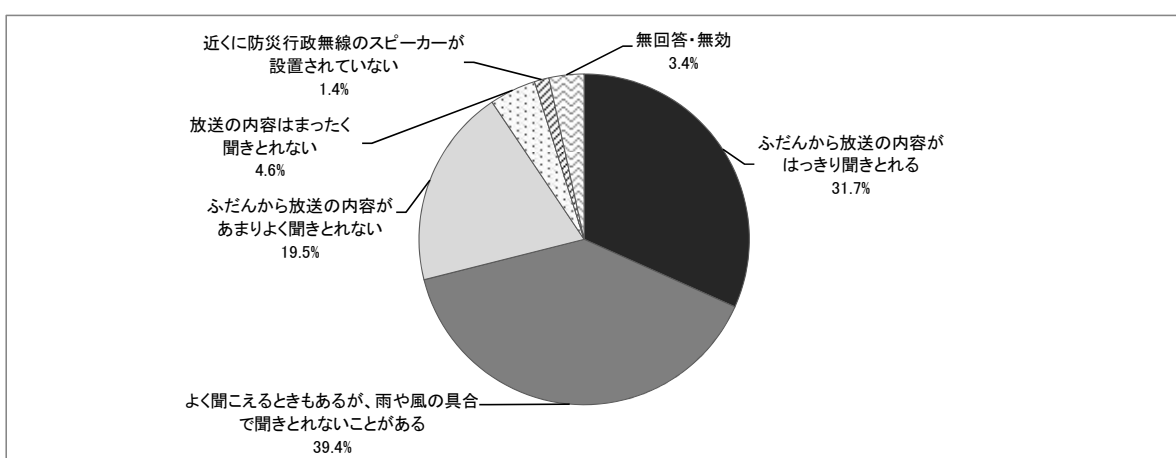
図 3.2-12 (大雨が降り続いた場合) 避難しない理由は何か
—要配慮者の有無別比較 (津波危険地区+全県地区)—

3.3. 災害時の情報収集について

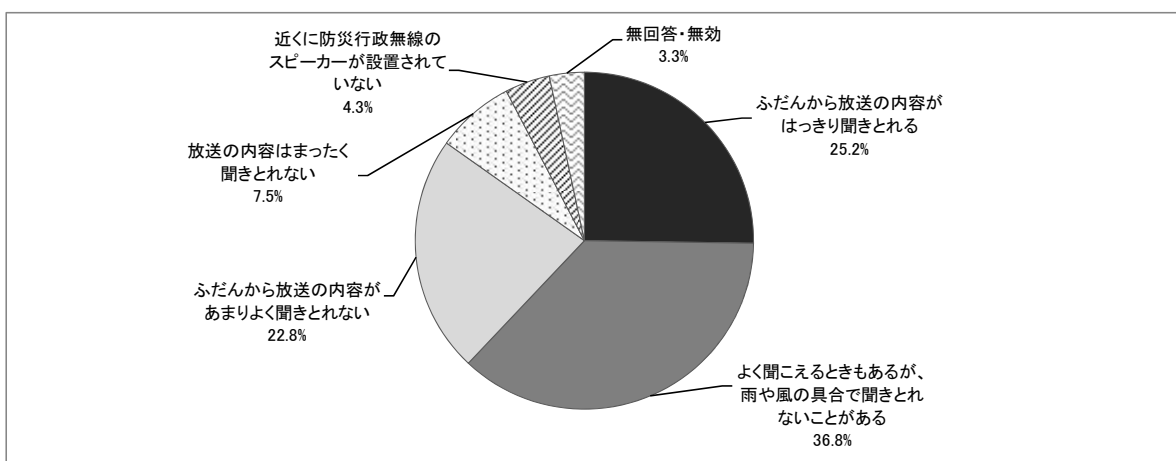
3.3.1 防災行政無線

問6 あなたの自宅の近くに、市役所や町村役場が緊急時の連絡などに使う防災行政無線のスピーカーはありますか。また、そのスピーカーの聞こえ具合はどうか（ひとつだけ○）。

- ・聞こえ具合について、「よく聞こえるときもあるが、雨や風の具合で聞き取れないことがある」が、津波危険地区（39.4%）、全県地区（36.8%）とも最も高くなっている。
- ・次いで、「ふだんから放送の内容がはっきり聞き取れる」が、津波危険地区（31.7%）、全県地区（25.2%）とも高くなっている。



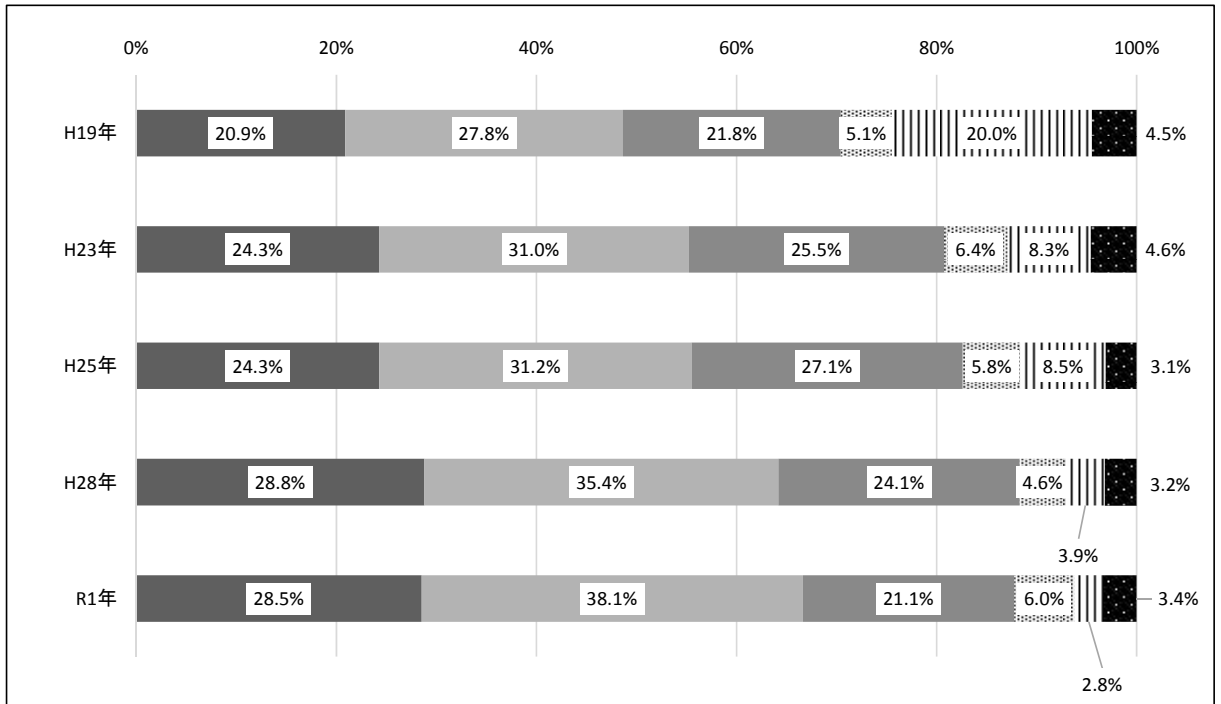
津波危険地区 (N=1,051)



全県地区 (N=1,022)

図 3.3-1 近くに防災行政無線のスピーカーはあるか。聞こえ具合はどうか。

- ・経年変化をみると、「ふだんから放送の内容がはっきり聞きとれる」(28.5%)は前回(平成28年)から横ばい、「よく聞こえるときもあるが、雨や風の具合で聞きとれないことがある」(38.1%)は、調査開始以降最も高くなっている。
- ・「近くに防災行政無線のスピーカーが設置されていない」(2.8%)は、調査開始以降最も低くなっている。



- ふだんから放送の内容がはっきり聞きとれる
- よく聞こえるときもあるが、雨や風の具合で聞きとれないことがある
- ふだんから放送の内容があまりよく聞きとれない
- ▨ 放送の内容はまったく聞きとれない
- ▨▨ 近くに防災行政無線のスピーカーが設置されていない
- 無回答・無効

図 3.3-2 近くに防災行政無線のスピーカーはあるか。聞こえ具合はどうか。
—経年変化(津波危険地区+全県地区)—

3.3.2 緊急情報をどのように入手するか

問7 あなたは、災害時における緊急情報をどのように入手していますか（いくつでも○）。

- ・緊急情報をどのように入手しているかについて、「テレビ」が津波危険地区（88.6%）、全県地区（87.6%）と最も高くなっている。
- ・次いで津波危険地区では「防災行政無線」（34.4%）が他の媒体より高くなっている。また、「インターネット」、「ラジオ」、「電子メール」は津波危険地区、全県地区とも回答割合の上位に入っている。

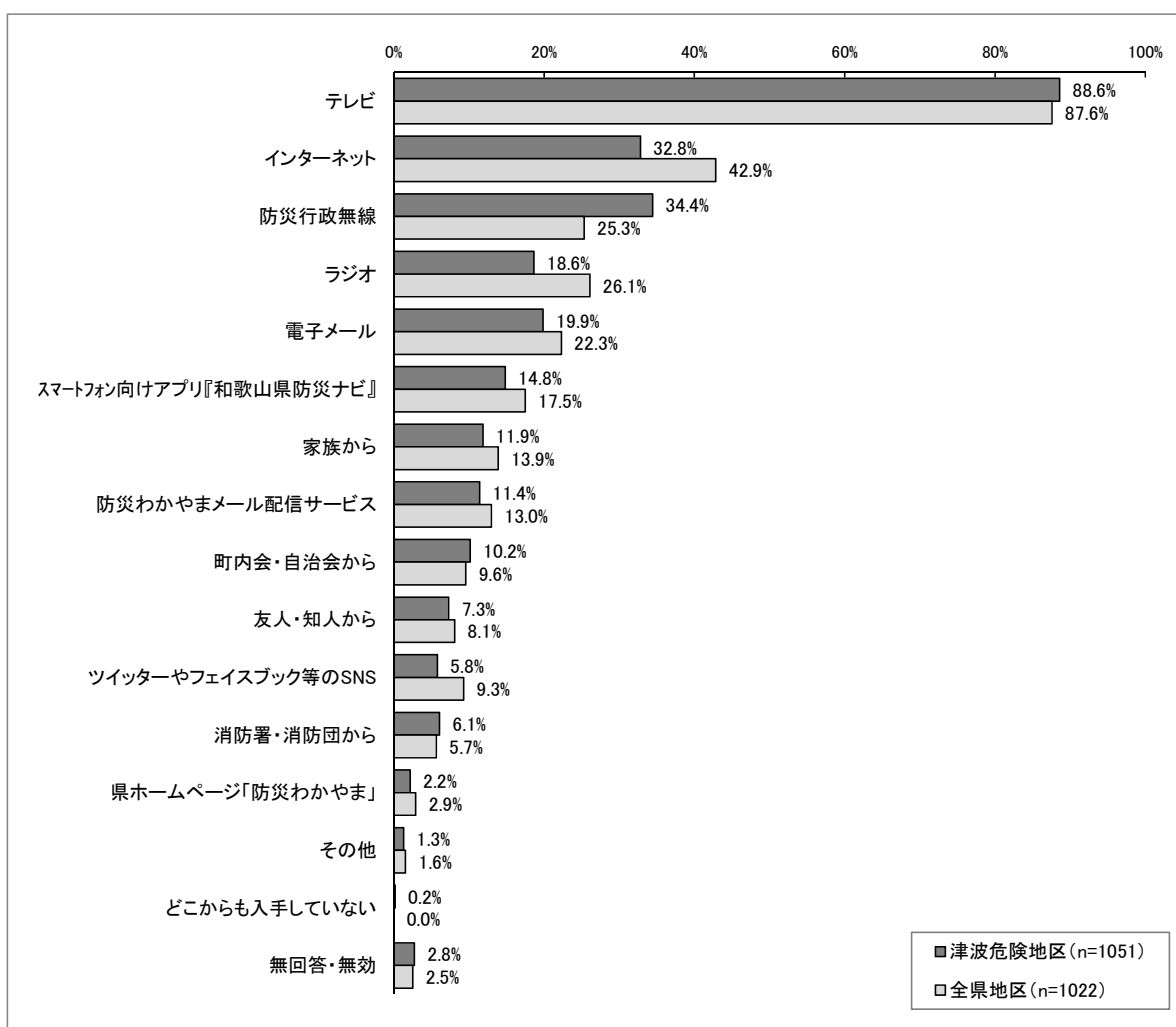


図 3.3-3 緊急情報をどのように入手しているか

- ・経年変化を見ると、前回（平成 28 年）と同じく「テレビ」が最も高くなっている。
- ・「インターネット」の割合は前回（平成 28 年）より増加している。

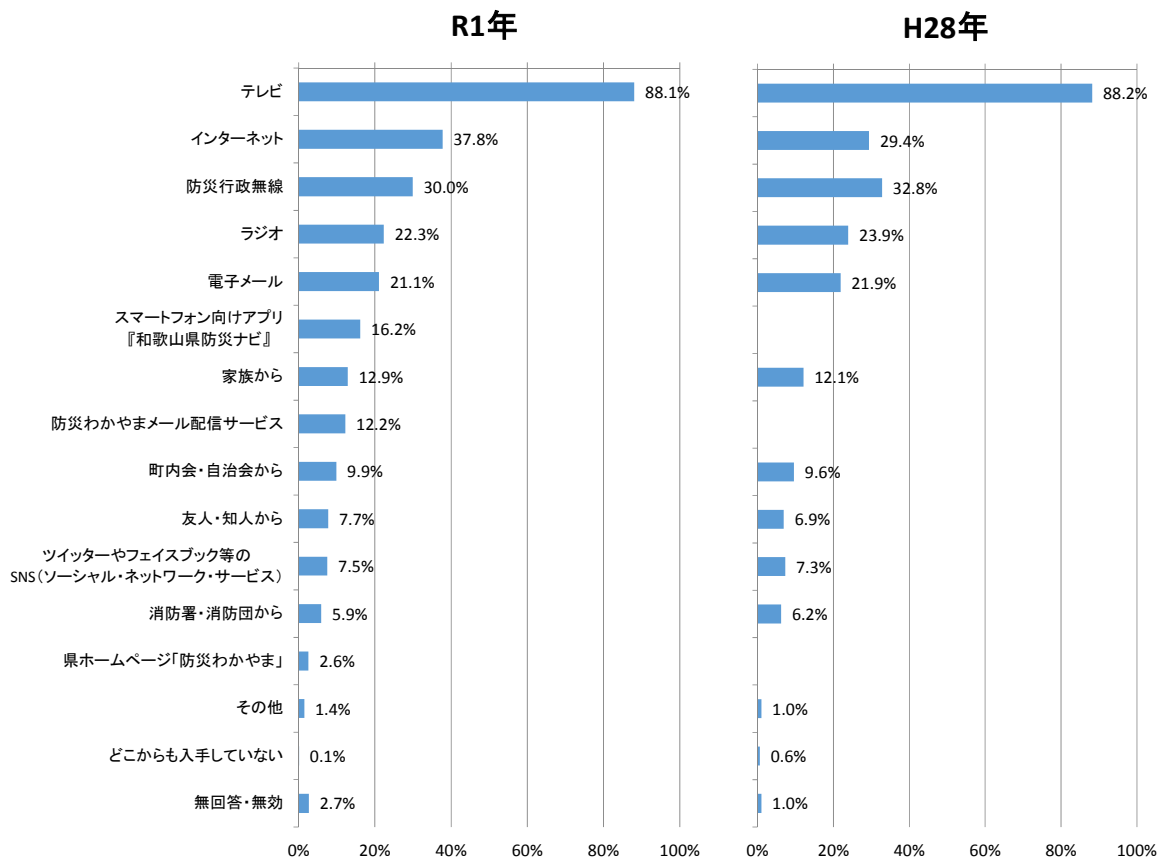


図 3.3-4 緊急情報をどのように入手しているか
—経年変化（津波危険地区＋全県地区）—

・性別・年代別にみると、「テレビ」の割合が総じて高く、若い世代では「インターネット」の割合が高い結果となった。

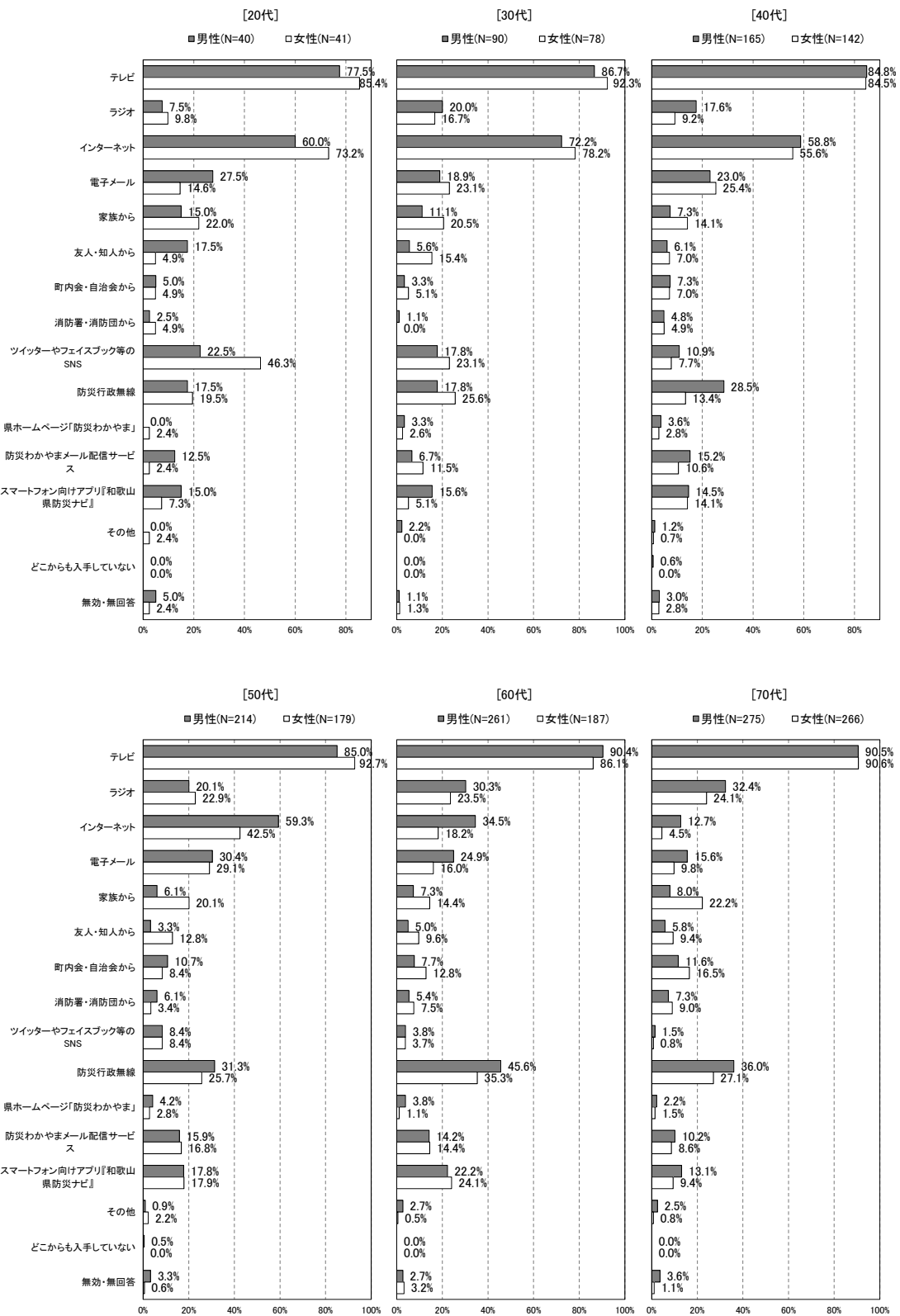
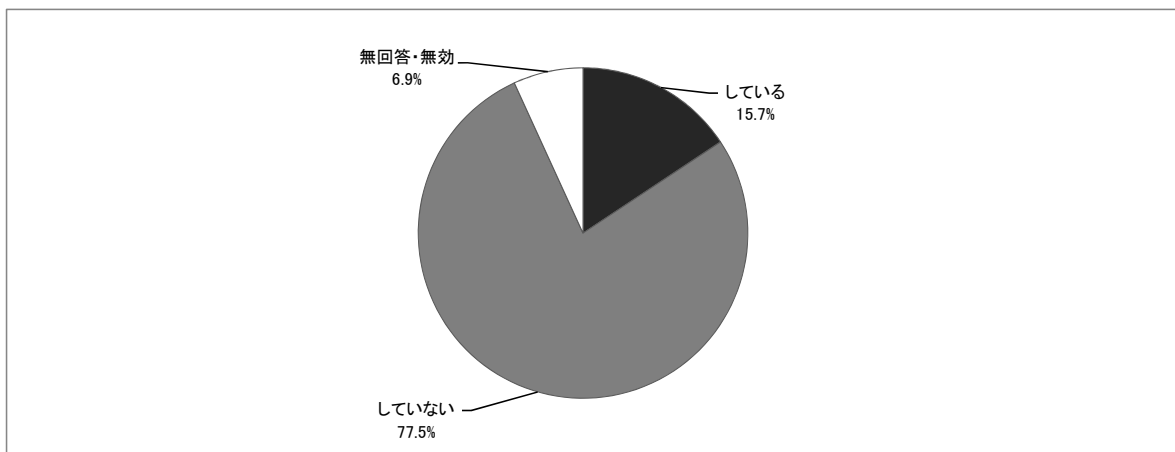


図 3.3-5 緊急情報をどのように入手しているか
—性別・年代別比較（津波危険地区+全県地区）—

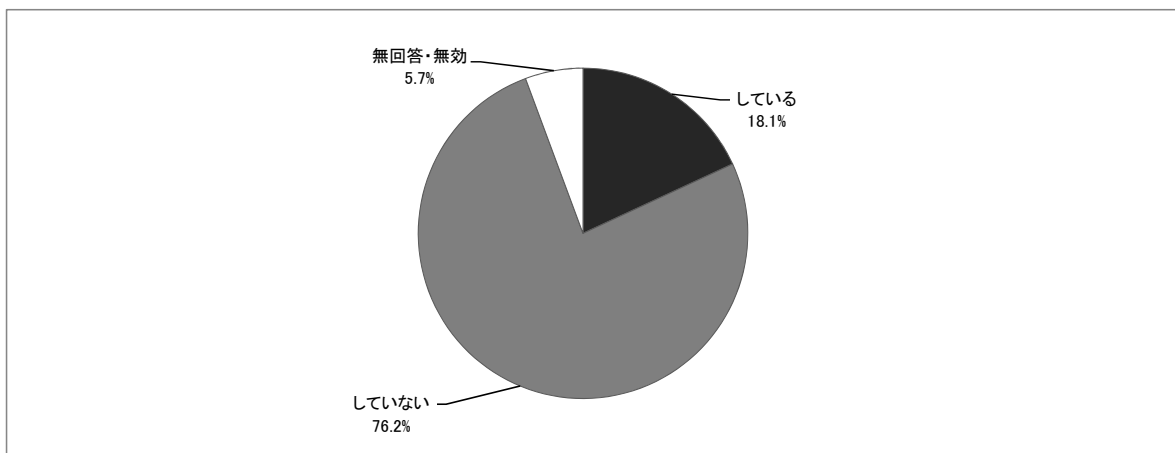
3.3.3 《新》和歌山県防災ナビのインストール

問8 避難先の検索などができるスマートフォン向けアプリ「和歌山県防災ナビ」をインストールしていますか（ひとつだけ○）。

・「和歌山県防災ナビ」のインストールについて、「している」は、津波危険地区で15.7%、全県地区で18.1%となっている。



津波危険地区 (N=1,051)



全県地区 (N=1,022)

図 3.3-6 防災ナビのインストールをしているか

- ・性別・年代別にみると、インストールの状況について、「している」人の割合は男女ともに「50歳代」が最も高い。
- ・また、「20歳代」の「女性」の「している」割合は0%という結果となった。
- ・「男性」と「女性」の小計では大きな差はなかった。

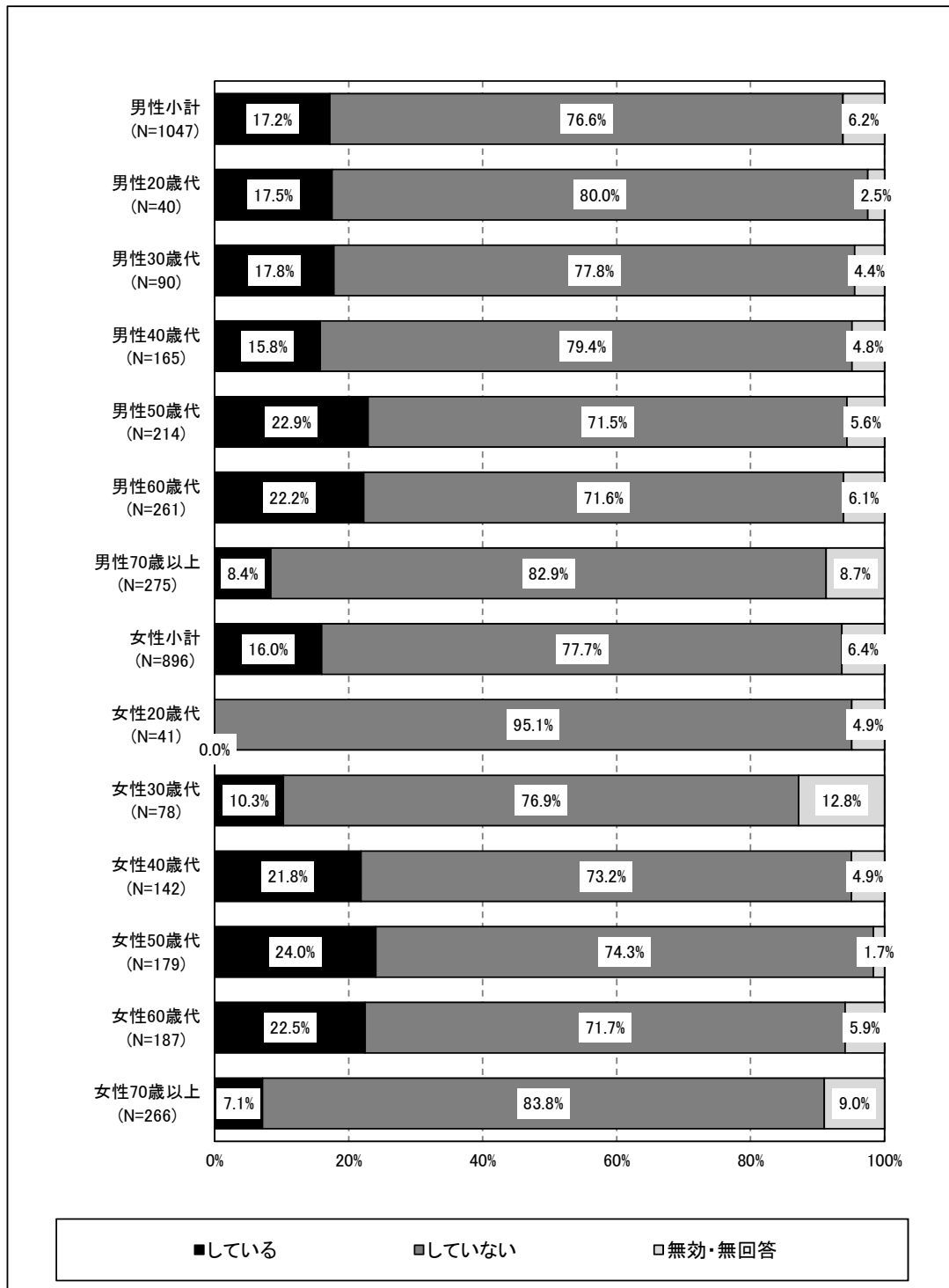


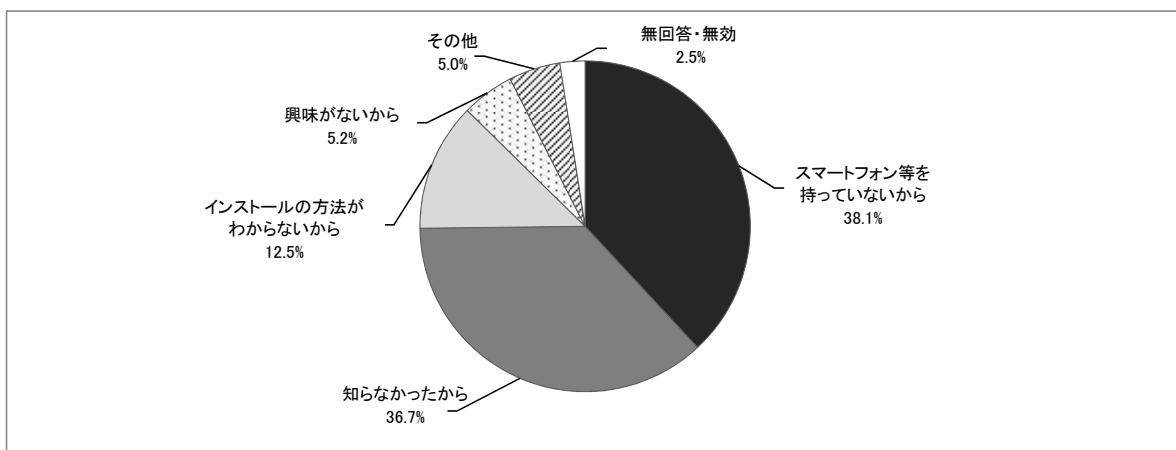
図 3.3-7 防災ナビのインストールをしているか
— 一性別・年代別比較（津波危険地区＋全県地区） —

3.3.4 インストールしていない理由

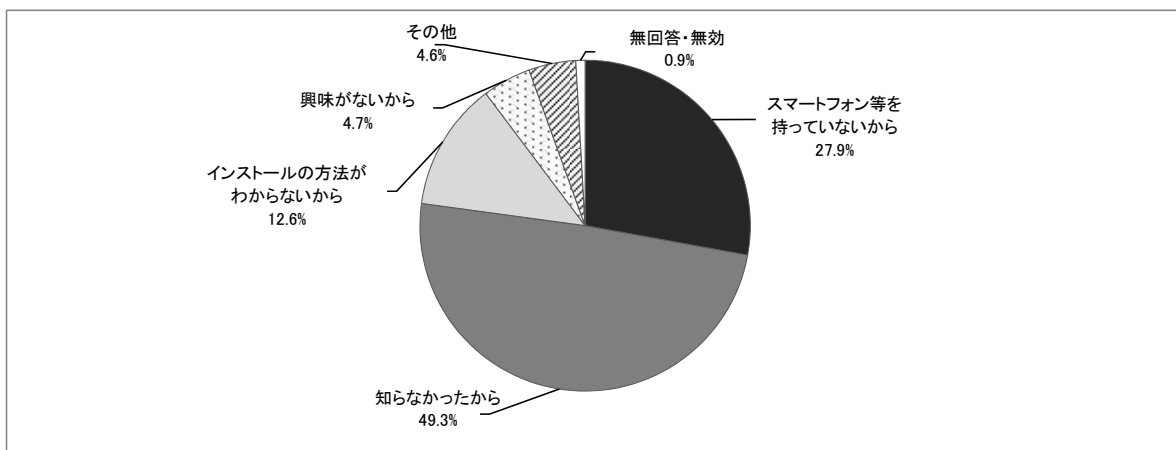
<問8で「していない」を回答された方にお聞きします。>

問8-1 インストールしていない理由は何ですか（ひとつだけ○）。

- ・インストールしていない理由について、津波危険地区では「スマートフォン等を持っていないから」(38.1%)、全県地区では「知らなかったから」(49.3%)が最も高くなっている。



津波危険地区 (N=814)



全県地区 (N=779)

図 3.3-8 インストールしていない理由

・性別・年代別にみると、男女ともに「20歳代」～「50歳代」は「知らなかったから」という理由が最も高い結果となった。

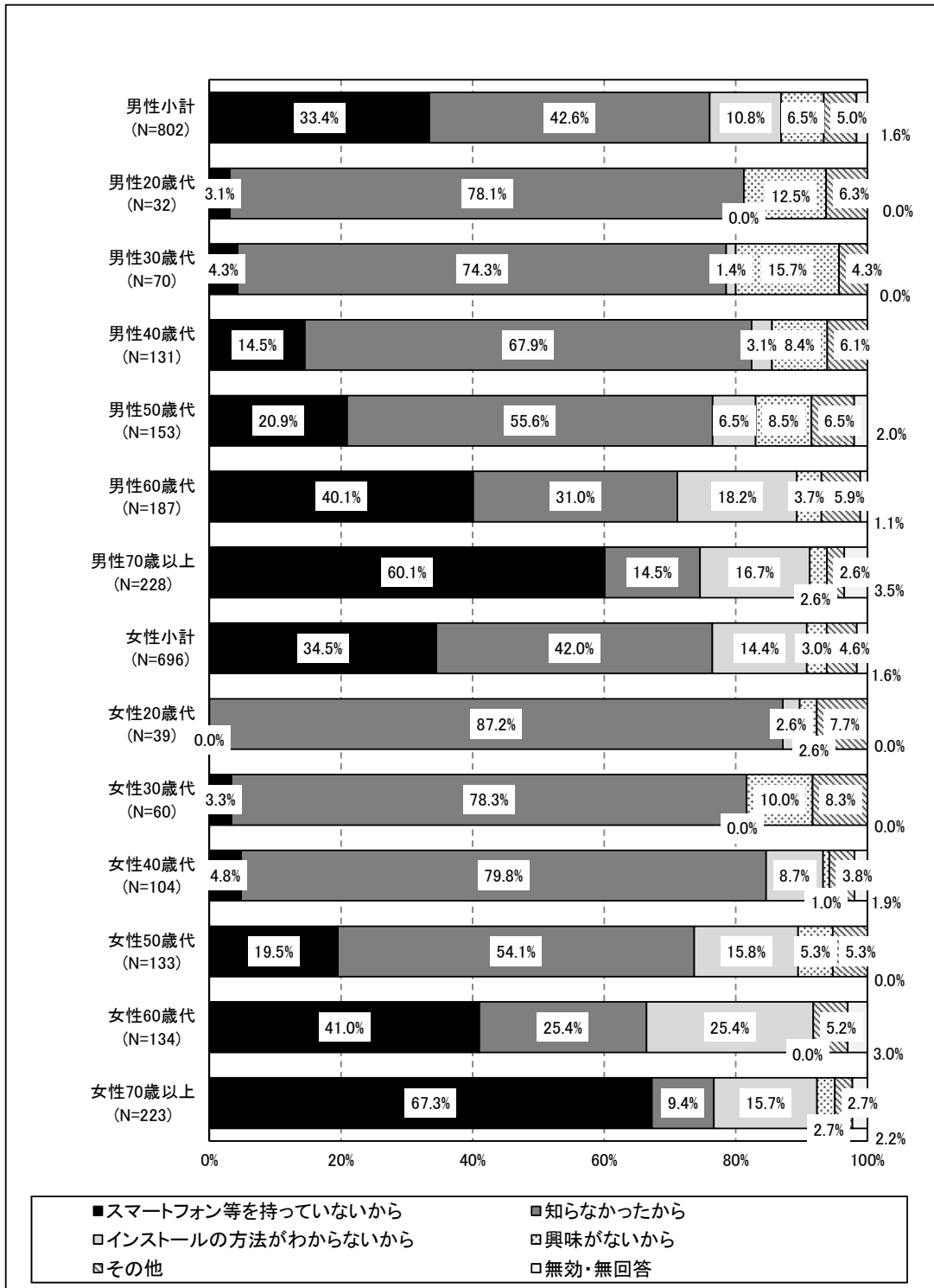


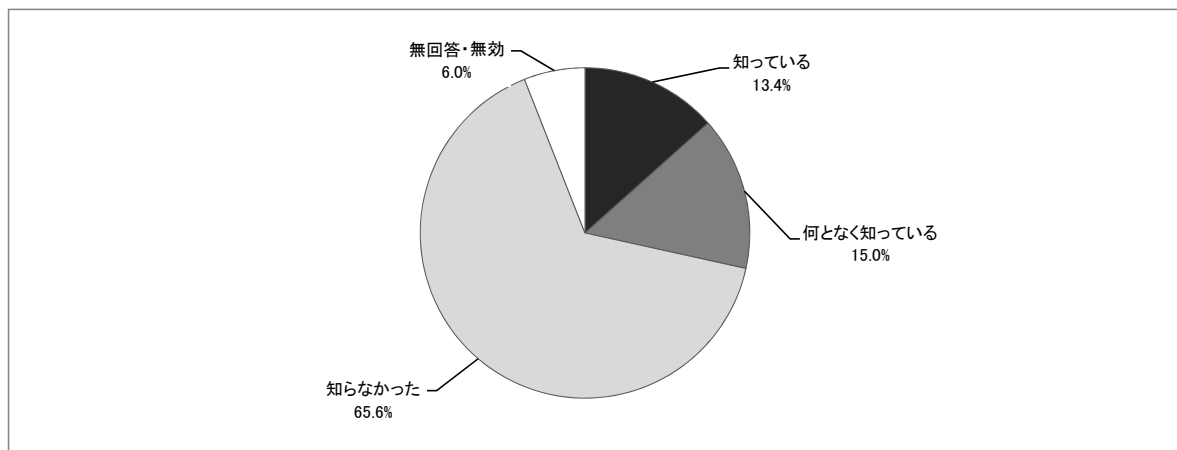
図 3.3-9 インストールしていない理由
—性別・年代別比較（津波危険地区+全県地区）—

3.4. 災害時の避難について

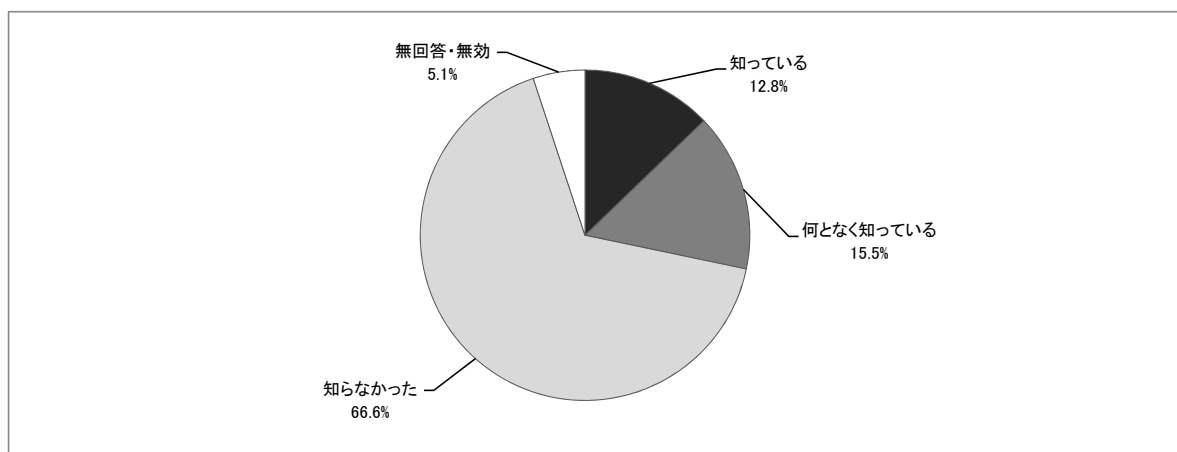
3.4.1 避難カードを知っているか

問9 あなたは、避難カードを知っていますか（ひとつだけ○）。

- ・避難カードの認知度（「知っている」、「何となく知っている」の合計）は津波危険地区で28.4%、全県地区で28.3%となっている。



津波危険地区 (N=1,051)



全県地区 (N=1,022)

図 3.4-1 避難カードを知っているか

- ・性別・年代別にみると、「知っている」の割合は、「女性」かつ「40歳代」の人が最も高い結果となった。また、「知らなかった」の割合は、「男性」かつ「20歳代」の人が最も高い結果となった。
- ・「男性」と「女性」の小計では大きな差はなかった。

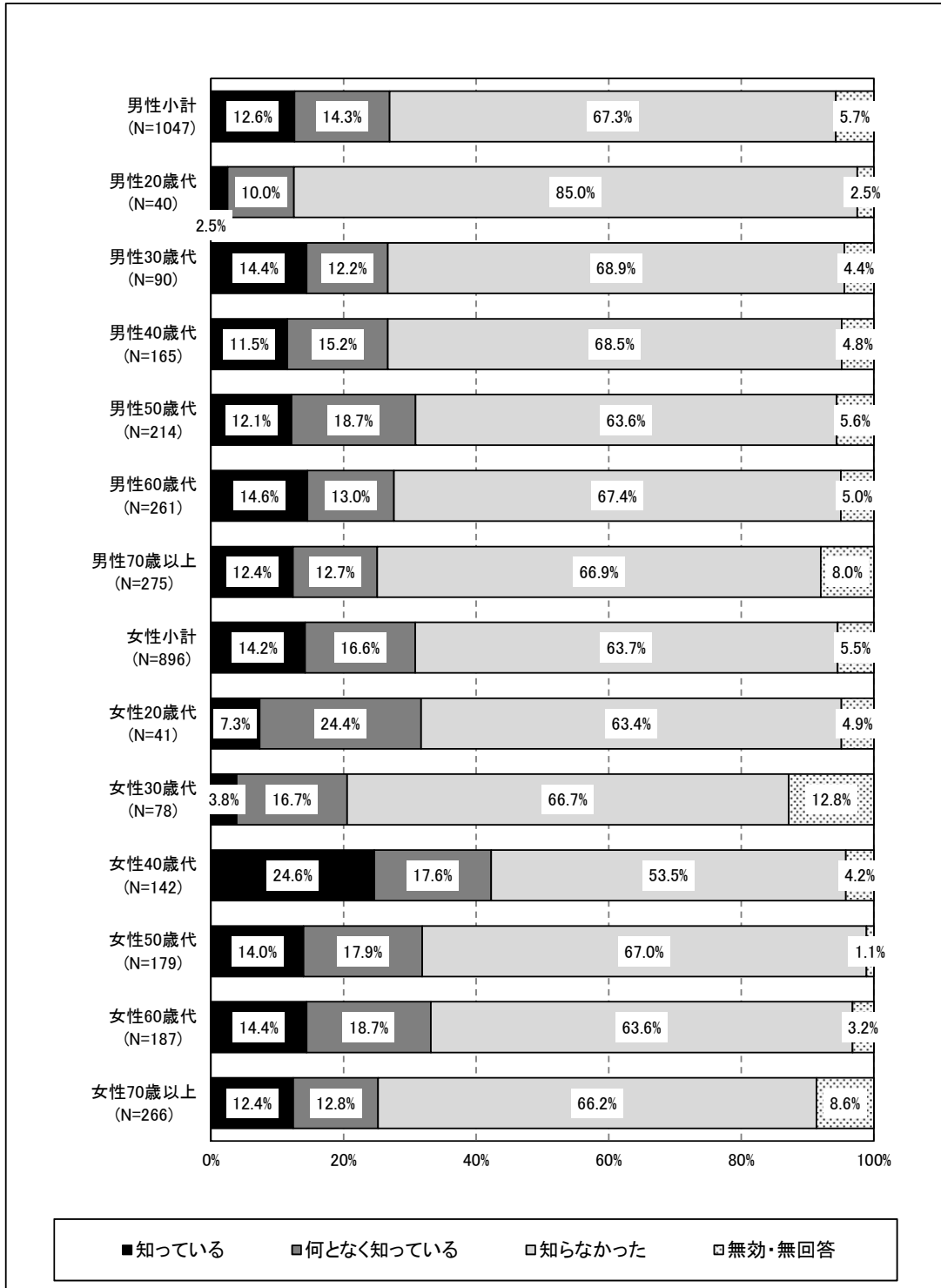


図 3.4-2 避難カードを知っているか
—性別・年代別比較（津波危険地区＋全県地区）—

- ・経年変化をみると、避難カードの認知度(28.3%)は、前回(平成 28 年)の 31.5%から減少している。

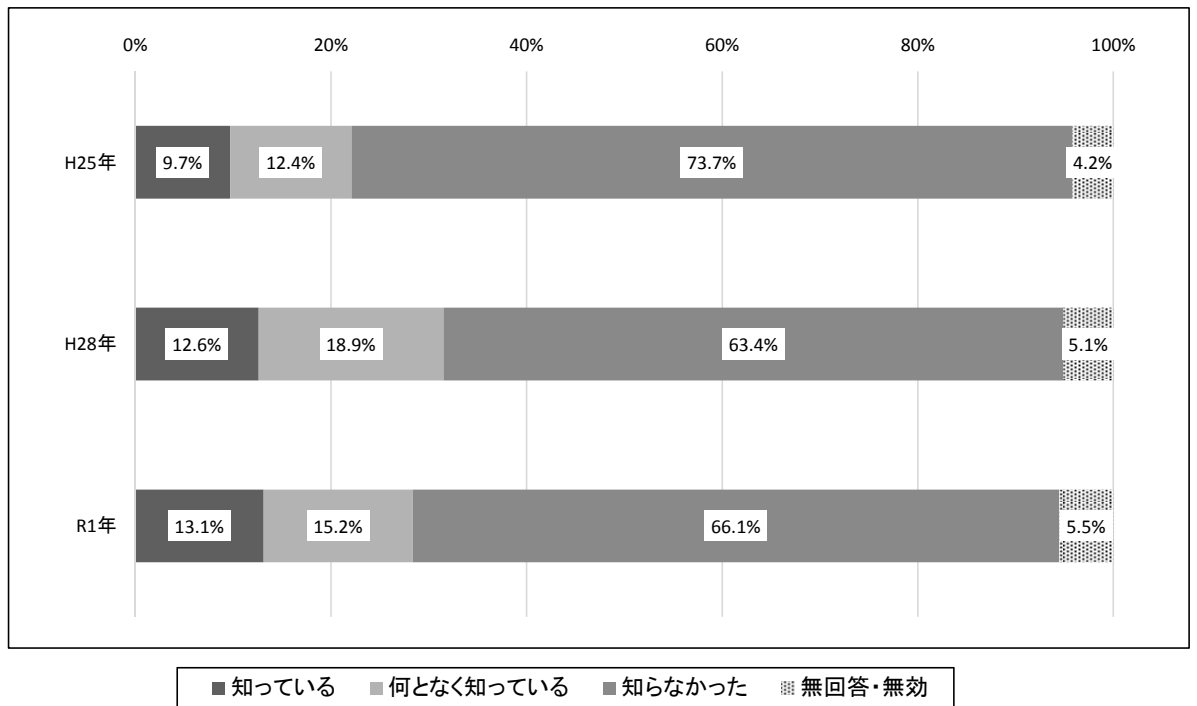


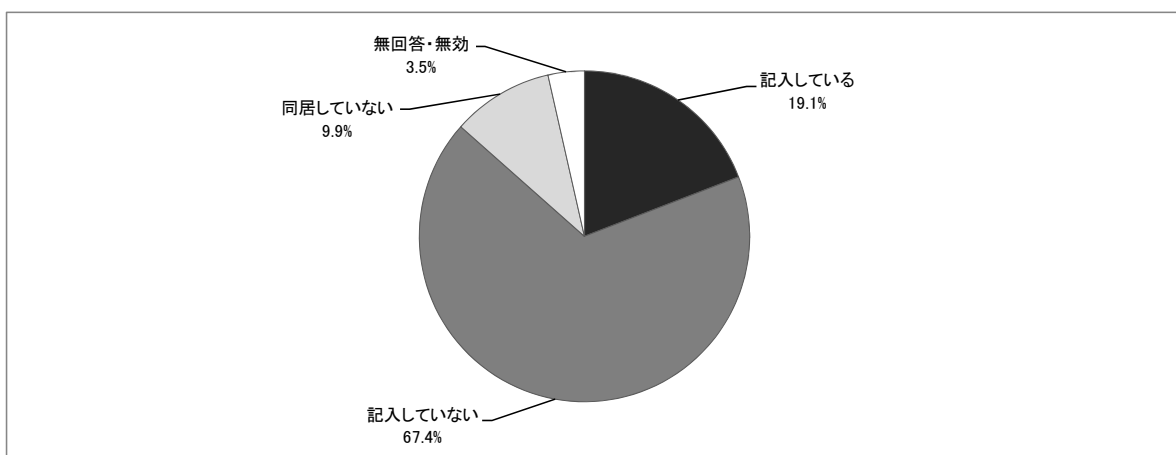
図 3.4-3 避難カードを知っているか
—経年変化（津波危険地区＋全県地区）—

3.4.2 避難カードに記入しているか

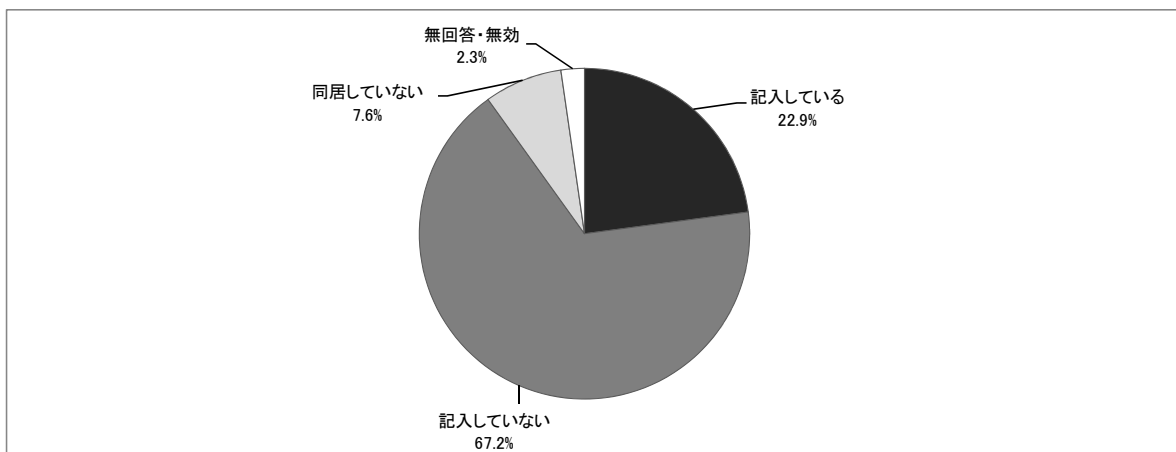
<問9で「知っている」と回答された方にお聞きします。>

問9-1 あなたは、家族と同居している場合は家族等と避難場所や避難経路等を話し合って、緊急避難先等を避難カードに記入していますか（ひとつだけ○）。

- ・緊急避難先等を避難カードに記入しているかについて、「記入している」は津波危険地区で19.1%、全県地区で22.9%となっている。



津波危険地区 (N=141)



全県地区 (N=131)

図 3.4-4 避難カードに記入しているか

- ・経年変化をみると、「記入している」(21.0%)は、前回(平成28年)の28.1%から減少している。

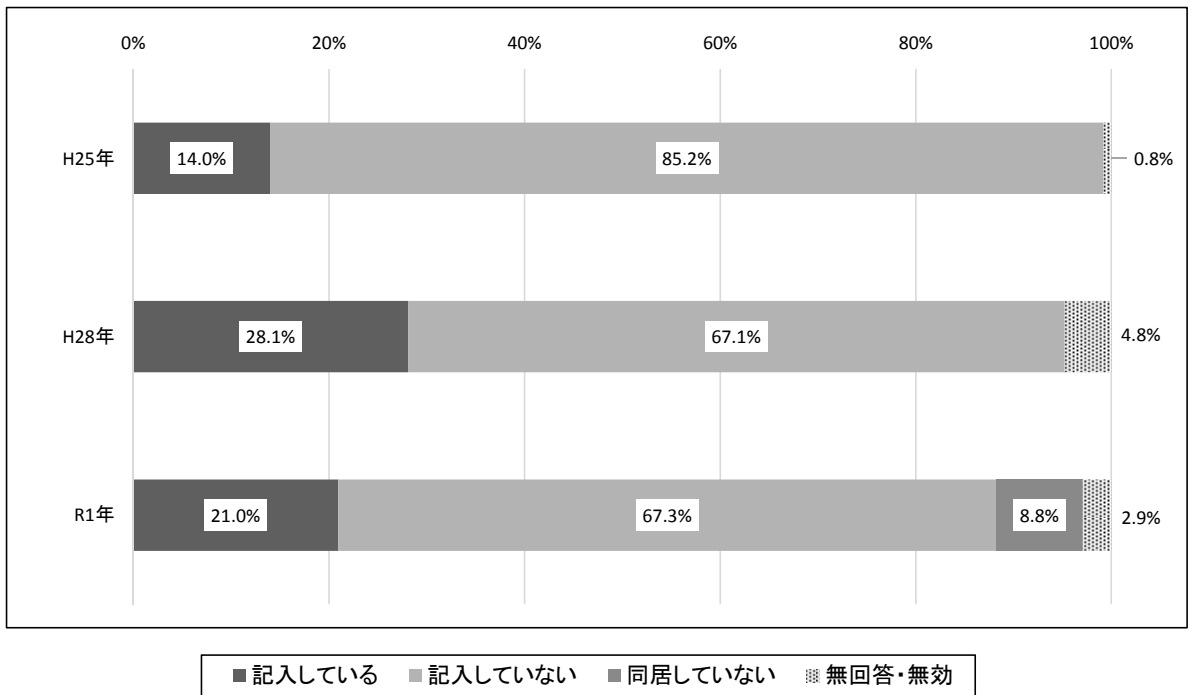
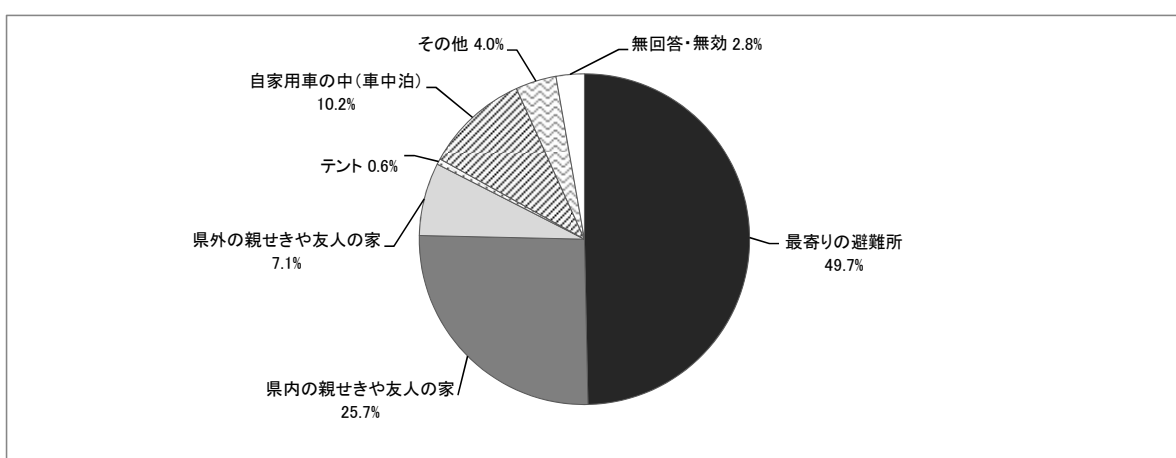


図 3.4-5 避難カードに記入しているか
—経年変化(津波危険地区+全県地区)—

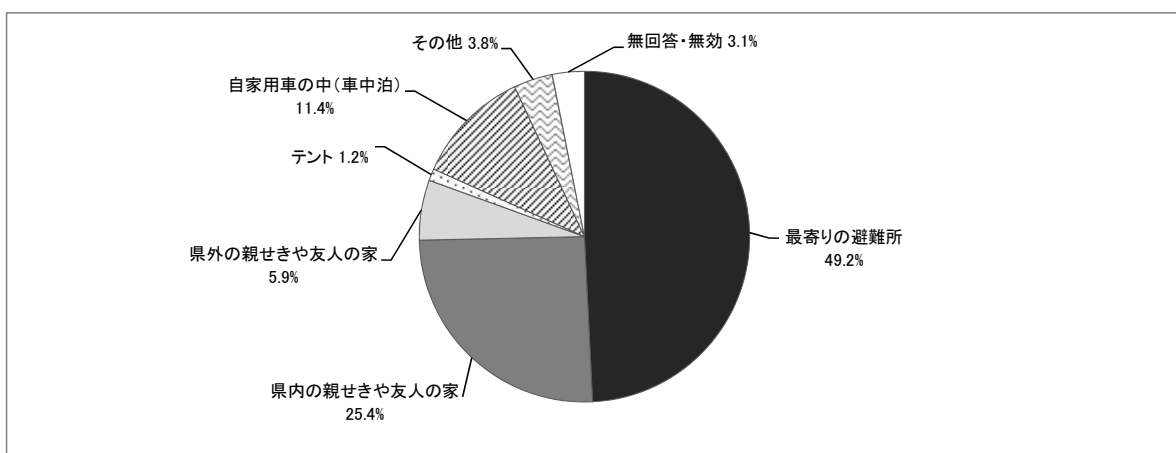
3.4.3 どこで避難生活を送るか

問 10 あなたの住んでいる地域で大規模な災害が発生し、自宅の損壊等で長期間帰宅ができなくなってしまったとします。あなたはどこで避難生活を送りますか（ひとつだけ○）。

- ・自宅の損壊等で長期間帰宅ができなくなった場合、どこで避難生活を送るかについて、「最寄りの避難所」が津波危険地区(49.7%)、全県地区(49.2%)とも最も高くなっている。
- ・「自家用車の中(車中泊)」は津波危険地区で10.2%、全県地区で11.4%となっている。



津波危険地区 (N=1,051)



全県地区 (N=1,022)

図 3.4-6 どこで避難生活を送るか

- ・経年変化をみると、「県内の親せきや友人の家」が増加している一方、「最寄りの避難所」、「県外の親せきや友人の家」は減少している。

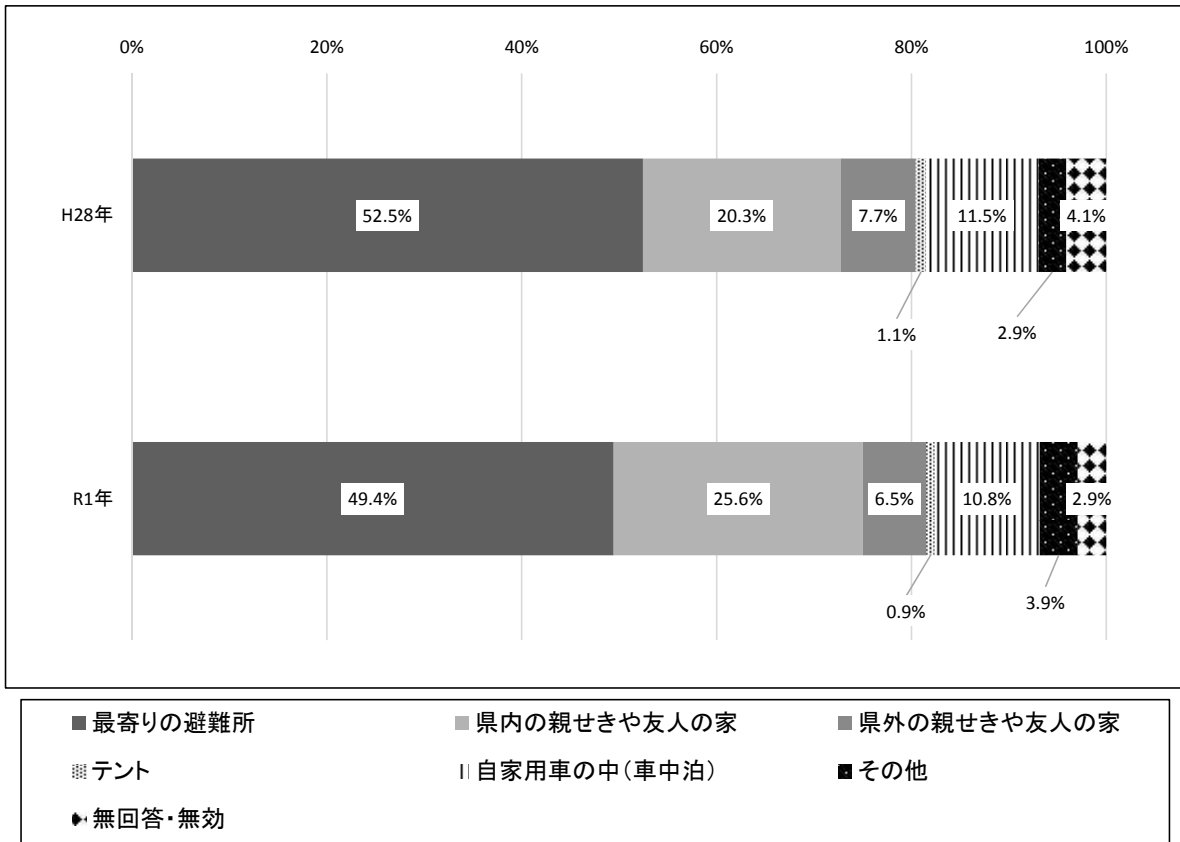


図 3.4-7 どこで避難生活を送るか
—経年変化（津波危険地区＋全県地区）—

・性別・年代別にみると、「自家用車の中」と答えた人の割合は、「女性」かつ「20歳代」の人が最も高い結果となった。

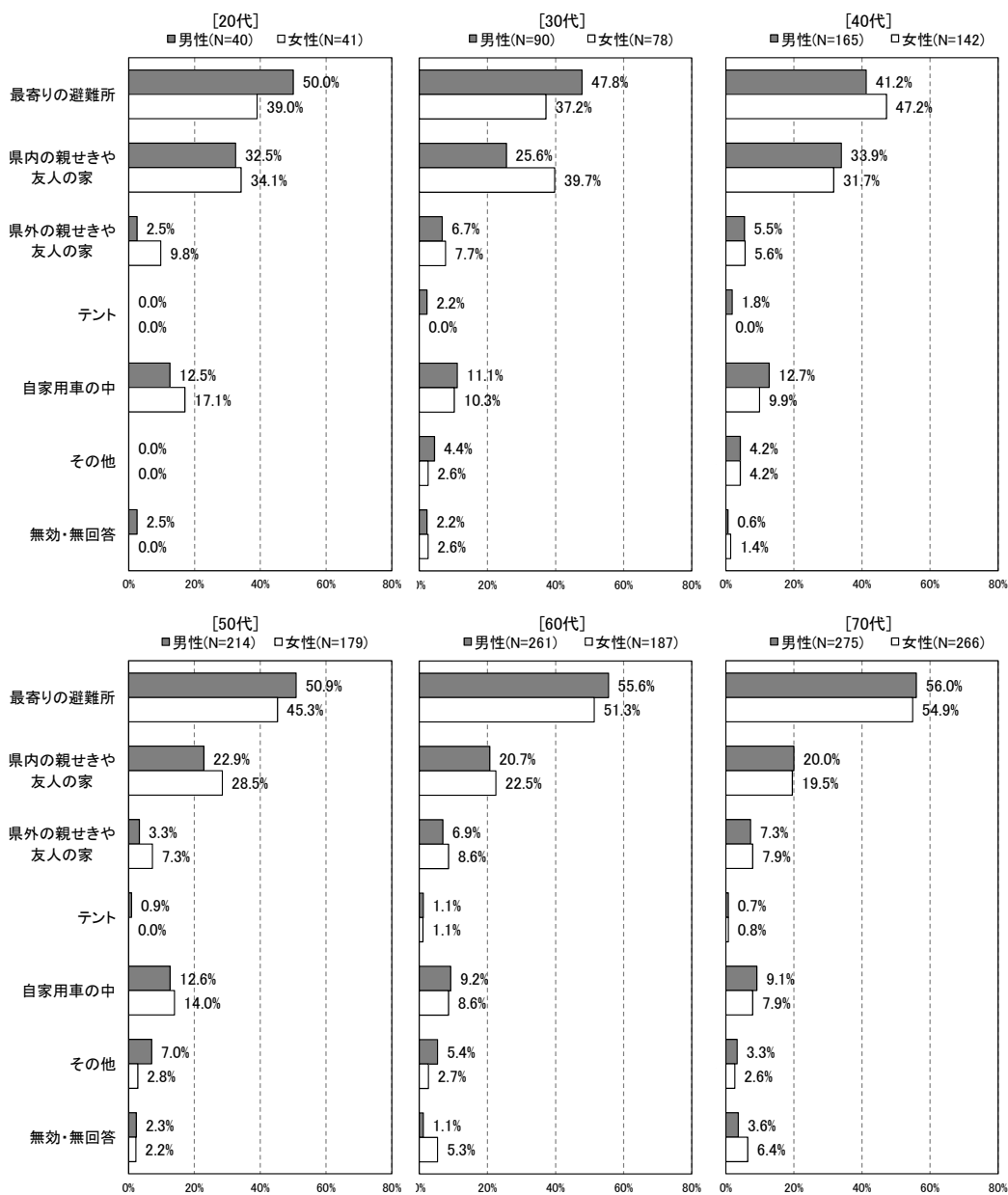


図 3.4-8 長期帰宅が出来ない場合の避難生活場所
—性別・年代別比較（津波危険地区＋全県地区）—

3.4.4 自家用車の中で避難生活を送る理由

<問 10 で「自家用車の中（車中泊）」と回答された方にお聞きします。>

問 10-1 自家用車の中で避難生活を送る主な理由は何ですか（いくつでも○）。

- ・ 自宅の損壊等で長期帰宅ができなくなった場合、自家用車の中で避難生活を送ることを選択する理由について、津波危険地区、全県地区とも「避難所ではプライバシーが確保されないと思うから」が最も高く、津波危険地区では 54.2%、全県地区では 62.9% だった。
- ・ 次いで、「避難所には多くの被災者が殺到し入ることができないと思うから」が高く、津波危険地区では 47.7%、全県地区では 45.7% だった。

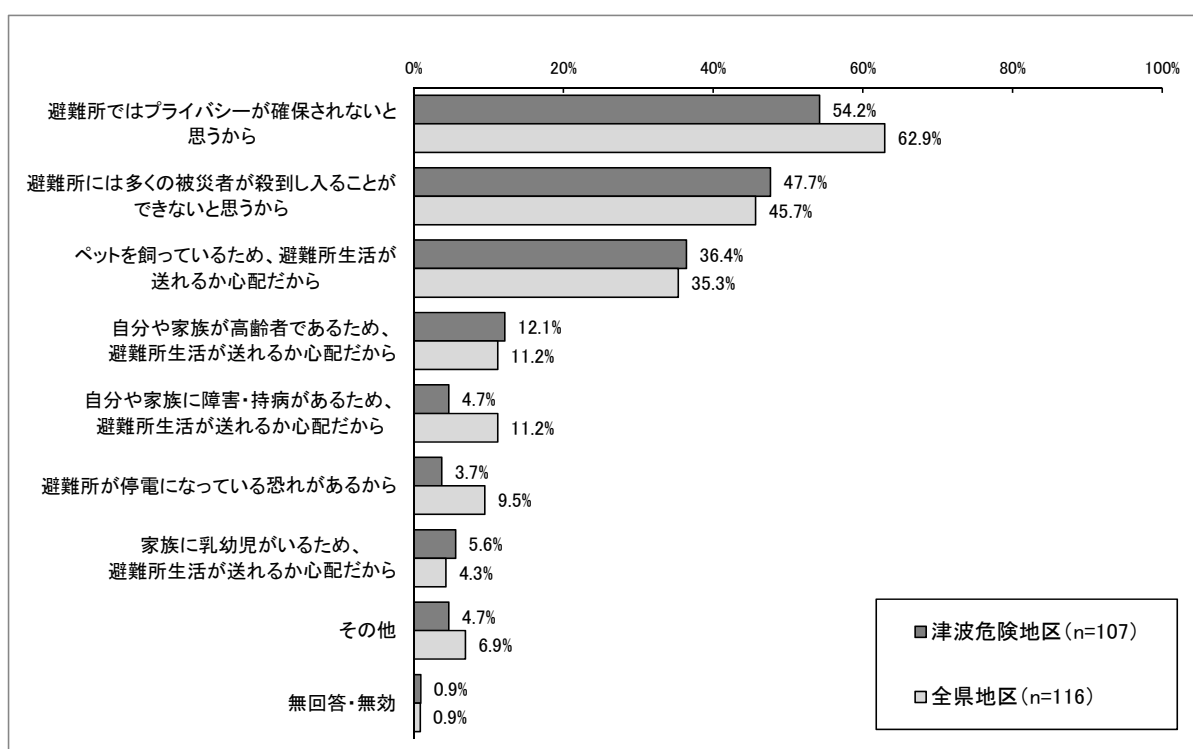


図 3.4-9 自家用車の中で避難生活を送る理由

- ・経年変化をみると、「ペットを飼っているため、避難所生活を送れるか心配だから」(35.9%)は、前回(平成28年)の29.7%から増加している。
- ・今回の調査より「避難所が停電になっている恐れがあるから」という設問を追加したところ、6.7%の回答が見られた。

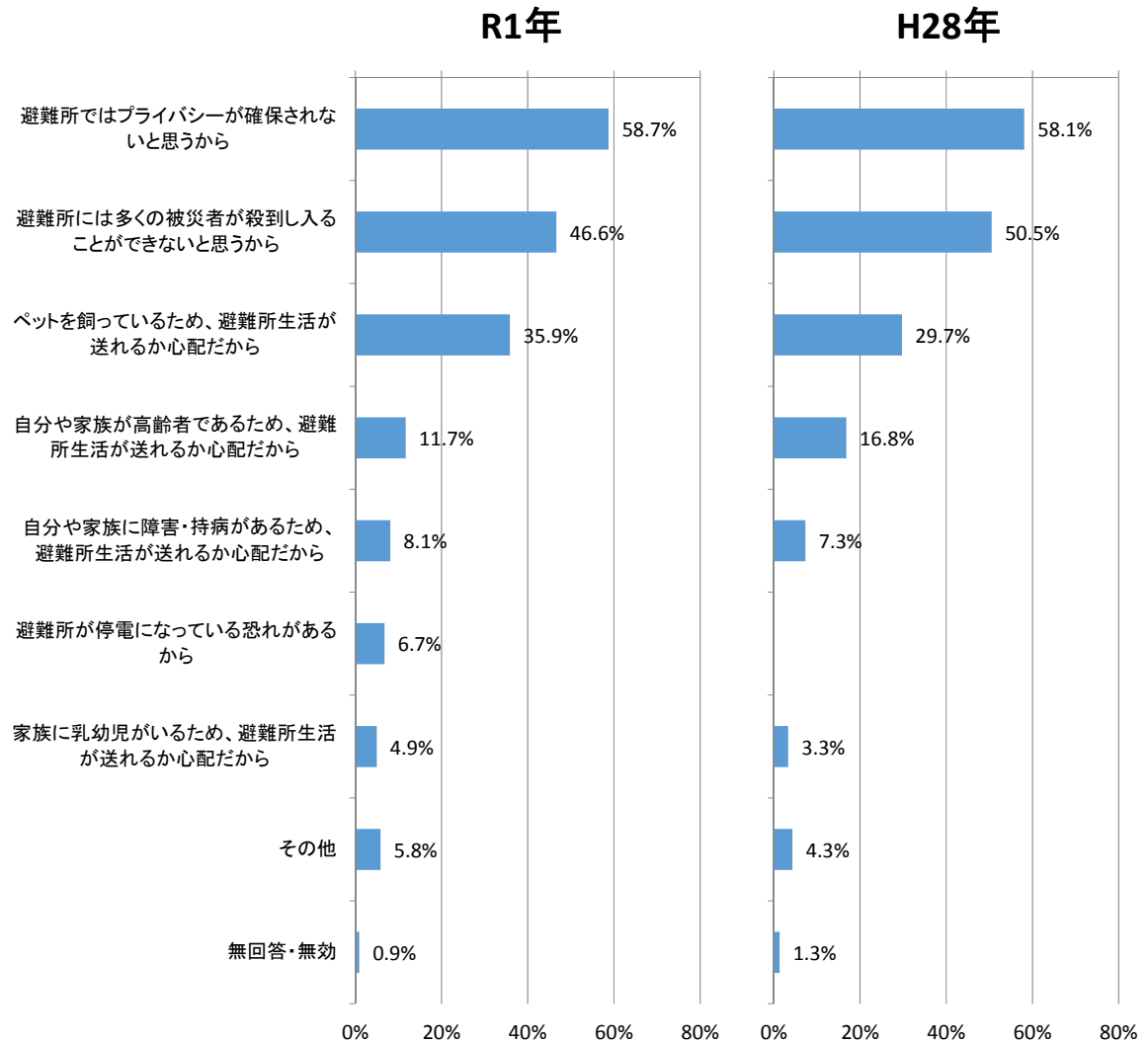


図 3.4-10 自家用車の中で避難生活を送る理由
—経年変化(津波危険地区+全県地区)—

3.4.5 大地震後、地域の人と協力してできることは何か

問 11 大地震が起きたあと、あなたご自身は、地域の人と協力してどのようなことができると思いますか（いくつでも○）。

- ・大地震が起きたあと、地域の人と協力してできることについて、「高齢者や介護が必要な人が避難するのを手伝う」が最も高く、津波危険地区で 52.7%、全県地区で 62.1% となっている。
- ・次いで、津波危険地区では「避難所の運営を手伝う」、全県地区では「生き埋めになった近所の人を、がれきの中から救助する」が高くなっている。
- ・「(回答項目のようなことは)できない」は津波危険地区で 11.8%、全県地区で 8.0% となっている。

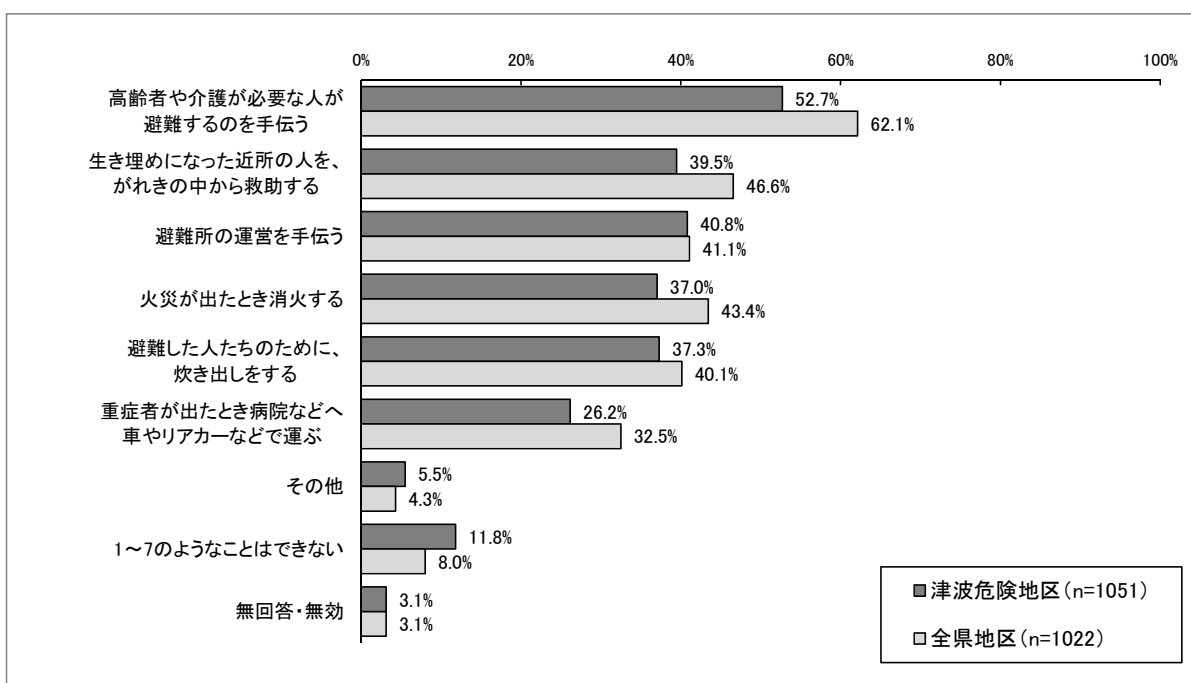


図 3.4-11 大地震後、地域の人と協力してできることは何か

・経年変化をみると、前回(平成28年)から「高齢者や介護が必要な人が避難するのを手伝う」、「生き埋めになった近所の人を、がれきの中から救助する」は増加している。一方、「(回答項目のようなことは)できない」(9.9%)は、前回の13.4%から減少している。

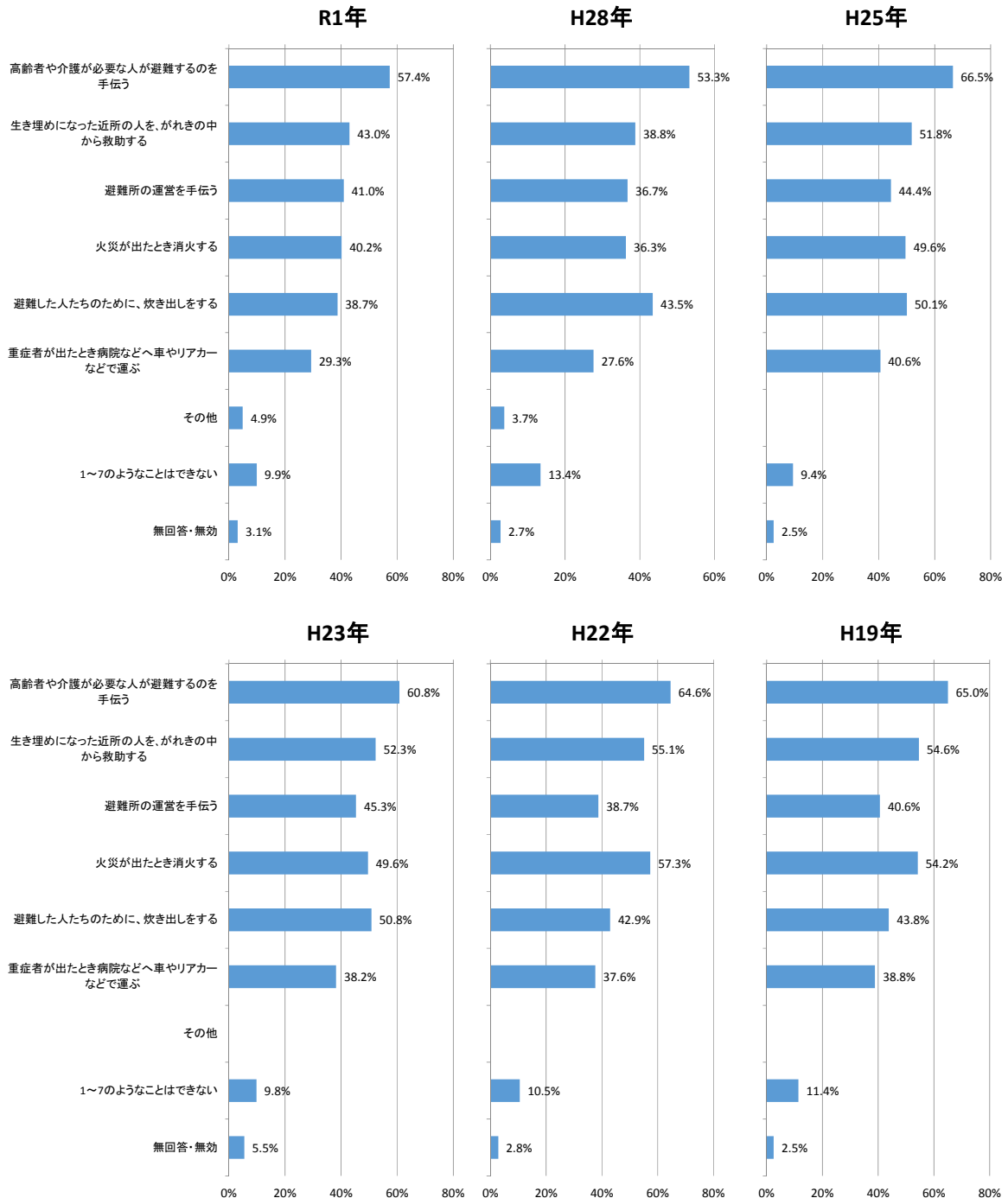


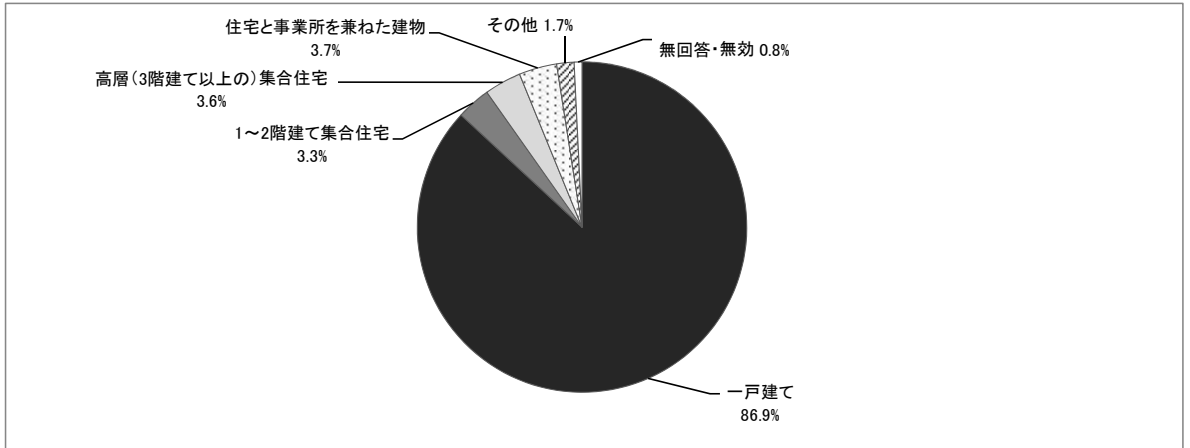
図 3.4-12 大地震後、地域の人と協力してできることは何か
—経年変化(津波危険地区+全県地区)—

3.5. 住宅の耐震化・家具固定・ブロック塀対策について

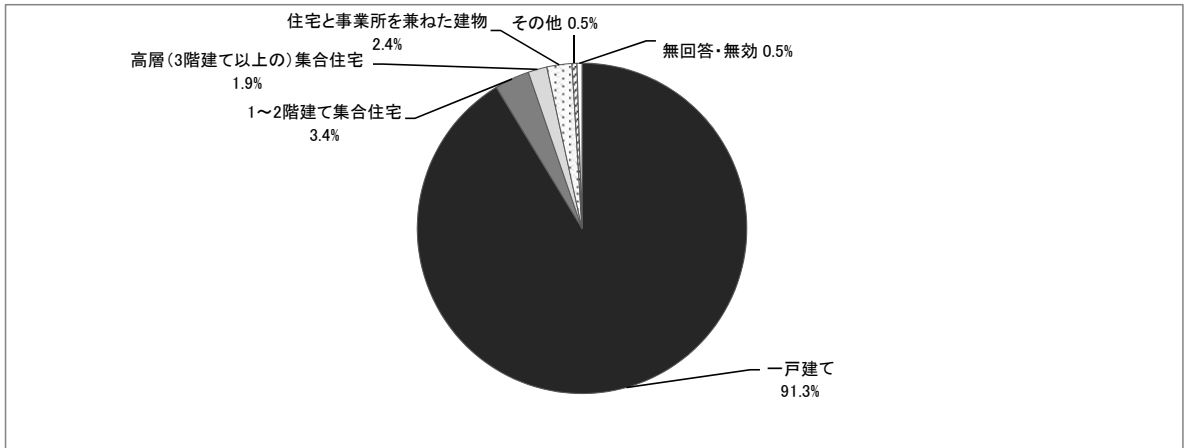
3.5.1 自宅の形態は（戸建、集合住宅等）何か

問 12 あなたがお住まいのご自宅は、次のどれにあたりますか(ひとつだけ○)。

- ・ 自宅の形態について、「一戸建て」が津波危険地区(86.9%)、全県地区(91.3%)とも最も高くなっている。



津波危険地区 (N=1, 051)



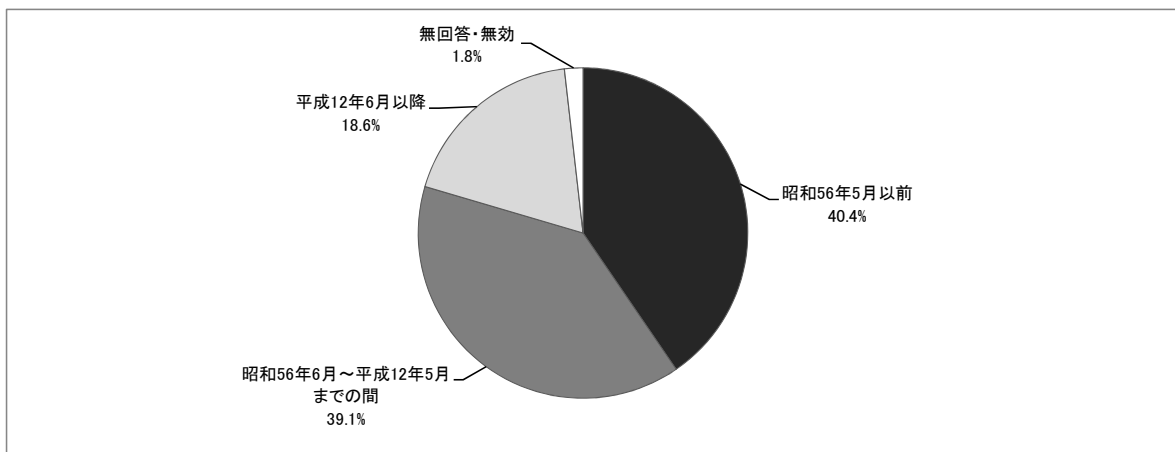
全県地区 (N=1, 022)

図 3.5-1 自宅の形態

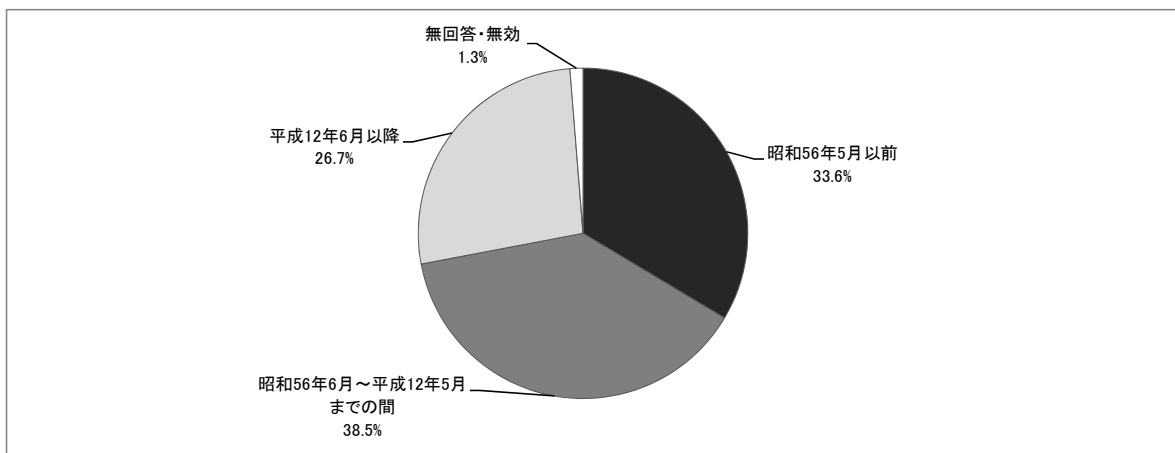
3.5.2 自宅の建築年はいつか

問 13 あなたがお住まいのご自宅は、いつ頃建てられたものですか。増改築されている場合は、主な部分の建築年をお答えください（ひとつだけ○）。

- ・ 建築年について、津波危険地区では「昭和 56 年 5 月以前」が 40.4%、全県地区では「昭和 56 年 6 月～平成 12 年 5 月までの間」が 38.5%と最も高くなっている。



津波危険地区 (N=1, 051)



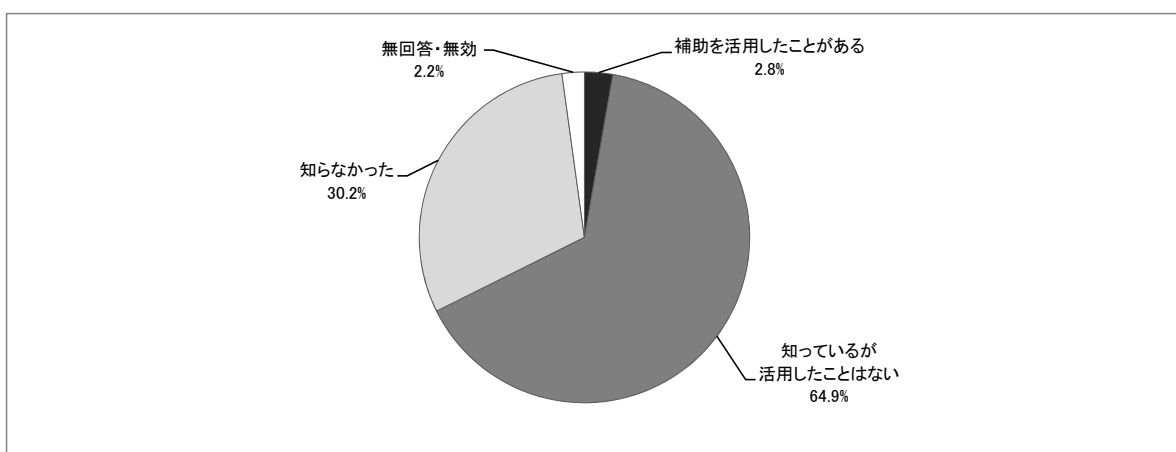
全県地区 (N=1, 022)

図 3.5-2 自宅の建築年

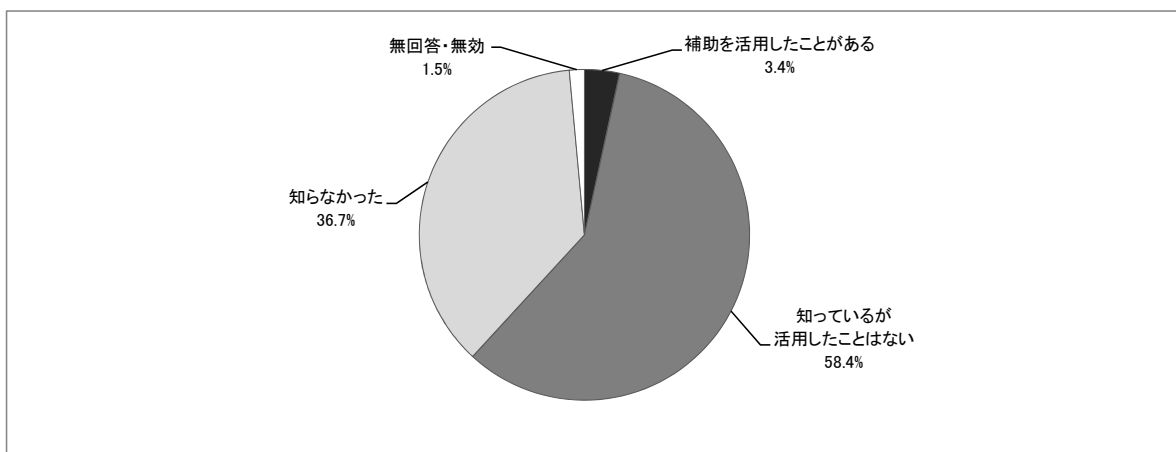
3.5.3 《新》 自宅の耐震化に補助が受けられることを知っているか

問 14 住宅の耐震化に補助が受けられることを知っていますか（ひとつだけ○）。

- ・自宅の耐震化に補助が受けられるか知っているかについて、「補助を活用したことがある」は津波危険地区で2.8%、全県地区で3.4%となっている。
「知っているが活用したことはない」は、津波危険地区で64.9%、全県地区で58.4%となっている。



津波危険地区 (N=1,051)



全県地区 (N=1,022)

図 3.5-3 自宅の耐震化に補助が受けられることを知っているか

- ・性別・年代別にみると、「知っている」と答えた人の割合は、男女ともに「50歳代」以上の人が高い結果となった。
- ・「男性」と「女性」の小計では大きな差はみられなかった。

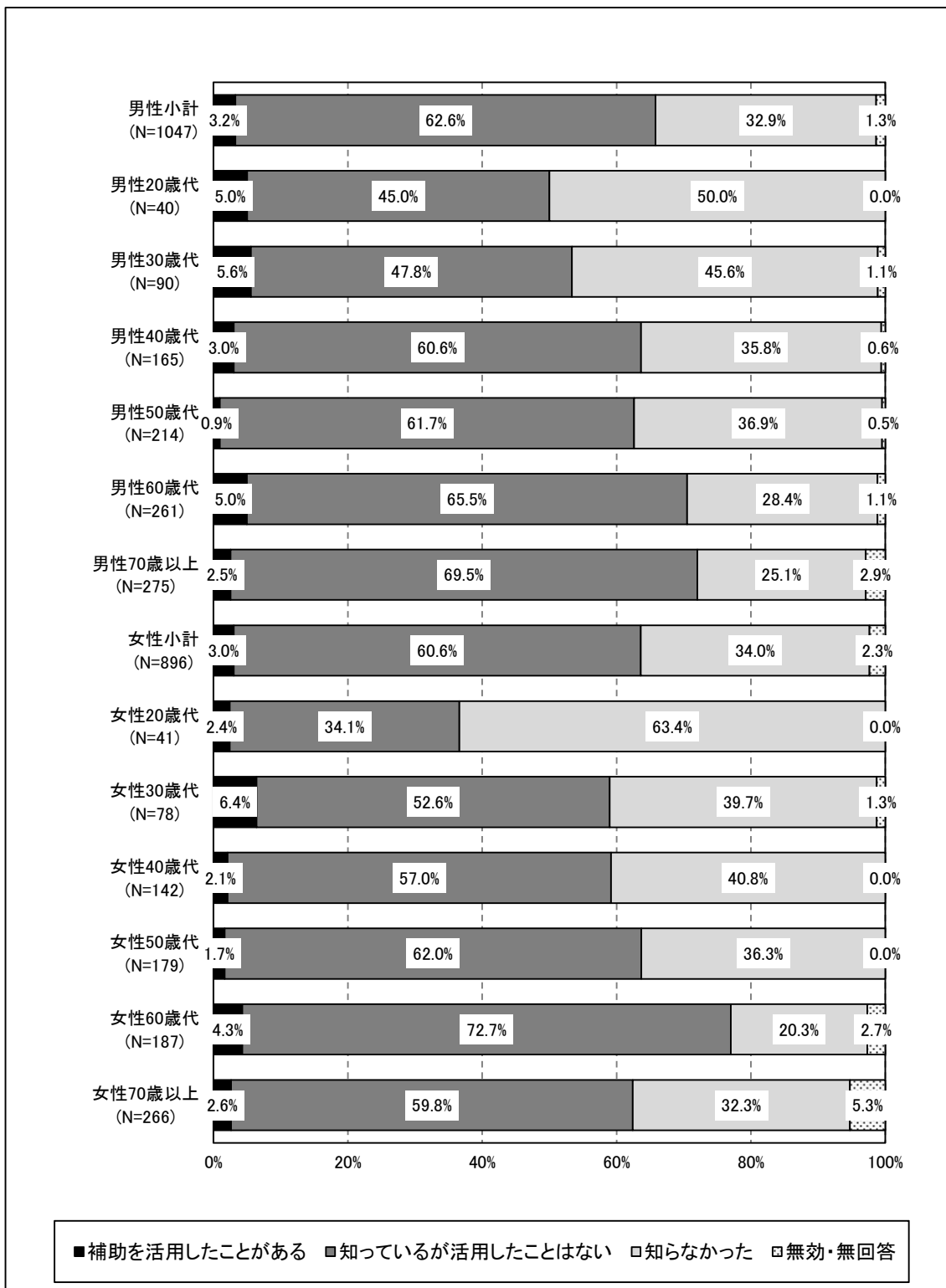
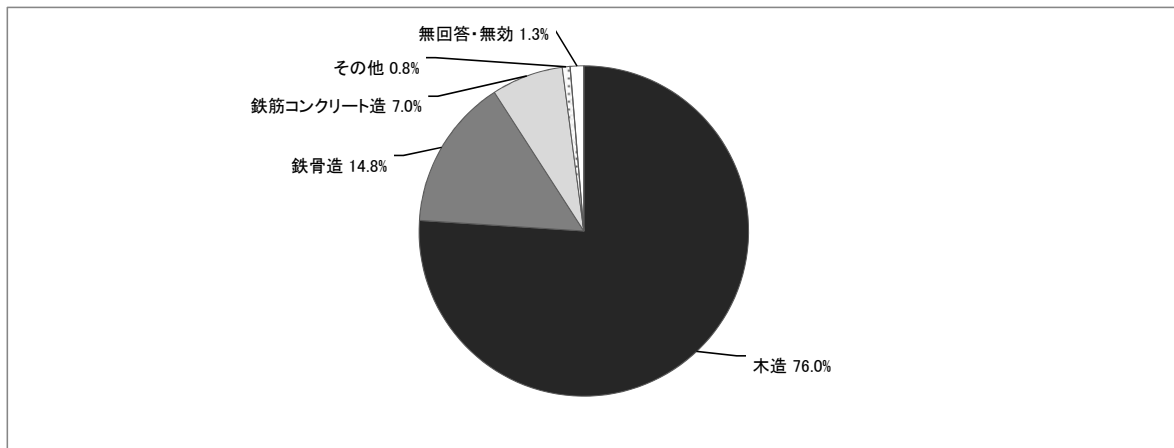


図 3.5-4 自宅の耐震化に補助が受けられることを知っているか
—性別・年代別比較（津波危険地区＋全県地区）—

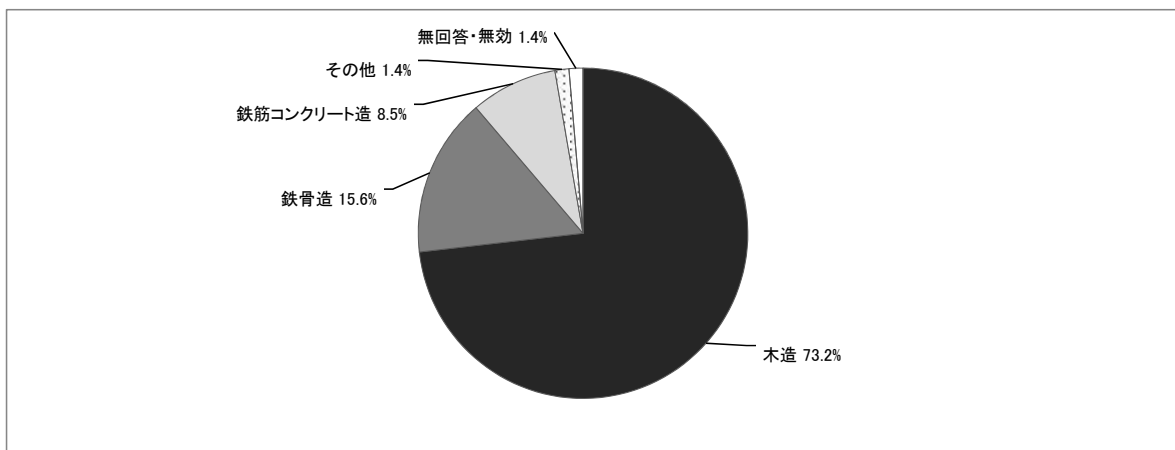
3.5.4 自宅の構造は（木造、鉄骨造等）何か

問 15 あなたがお住まいのご自宅の構造は、次のどれにあたりますか（ひとつだけ○）。

- 自宅の構造について、「木造」が津波危険地区(76.0%)、全県地区(73.2%)と最も高くなっている。



津波危険地区 (N=1, 051)



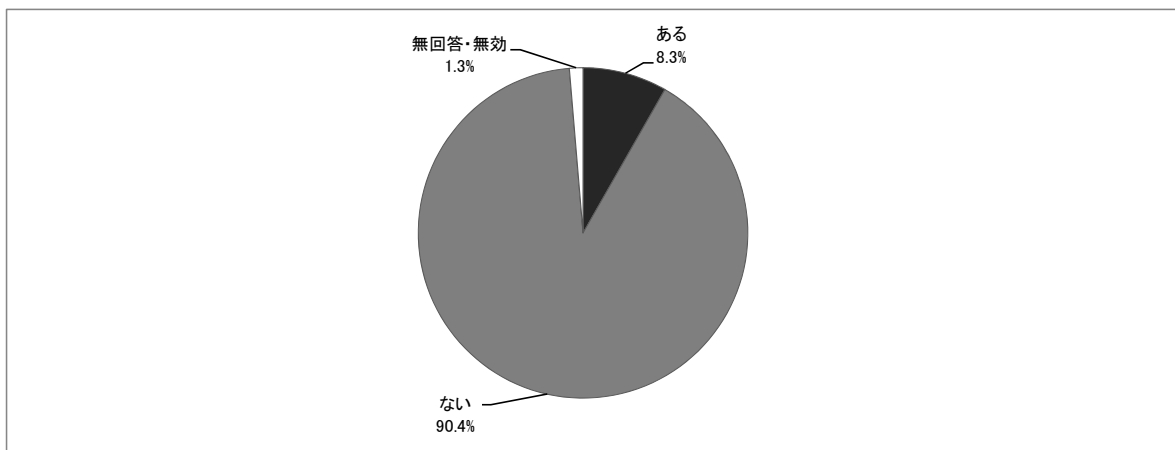
全県地区 (N=1, 022)

図 3.5-5 自宅の構造

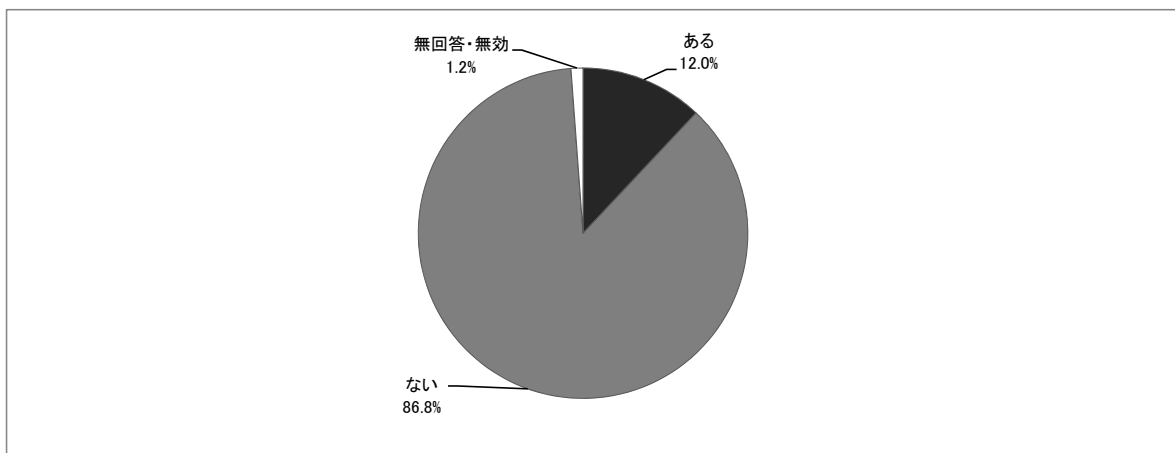
3.5.5 専門家による耐震診断を受けたことがあるか

問 16 ご自宅は、専門家による耐震診断(地震の揺れに対する建物の強さの診断)を受けたことがありますか (ひとつだけ○)。

- ・ 専門家による耐震診断を受けたことが「ある」割合は津波危険地区で 8.3%、全県地区で 12.0%となっている。



津波危険地区 (N=1, 051)



全県地区 (N=1, 022)

図 3.5-6 専門家による耐震診断を受けたことがあるか

・経年変化をみると、特に大きな変化はみられない。

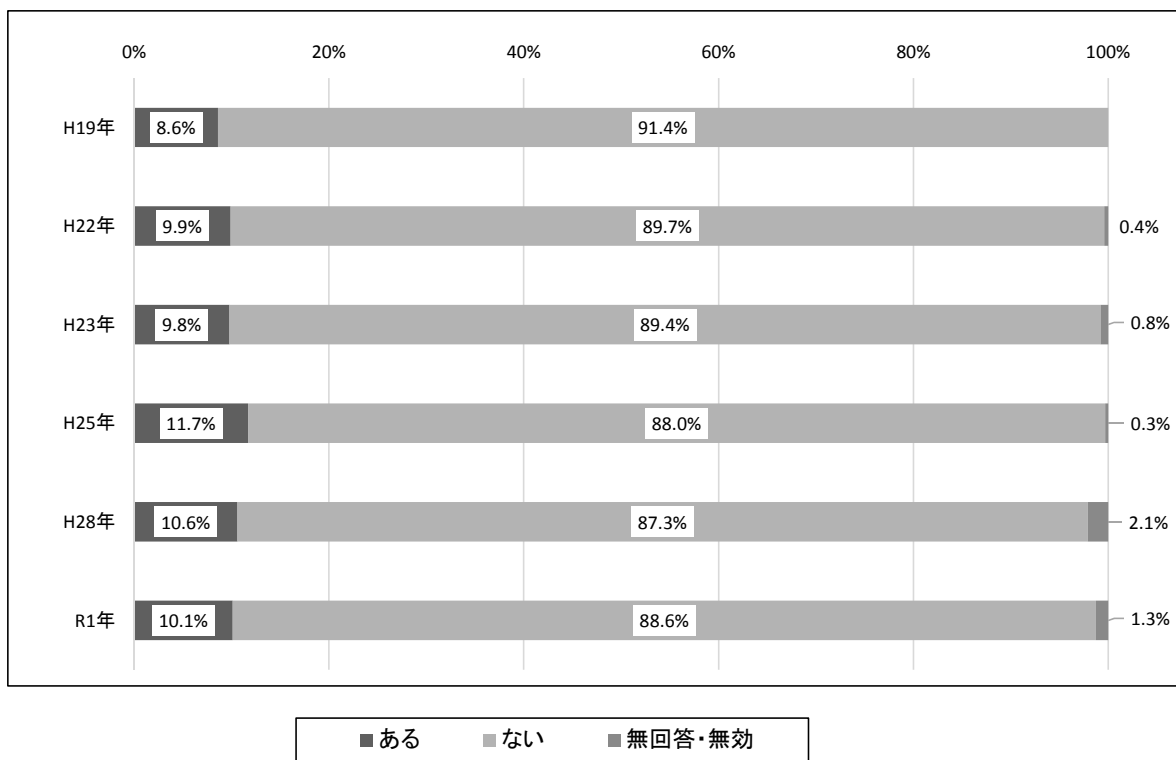


図 3.5-7 専門家による耐震診断を受けたことがあるか
—経年変化（津波危険地区＋全県地区）—

- ・要配慮者の有無別にみると、診断を受けたことが「ある」と答えた人の割合は、「要配慮者がいる」と答えた人の方が「要配慮者がいない」と答えた人より高い結果となった。

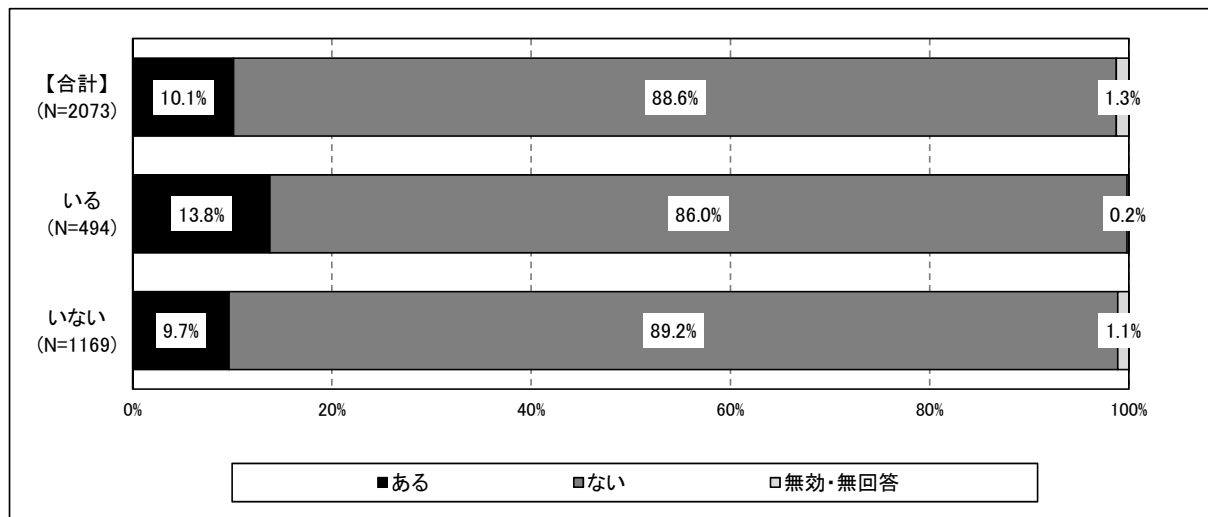


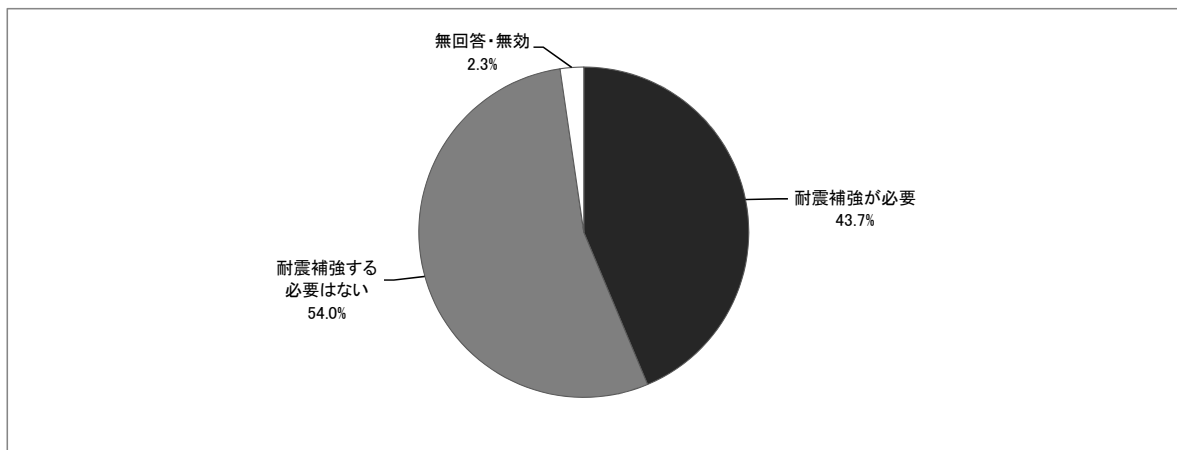
図 3.5-8 専門家による耐震診断を受けたことがあるか
—要配慮者の有無別比較（津波危険地区＋全県地区）—

3.5.6 耐震診断の結果はどうか

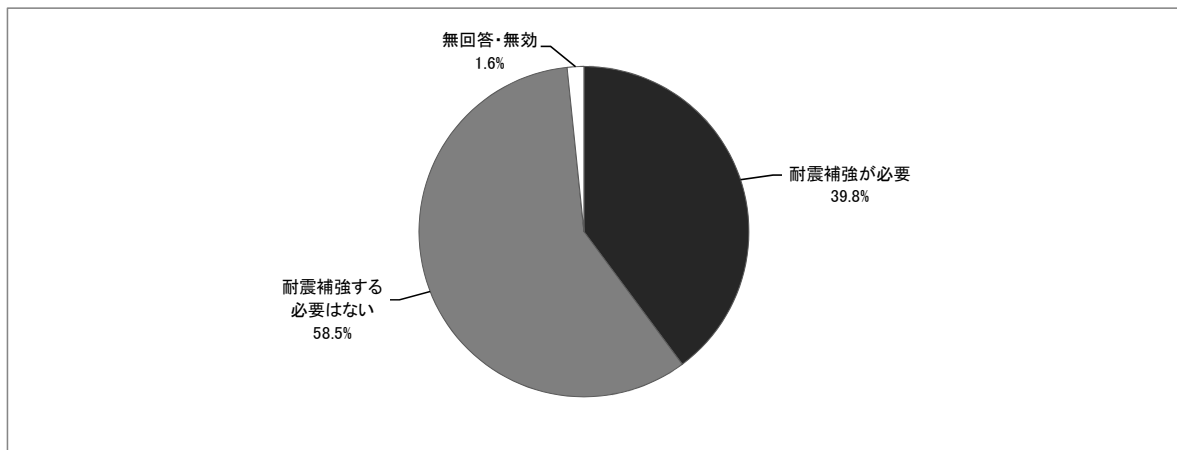
<問 16 で「ある」と回答された方にお聞きします。>

問 16-1 耐震診断をした結果はどうでしたか（ひとつだけ○）。

- 耐震診断の結果について、「耐震補強が必要」は津波危険地区で 43.7%、全県地区で 39.8%となっている。



津波危険地区 (N=87)



全県地区 (N=123)

図 3.5-9 耐震診断の結果はどうか

・経年変化をみると、「耐震補強が必要」(41.4%)は前回(平成28年)から増加している。

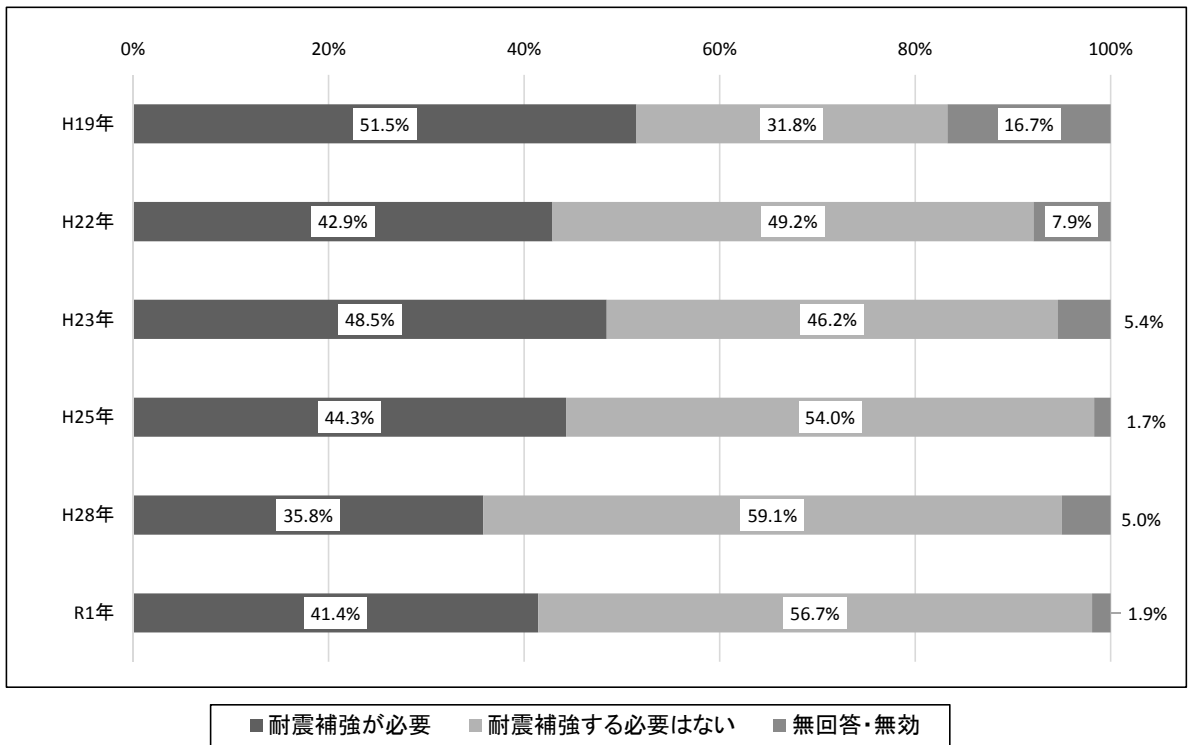


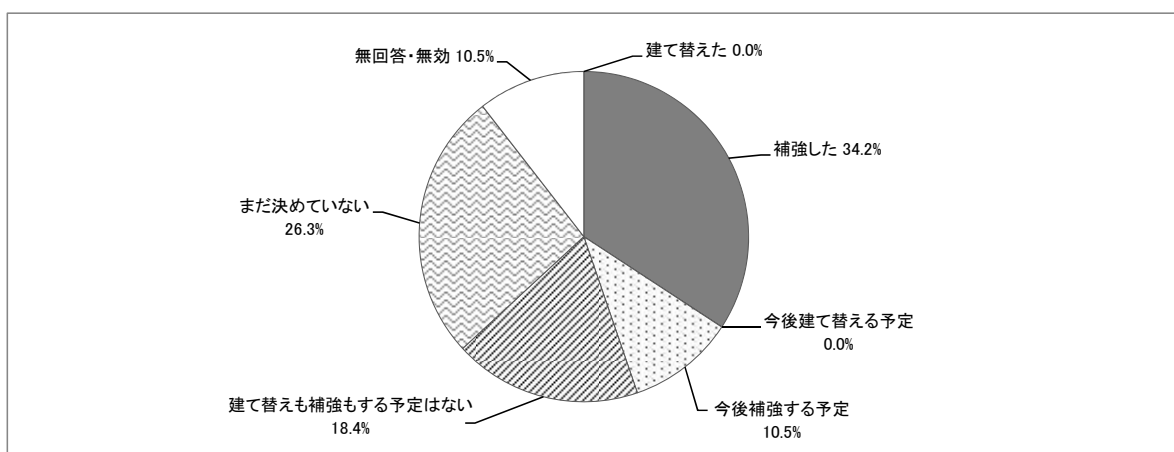
図 3.5-10 耐震診断の結果はどうか
—経年変化(津波危険地区+全県地区)—

3.5.7 耐震補強が必要と診断された後、補強等を行ったか

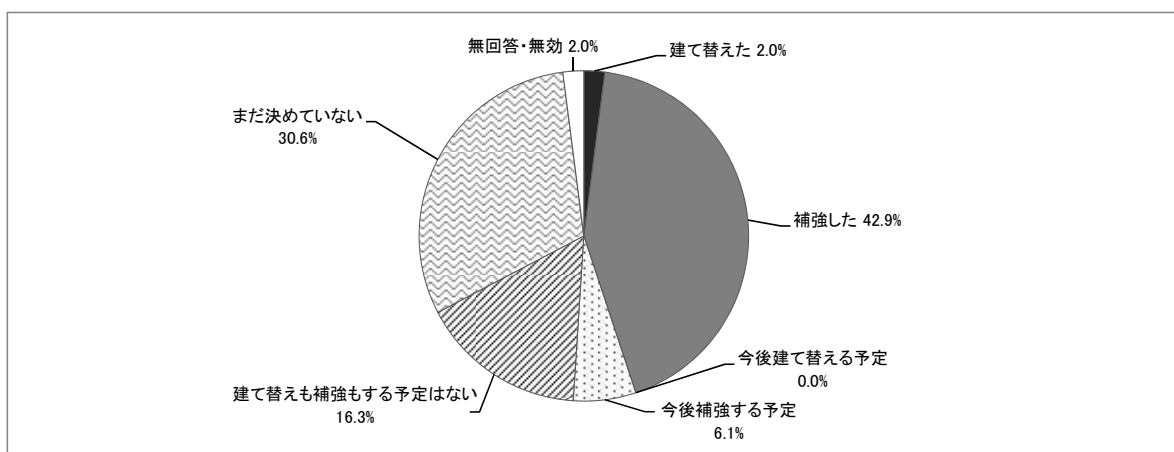
<問 16-1 で「耐震補強が必要」と回答された方にお聞きします。>

問 16-2 耐震補強が必要と診断された後、どう対応しましたか (ひとつだけ○)。

- ・耐震補強が必要と診断された後の対応について、津波危険地区では、「建て替えた」、「補強した」は合計で 34.2% となっている。
- ・全県地区では「建て替えた」「補強した」は合計で 44.9% となっている。



津波危険地区 (N=38)



全県地区 (N=49)

図 3.5-11 耐震補強が必要と診断された後、補強等を行ったか

・経年変化をみると、補強等を行った割合（「建て替えた」、「補強した」の合計）は40.2%であり、調査開始以来最も高くなっている。

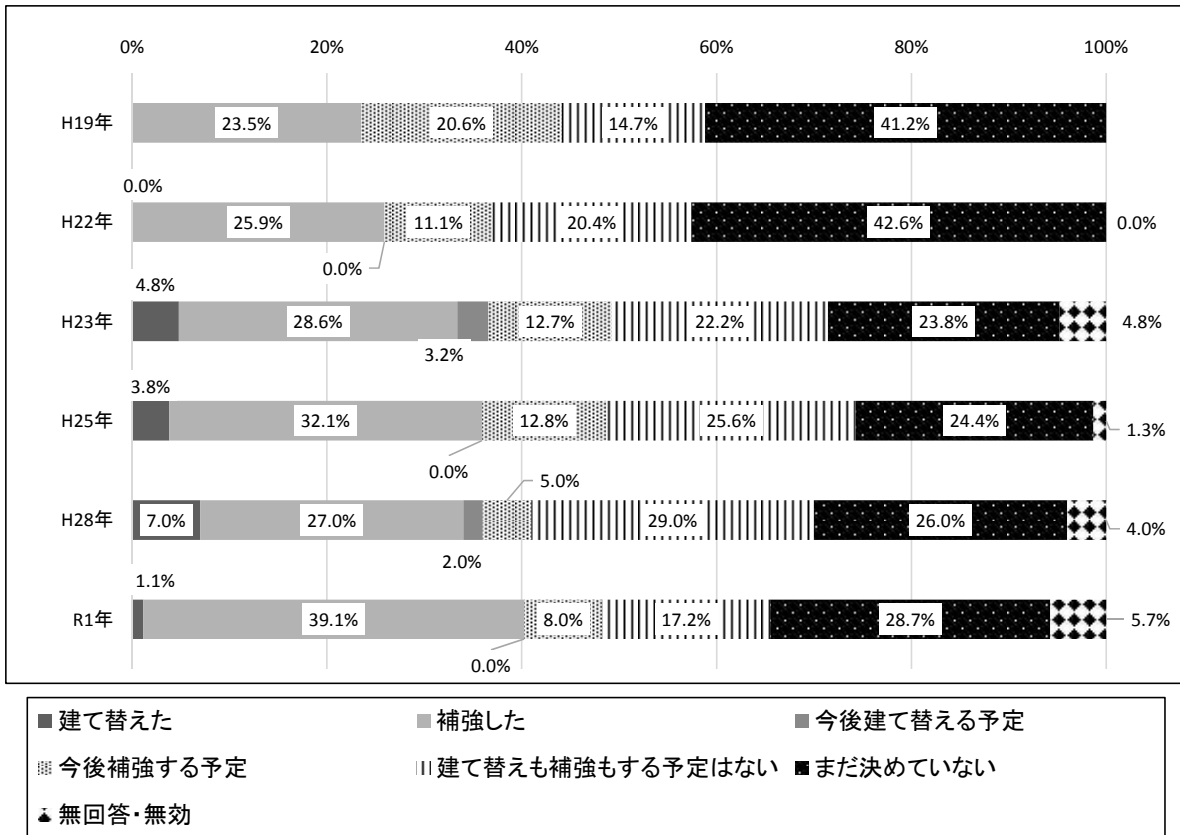


図 3.5-12 耐震補強が必要と診断された後、補強等を行ったか
—経年変化（津波危険地区+全県地区）—

3.5.8 耐震補強をすぐにしない理由は何か

<問 16-2 で「建て替えも補強もする予定はない」または「まだ決めていない」と回答された方にお聞きします。>

問 16-3 すぐに補強をしないのはなぜですか（いくつでも○）。

- ・耐震補強が必要と診断されても、すぐに補強をしない理由について、「費用がかかるから」が津波危険地区(94.1%)、全県地区(69.6%)とも最も高くなっている。
- ・次いで「補強しても、大地震からの被害は避けられないと思うから」が高くなっている。

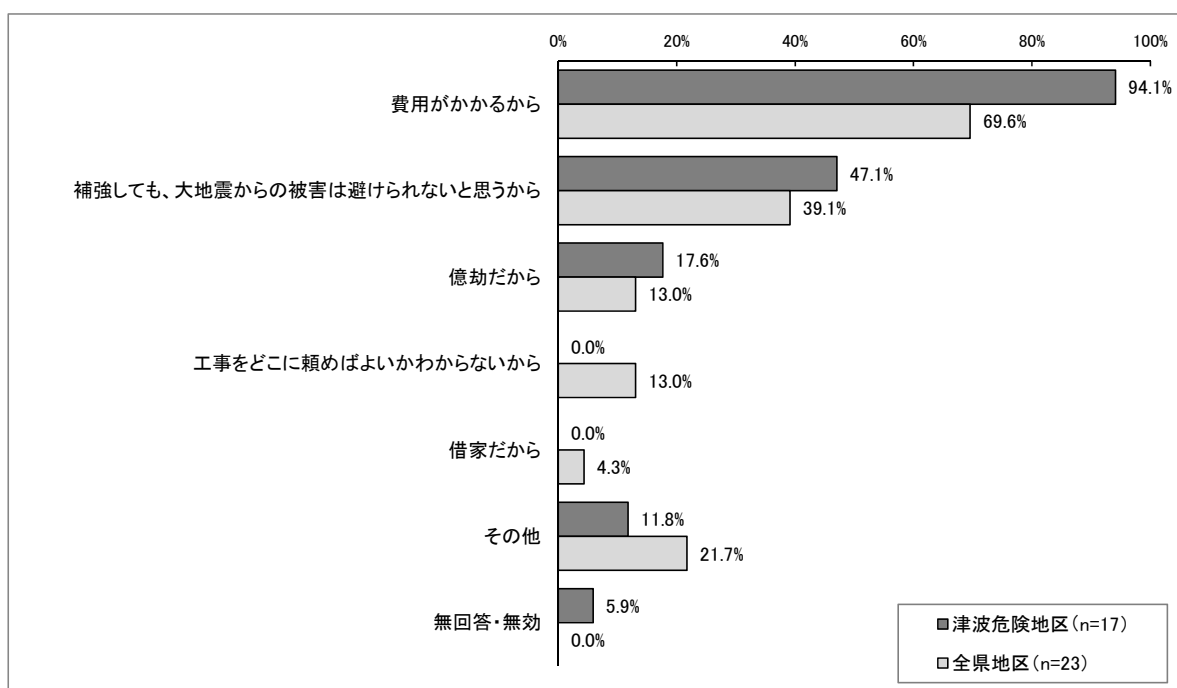


図 3.5-13 耐震補強をすぐにしない理由は何か

- ・経年変化をみると、「費用がかかるから」は 80.0%であり、調査開始以来最も高くなっている。

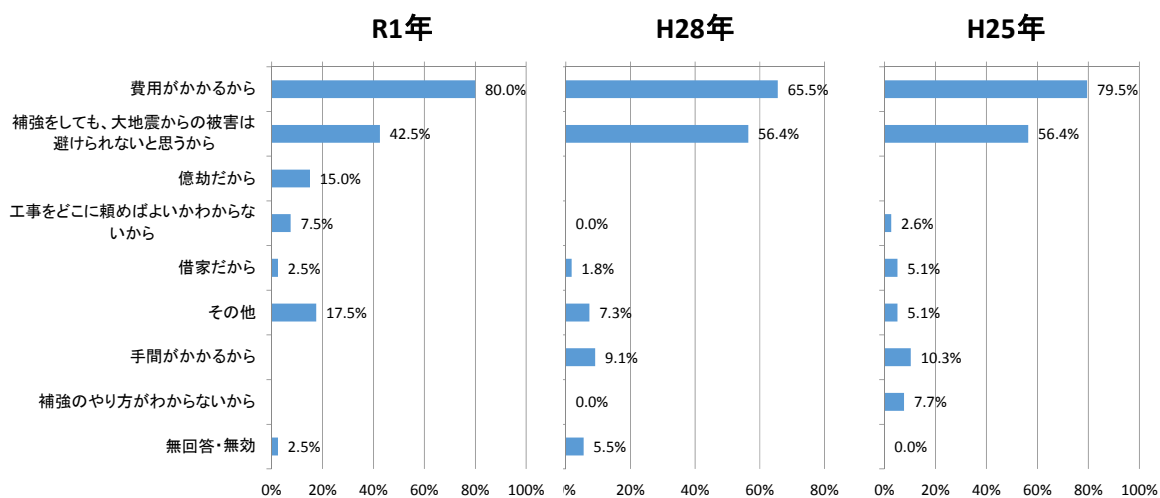


図 3.5-14 耐震補強をすぐにしない理由は何か
—経年変化（津波危険地区＋全県地区）—

3.5.9 耐震診断を受けない理由は何か

<問 16 で「ない」と回答された方にお聞きします。>

問 16-4 耐震診断を受けていないのは、どうしてですか (いくつでも○)。

- ・耐震診断を受けていない理由について、津波危険地区では「耐震診断の結果、耐震補強などが必要になっても費用が出せないから」(25.8%)が最も高く、次いで「どんなに耐震化しても災害にあえば被害は避けられないと思うから」(25.2%)が高くなっている。
- ・全県地区では「耐震診断の結果、耐震補強などが必要になっても費用が出せないから」(25.0%)が最も高く、次いで「どこに頼めばいいかわからないから」(22.8%)が高くなっている。

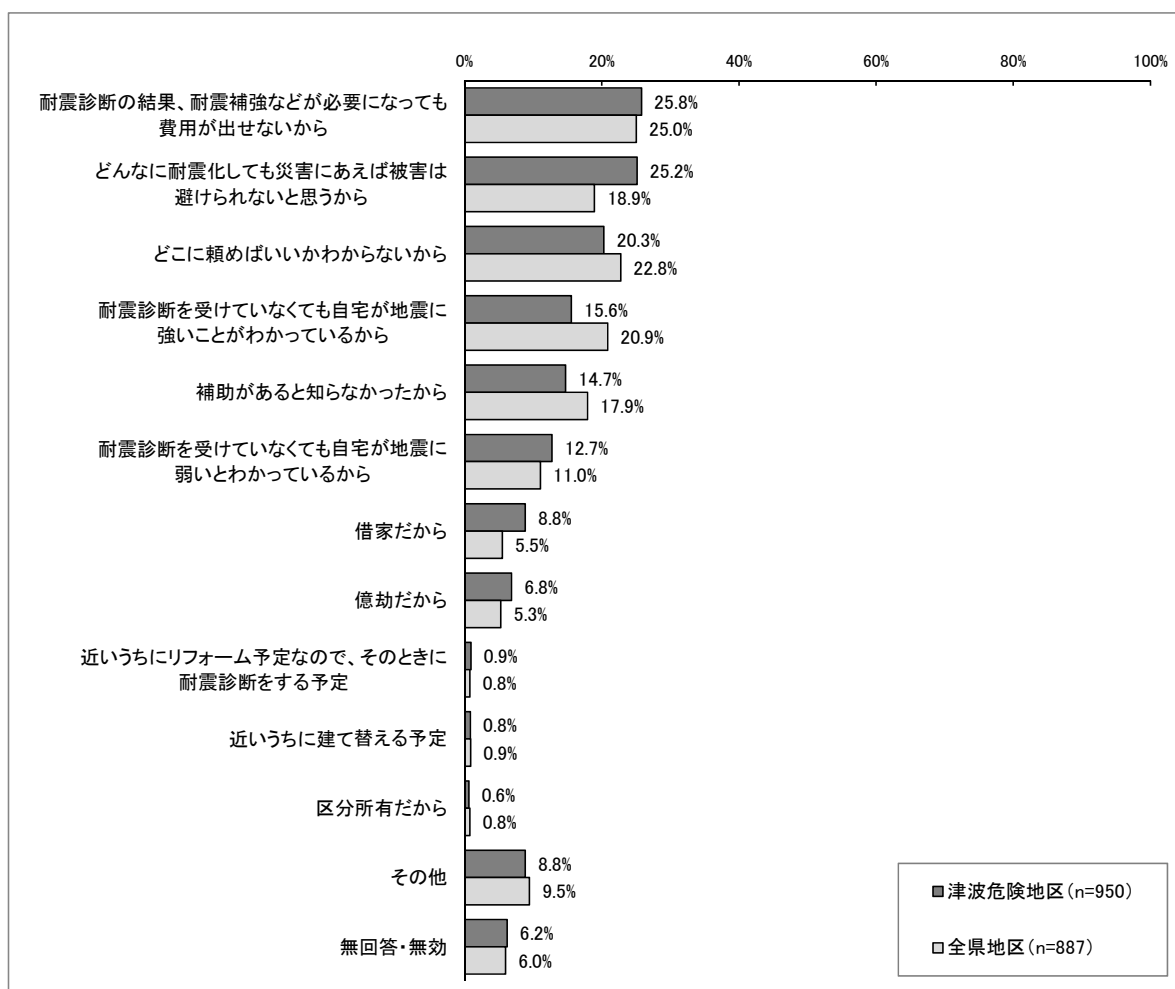
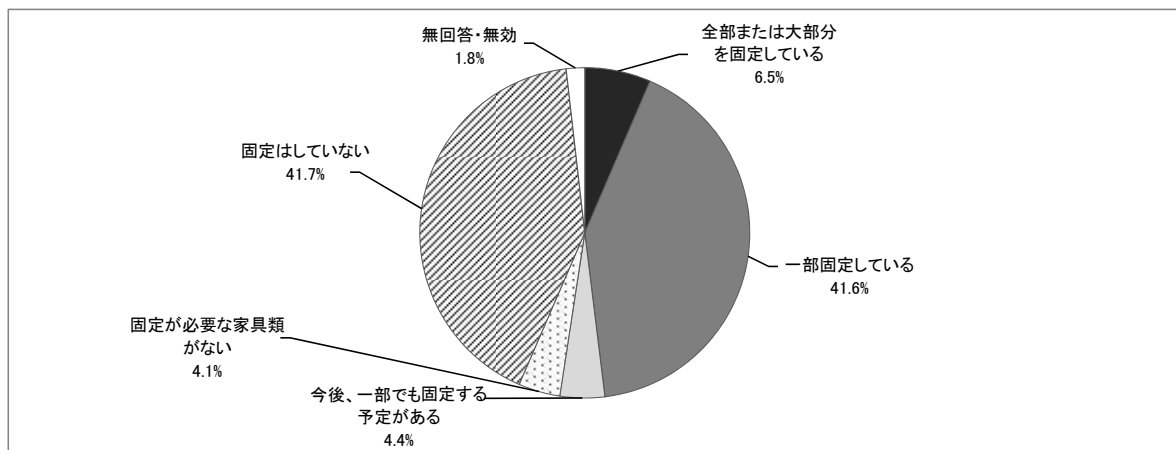


図 3.5-15 耐震診断を受けていない理由は何か

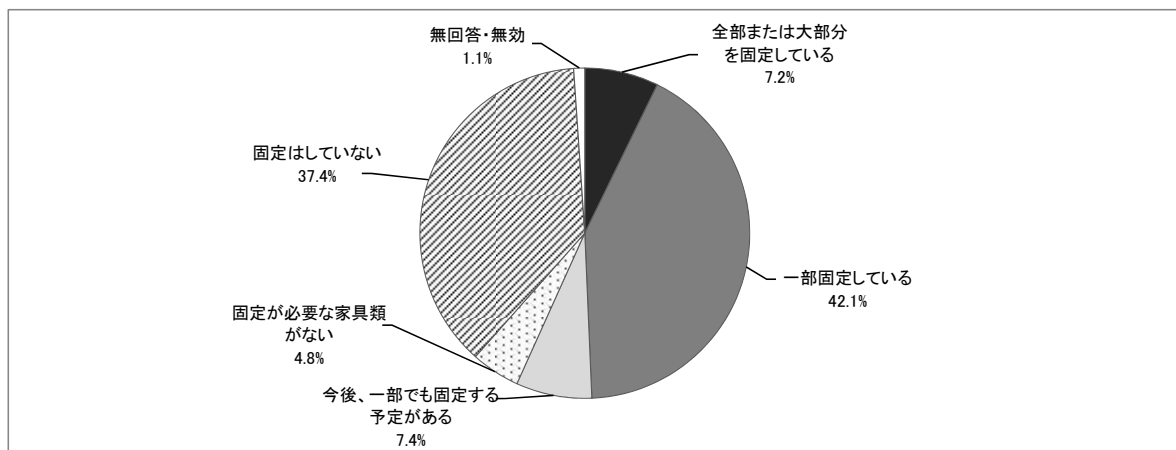
3.5.10 家具等の固定をしているか

問 17 あなたのお宅では家具等の固定をしていますか（ひとつだけ○）。

- ・家具等の固定をしている割合（「全部または大部分を固定している」、「一部固定している」、「固定が必要な家具類がない」の合計）は津波危険地区で52.2%、全県地区で54.1%となっている。



津波危険地区 (N=1, 051)



全県地区 (N=1, 022)

図 3.5-16 家具等の固定をしているか

・経年変化をみると、家具等を固定している割合は 53.0%であり、平成 23 年以降、増加している。

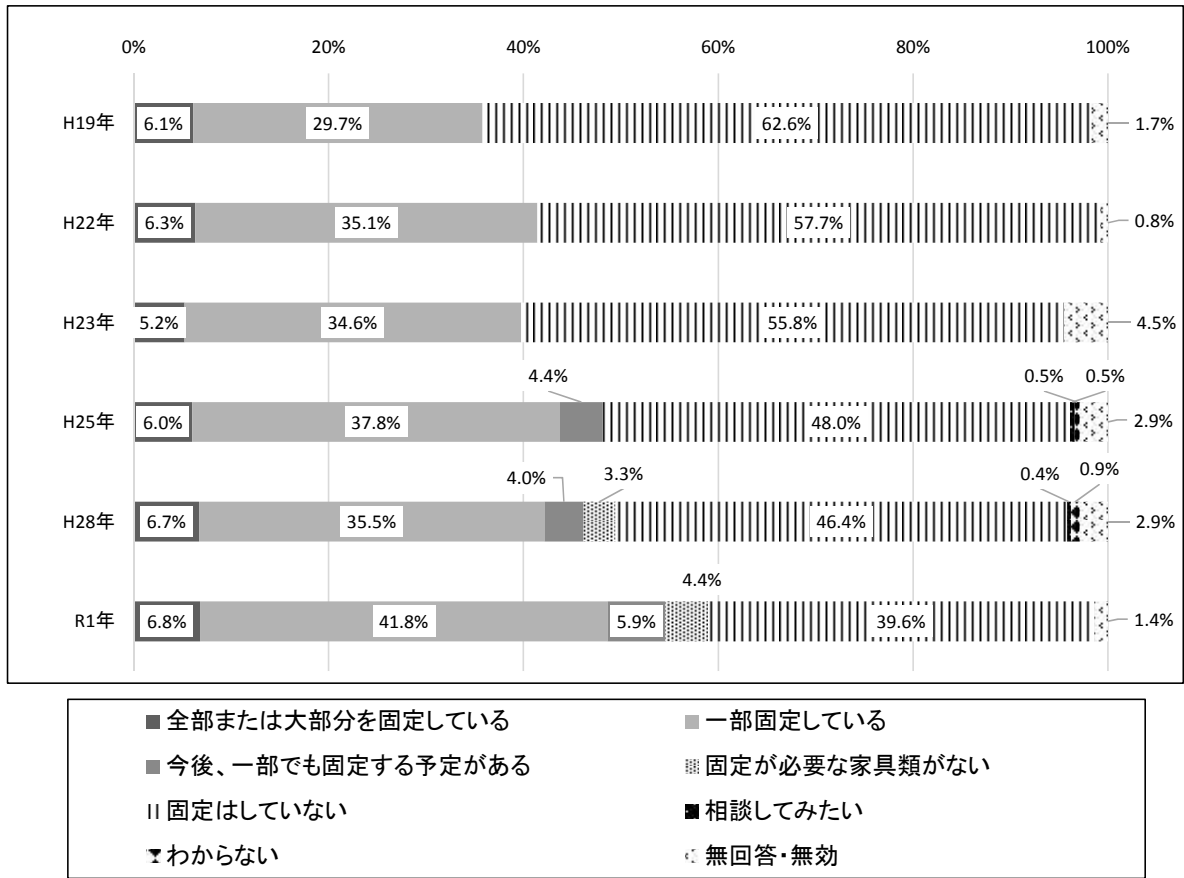


図 3.5-17 家具等の固定をしているか ―経年変化（津波危険地区＋全県地区）―

3.5.11 家具等の固定をしていないのはなぜか

<問 17 で「固定はしていない」と回答された方にお聞きします。>

問 17-1 家具等の固定をしていないのはどのような理由からですか（いくつでも○）。

- ・家具等を固定していない理由について、津波危険地区では「固定しても被害は出ると思うから」（27.4%）、全県地区では「手間がかかるから」（34.8%）が最も高くなっている。

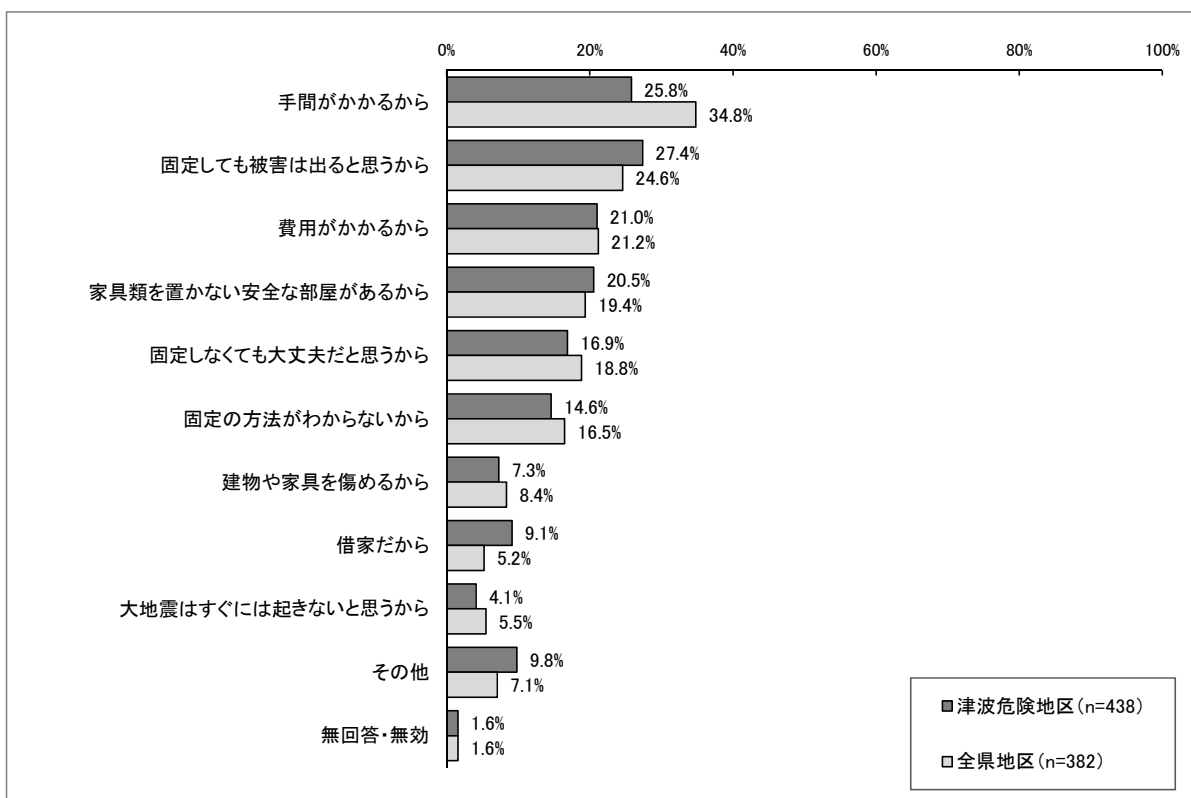


図 3.5-18 家具等を固定していない理由は何か

・経年変化をみると、「手間がかかるから」(30.0%)、「固定しても被害は出ると思うから」(26.1%)は、前回(平成28年)から増加している。一方、「借家だから」(7.3%)は、前回の12.2%から減少している。

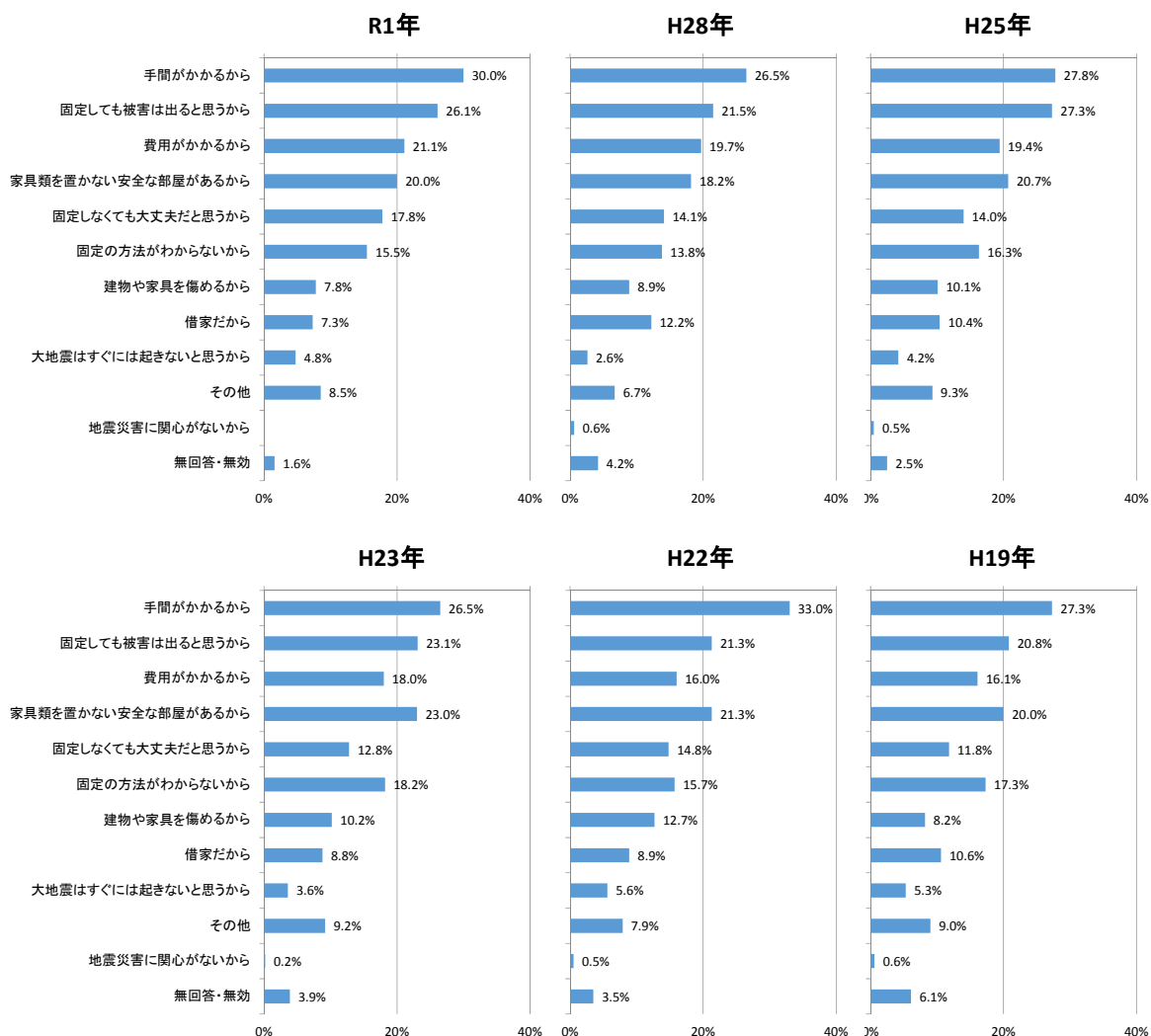


図 3.5-19 家具等を固定していない理由は何か
—経年変化(津波危険地区+全県地区)—

- ・要配慮者の有無別にみると、「要配慮者がいる」と答えた人では「固定の方法がわからない」「費用がかかるから」「手間がかかるから」と回答した割合が「要配慮者がいない」と答えた人よりも高い。

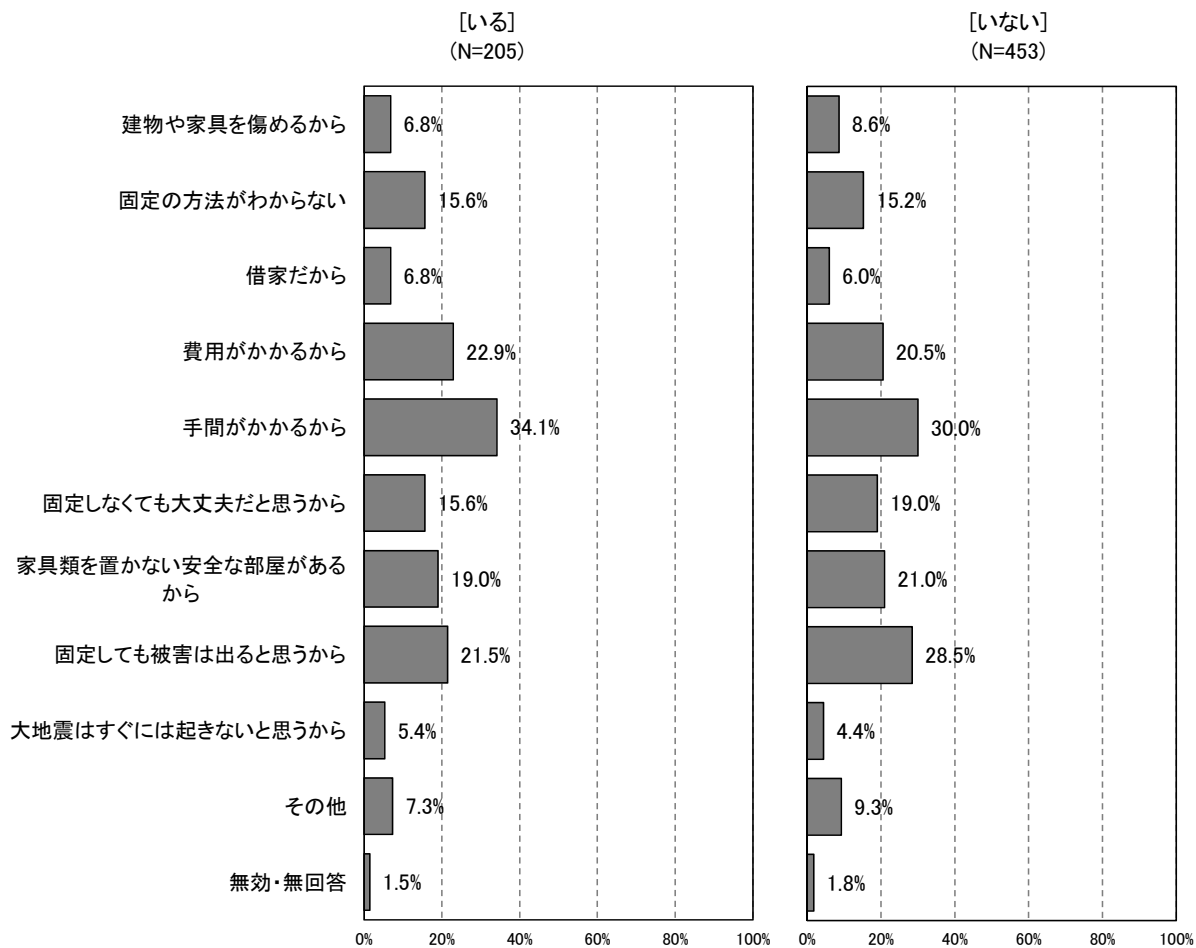
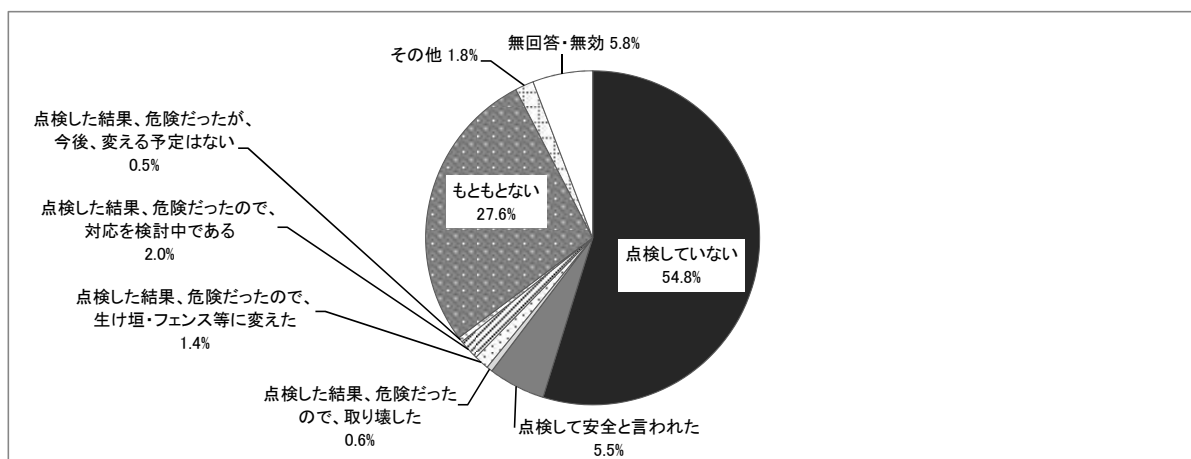


図 3.5-20 家具等を固定していない理由は何か
 —要配慮者の有無別比較（津波危険地区＋全県地区）—

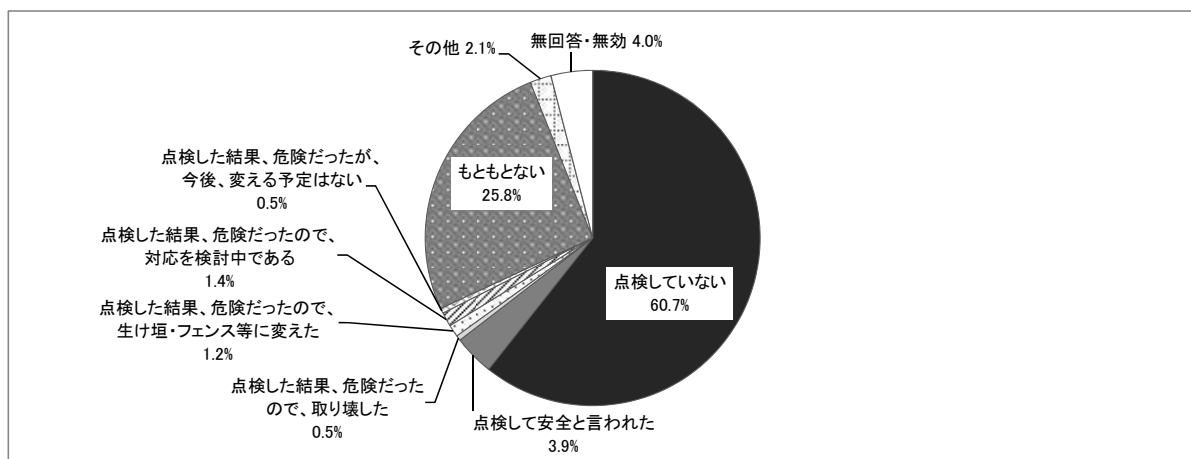
3.5.12 ブロック塀や石塀、門柱などの安全性を点検し、どのような対応したか

問 18 ご自宅のブロック塀や石塀、門柱などについて、地震が発生した場合に安全かどうか点検したことはありますか。また、点検した結果、どのような対応をしましたか（ひとつだけ○）。

- ・自宅のブロック塀や石塀、門柱など地震時の安全性を点検し、どのような対応をしたかについて、点検をして安全だった、または点検後に何らかの対応をした割合（「点検して安全と言われた」「点検した結果、危険だったので、取り壊した」「点検した結果、危険だったので、生け垣・フェンス等に変えた」の合計）は、津波危険地区で7.5%、全県地区で5.6%となっている。
- ・「点検していない」の割合は、津波危険地区で54.8%、全県地区で60.7%となっている。



津波危険地区 (N=1, 051)



全県地区 (N=1, 022)

図 3.5-21 ブロック塀や石塀、門柱などの安全性を点検し、どのような対応をしたか

・経年変化をみると、「点検していない」(57.7%)の割合は、これまでの調査で最も低い。

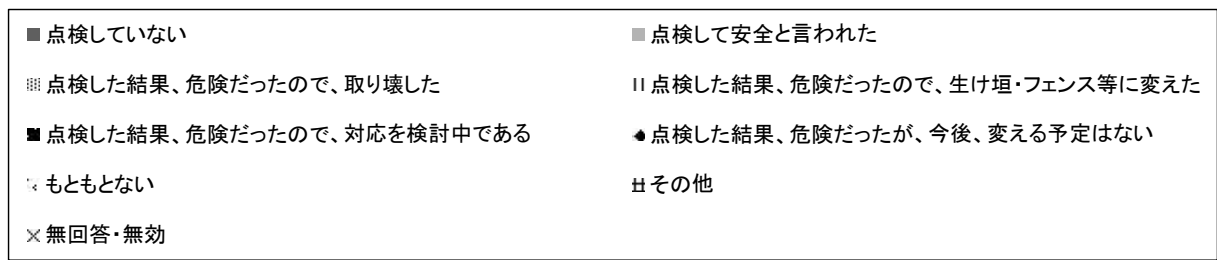
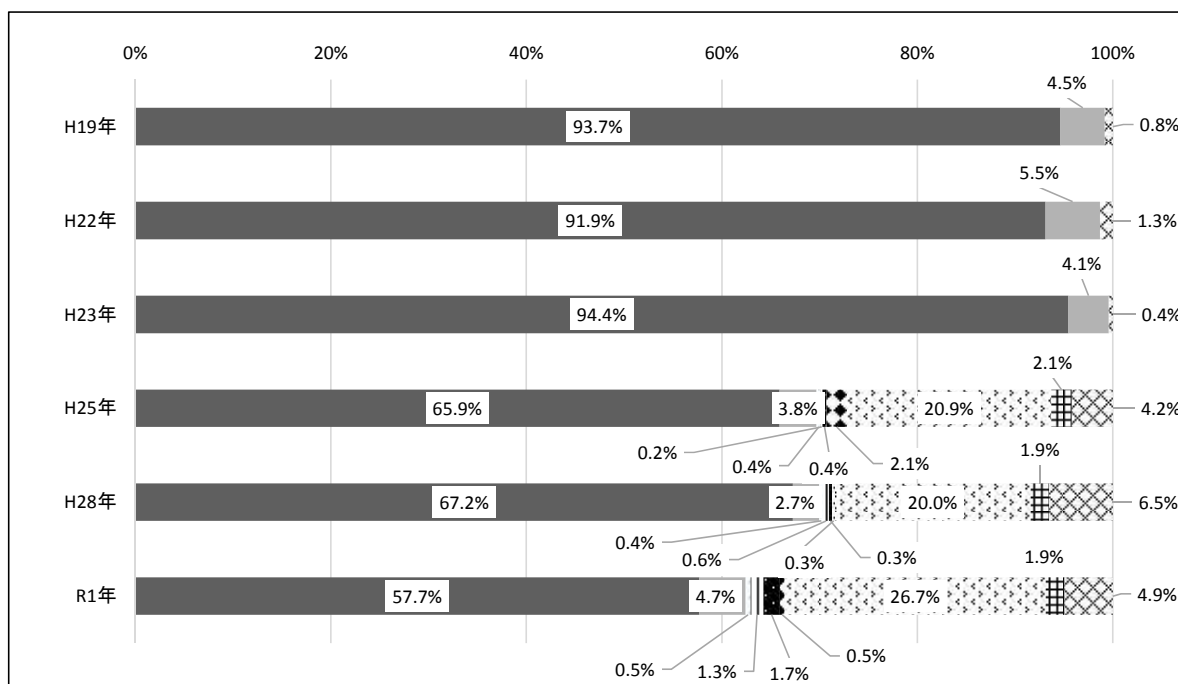


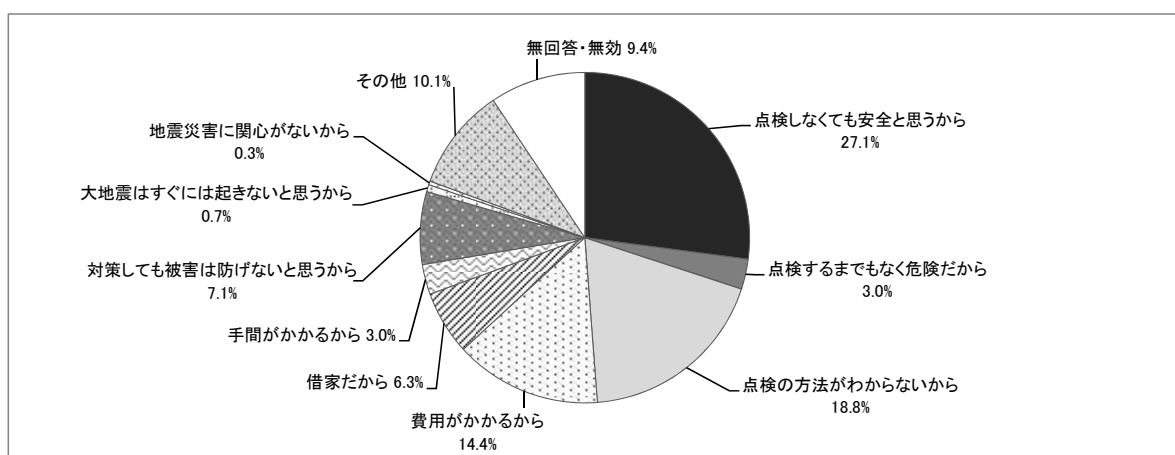
図 3.5-22 ブロック塀や石塀、門柱などの安全性を点検し、どのような対応をしたか
—経年変化（津波危険地区+全県地区）—

3.5.13 点検していないのはなぜか

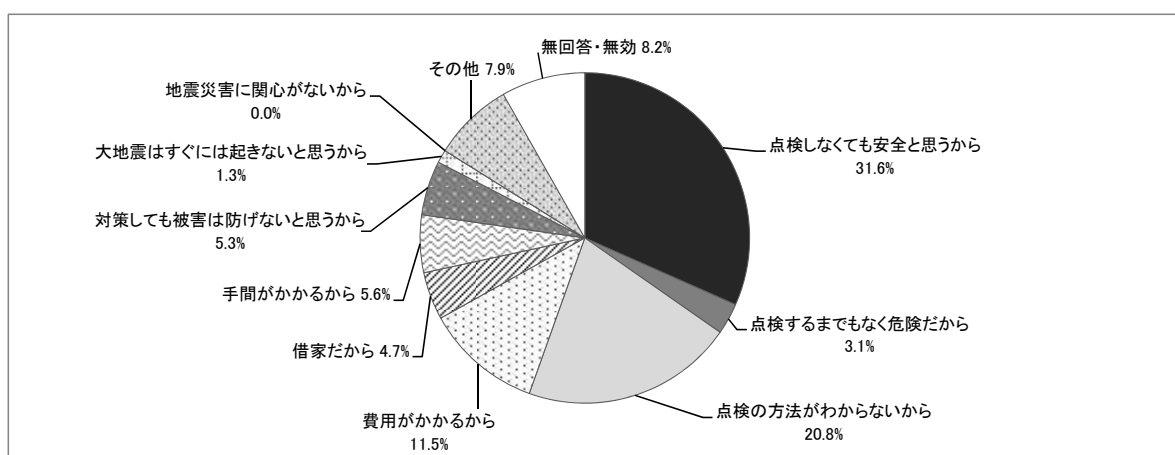
<問 18 で「点検していない」と回答された方にお聞きします。>

問 18-1 点検していない主な理由は何ですか（ひとつだけ○）。

- ・ 自宅のブロック塀や石塀、門柱などの安全性の点検をしていない理由について、「点検しなくても安全と思うから」が津波危険地区(27.1%)、全県地区(31.6%)とも最も高くなっている。
- ・ 次いで津波危険地区、全県地区とも「点検の方法がわからないから」、「費用がかかるから」が高くなっている。



津波危険地区 (N=576)



全県地区 (N=620)

図 3.5-23 (ブロック塀や石塀、門柱などを) 点検していない理由は何か

- ・経年変化をみると、「点検しなくとも安全と思うから」(29.4%)は、調査開始以降最も高くなっている。
- ・また、「点検するまでもなく危険だから」(3.0%)は、調査開始以降最も低くなっている。

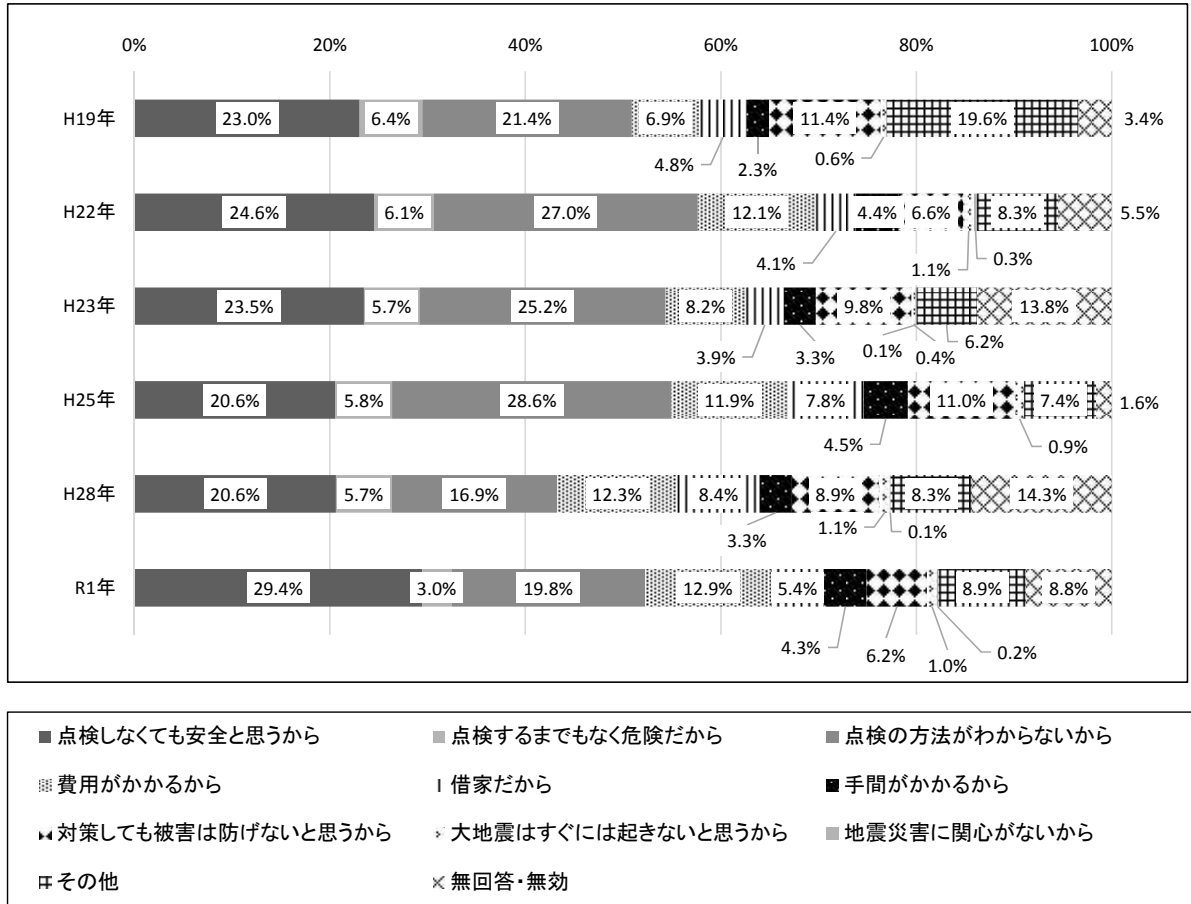


図 3.5-24 (ブロック塀や石塀、門柱などを) 点検していない理由は何か
—経年変化(津波危険地区+全県地区)—

3.5.14 すぐに対応しない理由は何か

＜問 18 で「点検した結果、危険だったので、対応を検討中である」または「点検した結果、危険だったが、今後、変える予定はない」と回答された方にお聞きします。＞

問 18-2 すぐに対応しないのはなぜですか（いくつでも○）。

- ・ 自宅のブロック塀や石塀、門柱などが危険でもすぐに対応しない理由について、津波危険地区では「費用がかかるから」（50.0%）が最も高く、次いで「手間がかかるから」（26.9%）が高くなっている。
- ・ 全県地区では「費用がかかるから」（57.9%）が最も高く、次いで「補強しても、大地震からの被害は避けられないと思うから」（15.8%）が高くなっている。

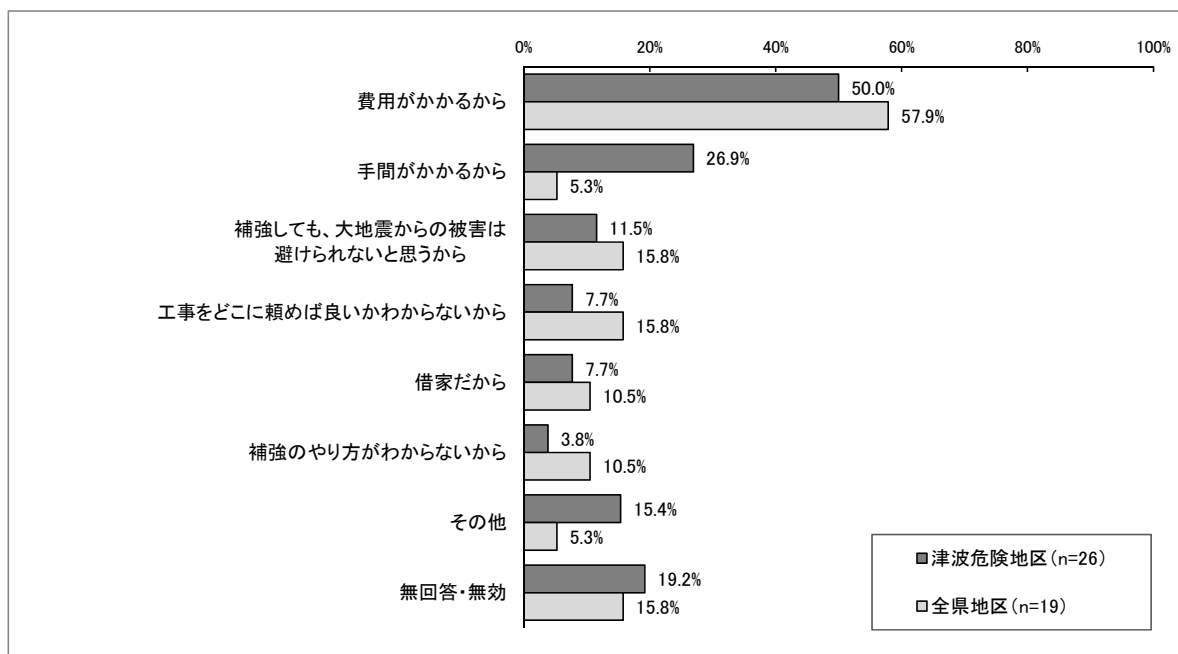


図 3.5-25 （自宅のブロック塀や石塀、門柱などが危険でも）すぐに対応しない理由は何か

- ・経年変化をみると、「手間がかかるから」(17.8%)は、調査開始以降最も低くなっている。
- ・一方、「費用がかかるから」(53.3%)は、調査開始以降最も高くなっている。

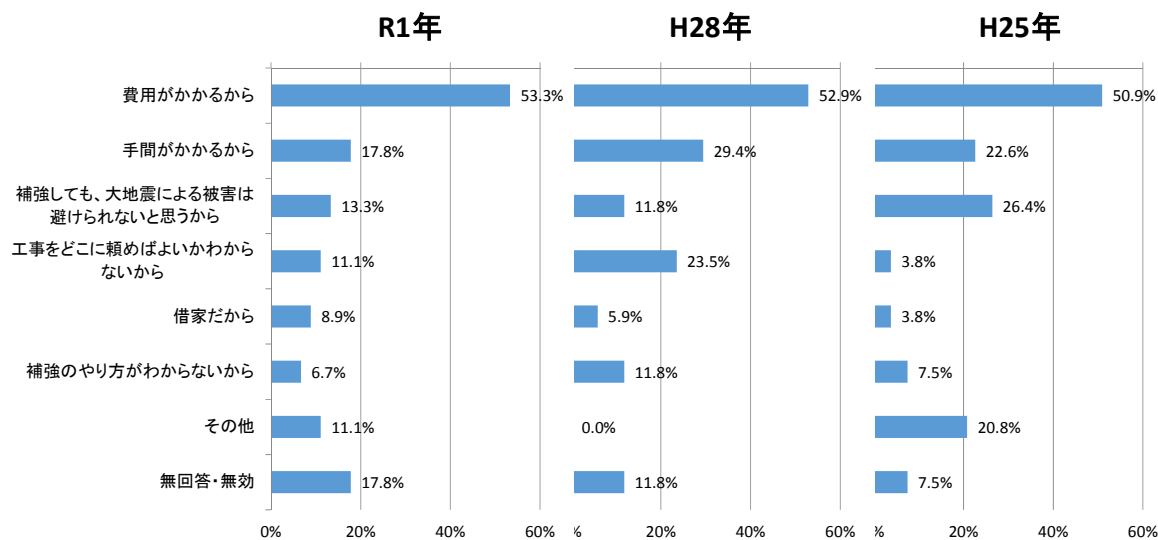


図 3.5-26 (自宅のブロック塀や石塀、門柱などが危険でも) すぐに対応しない理由は何か
—経年変化 (津波危険地区+全県地区) —

3.6. 日頃の防災対策について

3.6.1 どのような地震防災対策を行っているか

問 19 日頃からどのような地震防災対策を行っていますか (いくつでも○)。

- ・日頃から行っている地震防災対策について、「停電時への備えをしている」が津波危険地区(67.2%)、全県地区(66.2%)とも最も高くなっている。
- ・次いで、津波危険地区では「非常持ち出し品を用意している」(65.7%)、全県地区では「懐中電灯や携帯ラジオなどを置く場所を決めている」(62.5%)が高くなっている。
- ・「感震ブレーカーを設置している」は津波危険地区で3.9%、全県地区で5.0%となっている。

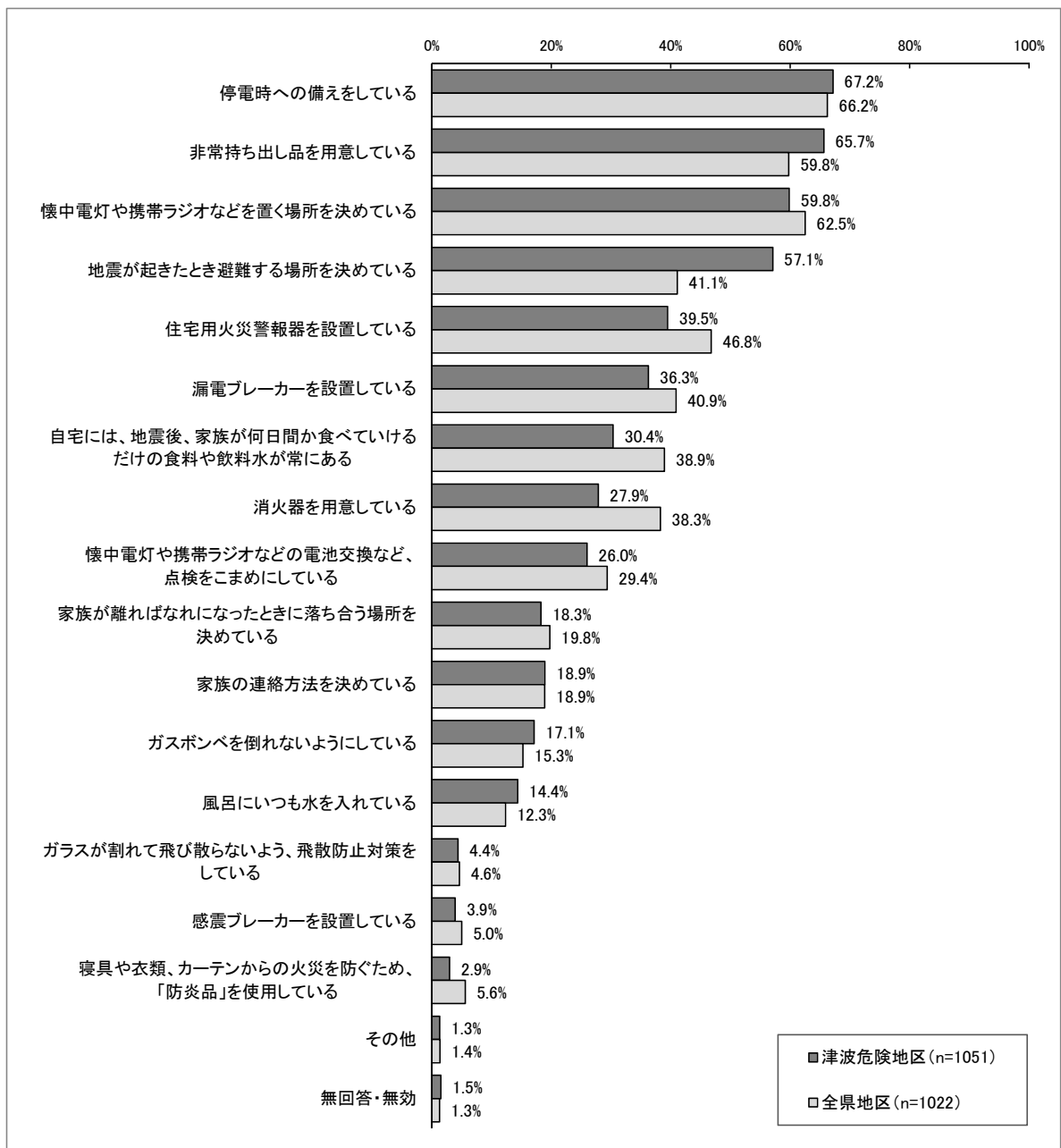


図 3.6-1 どのような地震防災対策を行っているか

・経年変化をみると、「非常持ち出し品を用意している」(62.8%)、「懐中電灯や携帯ラジオなどを置く場所を決めている」(61.2%)が増加しており、「地震が起きたとき避難する場所を決めている」(49.2%)が減少している。

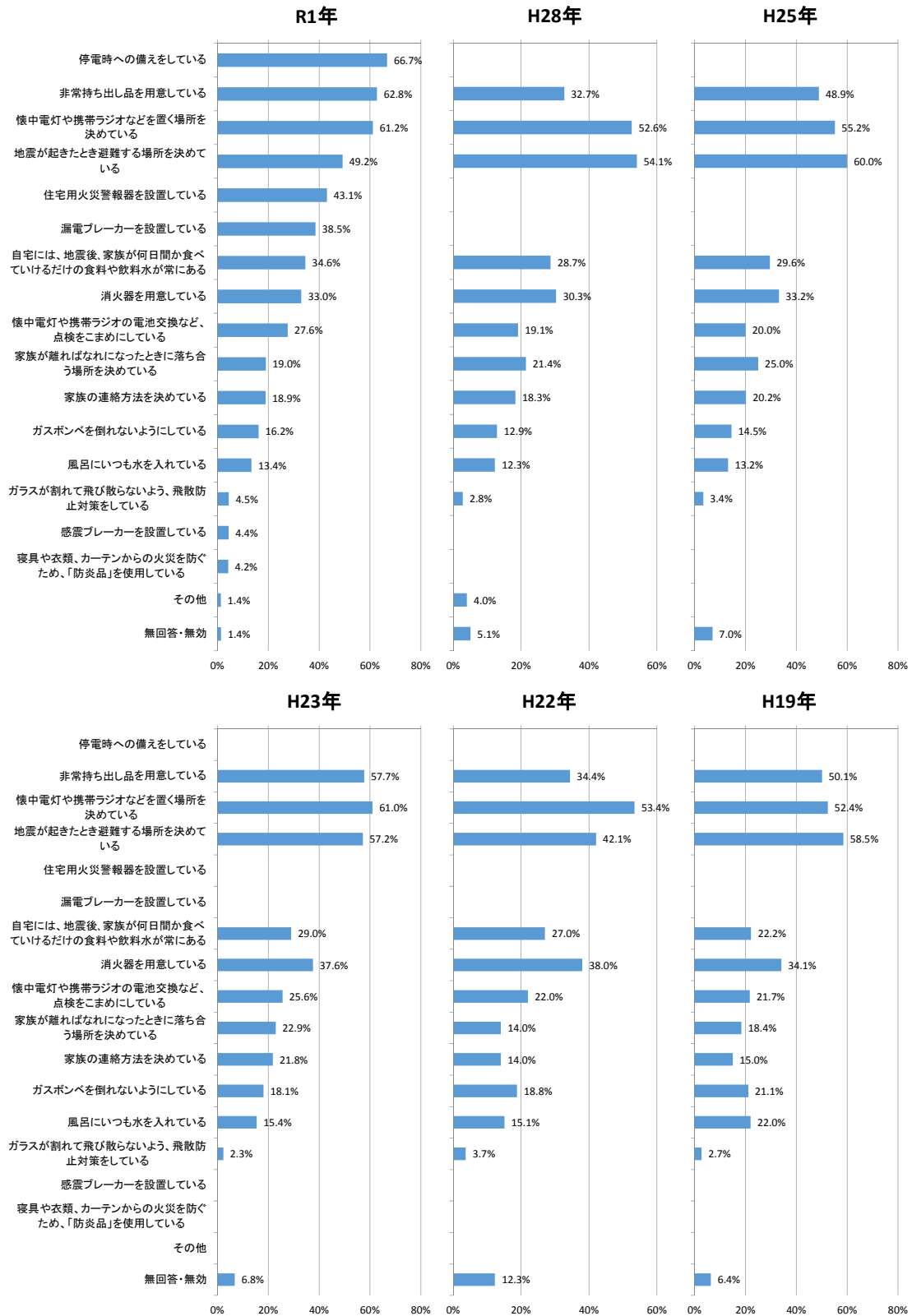


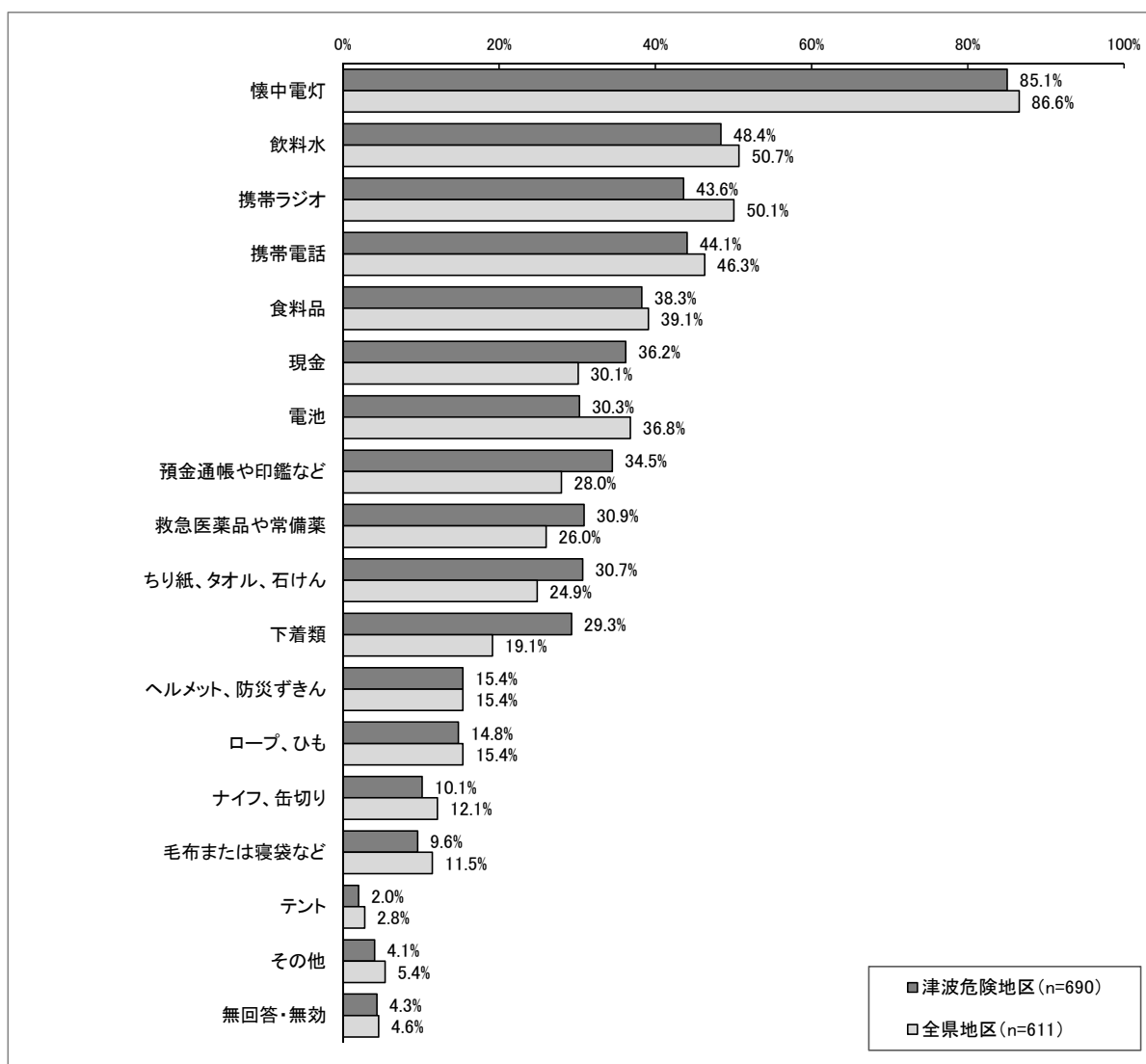
図 3.6-2 どのような地震防災対策を行っているか
—経年変化（津波危険地区+全県地区）—

3.6.2 非常持ち出し品として、まとめて置いてあるものは何か

<問 19 で「非常持ち出し品を用意している」と回答された方にお聞きします。>

問 19-1 非常持ち出し品として、すぐ持ち出せるよう、まとめて置いてあるものに ○をつけてください (いくつでも○)。

- ・非常持ち出し品として置いてあるものは、津波危険地区、全県地区とも「懐中電灯」が最も高く、85%を上回っている。
- ・また、津波危険地区、全県地区とも「飲料水」、「携帯ラジオ」、「携帯電話」が高く、回答割合の上位に入っている。



3.6-3 非常持ち出し品として、まとめて置いてあるものは何か

・経年変化をみると、多くの項目で前回（平成28年度）から減少している。

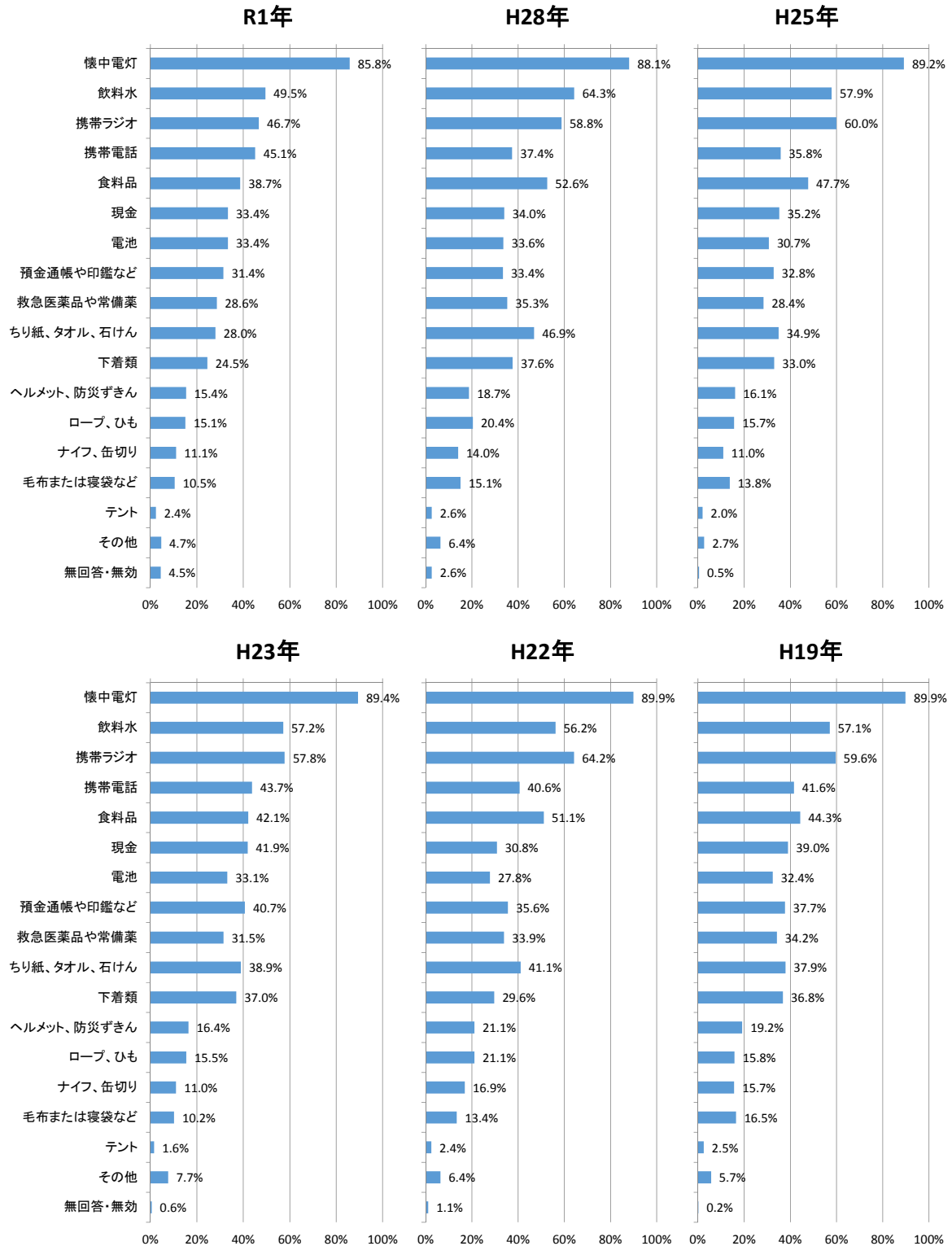


図 3.6-4 非常持ち出し品として、まとめて置いてあるものは何か
— 経年変化（津波危険地区＋全県地区） —

3.6.3 《新》 停電時の備えとして、用意しているものは何か

<問 19 で「停電時の備えをしている」と回答された方にお聞きします。>

問 19-2 停電時の備えとして、用意しているものに○をつけてください（いくつでも○）。

- ・ 停電時の備えとして用意してあるものは、津波危険地区、全県地区とも「懐中電灯」が最も高く、90%を上回っている。
- ・ 次いで「電池」、「水」、「携帯ラジオ」が高い。

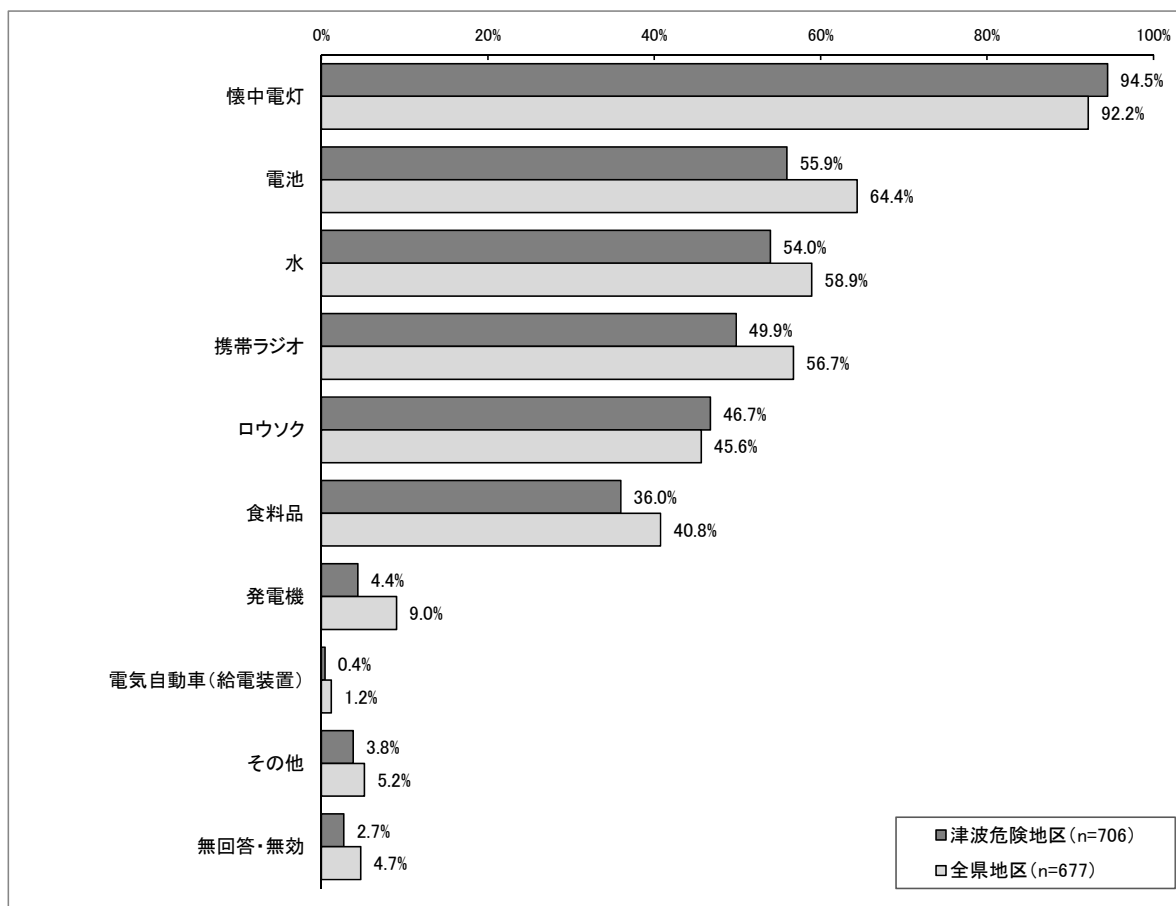
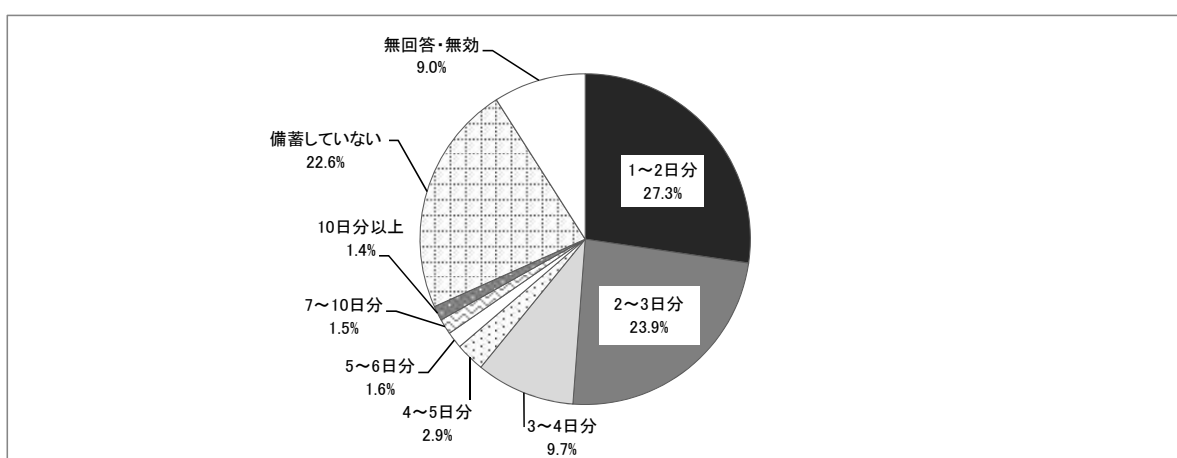


図 3.6-5 停電時の備えとして用意しているものは何か

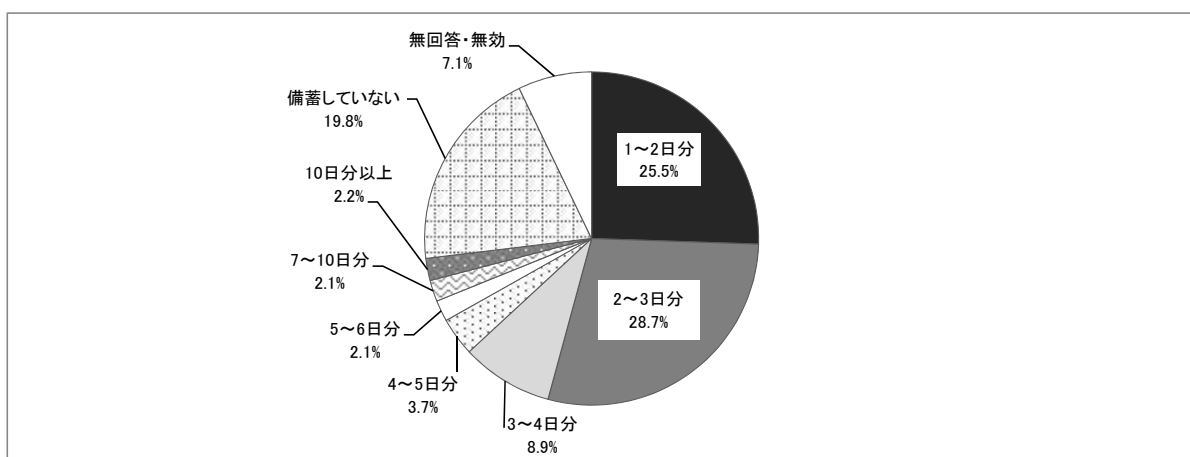
3.6.4 家庭では何日分の水や食料を備蓄しているか

問 20 あなたのご家庭では、何日分の水や食料を備蓄していますか。家族一人につき水は1日3リットル・食料は1日3食としてお考えください（ひとつだけ○）。

- ・水や食料の備蓄量について、津波危険地区では、「1～2日分」(27.3%)が最も高く、次いで「2～3日分」(23.9%)となっている。
- ・全県地区では「2～3日分」(28.7%)が最も高く、次いで「1～2日分」(25.5%)となっている。
- ・「備蓄していない」は津波危険地区で22.6%、全県地区で19.8%となっている。



津波危険地区 (N=1,051)



全県地区 (N=1,022)

図 3.6-6 何日分の水や食料を備蓄しているか

・経年変化をみると、「2～3日分」(26.2%)は、調査開始以降最も高くなっている。

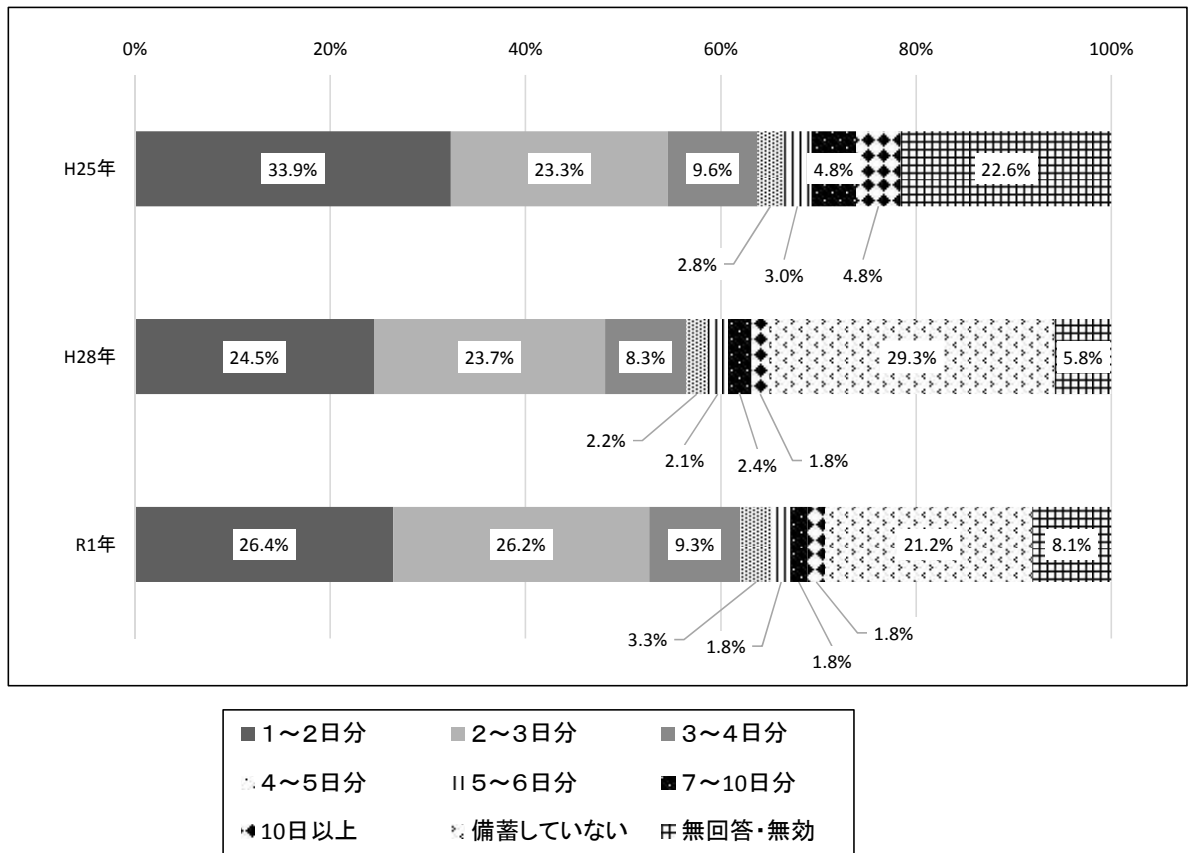


図 3.6-7 何日分の水や食料を備蓄しているか
—経年変化（津波危険地区+全県地区）—

3.6.5 過去一年間に地域や職場の防災訓練に参加したことがあるか

問 21 あなたは、過去一年間に地域や職場、県や市町村などが実施する防災訓練に参加したことがありますか（いくつでも○）。

- ・過去一年間に参加した防災訓練について、津波危険地区では「県や市町村、消防機関が主催する防災訓練に参加した」（28.2%）、全県地区では「職場で行った防災訓練に参加した」（19.8%）が最も高くなっている。
- ・「防災訓練に参加していない」は津波危険地区で39.9%、全県地区で50.5%となっている。

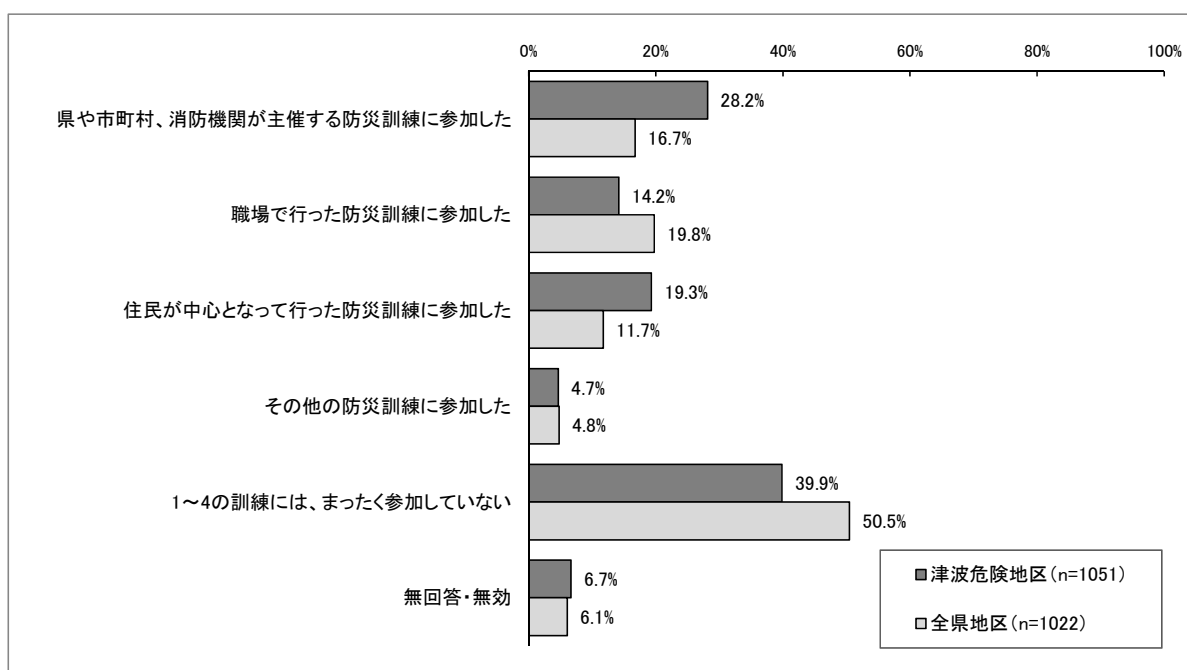


図 3.6-8 過去一年間に地域や職場の防災訓練に参加したことがあるか

・経年変化をみると、「県や市町村、消防機関が主催する防災訓練に参加した」（22.5％）は、前回（平成28年）から低くなっている。

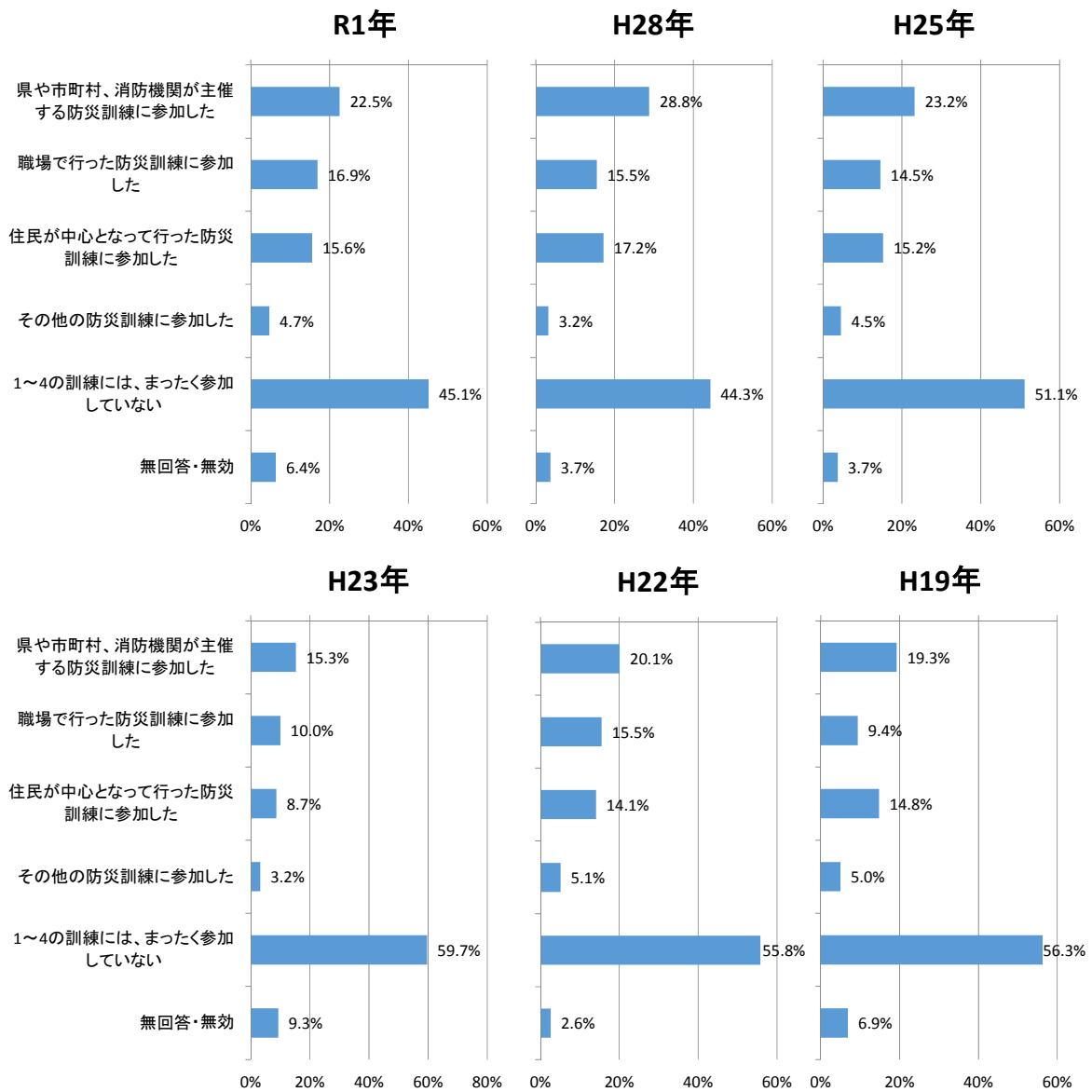


図 3.6-9 過去一年間に地域や職場の防災訓練に参加したことがあるか
—経年変化（津波危険地区+全県地区）—

- ・性別・年代別にみると、「防災訓練に参加していない」が、男性では全年代で40%を上回り、女性では20代から50代でほぼ50%となっている。
- ・防災訓練に参加している割合のうち、男女ともに20代、30代では「職場で行った防災訓練に参加した」が高くなっており、50代以上では「県や市町村、消防機関が主催する防災訓練に参加した」が高くなっている。

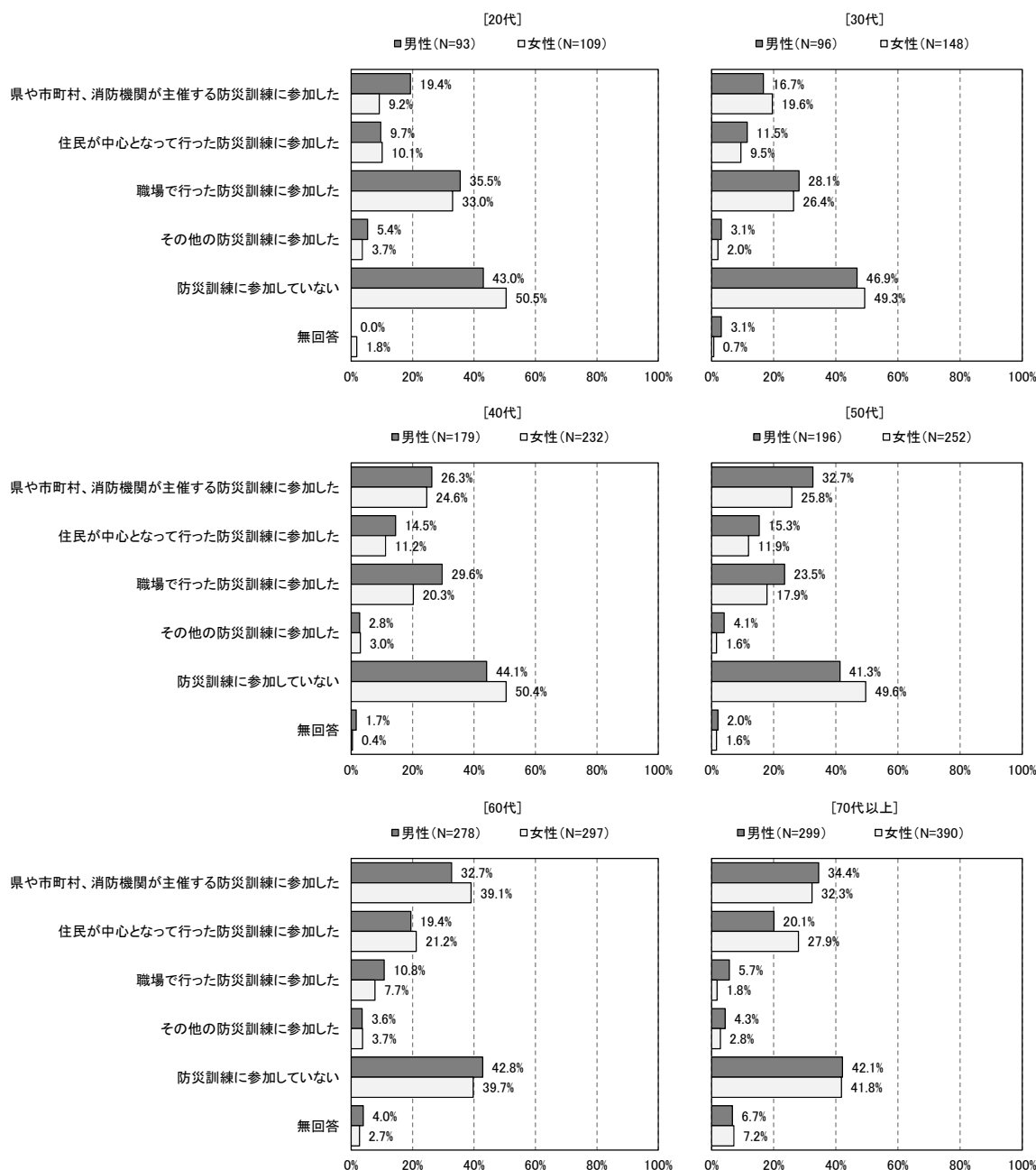


図 3.6-10 過去一年間に地域や職場の防災訓練に参加したことがあるか
—性別・年代別比較（津波危険地区＋全県地区）—

3.6.6 どのような訓練に参加したか

<問 21 で何らかの訓練に「参加した」と回答された方にお聞きします。>

問 21-1 具体的にはどのような訓練に参加しましたか (いくつでも○)。

- ・過去一年間に参加した防災訓練の具体的な訓練内容について、津波危険地区では「津波避難訓練」が最も高く、82.0%となっている。
- ・全県地区では、「消火訓練」(53.8%)が最も高く、次いで「津波避難訓練」(37.2%)が高くなっている。

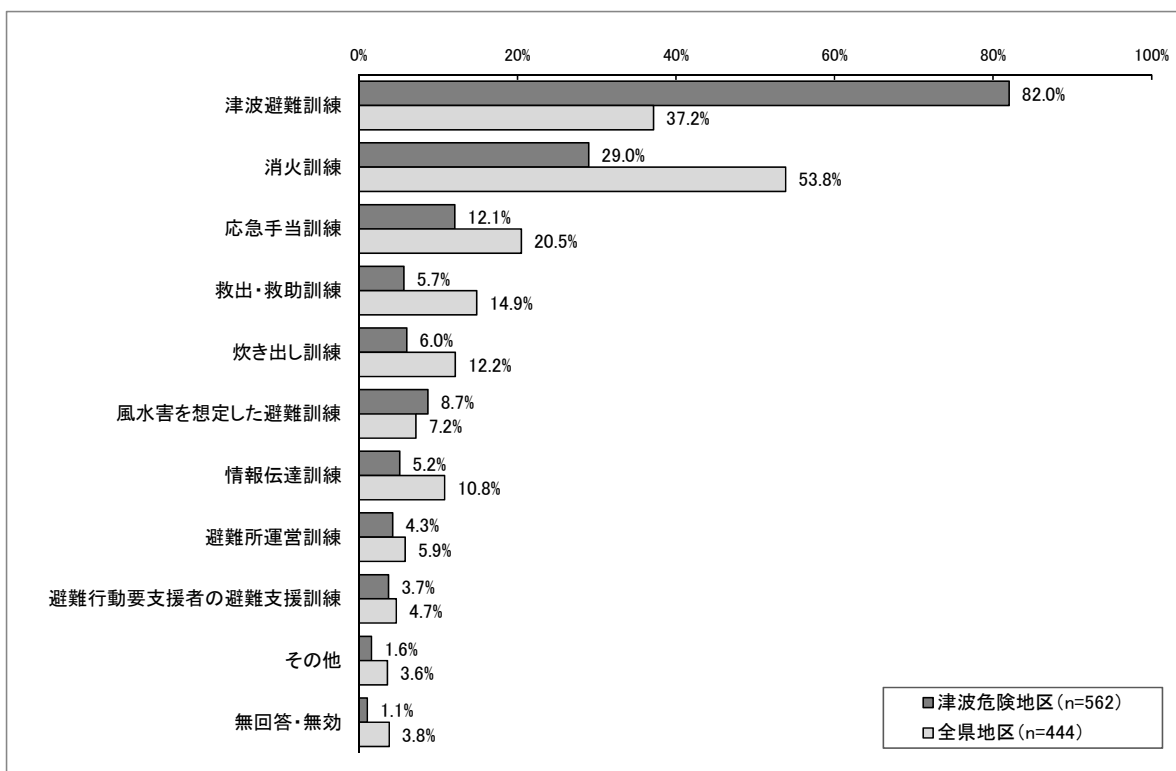


図 3.6-11 どのような訓練に参加したか

・経年変化をみると、「津波避難訓練」(62.2%)は、調査開始以降最も高くなっている。

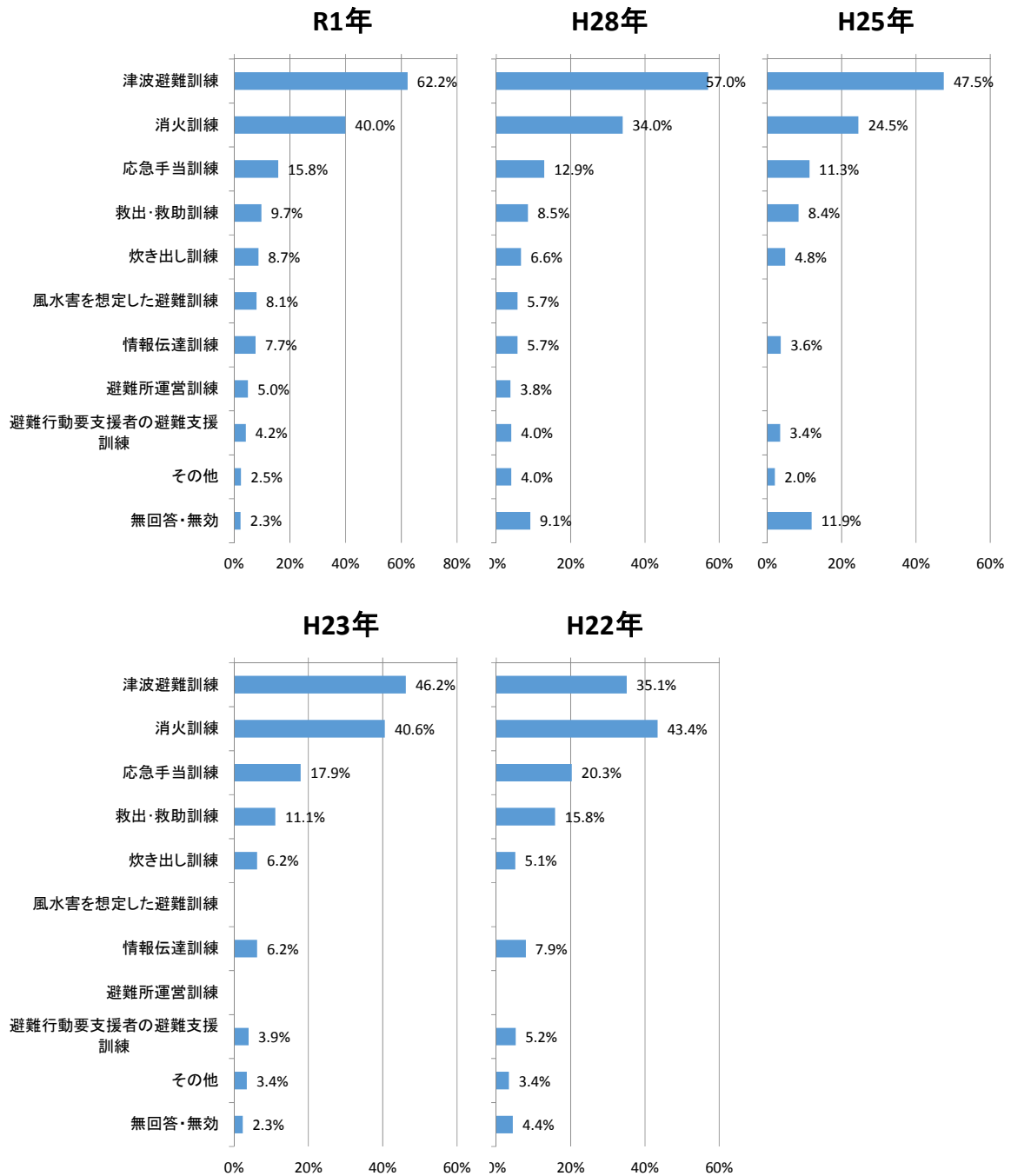


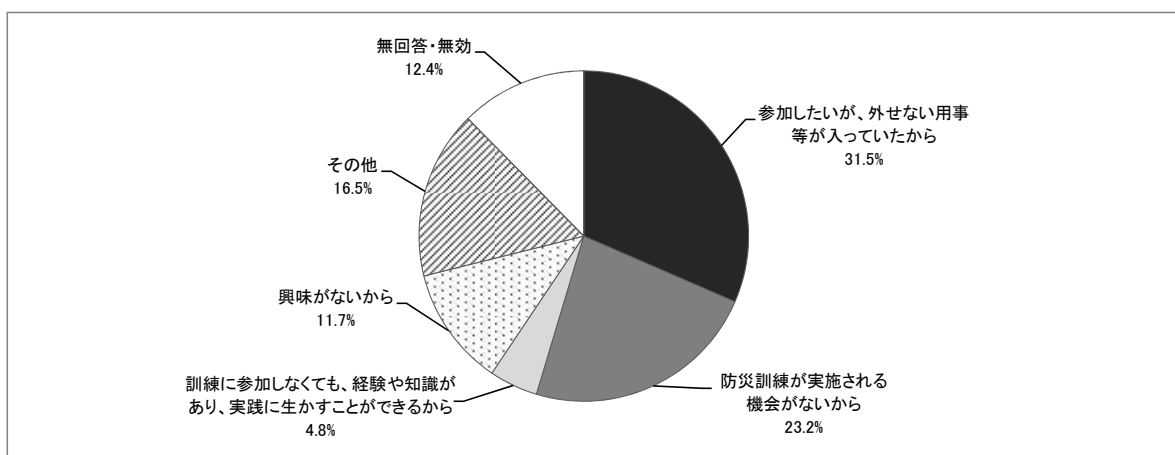
図 3.6-12 どのような訓練に参加したか
—性別・年代別比較（津波危険地区＋全県地区）—

3.6.7 訓練に参加しない理由は何か

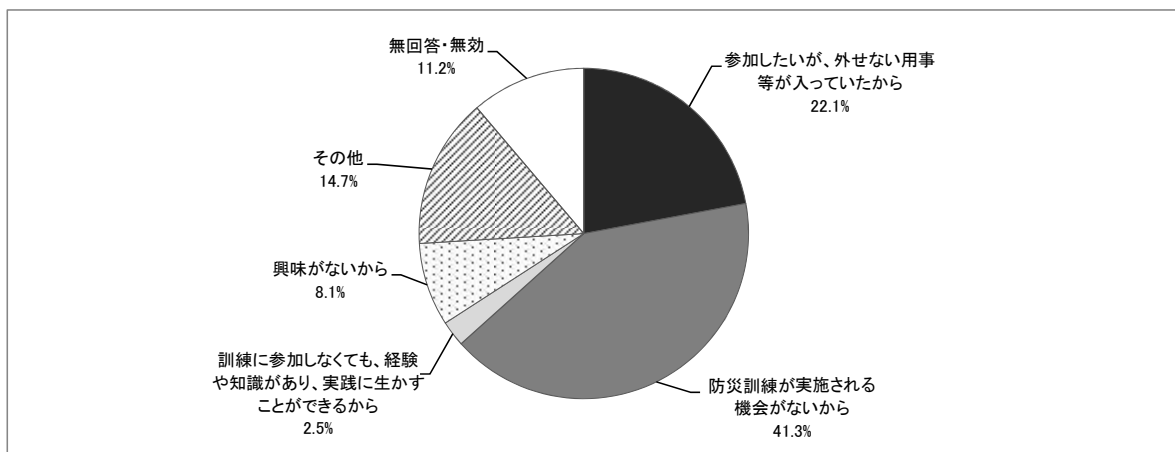
<問 21 で「参加していない」と回答された方にお聞きします。>

問 21-2 なぜ、訓練に参加しないのですか（ひとつだけ○）。

- ・過去一年間の防災訓練に参加してない人の理由について、津波危険地区では「参加したいが、外せない用事等が入っていたから」が最も高く、31.5%となっている。
- ・全県地区では「防災訓練が実施される機会がないから」が最も高く、41.3%となっている。



津波危険地区 (N=419)



全県地区 (N=516)

図 3.6-13 訓練に参加しない理由は何か

- ・経年変化をみると、「防災訓練が実施される機会がないから」(33.2%)は、前回(平成28年)の28.3%から増加している。

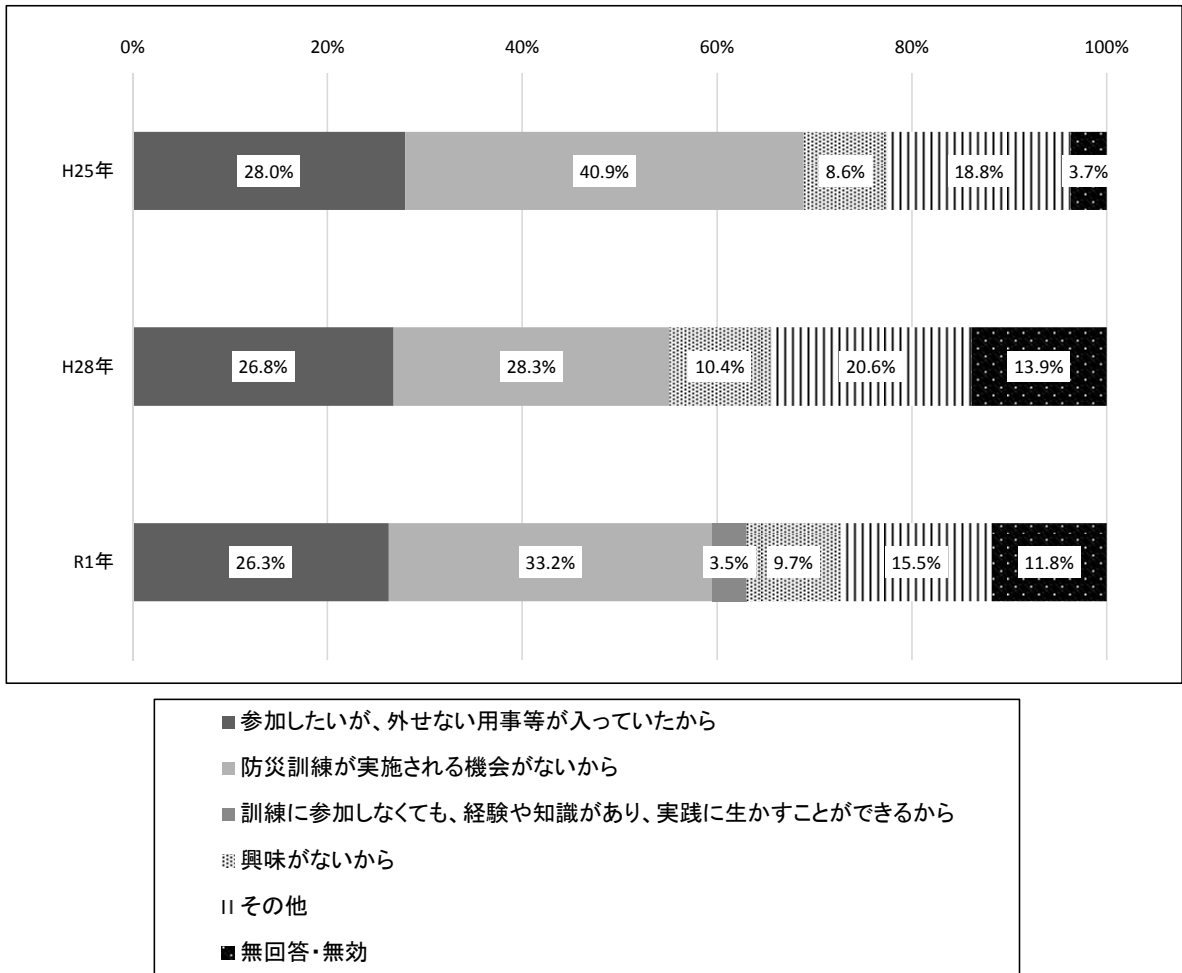


図 3.6-14 訓練に参加しない理由は何か
—経年変化(津波危険地区+全県地区)—

3.6.8 どのような訓練が必要だと思うか

問 22 今後、どのような訓練が必要であると思いますか (いくつでも○)。

- ・今後どのような訓練が必要だと思うかについて、津波危険地区では「津波避難訓練」が最も高く、55.3%となっている。
- ・全県地区では「風水害を想定した避難訓練」が最も高く、34.1%となっている。

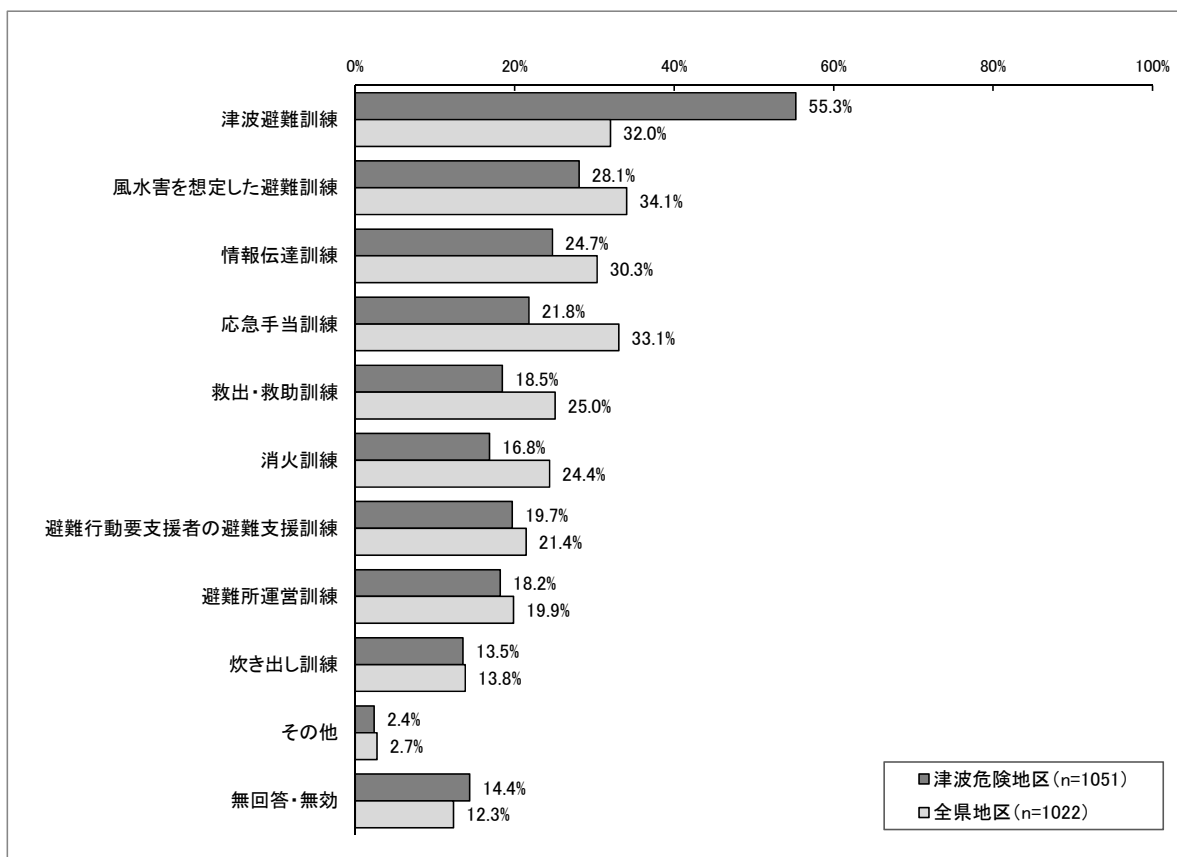


図 3.6-15 どのような訓練が必要だと思うか

・経年変化をみると、「風水害を想定した避難訓練」(31.0%)は、前回(平成28年)の19.9%から増加している。

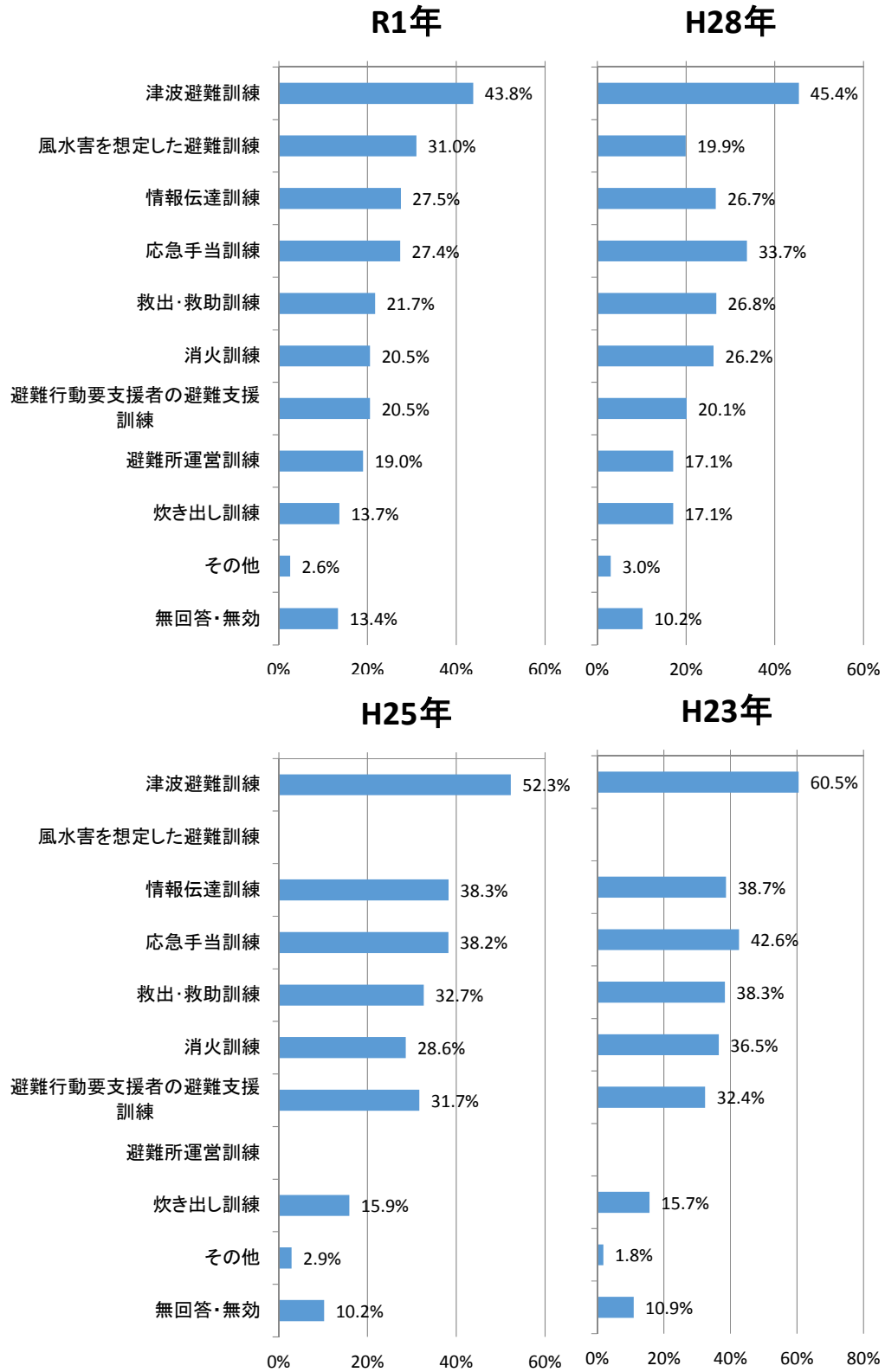


図 3.6-16 どのような訓練が必要だと思うか
—経年変化(津波危険地区+全県地区)—

3.6.9 自然災害や防災についての知識や情報をどこから入手しているか

問 23 あなたは普段、自然災害や防災、地域の危険な場所についての知識や情報を、どこから入手していますか (いくつでも○)。

- ・自然災害や防災についての知識や情報の入手先について、「テレビ」が津波危険地区(80.3%)、全県地区(77.6%)とも最も高くなっている。

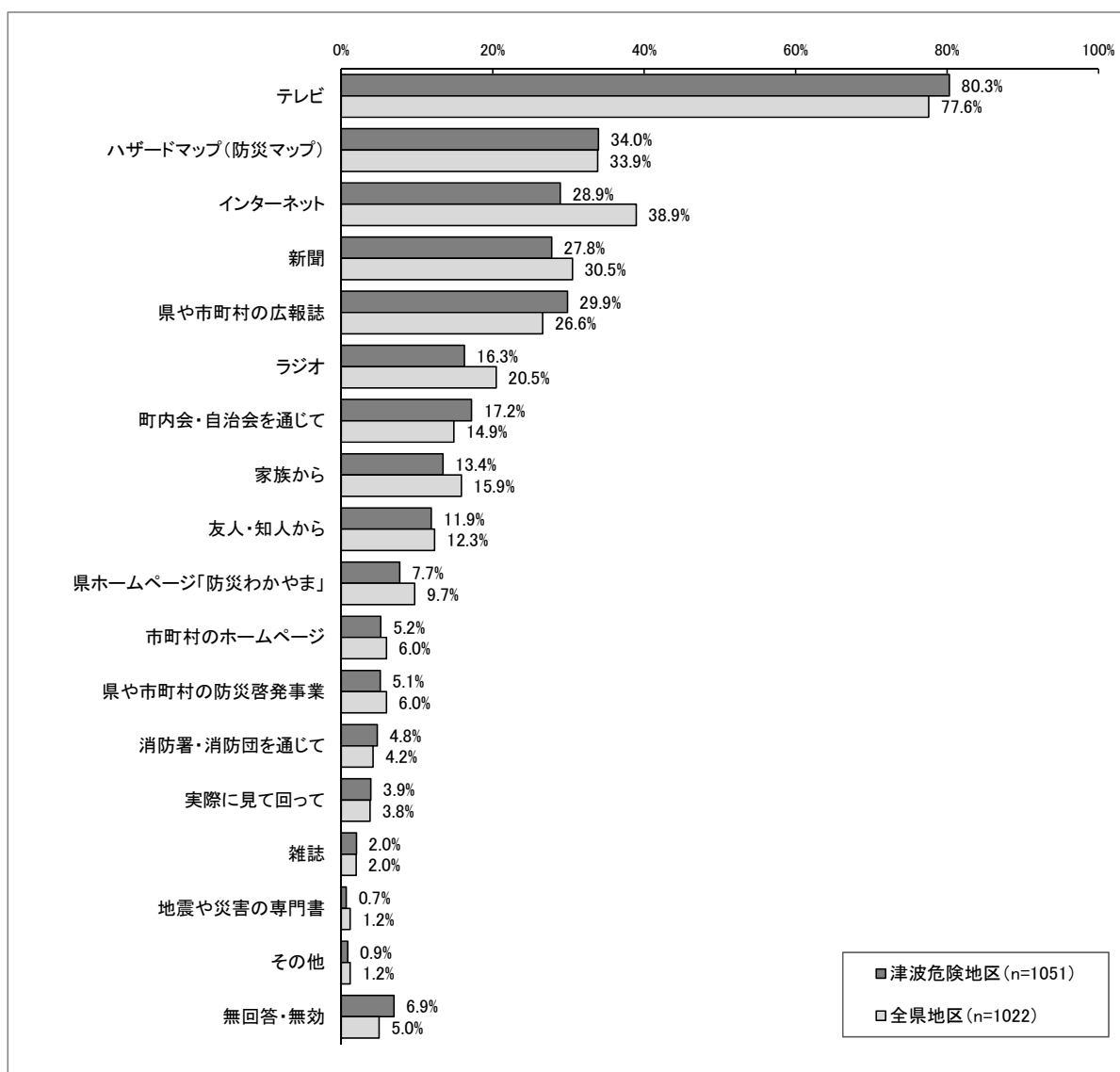


図 3.6-17 自然災害や防災についての知識や情報をどこから入手しているか

- ・自然災害や防災についての知識や情報の入手先の経年変化をみると、「テレビ」(79.0%)、「新聞」(29.1%)は、平成25年以降減少しており、一方、「インターネット」(33.9%)は、調査開始以降増加傾向にある。
- ・「ハザードマップ(防災マップ)」(33.9%)は、前回より増加している。

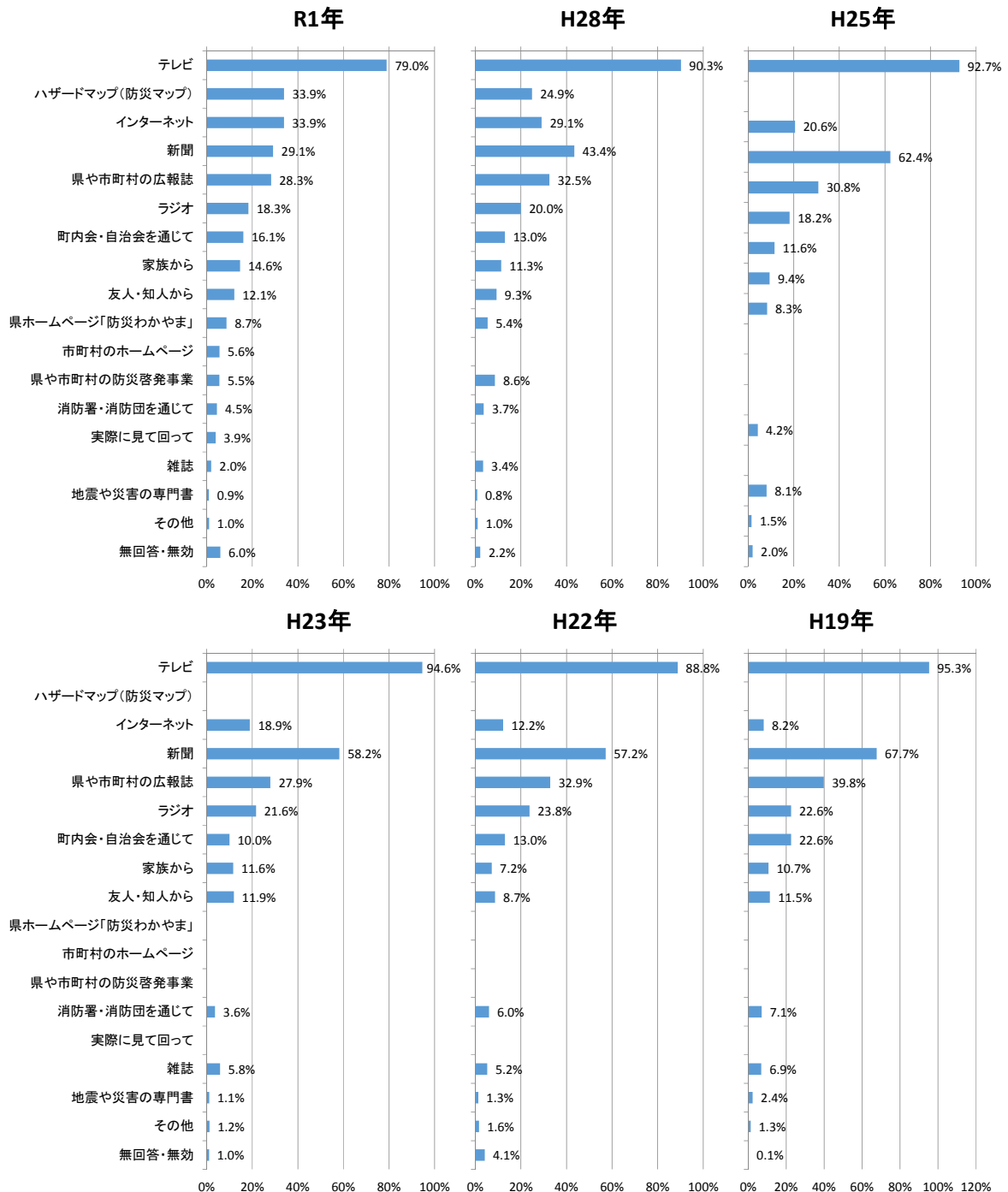


図 3.6-18 自然災害や防災についての知識や情報をどこから入手しているか
—経年変化(津波危険地区+全県地区)—

・同居家族の人数別にみると、「独居」の人は「インターネット」「ハザードマップ」と答えた割合が低く、「友人から・知人から」と答えた割合が高い。

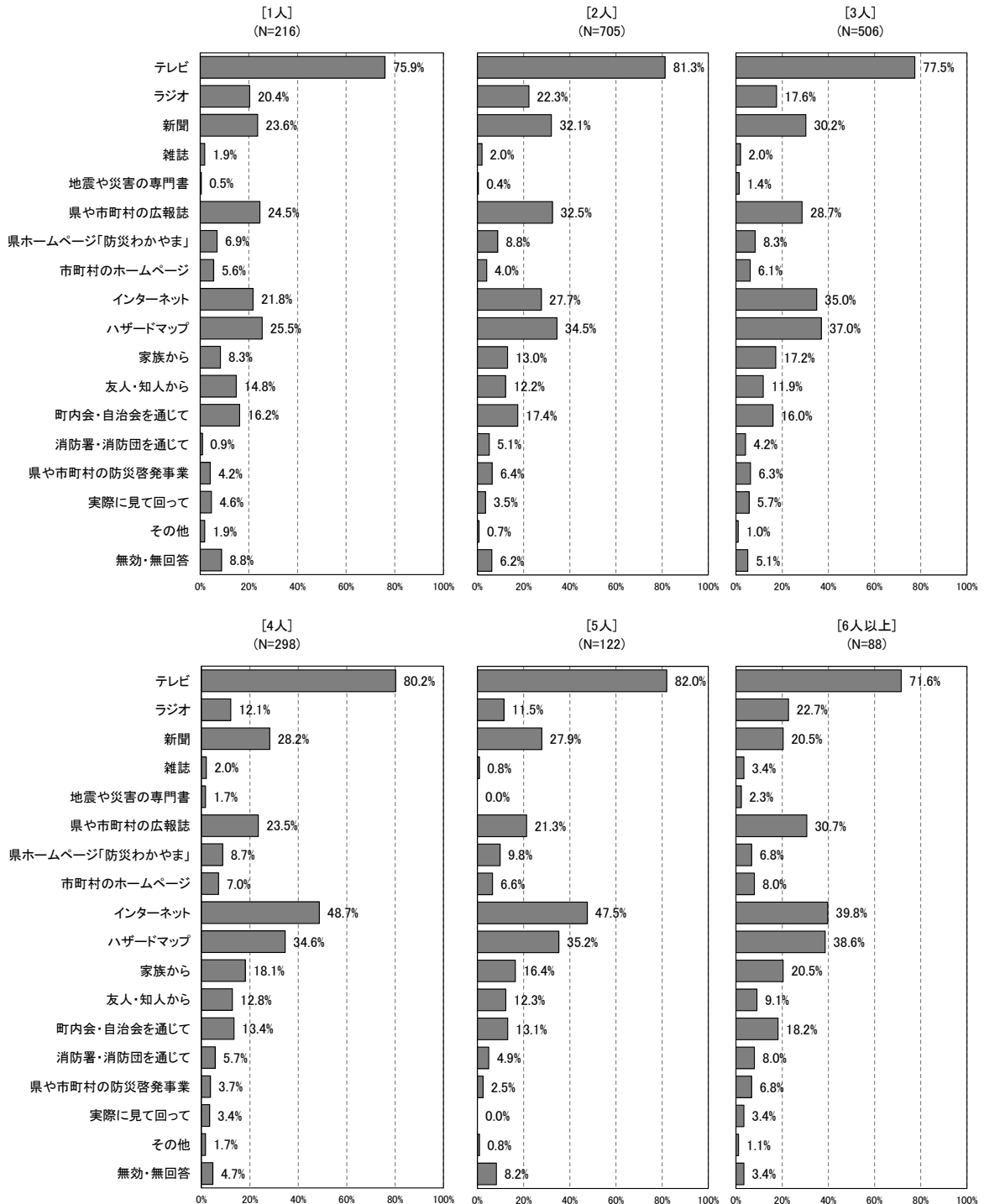


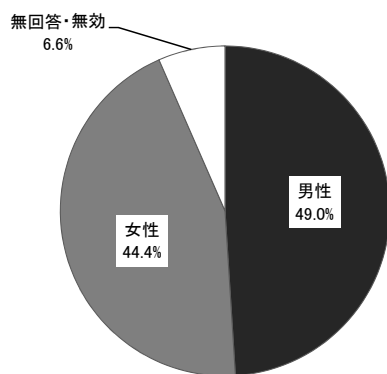
図 3.6-19 自然災害や防災についての知識や情報をどこから入手しているか
—同居家族別比較（津波危険地区＋全県地区）—

4. アンケート回答者の属性

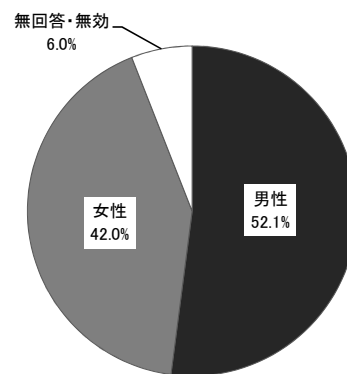
4. アンケート回答者の属性

4.1. 性別

F 1 性別



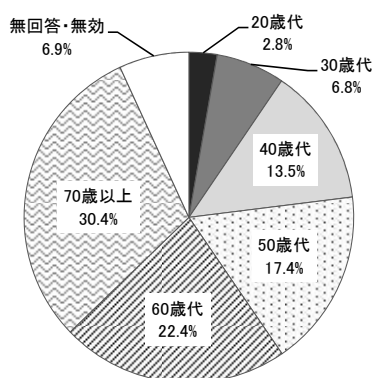
津波危険地区 (N=1, 051)



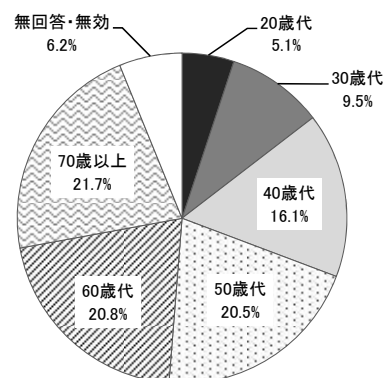
全県地区 (N=1, 022)

4.2. 年齢

F 2 年齢



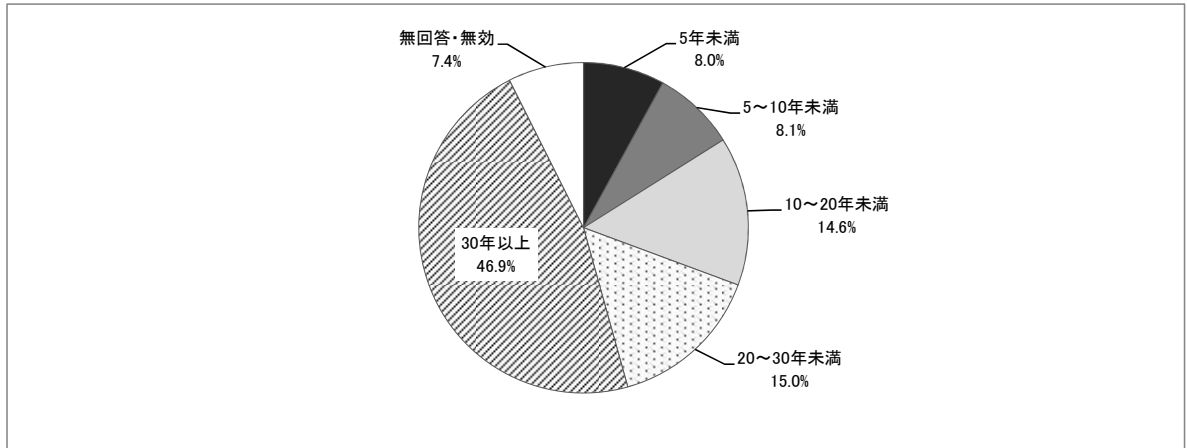
津波危険地区 (N=1, 051)



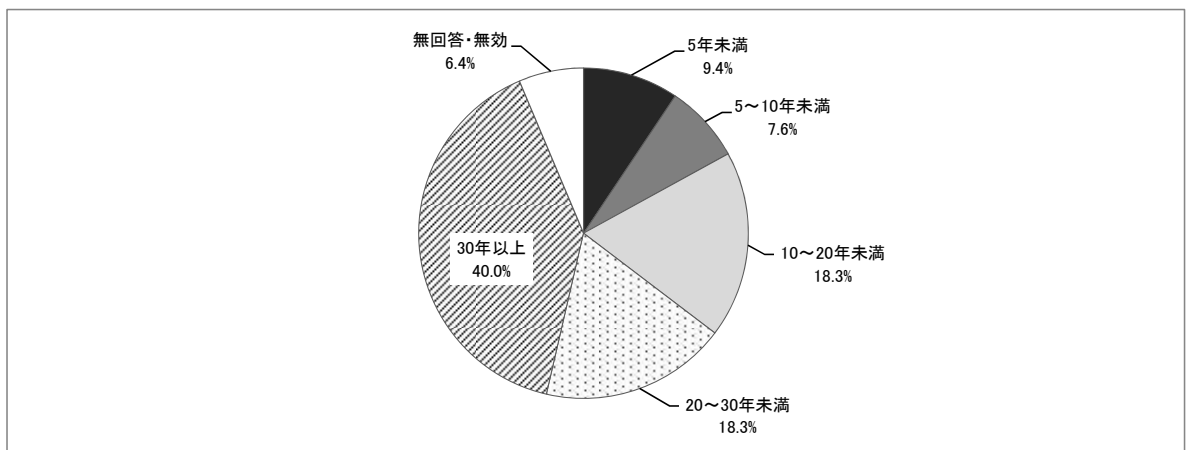
全県地区 (N=1, 022)

4.3. 居住年数

F 3 あなたは、現在の住居にお住みになってから何年になりますか（ひとつだけ○）。



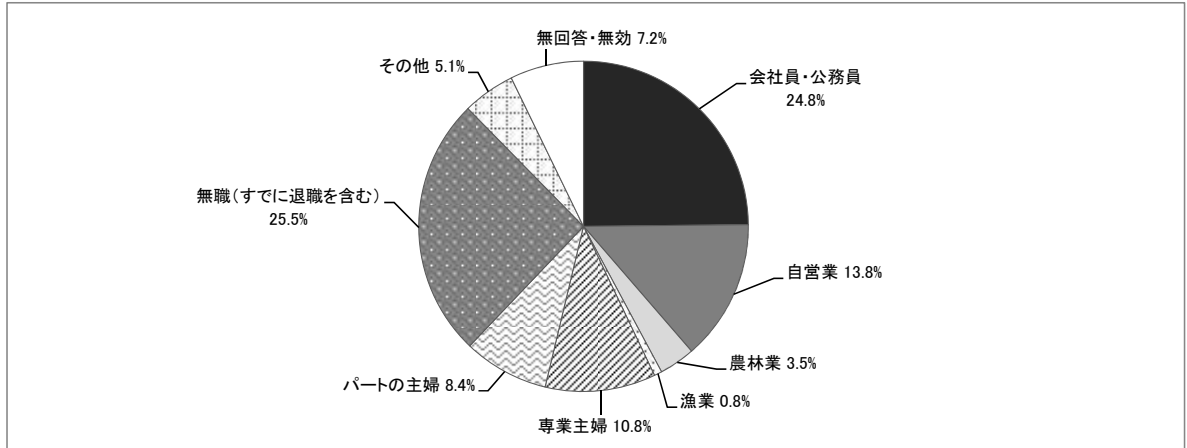
津波危険地区 (N=1,051)



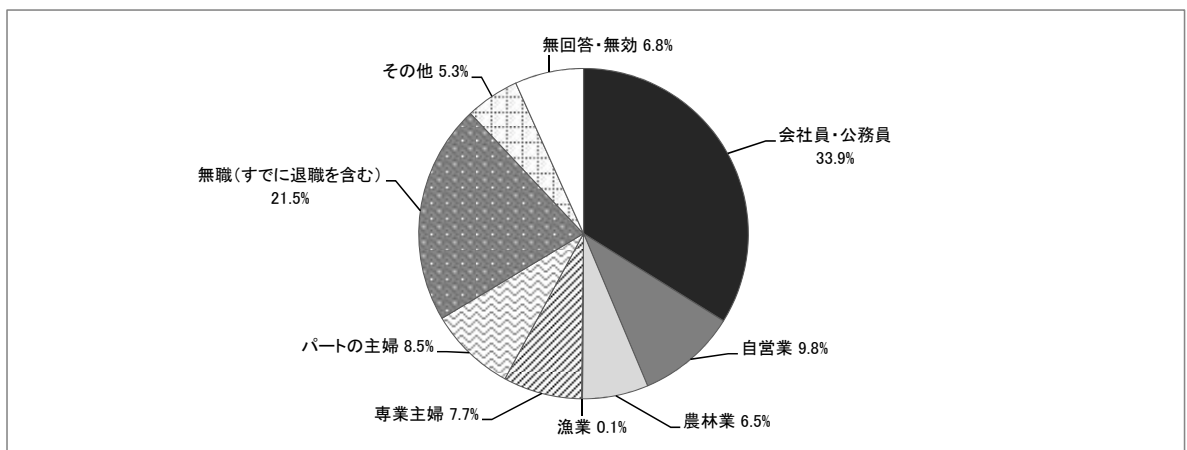
全県地区 (N=1,022)

4.4. 職業

F 4 職業



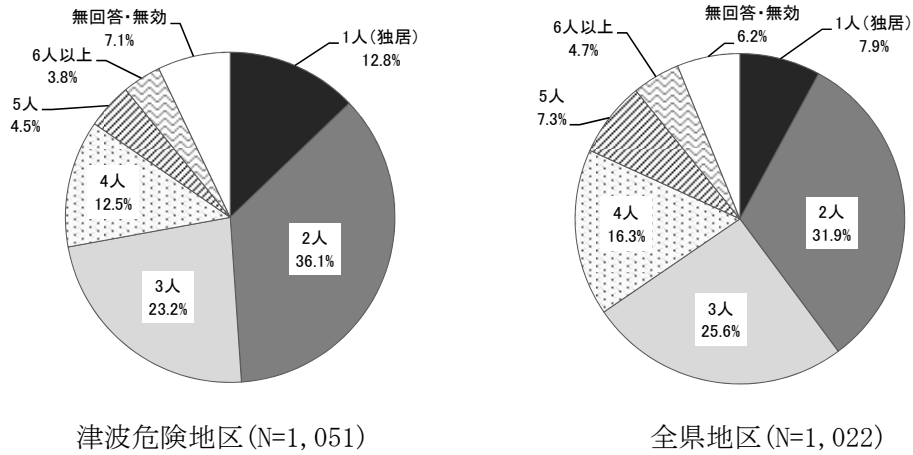
津波危険地区 (N=1,051)



全県地区 (N=1,022)

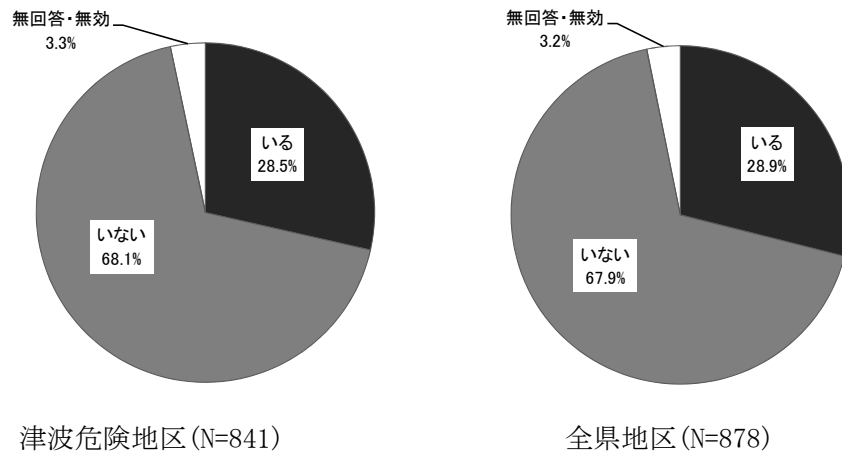
4.5. 家族構成

F 5 同居しているご家族はご本人も含め、何人いますか (ひとつだけ○)。



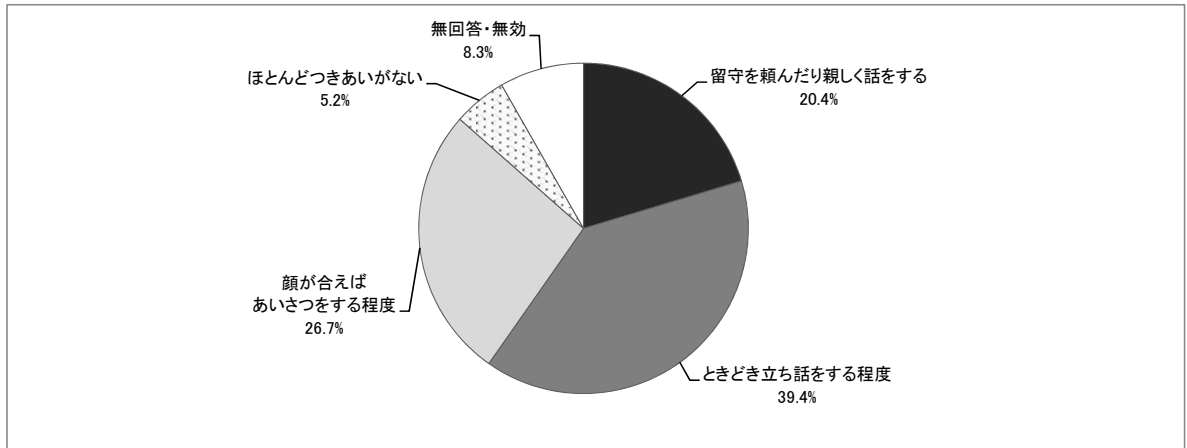
F 5 - 1 同居しているご家族の中に要配慮者(※)はいらっしゃいますか (ひとつだけ○)。

※高齢者(寝たきり、認知症等)、障害者、乳幼児、妊婦その他の特に配慮を要する方

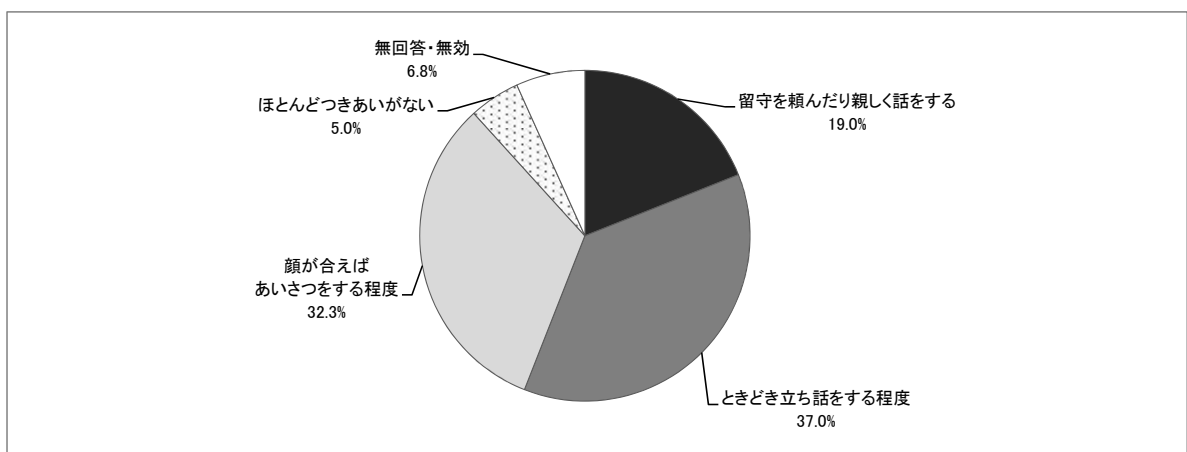


4.6. ご近所とのつきあい

F 6 あなたはご近所とどのようなおつきあいをしていますか (ひとつだけ○)。



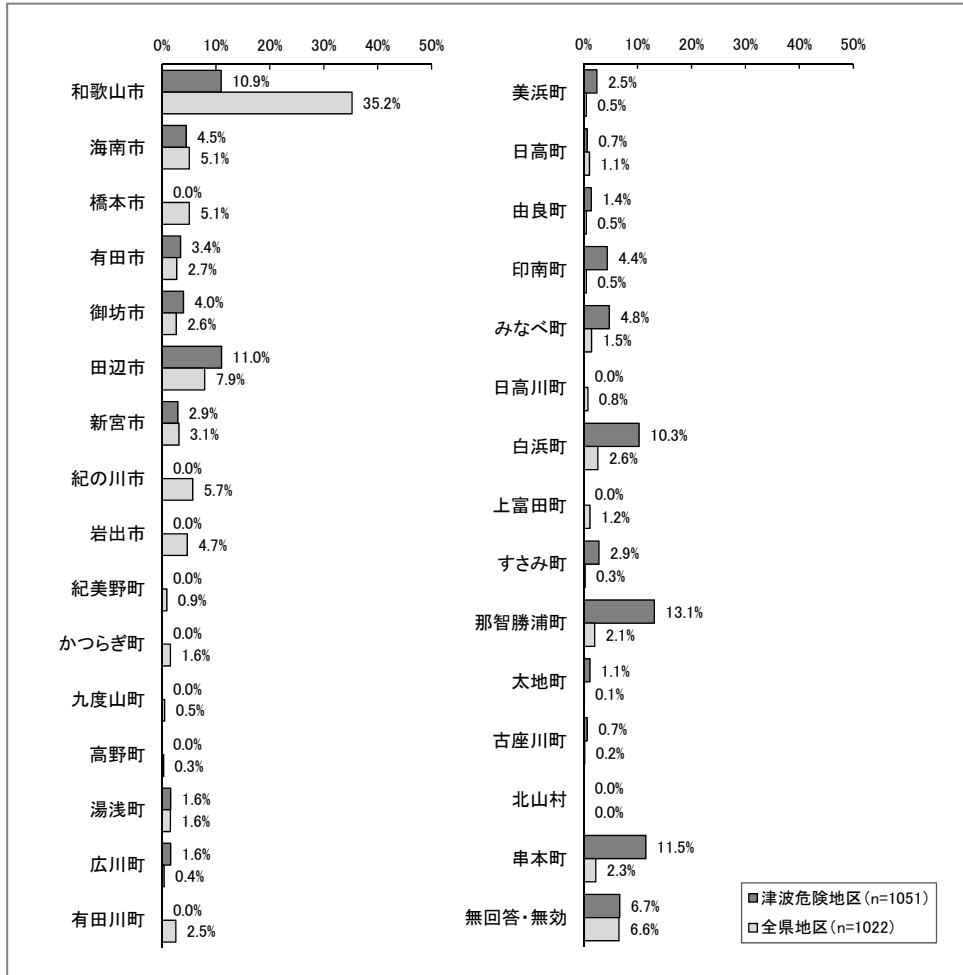
津波危険地区 (N=1, 051)



全県地区 (N=1, 022)

4.7. 居住地

F 7 あなたのお住まいの市町村はどちらですか (ひとつだけ○)。



5. 參考資料

5. 参考資料

5.1. 津波危険地区一覧

津波危険地区：南海トラフ巨大地震による津波で全域もしくはそのほとんどが浸水深1 m以上と想定される地域

市町名	地区名
和歌山市	[砂山地区]金龍寺丁、作事丁、築港1～6丁目、出口甲賀丁、出口新端ノ丁、出口中ノ丁、出口端ノ丁、土佐町2～3丁目、舟津町1～4丁目、湊、湊御殿1～3丁目、湊通丁北4丁目、湊通丁南4丁目、南相生丁、砂山南2～4丁目 [和歌浦地区]新和歌浦、和歌浦東1～4丁目、和歌浦中1～3丁目、和歌浦西1～2丁目、和歌浦南1～3丁目、和歌川町 [名草地区]内原、紀三井寺、毛見、布引、三葛
海南市	黒江・船尾地区、日方地区、内海地区、塩津地区
有田市	箕島、港町、宮崎町、新堂、古江見、千田（高地地域）
御坊市	御坊市御坊、御坊市菌、御坊市名屋、御坊市名屋町、御坊市塩屋町北塩屋
田辺市	上屋敷一丁目、上屋敷二丁目、上屋敷三丁目、中屋敷町、下屋敷町、新屋敷町、南新町、北新町、栄町、今福町、福路町、本町、紺屋町、片町、湊、磯間、末広町、高雄一丁目、高雄二丁目、高雄三丁目、東陽、扇ヶ浜、目良、江川、古尾、天神崎、上の山二丁目、東山二丁目、文里一丁目、文里二丁目、神子浜一丁目、神子浜二丁目、芳養町、明洋一丁目、芳養松原一丁目、芳養松原二丁目、新庄町
新宮市	あけぼの、阿須賀1丁目、王子町1丁目、王子町2丁目、王子町3丁目、熊野地1丁目、熊野地2丁目、下田1丁目、田鶴原町1丁目、田鶴原町2丁目、蓬萊3丁目、三輪崎1丁目、三輪崎2丁目
湯浅町	港、新屋敷、北浜町、南浜町、北中町、中々町、南中町、北鍛冶町、南鍛冶町、御蔵町、北町、道町北、道町中、道町南、北道、宮西、西南道、本町、南栄、中川原、島之内、中之島、北栄1区、北栄3区、横浜、田、栖原、なぎ区、大宮通1区、大宮通2区、大宮通3区、なぎ団地
広川町	湊浜町地区、西浜町地区、湊中町地区、西中町地区、天皇区、中之町地区、本町地区、田町地区、昭和通北地区、昭和通中地区、昭和通南地区、みどり区、東之町地区、西之町地区、南之町地区、北之町地区、熊之町地区、学園町地区、旭町地区、唐尾地区、西広地区、山本地区、殿地区、東中地区、名島地区、柳瀬地区
美浜町	新浜地区、田井畑地区、浜ノ瀬地区
日高町	柏区、小杭区、方杭区、小浦区、津久野区、比井区、産湯区、阿尾区、田杭区、小池区
由良町	横浜、里、南、阿戸、網代、江ノ駒、大引、神谷、吹井、柳原、糸谷、衣奈、戸津井
印南町	印南、西ノ地、島田
みなべ町	堺（561, 540, 545, 539, 542, 418 番地台除く）、埴田（1540, 1590, 929, 944, 1068, 1063, 1451, 1445, 1253, 1517, 1516, 1210, 1212 番地台除く）、片町、新町、北道、南道（272, 273, 274, 283, 287, 355, 326, 333, 330, 329, 319, 320, 207, 208 番地台除く）、芝（828, 817, 835, 836, 841, 888, 857, 843, 924, 921 番地台除く）、芝崎（10 番地台除く）、東吉田（468, 493, 469, 489, 488, 473, 476, 485, 450, 444, 445, 443, 442, 441, 440, 429, 428, 418, 431, 432 番地台除く）、気佐藤、新庄、千鹿浦、山内（478, 480, 484, 485, 488, 490, 494, 1708, 1711, 704, 1820, 1751, 1642, 231 番地台除く）、東岩代（988 番地より大きい番地除く）、西岩代（除く番地調査困難）
白浜町	瀬戸、東白浜、才野、中、栄、富田、志原、村島、松原、上町、浜町、日の出
すさみ町	口和深 口和深地区、周参見 下一地区、周参見 下二地区、周参見 堀地地区、周参見 本城地区、周参見 石橋地区、周参見 田中地区、周参見 小泊地区、周参見 平松地区、周参見 山崎地区、見老津 見老津地区、江住 江須之川地区、江住 江住地区

市町名	地区名
那智勝浦町	宇久井 里区、宇久井 向地区、宇久井 中芝区、宇久井 出見世区、宇久井 湊区、川関川関区・那智の郷区、浜ノ宮 浜ノ宮区、天満 天満区、天満 須崎区（天満 1丁目含む）、朝日 朝日区（朝日 1～4丁目含む）、二河 二河区、勝浦 勝浦 1区（大勝浦区）、勝浦 勝浦 2区、勝浦 勝浦 3区、勝浦 勝浦 4区、北浜 勝浦 5区（北浜区）、築地 勝浦 6区（築地区）、下里 下里天満区、下里 下里区、下里 高芝区、八尺鏡野 八尺鏡野区、粉白 粉白区、浦神 浦神西区、浦神 浦神東区
太地町	太地 大東、太地 小東、太地 新屋敷、太地 寄子路、太地 水の浦、太地 暖海、太地 夏山、太地 常渡、森浦 森浦
古座川町	高池下部
串本町	伊串、串本、古座、江田、高富、神野川、西向、大島、中湊、津荷、田原、田子、田並、二色、姫、有田、鬮野川

注) 該当する地区名は各市町村調べ（令和元年 9月現在）

5.2. 単純集計表

5.2.1 地震・津波への意識と避難について

問1 あなたは、南海トラフの地震（東海・東南海・南海3連動地震や南海トラフ巨大地震を含む。以下同じ。）について、どの程度関心を持っていますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	非常に関心がある	42.2%	39.1%	36.3%	44.6%	30.3%	37.3%
2	関心がある	43.1%	43.9%	48.4%	40.6%	49.3%	46.3%
3	多少関心がある	12.8%	13.6%	13.5%	12.8%	19.0%	15.1%
4	関心がない	1.1%	1.3%	1.1%	0.7%	1.0%	0.9%
	無回答・無効	0.9%	2.2%	0.7%	1.4%	0.4%	0.4%

問2 夜遅くあなたがお自宅にいたとき、突然、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上も続いたとします。揺れが収まった後、あなたは避難しますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	避難する	78.3%	81.5%	82.9%	79.8%	-	41.9%
2	避難しない	21.3%	14.2%	16.4%	19.4%	-	57.0%
	無回答・無効	0.4%	4.3%	0.7%	0.7%	-	1.1%

問2-1 あなたが避難する主な理由は何ですか（いくつでも○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	津波に襲われる危険があるから	85.5%	89.6%	87.4%	82.7%	-	86.8%
2	がけ崩れ・山崩れの危険があるから	15.0%	6.3%	7.6%	10.8%	-	12.3%
3	余震で家が倒壊する危険があるから	51.9%	42.2%	37.1%	47.1%	-	51.7%
4	火災が発生する危険があるから	20.5%	14.5%	15.8%	14.8%	-	20.4%
5	電気や水道等が止まり生活できなくなるから	24.8%	14.3%	16.6%	20.2%	-	20.4%
6	その他	2.3%	1.0%	0.6%	1.9%	-	2.1%
	無回答・無効	0.2%	0.1%	1.2%	0.0%	-	0.0%

問2-2 あなたはいつ避難しますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	揺れが収まったらできるだけ早く	53.7%	56.8%	56.7%	54.2%	-	65.7%
2	津波注意報や警報が出たら	12.5%	21.4%	17.4%	21.4%	-	17.4%
3	大津波警報（特別警報）が出たら	13.4%	10.3%	14.1%	-	-	-
4	市町村から避難の呼びかけがあったら	10.8%	5.7%	4.7%	14.1%	-	8.8%
5	近所の人々が避難したら	1.4%	0.6%	2.4%	3.5%	-	2.2%
6	家族が避難したら	2.9%	2.3%	1.5%	2.9%	-	4.2%
7	その他	1.0%	0.9%	0.5%	1.0%	-	0.2%
	無回答・無効	4.3%	4.0%	2.7%	2.9%	-	1.5%

問2-3 あなたは、どこに避難しますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	市町村が決めた避難場所	46.5%	41.4%	37.4%	29.0%	-	45.0%
2	地域住民が自分たちで決めた避難場所	10.6%	10.9%	10.8%	7.9%	-	11.7%
3	自宅近くの高台	32.3%	41.6%	45.4%	53.8%	-	34.8%
4	近くの高台に住んでいる親戚や知人の家	2.1%	2.3%	1.9%	4.8%	-	3.7%
5	その他の場所	2.8%	2.0%	2.3%	3.2%	-	2.2%
	無回答・無効	5.6%	1.8%	2.2%	1.3%	-	2.5%

問2-4 あなたはどのようにして避難しますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	徒歩で避難する	75.1%	79.0%	80.7%	73.1%	-	77.1%
2	自転車・バイクで避難する	5.1%	6.1%	9.4%	10.3%	-	6.6%
3	車で避難する	15.0%	14.2%	8.7%	13.4%	-	9.4%
4	船で避難する	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	-	-
	無回答・無効	4.7%	0.7%	1.3%	3.2%	-	6.9%

問2-5 あなたが避難しない主な理由は何ですか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	近くの避難場所を知らないから	2.5%	2.7%	5.3%	6.0%	-	-
2	避難経路が危険だから	12.7%	15.0%	20.7%	16.8%	-	-
3	自身や家族の体力や健康上の理由から避難することが困難だから	10.2%	24.1%	10.1%	7.1%	-	-
4	自宅が安全だから	30.1%	25.7%	22.5%	28.8%	-	-
5	家や家財を残して避難することに抵抗があるから	8.3%	6.4%	9.5%	6.5%	-	-
6	その他	18.7%	21.4%	23.7%	23.4%	-	-
	無回答・無効	17.6%	4.8%	8.3%	11.4%	-	-

問3

南海トラフ沿いでマグニチュード7以上の地震が発生し、大規模な後発地震が発生する可能性が高まったと評価された場合、気象庁から南海トラフ地震臨時情報が発表されます。地震発生から津波到達までに避難が間に合わない地域では事前に避難することとなっていますが、このことをご存じですか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	知っている	29.0%	-	-	-	-	-
2	何となく知っている	33.8%	-	-	-	-	-
3	知らない	29.2%	-	-	-	-	-
	無回答・無効	8.0%	-	-	-	-	-

5.2.2 風水害への意識と避難について

問4 市町村が発令する避難勧告等の避難情報や、気象庁が発表する警報等の防災気象情報に、5段階の警戒レベルを用いて伝達する取組みが本年6月から始まっています。あなたはどの段階で避難行動を開始する必要があるかご存じですか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	知っている	33.8%	-	-	-	-	-
2	何となく知っている	45.0%	-	-	-	-	-
3	知らない	14.8%	-	-	-	-	-
	無回答・無効	6.5%	-	-	-	-	-

問5 近年、国内では局地的な大雨が頻発し、浸水被害や土砂災害による甚大な被害が発生しています。あなたのお住まいの地域で、これまでに経験のない大雨が急に降り出し、降り続いたとします。あなたは、以下の状況のうち、どの段階で避難しますか（いくつでも○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	大雨・洪水注意報や大雨・洪水警報が発表されたら	4.6%	-	-	-	-	-
2	大雨特別警報が発表されたら	26.1%	-	-	-	-	-
3	土砂災害警戒情報が発表されたら	14.7%	-	-	-	-	-
4	避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら	9.4%	-	-	-	-	-
5	避難勧告が発令されたら	21.5%	-	-	-	-	-
6	避難指示が発令されたら	30.3%	-	-	-	-	-
7	近所の方が避難したら	14.6%	-	-	-	-	-
8	家族が避難したら	12.2%	-	-	-	-	-
9	その他	2.8%	-	-	-	-	-
10	避難しない	25.8%	-	-	-	-	-
	無回答・無効	1.3%	-	-	-	-	-

問5-1 あなたは、どこに避難しますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	市町村が決めた避難場所	68.1%	70.0%	-	-	-	-
2	地域住民が自分たちで決めた避難場所	13.4%	16.0%	-	-	-	-
3	洪水浸水想定区域外の施設や土砂災害警戒区域外の施設	10.0%	7.3%	-	-	-	-
4	その他の場所	6.7%	5.0%	-	-	-	-
	無回答・無効	1.7%	1.6%	-	-	-	-

問5-2

あなたはどのようにして避難しますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	徒歩で避難する	64.8%	66.7%	-	-	-	-
2	自転車・バイクで避難する	4.0%	3.6%	-	-	-	-
3	車で避難する	28.4%	27.3%	-	-	-	-
4	その他	1.0%	1.1%	-	-	-	-
	無回答・無効	1.8%	1.3%	-	-	-	-

問5-3

あなたが避難しない主な理由は何ですか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	近くの避難場所を知らないから	3.0%	1.5%	-	-	-	-
2	避難経路が危険だから	10.5%	6.9%	-	-	-	-
3	自身または家族の体力や健康上の理由から避難することが困難だから	10.3%	8.7%	-	-	-	-
4	自宅が安全だから	34.8%	45.1%	-	-	-	-
5	家や家財を残して避難することに抵抗があるから	3.7%	1.8%	-	-	-	-
6	自宅が洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域に入っていないから	19.9%	18.5%	-	-	-	-
7	その他	12.0%	11.3%	-	-	-	-
	無回答・無効	5.8%	6.2%	-	-	-	-

5.2.3 災害時の情報収集について

問6

あなたの自宅の近くに、市役所や町村役場が緊急時の連絡などに使う防災行政無線のスピーカーはありますか。また、そのスピーカーの聞こえ具合はどうか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	ふだんから放送の内容がはっきり聞きとれる	28.5%	28.8%	24.3%	24.3%	-	20.9%
2	よく聞こえるときもあるが、雨や風の具合で聞きとれないことがある	38.1%	35.4%	31.2%	31.0%	-	27.8%
3	ふだんから放送の内容があまりよく聞きとれない	21.1%	24.1%	27.1%	25.5%	-	21.8%
4	放送の内容はまったく聞きとれない	6.0%	4.6%	5.8%	6.4%	-	5.1%
5	近くに防災行政無線のスピーカーが設置されていない	2.8%	3.9%	8.5%	8.3%	-	20.0%
	無回答・無効	3.4%	3.2%	3.1%	4.6%	-	4.5%

問7

あなたは、災害時における緊急情報をどのように入手していますか（いくつでも○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	テレビ	88.1%	88.2%	-	-	-	-
2	ラジオ	22.3%	23.9%	-	-	-	-
3	インターネット	37.8%	29.4%	-	-	-	-
4	電子メール	21.1%	21.9%	-	-	-	-
5	家族から	12.9%	12.1%	-	-	-	-
6	友人・知人から	7.7%	6.9%	-	-	-	-
7	町内会・自治会から	9.9%	9.6%	-	-	-	-
8	消防署・消防団から	5.9%	6.2%	-	-	-	-
9	ツイッターやフェイスブック等のSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）	7.5%	7.3%	-	-	-	-
10	防災行政無線	30.0%	32.8%	-	-	-	-
11	県ホームページ「防災わかやま」	2.6%	-	-	-	-	-
12	防災わかやまメール配信サービス	12.2%	-	-	-	-	-
13	スマートフォン向けアプリ『和歌山県防災ナビ』	16.2%	-	-	-	-	-
14	その他	1.4%	1.0%	-	-	-	-
15	どこからも入手していない	0.1%	0.6%	-	-	-	-
	無回答・無効	2.7%	1.0%	-	-	-	-

問 8

避難先の検索などができるスマートフォン向けアプリ「和歌山県防災ナビ」をインストールしていますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	している	16.9%	-	-	-	-	-
2	していない	76.8%	-	-	-	-	-
	無回答・無効	6.3%	-	-	-	-	-

問 8-1

インストールしていない理由は何ですか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	スマートフォン等を持っていないから	33.1%	-	-	-	-	-
2	知らなかったから	42.9%	-	-	-	-	-
3	インストールの方法がわからないから	12.6%	-	-	-	-	-
4	興味がないから	5.0%	-	-	-	-	-
5	その他	4.8%	-	-	-	-	-
	無回答・無効	1.7%	-	-	-	-	-

5.2.4 災害時の避難等について

問 9 あなたは、避難カードを知っていますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	知っている	13.1%	12.6%	9.7%	-	-	-
2	何となく知っている	15.2%	18.9%	12.4%	-	-	-
3	知らなかった	66.1%	63.4%	73.7%	-	-	-
	無回答・無効	5.5%	5.1%	4.2%	-	-	-

問 9-1 あなたは、家族と同居している場合は家族等と避難場所や避難経路等を話し合っ、緊急避難先等を避難カードに記入していますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	記入している	21.0%	28.1%	14.0%	-	-	-
2	記入していない	67.3%	67.1%	85.2%	-	-	-
3	同居していない	8.8%	-	-	-	-	-
	無回答・無効	2.9%	4.8%	0.8%	-	-	-

問 10 あなたの住んでいる地域で大規模な災害が発生し、自宅の損壊等で長期間帰宅ができなくなってしまったとします。あなたはどこで避難生活を送りますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	最寄りの避難所	49.4%	52.5%	-	-	-	-
2	県内の親せきや友人の家	25.6%	20.3%	-	-	-	-
3	県外の親せきや友人の家	6.5%	7.7%	-	-	-	-
4	テント	0.9%	1.1%	-	-	-	-
5	自家用車の中（車中泊）	10.8%	11.5%	-	-	-	-
6	その他	3.9%	2.9%	-	-	-	-
	無回答・無効	2.9%	4.1%	-	-	-	-

問10-1

自家用車の中で避難生活を送る主な理由は何ですか（いくつでも○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	避難所には多くの被災者が殺到し入ることができないと思うから	46.6%	50.5%	-	-	-	-
2	避難所ではプライバシーが確保されないと思うから	58.7%	58.1%	-	-	-	-
3	自分や家族が高齢者であるため、避難所生活が送れるか心配だから	11.7%	16.8%	-	-	-	-
4	家族に乳幼児がいるため、避難所生活が送れるか心配だから	4.9%	3.3%	-	-	-	-
5	自分や家族に障害・持病があるため、避難所生活が送れるか心配だから	8.1%	7.3%	-	-	-	-
6	ペットを飼っているため、避難所生活が送れるか心配だから	35.9%	29.7%	-	-	-	-
7	避難所が停電になっている恐れがあるから	6.7%	-	-	-	-	-
8	その他	5.8%	4.3%	-	-	-	-
	無回答・無効	0.9%	1.3%	-	-	-	-

問11

大地震が起きたあと、あなたご自身は、地域の人と協力してどのようなことができると思いますか（いくつでも○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	生き埋めになった近所の人を、がれきの中から救助する	43.0%	38.8%	51.8%	52.3%	55.1%	54.6%
2	火災が出たとき消火する	40.2%	36.3%	49.6%	49.6%	57.3%	54.2%
3	重症者が出たとき病院などへ車やリアカーなどで運ぶ	29.3%	27.6%	40.6%	38.2%	37.6%	38.8%
4	高齢者や介護が必要な人が避難するのを手伝う	57.4%	53.3%	66.5%	60.8%	64.6%	65.0%
5	避難した人たちのために、炊き出しをする	38.7%	43.5%	50.1%	50.8%	42.9%	43.8%
6	避難所の運営を手伝う	41.0%	36.7%	44.4%	45.3%	38.7%	40.6%
7	その他	4.9%	3.7%	-	-	-	-
8	1～7のようなことはできない	9.9%	13.4%	9.4%	9.8%	10.5%	11.4%
	無回答・無効	3.1%	2.7%	2.5%	5.5%	2.8%	2.5%

5.2.5 住宅の耐震化・家具固定・ブロック塀対策について

問12 あなたがお住まいのご自宅は、次のどれにあたりますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	一戸建て	89.0%	82.5%	83.4%	80.2%	84.2%	-
2	1～2階建て集合住宅	3.4%	6.5%	6.0%	5.8%	5.6%	-
3	高層（3階建て以上の） 集合住宅	2.7%	5.9%	4.2%	5.2%	5.7%	-
4	住宅と事業所を兼ねた 建物	3.1%	3.2%	3.1%	3.1%	3.5%	-
5	その他	1.1%	1.0%	0.9%	1.2%	0.8%	-
	無回答・無効	0.6%	1.0%	2.3%	4.4%	0.3%	-

問13 あなたがお住まいのご自宅は、いつ頃建てられたものですか。増改築されている場合は、主な部分の建築年をお答えください（ひとつだけ○）。※わからない場合はおおよそで結構です

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	昭和56年5月以前	37.0%	41.3%	-	-	-	-
2	昭和56年6月～平成12 年5月までの間	38.8%	35.2%	-	-	-	-
3	平成12年6月以降	22.6%	20.0%	-	-	-	-
	無回答・無効	1.5%	3.5%	-	-	-	-

問14 住宅の耐震化に補助が受けられることを知っていますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	補助を活用したことがある	3.1%	-	-	-	-	-
2	知っているが活用した ことはない	61.7%	-	-	-	-	-
3	知らなかった	33.4%	-	-	-	-	-
	無回答・無効	1.8%	-	-	-	-	-

問15 あなたがお住まいのご自宅の構造は、次のどれにあたりますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	木造	74.6%	71.3%	70.4%	69.5%	70.3%	68.4%
2	鉄骨造	15.2%	12.8%	13.8%	13.3%	13.0%	13.9%
3	鉄筋コンクリート造	7.8%	8.4%	8.3%	8.1%	15.4%	9.1%
4	その他	1.1%	1.5%	2.1%	1.3%	1.0%	0.9%
	鉄骨鉄筋コンクリート 造	-	4.1%	3.6%	3.7%	15.4%	4.7%
	無回答・無効	1.4%	1.9%	1.9%	4.1%	0.3%	3.0%

問16 ご自宅は、専門家による耐震診断（地震の揺れに対する建物の強さの診断）を受けたことがありますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	ある	10.1%	10.6%	11.7%	9.8%	9.9%	8.6%
2	ない	88.6%	87.3%	88.0%	89.4%	89.7%	91.4%
	無回答・無効	1.3%	2.1%	0.3%	0.8%	0.4%	-

問16-1 耐震診断をした結果はどうでしたか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	耐震補強が必要	41.4%	35.8%	44.3%	48.5%	42.9%	51.5%
2	耐震補強する必要はない	56.7%	59.1%	54.0%	46.2%	49.2%	31.8%
	無回答・無効	1.9%	5.0%	1.7%	5.4%	7.9%	16.7%

問16-2 耐震補強が必要と診断された後、どう対応しましたか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	建て替えた	1.1%	7.0%	3.8%	4.8%	0.0%	-
2	補強した	39.1%	27.0%	32.1%	28.6%	25.9%	23.5%
3	今後建て替える予定	0.0%	2.0%	0.0%	3.2%	0.0%	-
4	今後補強する予定	8.0%	5.0%	12.8%	12.7%	11.1%	20.6%
5	建て替えも補強もする予定はない	17.2%	29.0%	25.6%	22.2%	20.4%	14.7%
6	まだ決めていない	28.7%	26.0%	24.4%	23.8%	42.6%	41.2%
	無回答・無効	5.7%	4.0%	1.3%	4.8%	0.0%	-

問16-3 すぐに補強をしないのはなぜですか（いくつでも○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	費用がかかるから	80.0%	65.5%	79.5%	-	-	-
2	借家だから	2.5%	1.8%	5.1%	-	-	-
3	億劫だから	15.0%	-	-	-	-	-
4	工事をどこに頼めばよいかわからないから	7.5%	0.0%	2.6%	-	-	-
5	補強をしても、大地震からの被害は避けられないと思うから	42.5%	56.4%	56.4%	-	-	-
6	その他	17.5%	7.3%	5.1%	-	-	-
	手間がかかるから	-	9.1%	10.3%			
	補強のやり方がわからないから	-	0.0%	7.7%	-	-	-
	無回答・無効	2.5%	5.5%	0.0%	-	-	-

問16-4

耐震診断を受けていないのは、どうしてですか（いくつでも○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	耐震診断を受けていなくても自宅が地震に強いことがわかっているから	18.1%	13.7%	11.9%	12.8%	9.9%	10.8%
2	耐震診断を受けていなくても自宅が地震に弱いとわかっているから	11.9%	13.1%	16.4%	16.2%	14.0%	18.0%
3	億劫だから	6.1%	-	-	-	-	-
4	補助があると知らなかったから	16.3%	-	-	-	-	-
5	借家だから	7.2%	12.0%	6.1%	6.2%	7.1%	9.8%
6	区分所有だから	0.7%	-	-	-	-	-
7	どこに頼めばいいかわからないから	21.5%	-	-	-	-	-
8	近いうちにリフォーム予定なので、そのときに耐震診断をする予定	0.9%	1.2%	1.1%	0.7%	1.3%	1.7%
9	近いうちに建て替える予定	0.9%	1.1%	1.6%	2.4%	1.3%	1.6%
10	耐震診断の結果、耐震補強などが必要になっても費用が出せないから	25.4%	20.1%	25.5%	25.7%	27.1%	27.1%
11	どんなに耐震化しても大地震にあえば被害は避けられないと思うから	22.2%	20.9%	25.5%	26.5%	25.8%	29.1%
-	手間がかかるから	-	10.1%	10.4%	13.0%	11.7%	11.3%
-	耐震診断の費用がかかるから	-	23.7%	30.4%	31.6%	32.7%	30.7%
-	耐震診断のやり方がわからないから	-	17.1%	19.6%	22.2%	20.9%	23.7%
-	どんなに耐震化しても大津波にあえば被害は避けられないと思うから	-	17.8%	21.4%	21.9%	17.6%	26.0%
-	自分が生きている間に大地震は起きないと思うから	-	2.1%	1.6%	3.0%	4.0%	4.3%
-	地震災害に関心がないから	-	0.7%	0.3%	0.3%	0.3%	0.9%
12	その他	9.1%	7.8%	7.7%	6.7%	9.4%	7.3%
	無回答・無効	6.1%	7.7%	8.3%	4.7%	13.8%	3.6%

問17

あなたのお宅では家具等の固定をしていますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	全部または大部分を固定している	6.8%	6.7%	6.0%	5.2%	6.3%	6.1%
2	一部固定している	41.8%	35.5%	37.8%	34.6%	35.1%	29.7%
3	今後、一部でも固定する予定がある	5.9%	4.0%	4.4%	-	-	-

4	固定が必要な家具類がない	4.4%	3.3%	-	-	-	-
5	固定はしていない	39.6%	46.4%	48.0%	55.8%	57.7%	62.6%
	相談してみたい	-	0.4%	0.5%	-	-	-
	わからない	-	0.9%	0.5%	-	-	-
	無回答・無効	1.4%	2.9%	2.9%	4.5%	0.8%	1.7%

問17-1 家具等の固定をしていないのはどのような理由からですか（いくつでも○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	建物や家具を傷めるから	7.8%	8.9%	10.1%	10.2%	12.7%	8.2%
2	固定の方法がわからないから	15.5%	13.8%	16.3%	18.2%	15.7%	17.3%
3	借家だから	7.3%	12.2%	10.4%	8.8%	8.9%	10.6%
4	費用がかかるから	21.1%	19.7%	19.4%	18.0%	16.0%	16.1%
5	手間がかかるから	30.0%	26.5%	27.8%	26.5%	33.0%	27.3%
6	固定しなくても大丈夫だと思うから	17.8%	14.1%	14.0%	12.8%	14.8%	11.8%
7	家具類を置かない安全な部屋があるから	20.0%	18.2%	20.7%	23.0%	21.3%	20.0%
8	固定しても被害は出ると思うから	26.1%	21.5%	27.3%	23.1%	21.3%	20.8%
9	大地震はすぐには起きないと思うから	4.8%	2.6%	4.2%	3.6%	5.6%	5.3%
10	その他	8.5%	6.7%	9.3%	9.2%	7.9%	9.0%
	地震災害に関心がないから	-	0.6%	0.5%	0.2%	0.5%	0.6%
	無回答・無効	1.6%	4.2%	2.5%	3.9%	3.5%	6.1%

問18

ご自宅のブロック塀や石塀、門柱などについて、地震が発生した場合に安全かどうか点検したことはありますか。また、点検した結果、どのような対応をしましたか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	点検していない	57.7%	67.2%	65.9%	94.4%	91.9%	93.7%
2	点検して安全と言われた	4.7%	2.7%	3.8%	4.1%	5.5%	4.5%
3	点検した結果、危険だったので、取り壊した	0.5%	0.4%	0.4%	-	-	-
4	点検した結果、危険だったので、生け垣・フェンス等に変えた	1.3%	0.6%	0.2%	-	-	-
5	点検した結果、危険だったので、対応を検討中である	1.7%	0.3%	0.4%	-	-	-
6	点検した結果、危険だったが、今後、変える予定はない	0.5%	0.3%	2.1%	-	-	-
7	もともとない	26.7%	20.0%	20.9%	-	-	-
8	その他	1.9%	1.9%	2.1%	-	-	-
	無回答・無効	4.9%	6.5%	4.2%	0.4%	1.3%	0.8%

問18-1

点検していない主な理由は何ですか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	点検しなくても安全と思うから	29.4%	20.6%	20.6%	23.5%	24.6%	23.0%
2	点検するまでもなく危険だから	3.0%	5.7%	5.8%	5.7%	6.1%	6.4%
3	点検の方法がわからないから	19.8%	16.9%	28.6%	25.2%	27.0%	21.4%
4	費用がかかるから	12.9%	12.3%	11.9%	8.2%	12.1%	6.9%
5	借家だから	5.4%	8.4%	7.8%	3.9%	4.1%	4.8%
6	手間がかかるから	4.3%	3.3%	4.5%	3.3%	4.4%	2.3%
7	対策しても被害は防げないと思うから	6.2%	8.9%	11.0%	9.8%	6.6%	11.4%
8	大地震はすぐには起きないと思うから	1.0%	1.1%	0.9%	0.4%	1.1%	0.6%
9	地震災害に関心がないから	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	0.3%	-
10	その他	8.9%	8.3%	7.4%	6.2%	8.3%	19.6%
	無回答・無効	8.8%	14.3%	1.6%	13.8%	5.5%	3.4%

問18-2

すぐに対応しないのはなぜですか（いくつでも○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	補強のやり方がわからないから	6.7%	11.8%	7.5%	-	-	-
2	費用がかかるから	53.3%	52.9%	50.9%	-	-	-
3	借家だから	8.9%	5.9%	3.8%	-	-	-
4	手間がかかるから	17.8%	29.4%	22.6%	-	-	-
5	工事をどこに頼めばよいかわからないから	11.1%	23.5%	3.8%	-	-	-
6	補強しても、大地震による被害は避けられないと思うから	13.3%	11.8%	26.4%	-	-	-
7	その他	11.1%	0.0%	20.8%	-	-	-
	無回答・無効	17.8%	11.8%	7.5%	-	-	-

5.2.6 日頃の防災対策について

問19 日頃からどのような地震防災対策を行っていますか（いくつでも○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	地震が起きたとき避難する場所を決めている	49.2%	54.1%	60.0%	57.2%	42.1%	58.5%
2	家族の連絡方法を決めている	18.9%	18.3%	20.2%	21.8%	14.0%	15.0%
3	家族が離ればなれになったときに落ち合う場所を決めている	19.0%	21.4%	25.0%	22.9%	14.0%	18.4%
4	風呂にいつも水を入れている	13.4%	12.3%	13.2%	15.4%	15.1%	22.0%
5	ガラスが割れて飛び散らないよう、飛散防止対策をしている	4.5%	2.8%	3.4%	2.3%	3.7%	2.7%
6	ガスボンベを倒れないようにしている	16.2%	12.9%	14.5%	18.1%	18.8%	21.1%
7	消火器を用意している	33.0%	30.3%	33.2%	37.6%	38.0%	34.1%
8	住宅用火災警報器を設置している	43.1%	-	-	-	-	-
9	寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐため、「防災品」を使用している	4.2%	-	-	-	-	-
10	漏電ブレーカーを設置している	38.5%	-	-	-	-	-
11	感震ブレーカーを設置している	4.4%	-	-	-	-	-
12	懐中電灯や携帯ラジオなどを置く場所を決めている	61.2%	52.6%	55.2%	61.0%	53.4%	52.4%
13	懐中電灯や携帯ラジオの電池交換など、点検をこまめにしている	27.6%	19.1%	20.0%	25.6%	22.0%	21.7%
14	自宅には、地震後、家族が何日間か食べていけるだけの食料や飲料水が常にある	34.6%	28.7%	29.6%	29.0%	27.0%	22.2%
15	非常持ち出し品を用意している	62.8%	32.7%	48.9%	57.7%	34.4%	50.1%
16	停電時への備えをしている	66.7%	-	-	-	-	-
17	その他	1.4%	4.0%	-	-	-	-
	無回答・無効	1.4%	5.1%	7.0%	6.8%	12.3%	6.4%

問19-1

非常持ち出し品として、すぐ持ち出せるよう、まとめて置いてあるものに○をつけてください（いくつでも○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	懐中電灯	85.8%	88.1%	89.2%	89.4%	89.9%	89.9%

2	携帯ラジオ	46.7%	58.8%	60.0%	57.8%	64.2%	59.6%
3	飲料水	49.5%	64.3%	57.9%	57.2%	56.2%	57.1%
4	食料品	38.7%	52.6%	47.7%	42.1%	51.1%	44.3%
5	現金	33.4%	34.0%	35.2%	41.9%	30.8%	39.0%
6	下着類	24.5%	37.6%	33.0%	37.0%	29.6%	36.8%
7	テント	2.4%	2.6%	2.0%	1.6%	2.4%	2.5%
8	預金通帳や印鑑など	31.4%	33.4%	32.8%	40.7%	35.6%	37.7%
9	ヘルメット、防災ずきん	15.4%	18.7%	16.1%	16.4%	21.1%	19.2%
10	救急医薬品や常備薬	28.6%	35.3%	28.4%	31.5%	33.9%	34.2%
11	ちり紙、タオル、石けん	28.0%	46.9%	34.9%	38.9%	41.1%	37.9%
12	ナイフ、缶切り	11.1%	14.0%	11.0%	11.0%	16.9%	15.7%
13	ロープ、ひも	15.1%	20.4%	15.7%	15.5%	21.1%	15.8%
14	毛布または寝袋など	10.5%	15.1%	13.8%	10.2%	13.4%	16.5%
15	携帯電話	45.1%	37.4%	35.8%	43.7%	40.6%	41.6%
16	電池	33.4%	33.6%	30.7%	33.1%	27.8%	32.4%
17	その他	4.7%	6.4%	2.7%	7.7%	6.4%	5.7%
	無回答・無効	4.5%	2.6%	0.5%	0.6%	1.1%	0.2%

問19-2 停電時の備えとして、用意しているものに○をつけてください（いくつでも○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	懐中電灯	93.3%	-	-	-	-	-
2	携帯ラジオ	53.2%	-	-	-	-	-
3	電池	60.1%	-	-	-	-	-
4	ロウソク	46.2%	-	-	-	-	-
5	食料品	38.3%	-	-	-	-	-
6	水	56.4%	-	-	-	-	-
7	発電機	6.7%	-	-	-	-	-
8	電気自動車（給電装置）	0.8%	-	-	-	-	-
9	その他	4.5%	-	-	-	-	-
	無回答・無効	3.7%	-	-	-	-	-

問20

あなたのご家庭では、何日分の水や食料を備蓄していますか。家族1人につき水は1日3リットル、食料は1日3食としてお考えください（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	1～2日分	26.4%	24.5%	33.9%	-	-	-
2	2～3日分	26.2%	23.7%	23.3%	-	-	-
3	3～4日分	9.3%	8.3%	9.6%	-	-	-
4	4～5日分	3.3%	2.2%	2.8%	-	-	-
5	5～6日分	1.8%	2.1%	3.0%	-	-	-
6	7～10日分	1.8%	2.4%	4.8%	-	-	-
7	10日以上	1.8%	1.8%	-	-	-	-
8	備蓄していない	21.2%	29.3%	-	-	-	-
	無回答・無効	8.1%	5.8%	22.6%	-	-	-

問 2 1

あなたは、過去一年間に地域や職場、県や市町村などが実施する防災訓練に参加したことがありますか (いくつでも○)。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	県や市町村、消防機関が主催する防災訓練に参加した	22.5%	28.8%	23.2%	15.3%	20.1%	19.3%
2	住民が中心となって行った防災訓練に参加した	15.6%	17.2%	15.2%	8.7%	14.1%	14.8%
3	職場で行った防災訓練に参加した	16.9%	15.5%	14.5%	10.0%	15.5%	9.4%
4	その他の防災訓練に参加した	4.7%	3.2%	4.5%	3.2%	5.1%	5.0%
5	1～4の訓練には、まったく参加していない	45.1%	44.3%	51.1%	59.7%	55.8%	56.3%
	無回答・無効	6.4%	3.7%	3.7%	9.3%	2.6%	6.9%

問 2 1 - 1

具体的にはどのような訓練に参加しましたか (いくつでも○)。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	津波避難訓練	62.2%	57.0%	47.5%	46.2%	35.1%	-
2	消火訓練	40.0%	34.0%	24.5%	40.6%	43.4%	-
3	救出・救助訓練	9.7%	8.5%	8.4%	11.1%	15.8%	-
4	応急手当訓練	15.8%	12.9%	11.3%	17.9%	20.3%	-
5	炊き出し訓練	8.7%	6.6%	4.8%	6.2%	5.1%	-
6	情報伝達訓練	7.7%	5.7%	3.6%	6.2%	7.9%	-
7	風水害を想定した避難訓練	8.1%	5.7%	-	-	-	-
8	避難行動要支援者の避難支援訓練	4.2%	4.0%	3.4%	3.9%	5.2%	-
9	避難所運営訓練	5.0%	3.8%	-	-	-	-
10	その他	2.5%	4.0%	2.0%	3.4%	3.4%	-
	無回答・無効	2.3%	9.1%	11.9%	2.3%	4.4%	-

問 2 1 - 2

なぜ、訓練に参加しないのですか (ひとつだけ○)。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	参加したいが、外せない用事等が入っていたから	26.3%	26.8%	28.0%	-	-	-
2	防災訓練が実施される機会がないから	33.2%	28.3%	40.9%	-	-	-
3	訓練に参加しなくても、経験や知識があり、実践に生かすことができるから	3.5%	-	-	-	-	-
4	興味がないから	9.7%	10.4%	8.6%	-	-	-
5	その他	15.5%	20.6%	18.8%	-	-	-
	無回答・無効	11.8%	13.9%	3.7%	-	-	-

問22

今後、どのような訓練が必要であると思いますか（いくつでも○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	津波避難訓練	43.8%	45.4%	52.3%	60.5%	-	-
2	消火訓練	20.5%	26.2%	28.6%	36.5%	-	-
3	救出・救助訓練	21.7%	26.8%	32.7%	38.3%	-	-
4	応急手当訓練	27.4%	33.7%	38.2%	42.6%	-	-
5	炊き出し訓練	13.7%	17.1%	15.9%	15.7%	-	-
6	情報伝達訓練	27.5%	26.7%	38.3%	38.7%	-	-
7	風水害を想定した避難訓練	31.0%	19.9%	-	-	-	-
8	避難行動要支援者の避難支援訓練	20.5%	20.1%	31.7%	32.4%	-	-
9	避難所運営訓練	19.0%	17.1%	-	-	-	-
10	その他	2.6%	3.0%	2.9%	1.8%	-	-
	無回答・無効	13.4%	10.2%	10.2%	10.9%	-	-

問23

あなたは普段、自然災害や防災、地域の危険な場所についての知識や情報を、どこから入手していますか（いくつでも○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	テレビ	79.0%	90.3%	92.7%	94.6%	88.8%	95.3%
2	ラジオ	18.3%	20.0%	18.2%	21.6%	23.8%	22.6%
3	新聞	29.1%	43.4%	62.4%	58.2%	57.2%	67.7%
4	雑誌	2.0%	3.4%	8.1%	5.8%	5.2%	6.9%
5	地震や災害の専門書	0.9%	0.8%	1.5%	1.1%	1.3%	2.4%
6	県や市町村の広報誌	28.3%	32.5%	30.8%	27.9%	32.9%	39.8%
7	県ホームページ「防災わかやま」	8.7%	5.4%	-	-	-	-
8	市町村のホームページ	5.6%	-	-	-	-	-
9	インターネット	33.9%	29.1%	20.6%	18.9%	12.2%	8.2%
10	ハザードマップ（防災マップ）	33.9%	24.9%	-	-	-	-
11	家族から	14.6%	11.3%	9.4%	11.6%	7.2%	10.7%
12	友人・知人から	12.1%	9.3%	8.3%	11.9%	8.7%	11.5%
13	町内会・自治会を通じて	16.1%	13.0%	11.6%	10.0%	13.0%	22.6%
14	消防署・消防団を通じて	4.5%	3.7%	4.2%	3.6%	6.0%	7.1%
15	県や市町村の防災啓発事業	5.5%	8.6%	-	-	-	-
16	実際に見て回って	3.9%	-	-	-	-	-
17	その他	1.0%	1.0%	2.0%	1.2%	1.6%	1.3%
	無回答・無効	6.0%	2.2%	3.0%	1.0%	4.1%	0.1%

5.2.7 回答者の属性

F 1 性別

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	男性	50.5%	43.5%	47.7%	47.2%	59.5%	48.1%
2	女性	43.2%	54.5%	45.8%	46.8%	33.1%	50.2%
	無回答・無効	6.3%	2.0%	6.5%	6.1%	7.4%	1.7%

F 2 年齢

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	20歳代	3.9%	7.7%	3.8%	6.0%	5.2%	7.0%
2	30歳代	8.1%	9.3%	11.5%	9.3%	11.0%	11.1%
3	40歳代	14.8%	15.6%	17.0%	14.1%	13.4%	15.9%
4	50歳代	19.0%	17.1%	21.6%	19.1%	19.3%	21.7%
5	60歳代	21.6%	21.9%	25.3%	27.3%	24.6%	20.6%
6	70歳以上	26.1%	26.4%	14.2%	18.2%	18.9%	21.9%
	無回答・無効	6.5%	2.0%	6.5%	6.1%	7.6%	1.9%

F 3 あなたは、現在の住居にお住みになってから何年になりますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	5年未満	8.7%	12.1%	8.5%	7.9%	9.4%	8.5%
2	5～10年未満	7.9%	9.1%	8.6%	8.0%	9.1%	11.4%
3	10～20年未満	16.4%	19.0%	16.2%	13.7%	14.6%	16.2%
4	20～30年未満	16.6%	17.9%	15.3%	17.4%	15.6%	19.3%
5	30年以上	43.5%	39.4%	44.4%	46.6%	43.7%	42.6%
	無回答・無効	6.9%	2.5%	7.0%	6.4%	7.6%	2.0%

F 4 職業

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	会社員・公務員	29.3%	29.4%	32.0%	27.5%	31.2%	28.3%
2	自営業	11.8%	10.2%	9.4%	9.4%	9.6%	12.4%
3	農林業	5.0%	3.7%	4.9%	4.9%	4.6%	2.8%
4	漁業	0.4%	0.4%	0.8%	0.5%	1.5%	1.8%
5	専業主婦	9.3%	13.9%	14.7%	15.4%	9.7%	16.4%
6	パートの主婦	8.4%	9.3%	10.0%	6.7%	5.5%	7.1%
7	無職（すでに退職を含む。）	23.5%	24.8%	17.2%	21.8%	25.1%	23.0%
8	その他	5.2%	4.8%	4.1%	6.5%	4.6%	5.6%
	無回答・無効	7.0%	3.3%	7.0%	7.4%	8.1%	2.6%

F 5 同居しているご家族はご本人も含め何人いますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	1人（独居）	10.4%	13.1%	6.9%	7.2%	8.0%	8.6%
2	2人	34.0%	33.6%	29.5%	29.5%	31.9%	31.9%
3	3人	24.4%	22.0%	24.3%	23.5%	21.4%	24.3%
4	4人	14.4%	16.7%	18.3%	16.6%	18.0%	17.6%
5	5人	5.9%	6.9%	7.8%	9.8%	7.8%	9.0%
6	6人以上	4.2%	5.3%	5.6%	7.1%	5.4%	6.9%
	無回答・無効	6.7%	2.4%	7.6%	6.4%	7.6%	1.7%

F 5 - 1 同居しているご家族の中に要配慮者はいらっしゃいますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	いる	28.7%	-	-	-	-	-
2	いない	68.0%	-	-	-	-	-
	無回答・無効	3.3%	-	-	-	-	-

F 6 あなたはご近所とどのようなおつきあいをしていますか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	留守を頼んだり親しく話をする	19.7%	22.5%	22.6%	26.3%	22.1%	30.7%
2	ときどき立ち話をする程度	38.2%	35.5%	37.9%	33.7%	38.9%	36.7%
3	顔が合えばあいさつをする程度	29.5%	31.5%	29.3%	28.7%	27.1%	27.7%
4	ほとんどつきあいが無い	5.1%	6.7%	3.4%	3.9%	4.1%	2.9%
	無回答・無効	7.5%	3.8%	6.8%	7.4%	7.8%	2.0%

F 7 あなたのお住まいの市町村はどちらですか（ひとつだけ○）。

		R1	H28	H25	H23	H22	H19
1	和歌山市	22.9%	22.5%	36.6%	-	-	-
2	海南市	4.8%	5.0%	10.3%	-	-	-
3	橋本市	2.5%	3.4%	3.6%	-	-	-
4	有田市	3.1%	3.1%	2.1%	-	-	-
5	御坊市	3.3%	3.7%	3.4%	-	-	-
6	田辺市	9.5%	12.0%	8.6%	-	-	-
7	新宮市	3.0%	3.8%	1.6%	-	-	-
8	紀の川市	2.8%	3.3%	3.0%	-	-	-
9	岩出市	2.3%	2.0%	2.5%	-	-	-
10	紀美野町	0.4%	0.6%	0.0%	-	-	-
11	かつらぎ町	0.8%	1.0%	0.9%	-	-	-
12	九度山町	0.2%	0.2%	0.0%	-	-	-
13	高野町	0.1%	0.2%	0.0%	-	-	-
14	湯浅町	1.6%	1.4%	1.7%	-	-	-
15	広川町	1.0%	1.0%	1.8%	-	-	-
16	有田川町	1.3%	1.4%	1.2%	-	-	-
17	美浜町	1.5%	1.8%	0.3%	-	-	-
18	日高町	0.9%	0.9%	1.1%	-	-	-
19	由良町	1.0%	1.0%	1.7%	-	-	-
20	印南町	2.5%	2.8%	1.7%	-	-	-
21	みなべ町	3.1%	3.3%	1.0%	-	-	-
22	日高川町	0.4%	0.6%	0.7%	-	-	-
23	白浜町	6.5%	3.5%	1.5%	-	-	-
24	上富田町	0.6%	0.8%	0.0%	-	-	-
25	すさみ町	1.6%	1.8%	0.6%	-	-	-
26	那智勝浦町	7.7%	8.3%	3.0%	-	-	-
27	太地町	0.6%	0.8%	0.7%	-	-	-
28	古座川町	0.4%	0.3%	0.0%	-	-	-
29	北山村	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-

30	串本町	6.9%	7.6%	3.9%	-	-	-
	無回答・無効	6.6%	2.1%	6.4%	-	-	-

6. 調査票

6. 調査票

防災・減災に関する県民意識調査

令和元年 月 日

～ ご記入にあたってのお願い ～

- 宛名にあるご本人がご回答ください。
- 質問は問1から問24まであり、最後にあなたご自身についての質問がF1からF7まであります。
- ご回答は、選択肢の中からあてはまるものを選び、その番号を○で囲んでください。
- 付問のある質問は選択肢後ろの「問○へ」「付問○へ」のとおりお進みください。
- 皆様のご意見は今後の防災施策の検討資料とさせていただきますので、ご協力をお願いします。**
- ご回答いただいたアンケート用紙は、**11月22日(金)までに同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。**



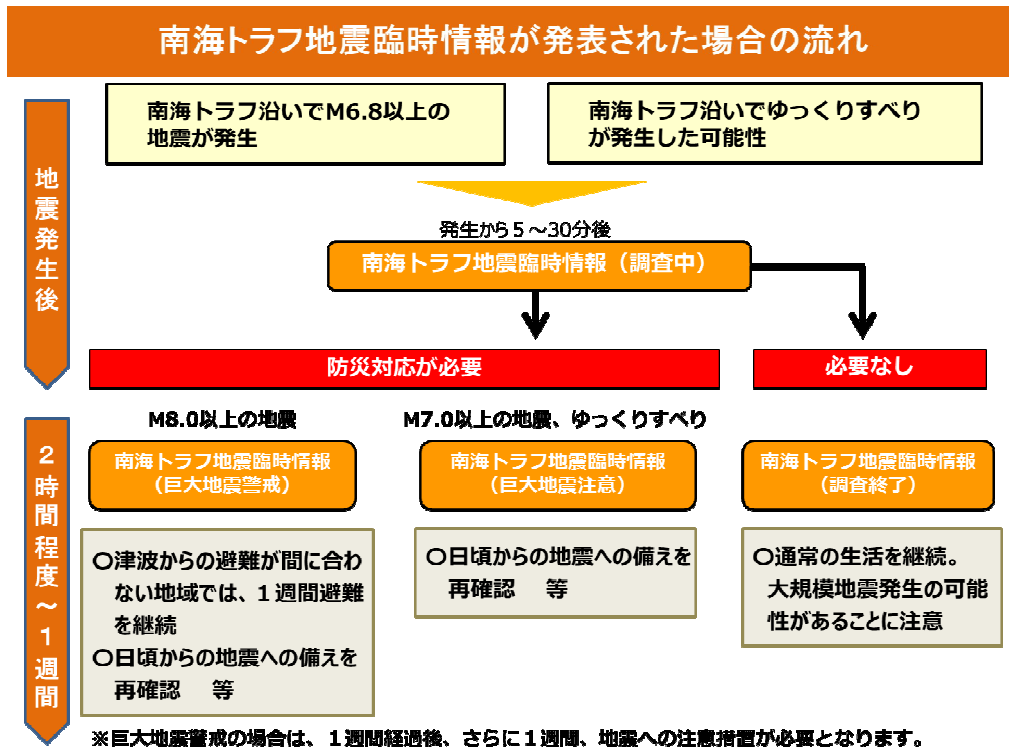
《地震・津波への意識と避難についてお聞きします》

問1	あなたは、南海トラフの地震（東海・東南海・南海3連動地震や南海トラフ巨大地震を含む。以下同じ。）について、どの程度関心を持っていますか（ひとつだけ○）。
1. 非常に関心がある 2. 関心がある 3. 多少関心がある 4. 関心がない	

問2	夜遅くあなたご自宅にいたとき、突然、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上も続いたとします。揺れが収まった後、あなたは避難しますか（ひとつだけ○）。
1. 避難する（付問1へ） 2. 避難しない（付問5へ）	

付問1	あなたが避難する主な理由は何ですか（いくつでも○）。
1. 津波に襲われる危険があるから（付問2へ） 2. がけ崩れ・山崩れの危険があるから 3. 余震で家が倒壊する危険があるから 4. 火災が発生する危険があるから 5. 電気や水道等が止まり生活できなくなるから 6. その他（ ） <p style="text-align: right;">（「1.」を含んでいない方は 付問3へ）</p>	

問3	南海トラフ沿いでマグニチュード7以上の地震が発生し、大規模な後発地震が発生する可能性が高まったと評価された場合、気象庁から南海トラフ地震臨時情報が発表されます。 地震発生から津波到達までに避難が間に合わない地域では事前に避難することとなっていますが、このことをご存じですか（ひとつだけ○）。
1. 知っている 2. 何となく知っている 3. 知らない	



《風水害への意識と避難についてお聞きします》

問 4	市町村が発令する避難勧告等の避難情報や、気象庁が発表する警報等の防災気象情報に、5段階の警戒レベルを用いて伝達する取組みが本年6月から始まっています。あなたはどの段階で避難行動を開始する必要があるかご存じですか（ひとつだけ○）。
1. 知っている 2. 何となく知っている 3. 知らない	

＜避難情報等＞			＜防災気象情報＞	
警戒レベル	避難行動等	避難情報等	【警戒レベル相当情報※】	
警戒レベル 5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	災害発生情報 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等	
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難先へ避難 しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示（緊急） 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等	
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人（ 高齢の方、障害のある方、乳幼児等 ）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警報 等	
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等	警戒レベル2相当情報 氾濫注意情報 等	
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報	※これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。	

（注1）大雨特別警報は、洪水や土砂災害の発生情報ではないものの、災害が既に発生している蓋然性が極めて高い情報として、警戒レベル5相当情報として運用する。ただし、市町村長は警戒レベル5の災害発生情報の発令基準としては用いない。

（注2）市町村が発令する避難勧告等は、市町村が総合的に判断して発令するものであることから、警戒レベル相当情報が出されたとしても発令されないことがある。

《災害時の情報収集についてお聞きします》

問6	あなたの自宅の近くに、市役所や町村役場が緊急時の連絡などに使う防災行政無線のスピーカーはありますか。また、そのスピーカーの聞こえ具合はどうか（ひとつだけ○）。
<p>1. ふだんから放送の内容がはっきり聞きとれる</p> <p>2. よく聞こえるときもあるが、雨や風の具合で聞きとれないことがある</p> <p>3. ふだんから放送の内容があまりよく聞きとれない</p> <p>4. 放送の内容はまったく聞きとれない</p> <p>5. 近くに防災行政無線のスピーカーが設置されていない</p>	

問7	あなたは、災害時における緊急情報をどのように入手していますか（いくつでも○）。
<p>1. テレビ 2. ラジオ 3. インターネット 4. 電子メール</p> <p>5. 家族から 6. 友人・知人から 7. 町内会・自治会から 8. 消防署・消防団から</p> <p>9. ツイッターやフェイスブック等のSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）</p> <p>10. 防災行政無線 11. 県ホームページ「防災わかやま」 12. 防災わかやまメール配信サービス</p> <p>13. スマートフォン向けアプリ『和歌山県防災ナビ』 14. その他（ ）</p> <p>15. どこからも入手していない</p>	

和歌山県危機管理局公式ツイッター
「防災わかやま」のアカウントのフォローをお願いします

災害発生時には、停電等によりテレビなど既存の媒体から情報を得ることが難しい場合もあります。和歌山県危機管理局ではツイッターによる情報発信を行っていますので、是非、**災害時の情報収集手段の一つとしてご活用をお願いします。**


【配信内容】

○災害時に市町村が発表する**避難勧告や土砂災害警戒情報や河川の氾濫警戒情報等**

○甚大な被害が発生するような災害が予想される場合の**注意喚起、新たな防災に関する取組**

アカウント名：「防災わかやま」
 ユーザー名：@bousaiwakayama

※普段ツイッターを使わない方も右のQRコードのリンクから閲覧できます。



『防災わかやまメール配信サービス』に登録をお願いします

○県内の災害に関するさまざまな情報をメールでお知らせします

特別警報・警報・注意報、台風情報、地震情報、津波情報、雨量情報、
河川水位情報、河川洪水予報、土砂災害警戒情報、竜巻注意情報、
避難勧告情報、避難所開設情報、ダム放流情報、高温注意情報、その他緊急情報

○『防災わかやまメール配信サービス』への登録手順

1. 空メール送信

[regist@bousai.pref.wakayama.lg.jp]
上記アドレスに空メールを送信してください。(件名・本文は不要)
右のQRコードを携帯電話で読み込むとメール送信画面が表示されます。

2. 返信メールが届きます

登録用URLが記載されたメールが返信されます。

3. 登録

登録用URLにアクセスし、配信を希望する情報を選択し、登録します。

4. 登録完了

登録完了後に、登録完了通知がメールが届きます。



QRコード

問 8

避難先の検索などができるスマートフォン向けアプリ「和歌山県防災ナビ」をインストールしていますか（ひとつだけ○）。

1. している（問9へ）

2. していない（付問1へ）

付問1

インストールしていない理由は何ですか（ひとつだけ○）。

- | | |
|----------------------|-------------|
| 1. スマートフォン等を持っていないから | 2. 知らなかったから |
| 3. インストールの方法がわからないから | 4. 興味がなから |
| 5. その他（ | ） |

（問9へ）

『和歌山県防災ナビ』のインストールをお願いします

○『和歌山県防災ナビ』とは

災害発生時に的確な避難を行っていただくための防災ポータルアプリです。
避難に役立つ機能を備えています。

機能

避難先検索、ルートナビ、AR（拡張現実）の活用、防災情報通知、避難カードの共有、
家族の居場所確認、避難トレーニング、河川水位情報、土砂災害危険度情報

○『和歌山県防災ナビ』のインストール手順

1. QRコードの読み込み

右のQRコードにスマートフォンをかざし読み込んでください。

2. インストールの実行

インストールが終了すると完了です。

※インストールの詳しい方法は県ホームページをご覧ください。

[<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/bousai/d00155183.html>]



QRコード

《災害時の避難等についてお聞きします》

問9	あなたは、避難カード（下図参照）を知っていますか（ひとつだけ○）。
1. 知っている（付問1へ） 2. 何となく知っている（問10へ） 3. 知らなかった（問10へ）	

付問1	あなたは、家族と同居している場合は家族等と避難場所や避難経路等を話し合っ、緊急避難先等を避難カードに記入していますか（ひとつだけ○）。
1. 記入している 2. 記入していない 3. 同居していない (続いて 問10へ)	


避難カードを使って避難場所や避難経路について家族で話し合いましょう！

- ・災害が起きたとき、家族全員が一緒にいるとは限りません。
- ・一人ひとりの命を守るために、あらかじめ、家族で避難場所、避難経路、連絡先等を決めておき、避難カードに記入し携帯しておきましょう。
- ・いざというときには家族を信じ、それぞれ率先して避難しましょう。
- ・避難カードは、スマートフォン向けアプリ『和歌山県防災ナビ』にも搭載していますので、ご活用ください。

津波警報が発令されたら、
迅速に高台などの安全な避難場所へ避難しましょう!!

津波避難3原則

- ① 想定にとられない
- ② 最善を尽くせ
- ③ 率先避難者になれ



和歌山県防災ナビ

避難カード ★避難場所

しめい 氏名	緊急避難先
住所	避難所
生年月日	緊急避難先
性別 家族	風水害
電話番号 ①	避難所
連絡先 ②	
③	

片田敏孝 東京大学大学院情報学環 特任教授 監修

問10	あなたの住んでいる地域で大規模な災害が発生し、自宅の損壊等で長期間帰宅ができなくなってしまったとします。あなたはどこで避難生活を送りますか（ひとつだけ○）。
<p>1. 最寄りの避難所 2. 県内の親せきや友人の家 3. 県外の親せきや友人の家</p> <p>4. テント 5. 自家用車の中（車中泊）（付問1へ）</p> <p>6. その他（ ）</p> <p style="text-align: right;">（「5.」以外の方は 問11へ）</p>	

付問1	自家用車の中で避難生活を送る主な理由は何ですか（いくつでも○）。
<p>1. 避難所には多くの被災者が殺到し入ることができないと思うから</p> <p>2. 避難所ではプライバシーが確保されないと思うから</p> <p>3. 自分や家族が高齢者であるため、避難所生活が送れるか心配だから</p> <p>4. 家族に乳幼児がいるため、避難所生活が送れるか心配だから</p> <p>5. 自分や家族に障害・持病があるため、避難所生活が送れるか心配だから</p> <p>6. ペットを飼っているため、避難所生活が送れるか心配だから</p> <p>7. 避難所が停電になっている恐れがあるから</p> <p>8. その他（ ）</p> <p style="text-align: right;">（続いて 問11へ）</p>	

問11	大地震が起きたあと、あなたご自身は、地域の人と協力してどのようなことができると思いますか（いくつでも○）。
<p>1. 生き埋めになった近所の人を、がれきの中から救助する</p> <p>2. 火災が出たとき消火する</p> <p>3. 重症者が出たとき病院などへ車やリアカーなどで運ぶ</p> <p>4. 高齢者や介護が必要な人が避難するのを手伝う</p> <p>5. 避難した人たちのために、炊き出しをする</p> <p>6. 避難所の運営を手伝う</p> <p>7. その他（ ）</p> <p>8. 1.～7.のようなことはできない</p>	

問17	あなたのお宅では家具等の固定をしていますか（ひとつだけ○）。
<p>1. 全部または大部分を固定している 2. 一部固定している</p> <p>3. 今後、一部でも固定する予定がある 4. 固定が必要な家具類がない</p> <p>5. 固定はしていない（付問1へ）</p> <p style="text-align: right;">（「5.」以外の方は 問18へ）</p>	

付問1	家具等の固定をしていないのはどのような理由からですか（いくつでも○）。
<p>1. 建物や家具を傷めるから 2. 固定の方法がわからないから</p> <p>3. 借家だから 4. 費用がかかるから</p> <p>5. 手間がかかるから 6. 固定しなくても大丈夫だと思うから</p> <p>7. 家具類を置かない安全な部屋があるから 8. 固定しても被害は出ると思うから</p> <p>9. 大地震はすぐには起きないと思うから</p> <p>10. その他（ ）</p> <p style="text-align: right;">（問18へ）</p>	

問20	あなたのご家庭では、何日分の水や食料を備蓄していますか。家族1人につき水は1日3リットル、食料は1日3食としてお考えください（ひとつだけ○）。
<p>1. 1～2日分 2. 2～3日分 3. 3～4日分 4. 4～5日分</p> <p>5. 5～6日分 6. 7～10日 7. 10日以上 8. 備蓄していない</p>	

問21	あなたは、過去一年間に地域や職場、県や市町村などが実施する防災訓練に参加したことがありますか（いくつでも○）。
<p>1. 県や市町村、消防機関が主催する防災訓練に参加した</p> <p>2. 住民が中心となって行った防災訓練に参加した</p> <p>3. 職場で行った防災訓練に参加した</p> <p>4. その他の防災訓練に参加した</p> <p>5. 1～4.の訓練には、まったく参加していない（付問2へ）</p> <p style="text-align: right;">（「5.」以外の方は 付問1へ）</p>	

付問1	具体的にはどのような訓練に参加しましたか（いくつでも○）。
<p>1. 津波避難訓練 2. 消火訓練 3. 救出・救助訓練</p> <p>4. 応急手当訓練 5. 炊き出し訓練 6. 情報伝達訓練</p> <p>7. 風水害を想定した避難訓練 8. 避難行動要支援者（※）の避難支援訓練</p> <p style="text-align: center;"><small>※避難する際に、手助けを必要とする高齢者、障害者、乳幼児等</small></p> <p>9. 避難所運営訓練 10. その他（ ）</p> <p style="text-align: right;">（問22へ）</p>	

付問2	なぜ、訓練に参加しないのですか（ひとつだけ○）。
<p>1. 参加したいが、外せない用事等が入っていたから</p> <p>2. 防災訓練が実施される機会がないから</p> <p>3. 訓練に参加しなくても、経験や知識があり、実践に生かすことができるから</p> <p>4. 興味がなから</p> <p>5. その他（ ）</p> <p style="text-align: right;">（問22へ）</p>	

《最後にあなたご自身のことをお伺いします。 あてはまる番号に○をつけてください。》

F 1	性別（ひとつだけ○）
1. 男性	2. 女性

F 2	年齢（ひとつだけ○）				
1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳以上

F 3	あなたは、現在の住居にお住みになってから何年になりますか（ひとつだけ○）。			
1. 5年未満	2. 5～10年未満	3. 10～20年未満	4. 20～30年未満	5. 30年以上

F 4	職業（ひとつだけ○）		
1. 会社員・公務員	2. 自営業	3. 農林業	4. 漁業
5. 専業主婦	6. パートの主婦	7. 無職（すでに退職を含む。）	8. その他（ ）

F 5	同居しているご家族はご本人も含め、何人いますか（ひとつだけ○）。				
1. 1人（独居）	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人	6. 6人以上
（「1.」以外の方は 付問1へ）					

付問1	同居しているご家族の中に要配慮者（※）はいらっしゃいますか（ひとつだけ○）。
1. いる	2. いない
※高齢者（寝たきり、認知症等）、障害者、乳幼児、妊婦その他の特に配慮を要する方	

F 6	あなたはご近所とどのようなおつきあいをしていますか（ひとつだけ○）。
1. 留守を頼んだり親しく話をする	2. ときどき立ち話をする程度
3. 顔が合えばあいさつをする程度	4. ほとんどつきあいが無い

F 7	あなたのお住まいの市町村はどちらですか（ひとつだけ○）。			
1. 和歌山市	2. 海南市	3. 橋本市	4. 有田市	5. 御坊市
6. 田辺市	7. 新宮市	8. 紀の川市	9. 岩出市	10. 紀美野町
11. かつらぎ町	12. 九度山町	13. 高野町	14. 湯浅町	15. 広川町
16. 有田川町	17. 美浜町	18. 日高町	19. 由良町	20. 印南町
21. みなべ町	22. 日高川町	23. 白浜町	24. 上富田町	25. すさみ町
26. 那智勝浦町	27. 太地町	28. 古座川町	29. 北山村	30. 串本町

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。
この用紙を同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。